

厚生労働科学研究費補助金

政策科学推進研究事業

個人レベルの公的年金の給付と負担等に関する情報を
各人に提供する仕組みに関する研究

平成 17 年度 研究報告書

資料編

主任研究者 白杵 政治

平成 18(2006)年 3 月

資料編目次

資料1 50代調査(第1章)の資料

1-1	インタビューに使った通知のひな型	1
1-2	インタビューに使った通知のひな型(タイプB)	5
1-3	インタビューに使った通知のひな型(タイプC)	9
1-4	インタビューに使った通知のひな型(タイプD)	13
1-5	インタビュー議事録	21
1-6	インタビュー時のネガポジチェック	33
1-7	アンケートに使った通知のひな型	45
1-8	アンケートの設問	51
1-9	アンケートの単純集計	61

資料2 30代40代調査(第2章・第3章・第7章)の資料

2-1	第1次アンケート調査の設問	71
2-2	第1次アンケートの単純集計	79
2-3	第2次アンケート調査に使った通知のひな型	95
2-4	第2次アンケート調査の設問(通知送付者向け)	99
2-5	第2次アンケート調査の設問(通知非送付者向け)	107
2-6	第2次アンケートの単純集計(通知送付者向け)	113
2-7	第2次アンケートの単純集計(通知非送付者向け)	121

資料3 実験(第4章・第5章・第7章)の資料

3-1	第4章の実験の被験者向け説明書(1)	127
3-2	第4章の実験の被験者向け説明書(2)	143
3-3	第5章の実験の被験者向け説明書	159
3-4	第7章の実験の被験者向け説明書	169
3-5	実験時のアンケート調査の設問(1)	189
3-6	実験時のアンケート調査の設問(2)	199

※今回の調査は学術的な研究のために行われているものであり、この資料は厚生労働省や社会保険庁などの政府機関等が作成したものではありません。

資料 1 - 1

〇〇〇市〇〇〇〇 〇-〇-〇〇
〇〇〇〇様

生年月日	1950年04月01日
基礎年金番号	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
計算基準日	2005年04月01日

〇〇〇〇さんの公的年金(老齢年金)の見込額 (2005年4月1日現在)

〇〇〇〇さんが老後に受け取る年金額(老齢年金)の見込みは次のとおりです。ただし、次のように試算したものですので、実際に受け取る年金額とは異なります。ご注意ください。

※54歳までは、実際の加入記録をもとにしています。55歳以降は、(1)60歳になるまで現在の半額の年収で働いた場合と、(2)60歳になるまで現在と同額の年収で働いた場合の2通りを計算しています。

※いずれの場合も60歳以降は厚生年金にも国民年金にも加入しない前提になっています。

※自分で年金を受け取る年齢を決める繰り上げ支給や繰り下げ支給は考慮していません。

※あなたの配偶者が受け取る年金額は含んでいません。あなたに扶養される配偶者がいる場合などに支給される加給年金や振替加算も、含んでいません。

※この年金見込額は、今後、物価や賃金の変動がない場合の額です。それらの変動すれば、実際の年金額は、それに合わせて見込額より増えたり減ったりします。(物価スライドなどについては2ページ目をご覧ください)

【60歳になるまで現在の半額の年収で働いた場合の年金見込額】

60~64歳	年間155万円	(月額12万9千円)
65歳以降	年間230万円	(月額19万2千円)

- ・〇〇〇〇さんの場合、60歳から老齢厚生年金を、65歳からは、それに加えて老齢基礎年金を受け取ることができます。
- ・60~64歳の年金見込額は老齢厚生年金のみです。65歳以降の年金見込額は、老齢基礎年金(年間75万円)と老齢厚生年金(年間155万円)の合計です。

【60歳になるまで現在と同額の年収で働いた場合の年金見込額】

60~64歳	年間167万円	(月額13万9千円)
65歳以降	年間242万円	(月額20万2千円)

- ・〇〇〇〇さんの場合、60歳から老齢厚生年金を、65歳からは、それに加えて老齢基礎年金を受け取ることができます。
- ・60~64歳の年金見込額は老齢厚生年金のみです。65歳以降の年金見込額は、老齢基礎年金(年間75万円)と老齢厚生年金(年間167万円)の合計です。

※今回の調査は学術的な研究のために行われているものであり、この資料は厚生労働省や社会保険庁などの政府機関等が作成したものではありません。

受給し始めた後の老齢年金には、以下の特徴があります

1. どんなに長生きしても一生受け取れます

あなたと同じ生まれ年の男性は、平均で80.6歳まで生きると予測されていますが、約7人に1人は90歳まで生きると予測されます。老齢年金は、どんなに長生きしても一生涯にわたって受け取れます。

2. 物価の変動などにあわせて年金額が変わります

受給期間は長期にわたりますので、その間に物価の上昇など経済状況が変化する可能性があります。老齢年金では、68歳未満の年金額は現役世代の賃金の伸びにあわせて毎年改定されます（再評価といいます）。68歳以上の年金額は物価の伸びにあわせて毎年改定されます（物価スライドといいます）。

ただし、年金財政を健全化している最中は、公的年金の加入者数の減少と年金受給者の寿命の伸びを考慮して年金額の伸びが抑制されます。

3. 老齢基礎年金の一部は、国庫負担でまかなわれています

老齢基礎年金は、全国民共通の老齢基礎年金と、サラリーマンなどに対する老齢厚生年金にわかれます。老齢基礎年金の給付は、3分の2がその時の現役世代の保険料や積立金の運用収入から、残りの3分の1が国庫負担として税や国債など政府の一般会計からまかなわれています。

あなたやあなたのご家族は、老齢年金の他、以下の給付を受け取れます

1. あなたが障害状態になられた場合には、障害年金が受け取れます。

仮にいま障害状態（2級）になられた場合には、次の金額を受け取れます。

年間269万円（月額22万4千円）

※実際の障害年金の金額は、障害状態や扶養される配偶者やお子さんの状況などによって変わります。上の金額は、現在のご家族の状況をもとに試算しています。

2. あなたが亡くなられた場合には、ご遺族に遺族年金が支給されます。

仮にいまあなたが亡くなられた場合には、ご遺族は次の金額を受け取れます。

年間210万円（月額17万5千円）

※実際の遺族年金の金額は、受給される配偶者やお子さんの状況などによって異なります。上の金額は、現在のご家族の状況をもとに試算しています。

※今回の調査は学術的な研究のために行われているものであり、この資料は厚生労働省や社会保険庁などの政府機関等が作成したものではありません。

〇〇〇〇さんの公的年金加入記録（2005年4月1日現在）

〇〇〇〇さんがこれまで公的年金に加入した記録は次のとおりです。

【公的年金加入記録】

	加入月数※	厚生年金の納付済保険料 (本人負担) (会社負担)	
2004年03月までの累計	384カ月	838万円	838万円
2004年04月から			
+ 2005年03月までの状況	12カ月	44万円	44万円
2005年03月までの累計	396カ月	882万円	882万円

※この加入月数は、国民年金や厚生年金など、すべての公的年金の合計です。

※公的年金を受け取るためには、合計で300カ月（25年）以上の加入が必要です。

〇〇〇〇さんは、この要件を満たしています。

仮にいま退職した場合の老齢年金見込額（2005年4月1日現在）

過去1年間加入したことによって、いま退職した場合の年金見込額は次のように変わりました。ただし次のことに注意してください。

※この試算は、1年間の加入によって年金額が増えた状況をご理解いただくためのものです。

※現時点では年金を受け取れる年齢になっていませんので、実際に下記の金額を受け取れるわけではありません。また、下記の金額は65歳以降の年金額を想定したものです。

※下記の年金見込額は、これから加入して保険料を支払うことがないと仮定して計算しています。そのため、1ページ目の年金見込額とは金額が異なります。

【仮にいま退職した場合の老齢年金見込額】

2004年03月に退職した場合の見込額	年間	201万円
2004年度の物価変動等にあわせた調整		2万円
2004年04月～2005年03月の		
+ 加入や保険料納付に伴う増加額		6万円
2005年03月に退職した場合の見込額	年間	209万円
（うち国庫負担でまかなわれる部分	年間	16万円）

〇〇〇市〇〇〇〇 〇-〇-〇〇
 〇〇〇〇様

生年月日	1950年04月01日
基礎年金番号	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
計算基準日	2005年04月01日

年金見込額のお知らせ

年金を受けられる年齢		60歳	65歳
年金の種類と年金額	厚生年金保険	特別支給の老齢厚生年金 (報酬比例部分) 139,620円	老齢厚生年金 (報酬比例部分) 139,620円
			(経過的加算部分) 0円
	国民年金		老齢基礎年金 62,920円
合計年金額		139,620円	202,540円

※昨年度の記録が60歳になるまで延長するものとして、年金見込額を試算しています。

実際の年金額は、この試算結果と異なる場合があります。
 (4ページ目の『「年金見込額のお知らせ」について』をご覧ください。)

注1 「特別支給の老齢厚生年金」欄について

特別支給の老齢厚生年金の額は、報酬比例部分と定額部分に加給年金額(*)を加えた額となりますが、この「年金見込額のお知らせ」では加給年金額は除いています。定額部分が受けられる年齢は、性別、生年月日に応じて60歳から64歳となります。(詳しくは、4ページの『「年金見込額のお知らせ」について』の問1をご覧ください。)

* 加給年金額とは、厚生年金保険の加入期間が20年以上あり、65歳未満の配偶者や18歳未満の子がいる場合などに加算される額のことです。

注2 「経過的加算部分」欄について

65歳からは、特別支給の老齢厚生年金の定額部分に相当するものが老齢基礎年金となります。定額部分が、厚生年金保障の加入期間に基づく老齢基礎年金の額よりも高い額となる場合は、その差額が経過的加算額として加算されます。

※今回の調査は学術的な研究のために行われているものであり、この資料は厚生労働省や社会保険庁などの政府機関等が作成したものではありません。

よくあるご質問とお答え

問1：老齢基礎年金及び老齢厚生年金は、いつから受けられるのですか。

答1：老齢基礎年金を受けるために必要な加入期間を満たしている方で、厚生年金保険の加入期間が12ヶ月以上の方は、特別支給の老齢厚生年金が受けられます。

特別支給の老齢厚生年金は、報酬比例部分(在職中の給与・賞与に応じて計算される部分)と定額部分(加入月数に応じて計算される部分)に分かれており、性別と生年月日によって受けられる年齢が次の図のように異なります。

特別支給の老齢厚生年金を受けている方又は厚生年金保険の加入期間が12ヶ月未満の方は、65歳になると老齢基礎年金と老齢厚生年金が受けられます。国民年金のみに加入していた方は、65歳から老齢基礎年金が受けられます。

生年月日	60歳	65歳	
(男)昭和16年4月1日以前 (女)昭和21年4月1日以前	(報酬比例部分)特別支給の ----- (定額部分) 老齢厚生年金	老齢厚生年金 ----- 老齢基礎年金	
(男)昭和16年4月2日～ 昭和18年4月1日 (女)昭和21年4月2日～ 昭和23年4月1日	60歳	61歳	65歳
	(報酬比例部分)特別支給の ----- (定額部分)	老齢厚生年金	老齢基礎年金
(男)昭和18年4月2日～ 昭和20年4月1日 (女)昭和23年4月2日～ 昭和25年4月1日	60歳	62歳	65歳
	(報酬比例部分)	特別支給の ----- (定額部分)	老齢厚生年金 ----- 老齢基礎年金
(男)昭和20年4月2日～ 昭和22年4月1日 (女)昭和25年4月2日～ 昭和27年4月1日	60歳	63歳	65歳
	(報酬比例部分)	特別支給の ----- (定額部分)	老齢厚生年金 ----- 老齢基礎年金
(男)昭和22年4月2日～ 昭和24年4月1日 (女)昭和27年4月2日～ 昭和29年4月1日	60歳	64歳	65歳
	(報酬比例部分)特別支給の老齢厚生年金 ----- (定額部分)	老齢厚生年金	老齢基礎年金
(男)昭和24年4月2日～ 昭和28年4月1日 (女)昭和29年4月2日～ 昭和33年4月1日	60歳	65歳	
	(報酬比例部分)特別支給の老齢厚生年金	老齢厚生年金	老齢基礎年金

(つづく)

※今回の調査は学術的な研究のために行われているものであり、この資料は厚生労働省や社会保険庁などの政府機関等が作成したものではありません。

(つづき)

※老齢基礎年金は60歳から64歳までの間に繰上げて受けることができますが、年齢に応じて年金額が減額されます。また、66歳から70歳までの間に繰下げて受けることもでき、この場合は年齢に応じて年金額が増額されます。

なお、繰上げ受給については、次の点に注意してください。

- ①老齢基礎年金の額は生涯にわたって減額されます。
- ②繰上げ受給の手続きをした後は、障害基礎年金や寡婦年金を受けることはできません。
- ③国民年金の任意加入者であるときは、繰上げ受給はできません。

問2：「年金見込額のお知らせ」が送られてきましたが、自動的に年金は受けられるのでしょうか。

答2：年金を受けようとする方は、必ず年金の請求手続き(裁定請求といえます。)が必要です。

年金を受けることができる年齢になったときに、裁定請求をしていただくこととなります。なお、社会保険業務センターが管理している年金加入記録で、老齢基礎年金の受給資格(期間要件)を満たしている方には、年金を受けられる年齢(60歳又は65歳)の3ヶ月前に裁定請求書をお送りすることとしています。

問3：働きながらも年金を受けられるのでしょうか。

答3：厚生年金保険に加入している間は、年金額と給料・賞与の額によって年金の一部又は全部が支給停止されます。

問4：雇用保険を受けている場合は、年金を受けられるのでしょうか。

答4：会社を退職し、雇用保険の基本手当(いわゆる失業給付)を受けている間は、特別支給の老齢厚生年金は全額支給停止となります。会社に在職中で雇用保険の高年齢雇用継続給付を受けている間は、在職中であることによる支給停止額に、さらに雇用保険を受けていることによる支給停止額が加算されます。

問5：現在、遺族厚生年金を受けていますが、自分の老齢基礎・老齢厚生年金を受ける場合、今受けている年金はどうなるのでしょうか。

答5：一人の方に、老齢基礎・老齢厚生年金と他の年金(障害基礎・障害厚生年金、遺族基礎・遺族厚生年金等)とを受ける権利がある場合には、本人の選択によりどちらか一つの年金を受けることとなります。65歳になって老齢基礎・老齢厚生年金と遺族厚生年金の両方を受けられるようになった場合は特例がありますので、裁定請求をされる際に窓口でご相談ください。

〇〇〇市〇〇〇〇 〇-〇-〇〇
 〇〇〇〇様

生年月日	1950年04月01日
基礎年金番号	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
計算基準日	2005年04月01日

〇〇〇〇さんの公的年金(老齢年金)の見込額 (2005年4月1日現在)

〇〇〇〇さんが老後に受け取る年金額(老齢年金)の見込みは次のとおりです。ただし、次のように試算したものですので、実際に受け取る年金額とは異なります。ご注意ください。

※54歳までは、実際の加入記録をもとにしています。55歳以降は、(1)60歳になるまで現在の半額の年収で働いた場合と、(2)60歳になるまで現在と同額の年収で働いた場合の2通りを計算しています。

※いずれの場合も60歳以降は厚生年金にも国民年金にも加入しない前提になっています。

※自分で年金を受け取る年齢を決める繰り上げ支給や繰り下げ支給は考慮していません。

※あなたの配偶者が受け取る年金額は含んでいません。あなたに扶養される配偶者がいる場合などに支給される加給年金や振替加算も、含んでいません。

※この年金見込額は、今後、物価や賃金の変動がない場合の額です。それらの変動すれば、実際の年金額は、それに合わせて見込額より増えたり減ったりします。(物価スライドなどについては2ページ目をご覧ください)

【60歳になるまで現在の半額の年収で働いた場合の年金見込額】

60～64歳	年間155万円	(月額12万9千円)
65歳以降	年間230万円	(月額19万2千円)

- ・〇〇〇〇さんの場合、60歳から老齢厚生年金を、65歳からは、それに加えて老齢基礎年金を受け取ることができます。
- ・60～64歳の年金見込額は老齢厚生年金のみです。65歳以降の年金見込額は、老齢基礎年金(年間75万円)と老齢厚生年金(年間155万円)の合計です。

【60歳になるまで現在と同額の年収で働いた場合の年金見込額】

60～64歳	年間167万円	(月額13万9千円)
65歳以降	年間242万円	(月額20万2千円)

- ・〇〇〇〇さんの場合、60歳から老齢厚生年金を、65歳からは、それに加えて老齢基礎年金を受け取ることができます。
- ・60～64歳の年金見込額は老齢厚生年金のみです。65歳以降の年金見込額は、老齢基礎年金(年間75万円)と老齢厚生年金(年間167万円)の合計です。

※今回の調査は学術的な研究のために行われているものであり、この資料は厚生労働省や社会保険庁などの政府機関等が作成したものではありません。

受給し始めた後の老齢年金には、以下の特徴があります

1. どんなに長生きしても一生受け取れます

あなたと同じ生まれ年の男性は、平均で80.6歳まで生きると予測されていますが、約7人に1人は90歳まで生きると予測されます。老齢年金は、どんなに長生きしても一生涯にわたって受け取れます。

2. 物価の変動などにあわせて年金額が変わります

受給期間は長期にわたりますので、その間に物価の上昇など経済状況が変化する可能性があります。老齢年金では、68歳未満の年金額は現役世代の賃金の伸びにあわせて毎年改定されます（再評価といいます）。68歳以上の年金額は物価の伸びにあわせて毎年改定されます（物価スライドといいます）。

ただし、年金財政を健全化している最中は、公的年金の加入者数の減少と年金受給者の寿命の伸びを考慮して年金額の伸びが抑制されます。

3. 老齢基礎年金の一部は、国庫負担でまかなわれています

老齢基礎年金は、全国民共通の老齢基礎年金と、サラリーマンなどに対する老齢厚生年金にわかれます。老齢基礎年金の給付は、3分の2がその時の現役世代の保険料や積立金の運用収入から、残りの3分の1が国庫負担として税や国債など政府の一般会計からまかなわれています。

あなたやあなたのご家族は、老齢年金の他、以下の給付を受け取れます

1. あなたが障害状態になられた場合には、障害年金が受け取れます。

仮にいま障害状態（2級）になられた場合には、次の金額を受け取れます。

年間269万円（月額22万4千円）

※実際の障害年金の金額は、障害状態や扶養される配偶者やお子さんの状況などによって変わります。上の金額は、現在のご家族の状況をもとに試算しています。

2. あなたが亡くなられた場合には、ご遺族に遺族年金が支給されます。

仮にいまあなたが亡くなられた場合には、ご遺族は次の金額を受け取れます。

年間210万円（月額17万5千円）

※実際の遺族年金の金額は、受給される配偶者やお子さんの状況などによって異なります。上の金額は、現在のご家族の状況をもとに試算しています。

※今回の調査は学術的な研究のために行われているものであり、この資料は厚生労働省や社会保険庁などの政府機関等が作成したものではありません。

〇〇〇〇さんの公的年金ポイント（2005年10月1日現在）

1. 獲得ポイントの状況

公的年金ポイントは、保険料を納めると加算されます。

○基礎年金ポイントは、保険料を1カ月分納めると1ポイント加算されます。

○厚生年金ポイントは、あなたと同じ年齢の平均的な年収（標準報酬）の方が保険料を1カ月分納めると1ポイント加算されます。前年度は、標準報酬647万円の方が1カ月分納めると1ポイントでした。

〇〇〇〇さんの獲得ポイントの状況は、次のとおりです。

【獲得ポイントの状況】

	基礎年金ポイント	厚生年金ポイント
前々年度末までの累積ポイント	384ポイント	489ポイント
+ 前年度1年間の獲得ポイント	12ポイント	15ポイント
前年度末までの累積ポイント	396ポイント	504ポイント

2. 公的年金ポイントと年金額の関係

「累積ポイント×ポイント単価」で、これまでの獲得ポイントを基準にした老後の年金額のめやすを計算できます。ポイント単価は、物価上昇やあなたの年齢などによって毎年変わります。

今後も保険料を納めて獲得ポイントが増えると、年金額のめやすは増えます。

〇〇〇〇さんの現時点での老後の年金額のめやすは、下記のとおりです。

ただし次の点に注意してください。

※現時点では、まだ年金を受け取れる年齢になっていません。このめやすは、これまでの加入状況をご理解いただくためのものです。

※将来の加入分を見込んでいませんので、1ページ目の年金見込額とは金額が異なります。

【老後の年金額のめやす】

	基礎年金ポイント	厚生年金ポイント
累積ポイント（前年度末）	396ポイント	504ポイント
× ポイント単価（今年度分）	1,650円	2,490円
老齢年金見込額（年間） （基礎年金ポイント部分と厚生年金ポイント部分の合計で209万円）	65万円	144万円

〇〇〇市〇〇〇〇 〇-〇-〇〇
 〇〇〇〇様

生年月日	昭和25年04月01日
基礎年金番号	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
計算基準日	2005年04月01日

〇〇〇〇さんの公的年金(老齢年金)の見込額（2005年4月1日現在）

〇〇〇〇さんが老後に受け取る年金額（老齢年金）の見込みは次のとおりです。ただし、次のように試算したものですので、実際に受け取る年金額とは異なります。ご注意ください。

※54歳までは、実際の加入記録をもとにしています。55歳以降は、(1)60歳になるまで現在の半額の年収で働いた場合と、(2)60歳になるまで現在と同額の年収で働いた場合の2通りを計算しています。

※いずれの場合も60歳以降は厚生年金にも国民年金にも加入しない前提になっています。

※自分で年金を受け取る年齢を決める繰り上げ支給や繰り下げ支給は考慮していません。

※あなたの配偶者が受け取る年金額は含んでいません。あなたに扶養される配偶者がいる場合などに支給される加給年金や振替加算も、含んでいません。

※この年金見込額は、今後、物価や賃金の変動がない場合の額です。それらの変動すれば、実際の年金額は、それに合わせて見込額より増えたり減ったりします。（物価スライドなどについては4ページ目をご覧ください）

【60歳になるまで現在の半額の年収で働いた場合の年金見込額】

60～64歳	年間155万円	（月額12万9千円）
65歳以降	年間230万円	（月額19万2千円）

- ・〇〇〇〇さんの場合、60歳から老齢厚生年金を、65歳からは、それに加えて老齢基礎年金を受け取ることができます。
- ・60～64歳の年金見込額は老齢厚生年金のみです。65歳以降の年金見込額は、老齢基礎年金(年間75万円)と老齢厚生年金(年間155万円)の合計です。

【60歳になるまで現在と同額の年収で働いた場合の年金見込額】

60～64歳	年間167万円	（月額13万9千円）
65歳以降	年間242万円	（月額20万2千円）

- ・〇〇〇〇さんの場合、60歳から老齢厚生年金を、65歳からは、それに加えて老齢基礎年金を受け取ることができます。
- ・60～64歳の年金見込額は老齢厚生年金のみです。65歳以降の年金見込額は、老齢基礎年金(年間75万円)と老齢厚生年金(年間167万円)の合計です。

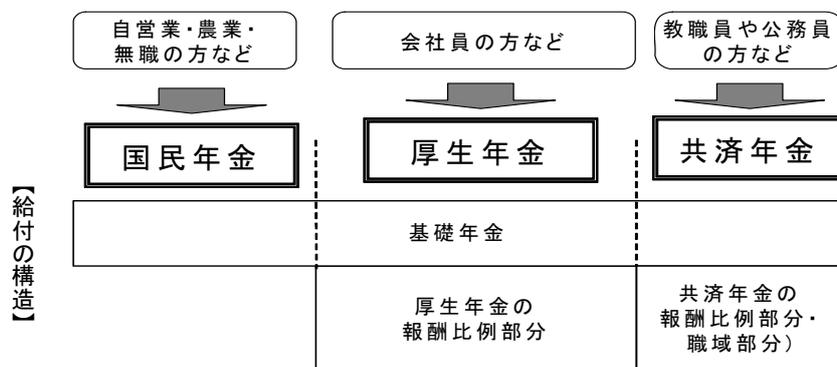
※今回の調査は学術的な研究のために行われているものであり、この資料は厚生労働省や社会保険庁などの政府機関等が作成したものではありません。

〇〇〇〇さんが受け取れる老齢年金について

1. 公的年金制度の概要

わが国の公的年金制度は、自営業や農業、無職の方などが加入する国民年金、会社員の方などが加入する厚生年金、公務員や教職員の方などが加入する共済年金から構成されています。20歳以上60歳未満の国民はご自分の状況に応じていずれかの制度に加入することが義務づけられています。また厚生年金や共済年金では、20歳未満や60歳以上70歳未満の方も所定の条件を満たせば加入する必要があります。

公的給付は大きく2つの種類があります。1つは基礎年金もしくは定額部分と呼ばれる部分で、保険料を納めた月数に応じて計算されるものです。もう1つは報酬比例部分と呼ばれるもので、在職中の給与や賞与に応じて計算されるものです。基礎年金は全国民共通の制度です。報酬比例部分は、厚生年金と共済年金にあります。



2. 老齢年金の受給に必要な加入期間

公的年金制度に合計で25年以上加入するなど必要な条件を満たしている方は、老齢基礎年金を受け取ることができます。また、厚生年金保険の加入期間が1カ月でもある方は、老齢厚生年金（報酬比例部分）を受け取ることができます。さらに、厚生年金保険の加入期間が12カ月以上ある方は、特別支給の老齢厚生年金が受けられます。

〇〇〇〇さんのこれまでの加入期間は次のとおりです。

【公的年金の加入期間（2005年4月1日現在）】

国民年金	0年 0カ月
厚生年金	32年 0カ月
共済年金	0年 0カ月
合計	32年 0カ月

公的年金を受給するためには、合計で25年以上の加入が必要です。

〇〇〇〇さんは、支給要件を満たしています。

※今回の調査は学術的な研究のために行われているものであり、この資料は厚生労働省や社会保険庁などの政府機関等が作成したものではありません。

3. 老齢年金を受け取れる年齢

必要な要件を満たしている方は、65歳から基礎年金を受け取ることができます。また、厚生年金保険の加入期間が1カ月でもある方は、65歳から老齢厚生年金（報酬比例部分）を受け取ることができます。さらに、厚生年金保険の加入期間が12カ月以上ある方は、特別支給の老齢厚生年金が受けられます。特別支給の老齢厚生年金は、報酬比例部分と定額部分ごとに、それぞれ性別と生年月日によって受けられる年齢が異なります。

〇〇〇〇さんが年金を受け取れる年齢と受け取れる年金の種類は次のとおりです。

60歳	65歳
特別支給の老齢厚生年金(報酬比例部分)	老齢厚生年金
	老齢基礎年金

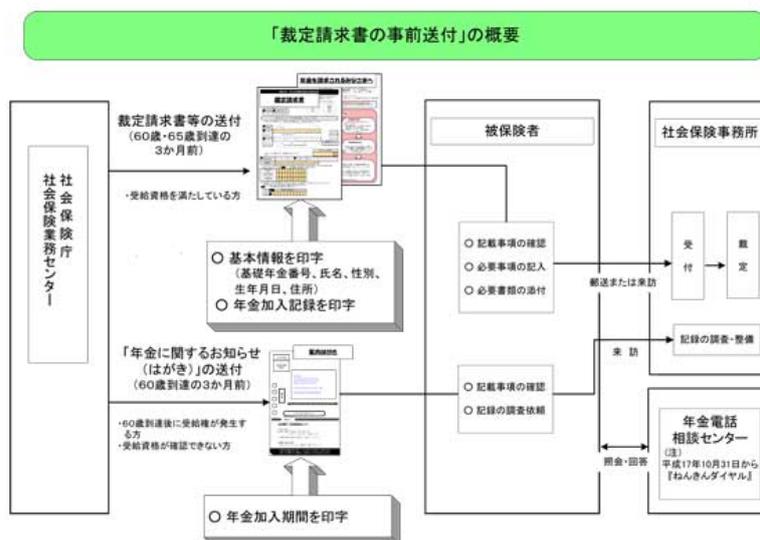
老齢基礎年金は60歳から64歳までの間に繰上げて受けることができますが、年齢に応じて年金額が減額されます。また、66歳から70歳までの間に繰下げて受けることもでき、この場合は年齢に応じて年金額が増額されます。

なお、繰上げ受給については、次の点に注意してください。

- ①老齢基礎年金の額は生涯にわたって減額されます。
- ②繰上げ受給の手続きをした後は、障害基礎年金や寡婦年金を受けることはできません。
- ③国民年金の任意加入者であるときは、繰上げ受給はできません。

4. 年金を受け取るための手続き

年金を受けようとする方は、必ず年金の請求手続き（裁定請求）が必要です。上記の年金を受け取り始められる年齢の3ヶ月前に、受給資格を満たしている方には「裁定請求書」をお送りします。受給資格を満たしていない方には、「年金に関するお知らせ」ハガキをお送りします。



※今回の調査は学術的な研究のために行われているものであり、この資料は厚生労働省や社会保険庁などの政府機関等が作成したものではありません。

受給し始めた後の老齢年金について

1. どんなに長生きしても一生受け取れます

あなたと同じ生まれ年の男性は、平均で80.6歳まで生きると予測されていますが、約7人に1人は90歳まで生きると予測されます。老齢年金は、どんなに長生きしても一生にわたって受け取れます。

2. 物価の変動などにあわせて年金額が変わります

受給期間は長期にわたりますので、その間に物価の上昇など経済状況が変化する可能性があります。老齢年金では、68歳未満の年金額は現役世代の賃金の伸びにあわせて毎年改定されます(再評価といいます)。68歳以上の年金額は物価の伸びにあわせて毎年改定されます(物価スライドといいます)。

ただし、年金財政を健全化している最中は、公的年金の加入者数の減少と受給者の長寿化を考慮して年金額の伸びは抑制されます。

3. 基礎年金給付の一部は、国庫負担でまかなわれています

老齢年金は、全国民共通の基礎年金と、サラリーマンなどに対する報酬比例部分に分かれます。基礎年金の毎年の給付は、3分の2がその時の現役世代の保険料や積立金の運用収入から、残りの3分の1が残りの3分の1が国庫負担として税や国債など政府の一般会計からまかなわれています。

年金分割について

1. 年金分割制度が始まります

年金分割制度には2つの種類があります。

1つは離婚時の厚生年金の分割で、2007年度から始まります。離婚した場合には、当事者の合意または裁判所の決定があれば、婚姻期間についての厚生年金の分割を受けることができるようになります。分割割合は、婚姻中の夫婦の保険料納付記録の合計額の半分が上限です。

もう1つは第3号被保険者期間の厚生年金の分割で、2008年度から始まります。2008年4月以降の第3号被保険者期間については、以下の場合に、第2号被保険者の厚生年金(保険料納付記録)を2分の1に分割できることとします。

- ①夫婦が離婚した場合(離婚時分割の際、第3号被保険者期間は、例外なく2分の1に分割されることとなります)
- ②分割を適用することが必要な事情があると認める場合(配偶者の所在が最期にわたり明らかでない場合など。)

2. 配偶者の方の年金見込額について

このお知らせに記載されている老齢年金の金額は、あなたに支給される分で配偶者の方の分は含んでいません。配偶者の方の年金額は、配偶者の方ご本人にお送りしています。

※今回の調査は学術的な研究のために行われているものであり、この資料は厚生労働省や社会保険庁などの政府機関等が作成したものではありません。

仮にいま退職した場合の老齢年金見込額（2005年4月1日現在）

過去1年間加入したことによって、いま退職した場合の年金見込額は次のように変わりました。ただし次のことに注意してください。

※この試算は、1年間の加入によって年金額が増えた状況をご理解いただくためのものです。

※現時点では年金を受け取れる年齢になっていませんので、実際に下記の金額を受け取れるわけではありません。また、下記の金額は65歳以降の年金額を想定したものです。

※将来の加入分を見込んでいませんので、1ページ目の年金見込額とは金額が異なります。

【仮にいま退職した場合の老齢年金見込額】

2004年03月に退職した場合の見込額	年間	201万円
2004年度の物価変動等にあわせた調整		2万円
2004年04月～2005年03月の + 加入や保険料納付に伴う増加額		6万円
<hr/>		
2005年03月に退職した場合の見込額	年間	209万円
（うち国庫負担でまかなわれる部分	年間	21万円）

上記の各項目は、次のように計算されています。

○物価変動等にあわせた調整

物価変動等にあわせた調整とは、年金の実質的な価値を維持するための仕組みです（再評価といいます）。前々年度末の状況に一定率（再評価率といいます）をかけて計算します。再評価率は、原則として現役世代の手取り賃金の上昇率の平均値です。ただし、現在は年金財政を健全化している最中ですので、現役世代全体の手取り賃金の上昇率から公的年金加入者数の減少と長寿化に伴う分を控除しています。この控除は、加入者だけでなく現在受給中や待機中の方にも適用されています。

基礎年金・経過的加算分＝前々年度末の状況（66万円）×再評価率（1.0%）＝約1万円

報酬比例年金分＝前々年度末の状況（134万円）×再評価率（1.0%）＝約1万円

※前年度の再評価率

現役世代の手取り賃金の上昇率（過去3年間の平均）	+1.3%
公的年金加入者数の変動（過去3年間の平均）	-0.0%
+長寿化伸展への対応	-0.3%
前年度の再評価率	+1.0%

○前年度のや保険料納付に伴う増加額

基礎年金は保険料の納付月数に応じて年金額がきまります。報酬比例年金は標準報酬に応じてきまります。

基礎年金・経過的加算分

＝前年度の納付1カ月あたり年金額（1705円）×納付月数（12カ月）＝約2万円

報酬比例年金分

＝前年度の標準報酬（647万円）×給付乗率（5.769/1000）＝約4万円

※基礎年金・経過的加算分の納付1カ月あたり年金額は、基礎年金分と経過的加算分の合計です。

※標準報酬は、標準報酬月額と標準賞与額の1年分の合計です。標準報酬月額は、報酬月額を1等級（9万8千円）から30等級（62万円）まで30等級に分けたものです。標準報酬月額の対象となる報酬は、基本給に役付手当、通勤手当、時間外手当などを加えたもので、臨時に支払われるものや賞与は除きます。標準賞与額は支払われた賞与額の1,000円未満を切り捨てた額で、上限は150万円です。標準賞与額の対象となる賞与は、いかなる名称であるかを問わず、労働の対価として受ける全てのもののうち3カ月を超える期間ごとに受けるものです。

※給付乗率は、標準報酬を年金額に換算するための比率です。

※今回の調査は学術的な研究のために行われているものであり、この資料は厚生労働省や社会保険庁などの政府機関等が作成したものではありません。

働きながら年金を受け取る場合

年金を受け取れる年齢を過ぎて、働いて厚生年金に加入していれば、それによって退職後の年金額が増えます。ただし、働いている間は年金額が減額される場合があります（在職老齢年金といいます）。

働いている間の年金額は、その時の給与と、もしも働かなかった場合に受け取れるはずの年金額に応じてまきます。働かなかった場合に1ページ目の年金見込額を受け取れるはずだったとすると、在職中と退職後の年金見込額は次のようになります（実際の年金額は物価変動等により毎年改定されます）。

【現在の半額の年収(400万円)で働き続けた場合】

(ア) 65歳になるまで働いた場合

在職中の保険料(60~64歳) 年間32~35万円※(本人負担分)
 在職中の年金額(60~64歳) 年間45万円(月額3万8千円)
 退職後の年金額(65歳以降) 年間247万円(月額20万5千円)

	60歳	65歳	70歳
給与	年間400万円	/	
年金	年間45万円		

(イ) 70歳になるまで働いた場合

在職中の保険料(60~69歳) 年間32~37万円※(本人負担分)
 在職中の年金額(60~64歳) 年間45万円(月額3万8千円)
 在職中の年金額(65~69歳) 年間211万円(月額17万6千円)
 退職後の年金額(70歳以降) 年間258万円(月額21万5千円)

	60歳	65歳	70歳	
給与	年間400万円	年間400万円	/	
年金	年間45万円	年間211万円		

【現在と同額の年収(800万円)で働き続けた場合】

(ア) 65歳になるまで働いた場合

在職中の保険料(60~64歳) 年間63~69万円※(本人負担分)
 在職中の年金額(60~64歳) 年間0万円(月額0万0千円)
 退職後の年金額(65歳以降) 年間270万円(月額22万5千円)

	60歳	65歳	70歳
給与	年間800万円	/	
年金	年間0万円		

(イ) 70歳になるまで働いた場合

在職中の保険料(60~69歳) 年間63~73万円※(本人負担分)
 在職中の年金額(60~64歳) 年間0万円(月額0万0千円)
 在職中の年金額(65~69歳) 年間79万円(月額6万6千円)
 退職後の年金額(70歳以降) 年間294万円(月額24万5千円)

	60歳	65歳	70歳	
給与	年間800万円	年間800万円	/	
年金	年間0万円	年間79万円		

※2017年まで段階的に保険料率が引き上げられるため、年収が同じでも保険料は変わることがあります。

※今回の調査は学術的な研究のために行われているものであり、この資料は厚生労働省や社会保険庁などの政府機関等が作成したものではありません。

あなたが障害を持った時に受け取れる障害年金

あなたが障害状態になられた場合には障害基礎年金が受け取れます。厚生年金加入中に初めて医師の診療を受けた傷病による障害の場合は、障害厚生年金も受け取れます。

○支給要件と〇〇〇〇さんの状況（2005年4月1日現在）

	支給要件（加入期間等に関するもの）	あなたの状況
障害基礎年金	保険料納付済期間(保険料免除期間を含む)が加入期間の3分の2以上あること。	支給要件を満たしています。
障害厚生年金		

○障害年金見込額（2005年4月1日現在）

障害の程度	1級	2級	3級
障害基礎年金	年間121万円	年間96万円	
障害厚生年金	年間198万円	年間173万円	年間147万円
合計	年間319万円	年間269万円	年間147万円

- ・加算の対象となる子とは、①18歳到達年度の末日(3月31日)を経過していない子、②20歳未満で障害等級1級または2級の障害者に限ります。加算額は、2人目までは1人について年間約22万円、3人目以降は1人について年間約7万円です。
- ・1級2級の障害厚生年金の加給年金を受け取れる配偶者は、生計を維持されている65歳未満の方に限ります。
- ・上の金額は、現在のご家族の状況をもとに試算しています。

あなたが亡くなられた時にご遺族が受け取れる遺族年金

あなたが亡くなられた時に18歳未満のお子さんがいらっしゃれば、遺族基礎年金が支給されます。厚生年金の加入中や老齢厚生年金の受給資格がある場合には、遺族厚生年金も支給されます。

○支給要件と〇〇〇〇さんの状況（2005年4月1日現在）

	支給要件（加入期間等に関するもの）	あなたの状況
遺族基礎年金	保険料納付済み期間が加入期間の3分の2以上あること。	支給要件を満たしています
遺族厚生年金	次のいずれか ・ 保険料納付済み期間が国民年金加入期間の3分の2以上あること ・ 老齢厚生年金の資格期間を満たした者 ・ 1級・2級の障害厚生年金を受けられる者	支給要件を満たしています

○遺族年金見込額（2005年4月1日現在）

支給対象	①子のある妻、②子	子のない妻、55歳以上の夫・父母・祖父母、孫
遺族基礎年金	年間108万円	
遺族厚生年金	年間102万円	年間102万円
合計	年間210万円	年間102万円

- ・加算の対象となる子とは、①18歳到達年度の末日(3月31日)を経過していない子、②20歳未満で障害等級1級または2級の障害者に限ります。加算額は、2人目までは1人について年間約22万円、3人目以降は1人について年間約7万円です。子が遺族基礎年金を受給する場合の加算は第2子以降について行います。
- ・遺族基礎年金では、国民年金の第1号被保険者に一定の要件のもとで寡婦年金の給付が設けられています。
- ・遺族厚生年金では、夫が死亡したときに35歳以上の子のない妻、または子が18歳に達し遺族基礎年金を受給できなくなった妻が受ける場合には、40歳から65歳まで年間約59万円が加算されます。
- ・上の金額は、現在のご家族の状況をもとに試算しています。

参加者	1. 導入 自己紹介	2. 年金通知の第一印象 第一印象	3. 1ページ目
A	<ul style="list-style-type: none"> 年齢：57歳 住所：- 同居：妻（専業主婦）、子供2人（大学生） 職業：証券 <p>50歳を超えてから年収が下がった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 知人の諸先輩方の年金額はかなり多いので、我々との差に思いがいく。(1ページの支給額) 	<p>【理解度】</p> <ul style="list-style-type: none"> こういう人はこのぐら이의年金が受け取れます、ということが言いたいのだろう。 報酬比例部分は個人それぞれで違うのではないかな。 <p>【表記方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 例示は収入が半額になった場合の他にもう1つ、無収入になった時の例が欲しい。 <p>【情報提供希望内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 昭和25年生まれの方は60歳からはもらえないのではないかな？
B	<ul style="list-style-type: none"> 年齢：54歳 住所：- 同居：妻（専業主婦）、子供2人（大学院、大学） 職業：建設 <p>52歳の時に一度転職をし、同じ建設業で働いている。50歳を過ぎて転職したので年収は相当下がった。</p> <p>段階的に支給額が変わるのは非常に不合理。実母は80歳を超えており、父は既に亡くなっているが1人暮らしで300万近くもらっている。でもちょうど我々の年代は数ヶ月の差で支給金額が違ってしまふ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1ページめ赤枠の金額にやはり最も目がいく。 転職した時に社会保険庁のHPで年金額を計算してみた。3ページの上部のようにはっきりとわかって自分で計算できるようになるといいと思う。 明確な計算式があって、その時の状況に応じて多少なりとも自分の年金額がわかるようになっているとよい。もとの会社の同僚は60歳を過ぎて働いているが、辞める前より辞めた後の方が支給額が3万下がったという。年金額全体も下がっているの、掛け金がわかってなおかつ計算式も毎年発表されるとよい。自分の額が自分で把握できるようにしてもらうことは大事なことだと思う。 	<p>【理解度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 半額と同額という対比は非常に良い。一度リストラ経験があり実際に給料が下がっているの。支給直前にリストラに遭って給料が下がった場合の例も載っているのは良いこと。 <p>【表記方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> この例を見ると残り5年の年収が半額になってもそんなに支給額は変わらないのだという印象。この程度しか差がないのなら、例をあまり細かく設定しても意味がないと思う。現在と同額と半額の2例があればいいの感じは掴めるのではないかな。 リストラや退職で企業勤めでなくなり国民年金になった場合の例も欲しい。その情報は重要。 昭和24年生まれの方は64歳から満額支給される。あと数ヶ月早く生まれれば私もそうだったのに。 <p>【情報提供希望内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 例が2つあることは非常に良いことだと思う。もう1つ、無収入になった場合を加えて3パターンあれば十分だと思う。
C	<ul style="list-style-type: none"> 年齢：54歳 住所：- 同居：妻（専業主婦）、子供2人（大学生、高校生） 職業：紙流通 <p>来年3月にメーカー系と会社が合併予定で慌しい毎日。噂によると合併する会社の方が給料がいいというのでその水準に近づけたいと思っている。</p> <p>合併前に会社を辞める人がおり、年金手帳がどうなっているか、その後どうするかが話題になったことがある。</p> <p>手帳が配られている人とそうでない人がおり、私はまだ手帳をもらっていない。会社によって配るところとそうでないところがあるらしい。番号だけはもらっているが手帳はまだ手元にない。</p> <p>会社に50代の人間が3人いるので年金が話題になっているところ。会社の合併によるリストラもあり得るので、調べておいてもいいのではないかなと思っている。今はインターネットでだいたい額は調べられるようなので。</p>		<p>【理解度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 例が2つあることは非常に良いことだと思う。もう1つ、無収入になった場合を加えて3パターンあれば十分だと思う。 <p>【表記方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年収がゼロになった時のことが非常に気になるので、年収が半額になった場合以外に年収がゼロになった場合の例が欲しい。 このご時世、このページに記載されている内容は大変重要。
D	<ul style="list-style-type: none"> 年齢：57歳 住所：- 同居：妻（パート）、子供1人（社会人） 職業：不動産 <p>リストラで再就職したばかり。来年度から年収がガタッと減る予定。雇ってもらえるだけましという程度の収入になる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> Eさんの母親は役所務めだったから年金額が多いのだろう。 自分の支給額は54歳か55歳になると教えてもらえるのではないかな。2,3年前に社会保険庁に行って聞いてみたら、自分は教えてもらったが年下の妻はまだ教えてもらえなかった。その時に教えてもらったのは資料よりもっと多い金額だったと思う。ただし、当時の保険料をそのまま払い続けただけであって、その後リストラに遭ったのできつと金額は減るだろう。 生活不安があるから年金通知は早く欲しい。 	<p>【この項目の重視度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 読めばその通りの内容ばかり。 「基礎年金」という言葉がわからない。 <p>【表記方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 将来の生活がかかっているからこのページの内容は重要。 年金は今後の生活の基礎。最低限いくら確保できるかということだから。60歳を過ぎてもできるだけ働きたいが、その場合どうなるのか他ページに記載はあるのか？ <p>【情報提供希望内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 例示は自分の場合が類推できるようなパターンで記載してほしい。 言いたいことはわかる。主旨は通っていると思う。
E	<ul style="list-style-type: none"> 年齢：52歳 住所：- 同居：妻（専業主婦）、子供2人（中学生、高校生）、親 職業：- <p>80歳を超えた親を家に引き取った。もともと都の職員で、今の年金が年額300万以上というのでびっくりした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 60歳を過ぎて働くと年額がかなり違うのだなと思った。親の支給額を見ているだけに、この資料の支給額を見るとガツクリくる。今の若い人達はもってもらえないのではないかな。 年金通知は早く欲しい。もう50歳を超えた段階で欲しい。いつまで働けるかわからないし、働いていても年収がガクンと減る可能性もある。年金額が早めにわかればその状況に応じて将来設計ができる。 	<p>【この項目の重視度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単語がわからないので文章もわからない。基礎年金、老齢厚生年金、報酬比例部分など。 <p>【理解度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年収例の見込み額が1パターンだけだと誤解が生じるだろうから2~3パターンあるとよい。そうすれば55~60歳の状況によって自分の支給額がどのくらい変わるのかわかるから。 <p>【表記方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 55歳で年収がゼロになった場合の例も欲しい。
F	<ul style="list-style-type: none"> 年齢：57歳 住所：- 同居：妻（専業主婦）、子供3人（28歳、25歳、22歳） 職業：私立校 <p>一度転職の経験がある。最初は7年半コンピュータ会社に勤め、今の学校へ。</p> <p>妻が年上で、2月で60歳になる。年金を繰り上げでもらう予定のようだ。でも額はわずか。</p>		<p>【理解度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「半額の年収」を設定した理由の説明がない。同額ならわかるがなぜ半額の年収を設定したのか根拠を説明してほしい。 中身がわかりにくい。妻の見込書を見たことがあるので今この例を見てもなんとなくわかるが、初めて見た人には全くわからないのではないかなと思う。 もし例示するなら「半額の場合」だけでなくいくつかのパターンを例示してほしい。 <p>【情報提供希望内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実際に知りたいのは自分のもらえる額であって、半額の場合など根拠がないと思う。同額の場合と年収ゼロになった場合の2例でよいのではないかな。 確かに60歳以降の年収が同額であっても半額であっても年金額はあまり変わらないのだということはこの例示があるからこそわかる。

グループ・インタビュー発言録（2005.11.28）

参加者	4. 2ページ目	5. 3ページ目	6. 4ページ目
	認知度・重視度・情報信頼度・各項目評価	理解度・重視度	この項目の重視度・理解度
A	<p>【認知度・理解度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ②の68才以上のことは知らなかった。 <p>【各項目評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> これは学校を卒業する若い人達に渡すべき資料であって、我々に今さら渡されても意味がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年やめなくてよかったね、というだけ。では2006年や2007年の場合はどうなるのか。 	<p>【理解度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 70歳まで働く人だけが「お問合せ先」に問い合わせればよいのではないか。
B	<p>【この項目の重視度・情報信頼度】</p> <ul style="list-style-type: none"> この項目を読んで「老齢年金」という言葉の意味を初めて知った。なぜ「公的年金（老齢年金）」という書き方をするのだろう。呼び方は統一してもらわないとわかりにくい。なぜ言葉が2つあるのか疑問に思う。いろいろな呼び方をされると非常にわかりにくい。 メリットをうたっているのか不安を煽っているのかよくわからない。メリットはメリットでまとめて標記した方がよいのではないか。 <p>【各項目評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①はアピールすべき点だと思う。 このページに記載されていることを今さら我々に言われても意味がない。必要なのは1ページの情報だけ。 	<ul style="list-style-type: none"> 2004年4月から2005年の3月まではどう保険料を納付するのか？「※」には「保険料を支払うことがないと仮定して」とあるのに、わかりづらい。 「6万円」は退職して働かない期間に払う国民年金のことなのか？意味がよくわからない。 年金受給資格のある人にとっては必要な情報ではある。 	<p>【この項目の重視度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ピンとこない。 60歳からもらえる年金はどうなるのかが明示されていないのでわかりにくい。65歳からのことはわかるが、60～64歳の分がゼロなのか2割カット程度でもらえるのか全然わからない。
C	<p>【認知度・理解度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 物価スライドによる再計算のことは知らなかった。 <p>【各項目評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保険料を払っていないならばもうことはできない。最近のフリーターやアルバイトの人達は30歳近くまで保険料を払っていないのに、①のような書き方だとどんな人でももらえるんではないかというように誤解する。掛け金を払っていない人はもらえないんではないかということも書いた方がよい。 今年は亡くなった企業戦士が周囲に多かったので「平均80歳」という部分に非常に違和感を感じる。 フリーターをしながら年金ももらおうなんて甘い腹立たしい。親の年代の年金は我々が負担したのに、今の若い人達は私達の分を負担してくれない。 	<ul style="list-style-type: none"> 「下記の金額は65歳以降の年金額を想定したものです」とあるが、退職した人間は60歳から欲しいはず。想定自体がおかしい。 	
D	<p>【認知度・理解度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国庫負担の比率は知らなかった。 物価スライドは知っていたが68才未満のことは知らなかった。物価スライドのことしか知らなかった。 <p>【この項目の重視度・情報信頼度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国庫負担分については一般会計から出ているのか？年金は別なのではなかったか。 たとえ額が減っても民間と違って間違いなくもらえるということはわかっている。民間の場合は会社が潰れたら終わりだが。 	<ul style="list-style-type: none"> 国庫負担が増えたということを行っているだけ。 1年間の加入によって年金額が増えた状況を理解させるためのものなのだろうが、あえてこの資料を作る意味がわからない。 たくさん年金額を払いますよと言うために国庫負担額を底上げして見せているだけ。 例の「2万円」が気に入らない。単なる例示に物価変動に合わせて調整など必要ない。掛け金が増えたからでなく違う原因で増えた場合の例示だから意味がない。 確かに額は知りたい。でも「※」でいろいろうたわれているから額が信じられない。 	<p>【この項目の重視度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 訴えたい内容は枠より上の文章の部分にあるようなことだけなのだろう。まあこんなものだろうと思うから参考にする程度。 <p>【理解度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 70歳まで働けるなんて羨ましい。現実味がない。
E	<p>【認知度・理解度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 物価スライドという言葉は知っていたが、68歳ということは知らなかった。 <p>【各項目評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①は安心。 言葉尻を捉えるようだが、②は賃金や物価は必ず上がるのだという前提で書かれている。そこが大いに疑問。 	<ul style="list-style-type: none"> 「2004年3月は19万円だったのが2005年3月になると21万円」というだけでよいのではないか。 	<p>【この項目の重視度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 70歳まで働くなど考えられない。現実味がない。ましてや今と同額の年収などあり得ない。 「70歳まで同額の年収がある場合」という例示は全く現実味がない。むしろ反感を買うかも。契約を65歳まで延長するという話あっても結局は居づらくなり会社にいられないというのが現実なので。
F	<p>【認知度・理解度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 若い人が減って年金を払う人が減るとどんだん年金額も減るといふこと。かなり金額が減りそうな印象を持つ。 <p>【この項目の重視度・情報信頼度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国民年金保険料の不払いほど増えたり、若い人の人数も減り、たとえ間違いなくもらえるとしてもほとんど役に立たないような額になっていきそう。だから消費税を上げなければならぬということが歴然。 <p>【各項目評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年金について抜本的な解決案が出ていないから②や③のような内容でごまかしているように思う。本当はもっとちゃんとした解決をすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 仮に今退職した場合の正しい数字がもらえるならいいが、本当なのか疑わしい金額なら要らない。この例示にはあやふやな条件がありすぎる。 1ページの続きとして60歳から収入がゼロになった場合の例示としては必要だろう。 	<p>【この項目の重視度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 働く可能性が強いので関心がある。半額の場合と同額の場合の比較があるのは良いこと。民間企業は厳しいので、同額で働けるような人は少ないのではないか。 <p>【理解度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 我々の1つ前の世代までは70歳まで働かせてもらえたが、今はもう現実的ではない。少子高齢化で生徒数も減っている（学校勤務）。

グループ・インタビュー発言録（2005.11.28）

参加者	6. 4ページ目	7. 全体の印象、項目間の評価	
	標記方法について・この項目と標記の評価	全体の印象	
A	<p>【表記方法について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 退職後年金額をいくにするためには60歳以降いくらの年収があればよいかという例示がある方がわかりやすい。(D同意) <p>【この項目・標記の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 70歳まで働いた場合の例は必要ない。どれだけいても65歳までだろう。 年金は当然早くもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 60歳になっても働いていれば1年でこれだけ増えますよ、60歳までは必ず働きなさいよという内容に見える。 	
B	<p>【表記方法について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 私の現状に鑑みると、70歳まで働いた場合など関係ない。必要な人だけが問い合わせるようにしたらどうか。 65歳までアルバイト的に働いた場合に60～64歳の間の年金がどのくらいもらえるのかが私にとっての必要な情報。パート的、アルバイト的に働いた場合の方が私の現実近く、今と同じ状況で働いている場合というのは現実味がない。 「働いた場合」というのは社員として働いた場合なのか？厚生年金に入っている会社に就職していたらという仮定なのか？そこがピンとこない。60歳以上になるといろいろな働き方があるので、その点がわかりづらい。正社員としてでなく週3日程度の仕事をする場合の方が現実的。 年金を満額もらうためにはどのくらいの収入があればいいのかということ60歳以降の人は考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 働き続けるのと年金生活をするのとどちらの方が収入が多くなるのか比較できるような資料が欲しい(A同意)。この4ページを見てピンとこない。 <p>【この項目・標記の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 60歳以降の雇用形態は人によって違うのに、正規社員として働いている場合の例しか載っていないので非常にわかりにくい。 60歳を過ぎて好きな事業を起したり、パートで働いたり働く形態はさまざま。そのうちの1パターンしか例がないならむしろ何も例を載せない方がよいのではないか。少なくとも私にとっては関係ない資料であり、そういう人の人数が多いとすれば無駄な労力だと思う。 70歳まで働いた場合の例は必要ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 「仮に今退職した場合」という言い方でなく、「あなたの現在の年金はこのくらいたまっていますよ」という形にした方がよい。現在最悪でもこれだけあって、今後はこのようになりまずと各自のパターンに合わせて通知があると役に立つ。「これまでの掛け金がこれだけあるから現状ではこれだけでもらえますよ」という通知だけでよいと思う。それと、60歳まであと5年間このままでいくとこうなりまずよという指標があればそれでよい。60歳以降の様々なパターンは各自が問い合わせればよい。 個人が一番興味を持っている金額が最も重要な情報だと思う。1ページ目の内容と、今仮にこうなったらこれだけでもらえますよという内容さえあればよい。今あなたが厚生年金からはずれて国民年金になったとしてもこれだけありますよという書き方がよい。
C	<p>【表記方法について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ストレス社会だから我々の年代には50代で亡くなる人も多い。そう考えると支給開始時期を遅らせれば遅らせるほどもらえる年数が少なくなってしまう。平均寿命は延びているかもしれないが、年金はまた捉え方が別なのではないか。年金は早く欲しいとみんな言っている。 <p>【この項目・標記の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の将来設計の参考にはなる。 		
D	<p>【表記方法について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 掛け金をたくさん払えばたくさんもらえるというのは単純によくわかる。 60歳を超えると正社員でなく委託社員として週に数回働き、厚生年金には入っていないという場合が多い。 個人的にはできるだけ長く賭けて支給開始を遅くし、できるだけ大きな金額をもらいたいと思っている。ただし、70歳まで同額年収というのは現実的ではない。 早く年金をもらいたいから雇用形態を変えて欲しいという人にはあてはまらない例示だと思う。できるだけ働いていたいと思っている自分には役立つ例示だが。 	<p>【この項目・標記の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 給料というのは年金などいろいろな差し引かれた額だから、どの金額が「標準報酬」であり計算対象になるのかわからない。 自分の将来設計の参考にはなる。妻は既に逆算して65歳まで働いてもらってもまだ足りないと言っているし。 例を載せず、文章の中の「働いていれば年金が変わる」「年金額が増減される」という部分を太字にするだけでよいのではないか。 大事な言葉だけをこの資料に載せ、細かい例示やパターンについてはネットで自分で調べさせるようにしたらよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 人のことはどうでもいい。自分のデータだけが細かく欲しい。 今仕事をやめたら強制的に国民年金を払わなければならないのに、そのことが一言も書かれていない。どのパターンにせよ掛け金は払い続けなければいけないのに。 60歳を過ぎてからどのように年金がもらえるのかいろいろパターンをネット上に用意してほしい。 加入記録と計算式さえ各自に連絡すれば、各自で計算ができる。今の給料はわかっても昔の掛け金など覚えていないのだから、まず加入記録が欲しい。 この調査はきっと社会保険庁が大元なのだと思う。国庫負担とか、国がこれだけやっているということがこれだけ記載されているのだからそう思う。 とにかく自分の数字と計算式が欲しい。いくらか例が載っていても自分の数字がわからなければ意味がない。
E	<p>【この項目・標記の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 在職中に亡くなったらとも思うので、年金は早くもらいたい。うちの場合は60歳からせいぜい62歳くらいで仕事は終える予定なので、その場合の計算をしたい。その計算方法と、アクセス先を書いておいてもらう方がありがたい。 		
F	<p>【表記方法について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 下半分の例を見ると、いかにほとんど年金をもらえずに働かなければならないかがよくわかる。それだけ元気に働けるというのは実はありがたい話ではあるが。 総受取額が収入と同じになる年齢を教えてください。 <p>【この項目・標記の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要ない情報を皆さんに送るのは無駄だと思う。多用なケースを例示できないのであれば、逆に一切例示をやめた方がいいのではないか。必要な人だけが問い合わせるようにした方がよい。電話はつながりにくいからネットで調べられるようにしてほしい。 		

グループ・インタビュー発言録（2005.11.28）

参加者	7. 全体の印象、項目間の評価	8. 他パターンとの相対評価	
	通知方法と活用方法	他のバージョンの呈示	
A	<ul style="list-style-type: none"> ・3ページの右上の情報はいいただきたい。1ページと同額の場合、半額の場合、ゼロになった場合、4ページの「これだけの年金を受け取るためにはどうすればよいか」という逆算するための情報が欲しい。 ・通知は58歳でよいが、理想は55歳。 ・通知方法は本人への親展で、毎年の誕生日に郵送してほしい。 ・前提として全員に郵送で通知し、さらに情報が欲しい人はネットで調べられるようにしておくことよい。 	<p>【C】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかりにくい。 ・一般受けしなさそう。 ・3ページ右上の枠内で前年度の厚生年金獲得ポイントが15ポイントになっているのはどういうことか。15ヶ月分ということか？ <p>【D】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの案も帯に短し褌に長し。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分にとってはBの1ページ、Dの8ページさえあればそれでよい。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・受給資格が生じた人には当然通知をすべきだと思う。現在ならこれぐらい、将来はこうなりますという情報は、金を取っているのだから当然通知すべき。 ・情報を見たいタイミングは人それぞれだから、そのタイミングでみんなが見れるようにしてほしい。そのためにはやはりネット。 ・知りたい情報についてはどんどん自分から調べたい。 	<p>【B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい。 ・2ページのような内容が欲しいし、1ページもわかりやすい。老齢年金、公的年金という言葉の違いは相変わらずわからないが。 <p>【C】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイントという言葉が良いのかどうかは別として、自分で計算できるというのは良い。 <p>【D】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7ページの情報は必要だと思う。万が一の場合の情報はもらえると嬉しいが、Aのようにシンプルな書き方で構わない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Bがわかりやすい。Bに障害者になった場合の記載があればよい。自分が生命保険をかける時の参考にもなる。子供達にあとどのぐらい必要なのか。 【スウェーデンのオレンジレターについて】 ・そういう方法が一番良い。いちいち社会保険庁に問い合わせなければいけないというのが一番歯がゆいので。 ・情報が欲しくなるのは50歳ぐらいから。今の世の中には転職が結構あるから、そこに時代が反映されているのだと思う。昔のように定年までいられるならそんなことも考えなかったと思うが。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・将来設計のためには50歳ぐらいで情報が欲しい。だいたい50歳ぐらいから考え始めるから。50歳で1回、55歳でもう1回通知がもらえるとよい。 ・地方の会社や小さな会社の人達はネットなど利用できる環境にないから、ネットで情報提供するというのは不公平。 ・通知が来たら保管しておく。 	<p>【D】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算式も載っているのが良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・DとBの2パターンあるとよい。
D	<ul style="list-style-type: none"> ・見たい時にいつでも見れる方がいいからネットがよい。 ・知りたい情報についてはどんどん自分から調べたい。とにかく計算式と数字がわかれば、たとえネットが使えない環境であっても自分で調べられる。 ・通知が来たら保管しておく。 	<p>【B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金額を抜きにすれば1ページ目の表で概算はつかめる。 ・あまり考えないで済む。ざっと見て理解できるから。A案はじっくり読まないといけないから考え込まなければいけない。あまり心配しない人にとってはBのように概算がつかめればそれでよい。 <p>【C】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退職金規定の改訂でポイント制になった時のことを思い出した。 <p>【D】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報は詳しい方がよい。自分は給与業務をしていたことがあるので言葉へのアレルギーはない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Dのような詳細版とAのような簡易版の2種類を作って両方を全員に通知したらいいのではないかな。 ・権利としてどれだけの金額があるのかわかればいいのだからBの1ページ目の表でよい。自分の年取に応じて詳しくパターンを知りたい人は自分で調べればよい。
E	<ul style="list-style-type: none"> ・通知はこなくてもいいからネット上には情報が欲しい。 ・25年を超えなければ意味はないだろうが、超えればいつでも情報を取りに行けるように。 ・ネットで調べられれば、数字をあこれ入力してシミュレーションするだけでも面白い。 	<p>【B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年金の種類にはどういうものがあるって、60歳と65歳の場合についてどうなのかというのはわかりやすい。言葉よりこのように表になっている方がわかりやすい。 <p>【C】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で計算するにはしやすが、金額が知りたい人には向かないだろう。 <p>【D】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分としては情報は詳しい方がよいが、一般的にはもっと要点をわかりやすくまとめた方がいいだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1枚にBの1ページのような結論を書き、「詳しくは〇ページ参照」として8ページぐらいの資料をつけたらどうか。
F	<ul style="list-style-type: none"> ・興味のある人は社会保険庁へ行くが、混んでいるし働いていると行きにくい。やはりネットで調べるための手段を用意しておいてほしい。 ・25年間払った人に対しては当然通知の義務があると思う。金を取っているのだから。その情報がネットで取れるようになっていると便利。 ・条件が変わらなければ通知を見たいとは思わない。退職や転職のタイミングで見たいので、見たいタイミングは人それぞれ。 ・社会保険庁に電話で問い合わせてもいいのだが、何しろつながらない。だからネットで調べられるとよい。 	<p>【B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妻の見込み表で見たことがある。それを見て気になって社会保険庁へ実際に行ったから、興味を持たせる効果はあると思う。もっと詳しく知りたくなる。 <p>【C】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年金にポイントという言葉を使うことの良さ悪しは別として、計算はしやすいと思う。 <p>【D】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私はこのように詳しく載っていればほどありがたいが、人によっては抵抗を感じるだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・妻もそうだが、普通の人にとってはBがありがたい。表になっている方がわかりやすいので。

参加者	1. 導入	2. 年金通知の第一印象	3. 1ページ目
	自己紹介	第一印象	この項目の重視度・理解度
A	<ul style="list-style-type: none"> 年齢：48歳 住所：東京都 同居：妻、大1息子、中2娘 職業：金融 <p>【年金および通知について思うこと】 ・身近な話題であるにもかかわらずいくらもらえるのか全くわからないので勉強という意味合いもあって今回の座談会に応募した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一目見て生活が厳しくなるのだと思った。 これがもらえる最低金額なのかどうかかわからない。こまごまの金額が本当に出るのかという穿った見方もしてしまう。 2. 3ページ目のように老齢年金などの見込み額が記載されていると、生保の払いすぎなどの見直しのきっかけになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 63歳から老齢厚生年金がもらえるとは知らなかったが、そういうのももらえるということは新聞で読んだことがある。
B	<ul style="list-style-type: none"> 年齢：48歳 住所：東京都 同居：実母、妻、中3息子、中1娘 職業：コンピュータ関係/開発 <p>【年金および通知について思うこと】 ・公的年金についてこれまでほとんど気にしていなかったが、だいぶ年もとってきたので少し気になり始めた。提示資料を読んでも知らないことばかり。</p>	<ul style="list-style-type: none"> こういう通知が来るものなのか？まだ一度も見たことがない。 60歳近くになり働く気もいまいなくなってきたからこういう通知が来ても取り返しがつかない。今ならあと十数年あるので、そのうちにそのぶん稼いでおこうという気持ちにもなる。 3ページの公的年金加入記録に最も注目する。毎月払っていてももう20年近くになるのにこれまで全く気にしていなかった。履歴とともに結果としていくらもらえるのかという金額だけわかればよい。 払えば払った分だけもらえる額も多くなるのか？565万が600万だとしたらもらえる額も多くなるのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 囲みの下の小さい文字の注意書きの意味がわからない。64歳までは老齢厚生年金のみ、65歳以降は老齢基礎年金と老齢厚生年金の合計額ということは、65歳以降は老齢厚生年金が減るということではないのか。減るなら減るとはつきり書いてほしい。 老齢基礎年金と老齢厚生年金の違いがわからない。 年金が2階建てになっていることは知っている。厚生年金に会社で入っていればその2階部分がもらえる。 「老齢」が余計。「老齢」がつくと厚生年金も基礎年金も同じに見えてしまう。 年金が2階建てになっていることは知っているの、それを図が何かで書いてもらいたい。この書き方では65歳から厚生年金部分が下がるというのを隠しているように思える。
C	<ul style="list-style-type: none"> 年齢：47歳 住所：横浜市 同居：妻、娘（高2、中2） 職業：電気メーカー/経理 <p>【年金および通知について思うこと】 ・このご時世なので自分の将来いつ何時倒れたりリストラになるかわからない。その場合にどうなるか考えておきたい。 父から年金生活は苦しいと聞いた記憶もあったので、実際自分はどうなのか気になり今回座談会に参加した。 </p>	<ul style="list-style-type: none"> これだけの金額では生活できないと思う。 年金は払った分だけ返ってこないというのが前提としてあるので、1ページの金額が一番気になる。やはり取られればなしで終わるのだろうなという印象。 	<ul style="list-style-type: none"> アジャストが入る可能性があるという意味で物価スライド制にはポジティブに捉えた。マイナスの場合にもある程度は緩和措置が取られて救済されるのではないかと思うし、どうせまたインフレに転じて物価が上がるのだからそれが考慮されているのだと思う。増える可能性もある。 読み始め時点では65歳からは厚生年金に加えてもっともらえるのだと思ったのに、読み進めていくとあまりに少ししか増えないのがびっくりした。 今私達は「厚生年金保険料」が給与から控除されているが、それが支払われる時にはいきなり「老齢厚生年金」という名前になるのか？それを今初めて知った。それなら最初から給与明細にも「老齢厚生年金」と書いてくれないと。
D	<ul style="list-style-type: none"> 年齢：48歳 住所：神奈川県 同居：妻、中3息子、小6娘 職業：商社/海外営業 <p>【年金および通知について思うこと】 ・この年になり、なるべくこのようなフォーラム的なことに社会参加したいと思いはじめた。たまたま年金というホットな話題でもあり参加した。年金にそれほど興味があるわけではないが、あれだけ騒がれた話題でもあるので。</p>	<ul style="list-style-type: none"> その年齢になるとこういう通知が来るということか？基本的に年金を受け取れる年齢になれば金額が分からないと困るので当然送られてくるのだとは思いますが、身近に目にしたことはない。 今から金額を見ておけば、将来に向けてそれまでの間に貯めておくことができる。 47歳男性の例であり配偶者は含まれていないので、配偶者が同年齢であればこの2倍の額になる。また、子供が高校生だと仮定すれば年金をもらう頃にはもういない。今この通知がくれば準備が間に合うが、58歳時点で来られても間に合わない。受け取る10年ぐらいい前に通知が来てくれば準備もできるが。 決められた期間の払い込みが終了した人にはその時点で通知が来てほしい。 気になるのは1ページの金額。仮に今退職したらどうなるのかという目で見ることができたら。 	<ul style="list-style-type: none"> 見込み額が物価に応じて増えたり減ったりということは、増えるケースもあるだろうと思う。あまり期待はしていないが、まあこんなものなのだろうと思う。 ネガティブな点は配偶者の年金額を含んでいない点。配偶者には配偶者で通知が来るのだから、できればもらえる総額を知りたい。 増えたり減ったりするということはデフレで得をし、インフレの場合は上昇のスピードに追いつかないのだろうと思う。まあしょうがないのだろうと聞き直して捉えている。 これは老齢基礎年金部分、これは老齢厚生年金部分と一目でわかるような数式で表示してくれた方がよい。結果として増えているのだからいいのかなどとなく読んでしまったが、もう少しと数式化してほしい。 働いていた時に厚生年金控除されていたのを返してもらえるのがこの部分です。誰もが納めなければいけないのはこの部分です。もっとわかりやすく書いてもらえば納得する。でもこの書き方では結局どこで払った分がどこへ行ったのか全然わからない。もともと60歳から支給されるはずだったのが65歳に延びてしまったことから始まっているので、それに該当する我々にはもっとわかりやすく説明してほしい。うまくごまかされているような気がする。 通知など年に1回か数年に1回しか来ないのに、それを見て理解できないようではだめだと思う。
E	<ul style="list-style-type: none"> 年齢：45歳 住所：埼玉県 同居：妻、小5、小3、未就学児 職業：電気メーカー <p>【年金および通知について思うこと】 ・企業年金や公的年金について情報が得られればと思って今回の座談会に参加した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> この金額では少ないと思う。積んだ分だけ戻ってほしいのだなと。 1ページの金額が最も気になる。こんなに少ない金額なのかと思って。 	<ul style="list-style-type: none"> 物価スライド制に応じて変額するのはやめてほしい。年金は相互補助だが、学生など年金に加入しないし加入率も減っているのだから我々ももらえる額が心配。物価スライド制でなく最低額は保証してもらわないと生活が立ち行かない。 報酬比例分は63歳からもらえ、みんながもらえる老齢基礎年金は65歳からもらえるのだろう。

参加者	3. 1ページ目	4. 2ページ目	5. 3ページ目
	表記方法評価・情報提供希望内容	認知度・重視度・情報信頼度	理解度・重視度
A	<ul style="list-style-type: none"> ・パターンをもう1つ加え、同額と半額の間で7~8割程度の収入になった場合を加えてくれれば自分なりの金額を算出できるのではないか。 ・こういった情報を提供してもらえらるならそれに越したことはないが、社会保険庁が支給の10年前、10数年前から実際に情報を出す意志があるのか疑問。40代やもっと若いうちから情報を提供すれば年金問題に対する関心も高まるのではないか。 ・この情報の重要度…情報を知りたい人についてはネットなどで情報を知ることができるようになっていれば十分。 ・老齢厚生年金は今63歳からもらえるのであって、数年後には65歳に引き上げられていく。だからこの通知の発送時期によっては「63~64歳」「65歳以降」という例示が誤解を招く可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・②の最後の2行「ただし年金財政を健全化している～」の部分については、増えることはないだろうと思うのでなんとも言えない。 ・ここにある平均寿命はまあこのぐらいだと思う。父親も80歳を過ぎてまだ元気だし、自分も80歳まで生きると思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人負担と会社負担が半々だとわざわざ書くということは今後何か展開があるのかなと穿った見方をしてしまう。今後比率を変えることを考えているのか。だから書かない方がよい。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・年取が増えるパターンはないのか？増えても関係ないのか？ ・例が2つだけだと自分がどこのパターンにはまるか考えにくい。同額を維持した場合はわかるが、現実には徐々に落ちていったり増える見込みがあったりと人それぞれ違う。もう少し細かく75%とか125%などでも計算してくれた方が、より自分に当てはめやすい。 ・この情報の重要度…送られてくるならそれもよいが、インターネットで調べられてもいいかも。年金番号を入れると加入記録が表示され、さらに今後の収入予定を入力すると年間年金額が出てくれるとよい。そのぐらいのシステムは作れるのではないか。 ・この通知を見る限り、63歳までは働かなくてはいけないうことだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・③の「3分の2が保険料で3分の1が国庫負担」については知らなかった。3分の1が税金や国債などで賄われているとわかったのはちょっとためになった。 ・働いている人から月々引かれているものが老人の年金に充てられるのは構わないと思っている。だから3分の1を税金や国債で賄うのではなく全額賄えばいいじゃないかと思う。それは老人に対してすべきことだと考えている。若い者が年寄りの面倒をみるのは当然のこと。 ・自分の寿命は70歳だと思う。あまり長生きしても子供に迷惑がかかるし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人負担と会社負担が半々なのはみんな知っていることなのでわざわざ書かなくてもよい。 ・会社側が半分負担してくれていない場合はもらえる年金額が減るのか？ ・我慢してあと1年働く年間6万円増えるということだが、6万円程度ならやめた方がいいような気がしてしまう。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・「63~64歳」の部分を繰り上げ支給と誤解したりはしない(全員)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物価が上がるとインフレ率が何かの係数で常に比例するというならわかる。でも「ただし抑制される場合があります」について誰がどういう係数をもって抑制するのか全くわからないし、いつ何時急に抑制されてしまうかもわからない。 ・私の寿命は70歳ぐらいだと思う。男性が76歳という平均寿命なら、女性は90歳ぐらいまで生きよう。 ・平均が76歳ということは、80歳以上生きている人も多いのだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会社と本人が本当に同額ずつ払っているのだとすれば、本人負担額だけを書いて最後に1行「それと同額を会社が払っています」と注意書きを加えればそれでいいのではないか。 ・今退職しても65歳まで年金をもらえないのだとしたら、目の前にニンジンぶら下げただけ。25年経過後は貯金を取り崩して生活しなさいと言われていたようなもの。 ・3分の1が国庫負担で3分の2が自分達の負担であると2ページで言われているのに、3ページを見ると10分の1しか負担していないように見える。仕組みを説明された後にこれを見るとインチキな数字に見える。
D	<ul style="list-style-type: none"> ・この文章の作成方法からすると、今ぐらいの年齢をピークとしてだんだん年取が下がることを前提としている。でも今年金をもらっている人達の世代はこのぐらいの年齢からまたさらに年取がアップしたもの。増えた場合のパターンも例示してくれれば、年取が落ちた場合と増えた場合の計算をすることができる。 ・この情報の重要度…送られてくればそんなものかと思う程度の情報。わざわざ年1回送ってくる必要はないが、こちらから訊いた時には教えてほしい。しかもなるべく簡単に訊けるところで教えてほしい。 ・なるべく早く仕事をやめたいとは思っている。いつ頃から黙っていてもお金が入ってくるようになるのか計算はしていた。年金問題が騒がれた時にネットで調べ、もらえる額はどのぐらいだな、ということはこのぐらいまでは働かなければいけないなどシミュレーションしてみた。 ・わざわざ全員に通知しなくてもいいから訊いた時にはすぐに教えてほしい。正確でなくてもいいから。 ・自分は63歳からしかもらえないという前提で資料を見ていたので誤解はないが、全く前提知識がない人がこの通知を見るとなぜ63歳なのか、65歳からというのは何なのかかわからないかも。 ・この通知は60歳で働かなくなるという前提に立っている。61~62歳はどう過ごせばいいのか疑問に感じる人もいるかも。貯金で暮らせというこののだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・結局ポジティブな内容は一生受け取れるということだけ。 ・自分の寿命は70歳だと思う。父も70歳で死んでいるし。70年も生きればそれでよい。そこから先はおまけと考えている。 ・現在47歳の人の平均余命があと32年と計算で出せるなんてたいしたものだと思う。でも自分が思っていた寿命とはだいぶ違うので困ったものだと思う。70歳ぐらいまでしか想定していなかったのにあと10年あるとなると、少ない金額で生きていかなければならない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的なサラリーマンなら会社と半分ずつの負担だが、ごく一部の会社では会社が負担していない場合もある。だから公的機関が出す通知としてはわざわざ半々であると記載すべきなのだろう。自分のいた会社は払ってくれていなかったということを見発できたりもするし。そのために25年間経過しているのに足りないという場合も出てくる。 ・自分にとっては本人負担、会社負担を分けて書く必要はない。 ・300ヶ月に達すればこれだけの金額は保証されるわけだから、会社に対して「もう引かないでください」と宣言して全く払わずに受給を待つということもできる。
E	<ul style="list-style-type: none"> ・過去に自分がいくら掛け金を払ってきたかを知りたい。 ・できれば加給年金のことも記載してほしい。妻がいる場合とか子供が扶養からはずれた場合とか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受給資格のある人に対しては3分の2ぐらい国庫負担し、3分の1は積んだ人のためにキープしておいてほしい。よけいな予算は削って老齢基礎年金の方に回してほしい。 ・自分の寿命は70歳だと思う。このストレス社会でそんなに長生きはできない。 ・平均寿命79歳というのは思っていたより長い(A意外全員)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これを知って何になるのか。

参加者	6. 4ページ目		7. 全体の印象、項目間の評価
	この項目の重視度・理解度	表記方法評価	
A	<ul style="list-style-type: none"> 働けるならずと働きたいというのが本音。年取が増えることは考えておらず、半額でもよい。健康維持等のために働けるだけ働きたい。 このぐらいの年齢になると年取のようなステイタスはもう要らなくなっているのではないかと。健康で働けていればそれでよし、と。 自分がこの4つの例のどれに当たるのかはわかりづらい。 		<ul style="list-style-type: none"> 47歳ぐらいの時点で自分がどのぐらい払っているかというのは社会保険庁に問い合わせればわかるのか？個人情報の問題もあるので、自分からネットで調べることができるようにしてほしい。 【最も役立つ情報】 3ページの情報があれば他は要らない。
B	<ul style="list-style-type: none"> 2行目の「年金額が増えます」という部分はポジティブ。「ただし減額される場合があります」はネガティブ。 半額の場合と同額の場合の2パターンがあるのはよいとして、年齢的に70歳まで働く気はない。63歳や67歳など年齢のパターンがもう少し欲しい。70歳まで働くなど自分の場合はあり得ない。 自分はできれば年取を同額維持するかもと稼げるといいと思っている。70歳までは働かないから下の枠は見ない。65歳まで年取を同額維持しながら働くとなんか金ももらえず、半額だと年金ももらえるのだという程度でいい。現実には65歳で今の年取を維持するのは難しいだろうから、上の枠のAに自分は当てはまるのだろうか。 自分は65歳まではちゃんと働いていなさそう。半額の年取も危ぶまれる。60歳以降で保険料を払って戻って来ないから悲しい。なぜ半額の年取で働いている人よりもらえないのか。こうなるともう年金ではなく社会保障や生活補助金のような感覚。年取800万で保険料を取られていく人が何人ももらえず、半額しか保険料を払わずに働いている人が3万ももらえるなんておかし。3万あれば1杯飲みにも行ける。上の文章を読んだ時は払えばもらえる額も増えるというから喜んだのに。 年取同額と半額では65歳以上の年間差額が40万程度。保険料を倍額払い続けているのにそれだけの差とはおかし。 うちの町内会を見ても65歳で働いている人が何%もいるとは思えない。嘱託や顧問の場合など実社会の近似値が例示されていればわかるが、年取同額という例は現実的でない。 自分のいる会社の施策を見ていると、どんどん退職させて嘱託や契約社員へと移行している。その中で60歳以降年取同額というのは現実的でない。 	<ul style="list-style-type: none"> 年金の計算方法が全然わからないので、まず計算方法を知りたい。なぜ65歳まで働いた場合に227万円になるのかもわからないので。 結果の金額は全然要らなくて、むしろ計算方法だけが載っている方がいいかも。 	<ul style="list-style-type: none"> 【最も役立つ情報】 3ページの加入記録。 1ページの計算は事実ではないから役に立たない。通知は確定している金額や数字だけでよい。あとは計算方法を教えてくれれば自分で計算する。
C		<ul style="list-style-type: none"> 一律でこんな通知をもらっても自分がどうなのかわからない。過去の加入実績に基づいていくつものパターンが例示されていればそんなものかと思えるかもしれない。 パターンが漠然としている。半額というのも極端だし、同額というのも現実味がない。 47歳の時点で「あなたが65歳まで働いた時」と言われても想像できない。60歳になった時点で「あなたの場合はこうですよ」と具体的な金額の通知がくる方が親切。 自分の年金番号さえ知らないのにこんな漠然とした通知がきてはわからない。 たった3つのシミュレーションで同額や半額の場合が細かく書かれているより、同額と半額の場合の金額を1つ書いた下に計算式を書いてほしい。同額の例も半額の例も役に立たない。 計算式が簡単ならいいが、甲表のAをここに、乙表のBをここに当てはめて...というようなお役所式の複雑な計算式だとまたわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> 高校や短大卒だと、48歳なら既に25年以上払っていることになる。資格が生まれた時点で教えてくれないとおかしいと思う。 会社の人事には社会保険台帳があるはずなので、わざわざ社会保険庁にまで問い合わせなくても自分の払った額はわかりそう。社会保険庁がわざわざ全員に対して通知を出すより、企業に対してそういう数字を出させた方がよほど経費節減になる。 【最も役立つ情報】 将来給料が同額の場合とか半額とかいう例示より、今退職した場合にどうなるかの方がよほど役立つ。
D	<ul style="list-style-type: none"> 自分がこの4つの例のどれに当たるのかはわかりづらい。ただ、60歳で定年という前提で半額で65歳まで働くと計算すると、36万円の半額を払いながら39万円もらえるのだから少しはプラスになる。 4ページ全体がネガティブな印象。一体何が言いたいかわからない。ごちゃごちゃと文章で書くよりグラフが何かにしてほしい。 情報としてはこれでよいが、この情報自体の必要性をあまり感じない。あまりにも自分でシミュレーションしなくてはならない部分が多すぎて、結局何がどうなのかわからない。それよりはお問合せ先をもっと詳しく表示し、どうすれば知りたい情報を得られるのかわかりやすくしてくれた方がよい。 このページのパターンに自分が当てはまらないわけではない。でもどうせ65歳定年まで引上げないと年金は破綻するから、国から企業に対して65歳までは定年にさせてはだめだということが言われるだろうし、そこそこの給料で派遣社員として働き続けていけるというシステムにもなっているだろうと思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> この通知は自分の役に立たない。これを全国民に配ると知ったら、ああまた無駄な税金を使っていると思うだけ。年金手帳を持っているのだから、その番号でネットなどでアクセスして情報を得てくださいという記載だけでよいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 転職する時は年金手帳を持って移る。知りたいのは自分が25年という期間を満了するのいつなのかということだから、完了した人に対してはその時点で通知してくれればありがたい。実際には通知はしてくれなくてもいいからこちらからアクセスすれば調べられるようにしてほしい。今はそれすらできない仕組みになっているので。 自分の場合は年金問題が盛り上がった時にぼんやりと自分のもらえる額をシミュレーションしてみた。 【最も役立つ情報】 通知内容は「あなたは受給条件を満たしていません」ということだけでよい。それと今辞めた場合の最低保証額さえあればそれで十分。
E	<ul style="list-style-type: none"> 60歳を過ぎても働く場合の例が載っているのは良いことだと思う。 70歳まで収入が落ちないなんてサラリーマンにはほとんどない。しかも保険料を払いながら働くよりは、払わずにそのぶんを貯めて70歳以降に年金を受け取りたい。 60歳を超えて一度退職して自分で事業を起し、国保に加入した場合の例も欲しい。 		<ul style="list-style-type: none"> 自分がどれだけ払ったか、低い年齢でも問い合わせればわかるようにしてほしい。 【最も役立つ情報】 まず1ページ。 加入月数とその期間の収入の情報が欲しい(3ページ)。

参加者	8. 他パターンとの相対評価		
	他バージョン呈示		
A	<p>【B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Aよりはわかりやすい。ちゃんと2階建てでわかりやすく記載されているし、みんなが知りたいようなQ & Aもある程度記載されているので。 <p>【相対評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資格が生じた段階で一目でわかるDが送られてくるとよい。ただし1ページ目はBタイプに差し替えて。次に受給間際になってもっと詳しい通知をくれるとよい。 ・受給資格が生じた年から毎年送ってほしいとは思わない。HPにアクセスすればいつでもわかるという仕組みさえ作っておいてくれればそれでよい。 		
B	<p>【B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉がわからない。「特別支給の老齢厚生年金」とは何のことなのか。 <p>【D】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここに書かれているような内容を全然知らないので自分にとってはDがよい。仕組みも全然知らないので、こういう詳細なものを送ってもらった方がよい。 ・Dの1ページ目をBタイプにしてくれるとよい。 <ul style="list-style-type: none"> ・金額は別として、仕組みや計算式自体に嘘はないのか？それならDが欲しい。詳しく読んでみたい。 		
C	<p>【B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急に「国民年金」という言葉が出てきている。国民年金は自営業者が自主的に納付している年金だと理解しているので、なぜ自分に関わってくるのかわからない。 ・65歳からは今度は「老齢基礎年金」という言葉が出ており、私は上の13万9,000円しかもらえないのかなと思ってしまう。 <p>【相対評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受給資格に達した時に「あなたが今辞めた場合の」という通知(Aの3ページめ)をもらい、実際に受給年齢が近づいた時にDをもらおうとありがたい。受給年齢まではまだ何年もあるのに詳細な通知をもらってもわからない。いずれにせよ63歳まで待たないともらえないのだし。 		
D	<p>【B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1ページめの金額が見やすい。理由はともかく63歳からはいくら、65歳からはいくらと金額がわかりやすくなっている。細かい説明は後からゆっくり読めばよい。 <p>【C】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ただでさえわかりにくいものをポイント制にしてさらにわからなくしたという印象しかない。 <p>【相対評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見やすさにプラスして、こまごましたことを知りたい人には知らせてあげるというB+Dタイプがよい。 ・自分はDをもらっても1ページ目しか見ないだろう。 <ul style="list-style-type: none"> ・とにかく受給資格が生じた時点で通知が欲しい。資格が発生したということを知りたいので。 		
E	<p>【C】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「標準報酬657万の人が1ポイント」とあるが、何をもちいて1ポイントとなるのか換算基準がわからない。 ・これに併せて自分でポイント計算できる計算式も送られてくるのか？特に厚生年金のポイントがわからない。 <p>【相対評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼっと見てわかりやすいBタイプを一般に配布し、もっと詳しいことを知りたい人は問い合わせれば別途Dタイプがもらえるという仕組みにするとよい。 ・Bは50歳ぐらいてももらいたい。できれば今すぐにももらいたいが、今の年齢から毎年送られてくるといいと思う。通知はとっておくし、もっと知りたければ問い合わせしてみる。 		

参加者	1. 導入		2. 年金通知の第一印象
	自己紹介	年金および通知について思うこと	第一印象
A	<ul style="list-style-type: none"> 年齢：53歳 住所：神奈川県 職業：建設 同居：妻、娘2人（社会人、大4） 	<p>【年金および通知について思うこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年金には非常に興味がある。今まではあまり意識しておらず、ふと思うと給与明細に厚生年金の記載はあっても頭の中に残っていない。将来的に自分がいくら受け取れるのか意外と無頓着だったがこれから気になってくるだろう。 自分が死んでお金の入る生保についても生きているうちに受け取れるものへと見直しているところ。 	<ul style="list-style-type: none"> 定年は65歳まで延びると思うので60歳よりは65歳以降を考えるのは妥当。また、65歳で年取が半額になるというのはシミュレーション的におかしくはない。今の企業の考え方に合っている。 実際はこんなものなのだろうが、年齢と年取ペースとでもっと細かい試算表が送られてくるイメージがあった。その中から自分に当てはまる数字を探すのだと思っていた。 現在58歳で送られてくる通知はこの資料に似たようなものなのか？
B	<ul style="list-style-type: none"> 年齢：52歳 住所：埼玉県 職業：印刷 同居：妻（子供2人は独立） 	<p>【年金および通知について思うこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 厚生年金をどのぐらいもらえるのか詳しくは知らない。 若い頃から年金は自分で用意した方がよいと親から言われていたため、自助努力として30代後半から年金保険に入っている。その金額については把握しているが、厚生年金をいくらぐらいもらえるのか知りたい。 60歳で退職すると住宅ローンがあと5年残ってしまふ。60歳以降も働くとは思うがどうなるかわからないのである程度の金額は留保しておきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 年取が現在の半額になった場合の数字がなぜ出ているのか理由がわからない。逆にいえば半額になるだろうが覚悟しろと言われていたよう。 算定のもことになる数字がない。あなたの年取はいくらで保険料がいくらだからこうです、と。 58歳で知らせてもらっても遅い。もっと早く知らせてもらわないと困る。 HPを見ると算出方式が出ていますが、そのもととなる数字がこの通知には載っていない。
C	<ul style="list-style-type: none"> 年齢：55歳 住所：東京都 職業：電気メーカー 同居：妻、娘2人（浪人、高1） 	<p>【年金および通知について思うこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 父も祖父も同じ脳溢血で40代後半で亡くなっており、母に大学を出してもらった。結婚も遅かったため、40代後半から生きるにしろ死ぬにしろどう家族を支えていくかを考えるようになった。 生保の見直しもしている。生保には若い頃から漠然と入っているが、自分の手元に流動資金があれば保険など実是要らない。 父や祖父が死んだ年を越えてまだ生きている自分としては将来を考えなければいけない。年金を頼りにして生きるより、今後働ける時間と仕事をやめた後どう生きていくかを考えている。資産運用もし、失敗もしたが自力で自分を支える基盤を作りたい。でもまだできてはいない。老後の生活の足しになるぐらいは確保したい。 	<ul style="list-style-type: none"> 電気会社では56歳での役職定年制が導入されており、それ以降の年取は6割ぐらいにしかならない。だから半額という想定は妥当だと思う。 気になるのは1ページ目。2ページ目以降はそのパリエーションだと思う。 年取が半額になっても65歳まで働ける人はむしろ幸運だと思う。
D	<ul style="list-style-type: none"> 年齢：56歳 住所：東京都 職業：航空機部品メーカー 同居：妻、社会人息子、大4娘 	<p>【年金および通知について思うこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年金についてはあまり詳しくない。ここ1,2年騒がれているから気には留めているのだが。 5,6年前、実際のどのぐらいの金額をもらえるのか社会保険庁に問い合わせた後輩がいる。でも自分はすぼろなのであまり気にしていなかった。最近は騒がれているから問い合わせればわかるのだろうが、金額を聞いて少なさががっかりするかもしれない。 リタイア後に年金だけで生活できるような社会ではなくなっている。何か収入を得る方法を考えないとだめなのではないかと思っている。もちろん厚生年金ももらうが、それよりも今後の生活のためにどう収入を得るかを考える方が先だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分1人ならこの金額でもいいだろうが、家族がいるとなると贅沢しないとしても足りない。 65歳になって役職からはずされれば収入はある程度減るが、うちの会社なら半額にまではならない。3ページ目は60歳以降も働いた場合についての記載。 自分は年齢的にもらえる金額がもう決まってしまう。この先払う金額もたかが知れている。これから年金を増やす努力ができるわけでもない。
E	<ul style="list-style-type: none"> 年齢：50歳 住所：神奈川県 職業：教育、人材紹介 同居：妻、高2息子、中2娘 	<p>【年金および通知について思うこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公的年金だけでは足りないと思うので個人年金も多少やっている。 気になるのは年々支給年齢が引き上がっていることで、実際我々は何歳からもらえるのかという不安がなくもない。 提示資料で一番気になったのも金額の部分。各ページに記載されている数字が気になる。 今は退職金もどれだけでももらえるかわからない時代。退職したらこういうことをしたいという夢もあるが、実際には程遠い。ローンもあるので60歳を過ぎても働かなければならないだろうと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> もう少し具体的に「あなたの場合はいくらです」という金額が通知されるのかと思っていた。 この資料に出ている数字は仮定の数字なので、これをもとにどう自分の場合を想定すればよいかわからない。 通知は積極的に欲しいと思う。
F	<ul style="list-style-type: none"> 年齢：50歳 住所：- 職業：セキュリティ 同居：妻、息子2人（大学生、高3） 	<p>【年金および通知について思うこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 私は保険バカで、薦められるがままに入ってきた。50歳を機に整理してみたら生保に10本以上入っていた。知人の女性に整理を頼んだらこれは大変だと言われ、50歳で終わる保険もあった。 会社が401Kを導入し、退職金が自己責任になった。生保もよくわからないし退職金もどうなるかわからないので頼りになるのは年金だけ。なのにいくらもらえるのか全く知らない自分に気づいたところ。 	<ul style="list-style-type: none"> まず1ページ目の金額が気になる。最初は1ページ目の数字にしか目がいかなかった。

参加者	3. 1ページ目		4. 2ページ目
	この項目の重視度・理解度	表記方法評価・情報提供希望内容	認知度・重視度・情報信頼度
A	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生年金と公的年金の2種類があり、老齢基礎年金の方の支給年齢が上がっていつている。それをみんな認識していますよね、ということも言いたいのだろう。 ・見せ方としては、まず年収が今と同額の場合があった、次に半額の場合を示した方がよいのではないかと。 		<ul style="list-style-type: none"> ・3分の1が国庫負担というのは不安。赤字国家なので。 ・父がまだ生きてるので自分の寿命は80歳ぐらいかなと考えている。80歳ぐらいが妥当だと思う。平均寿命はわざわざ書かれていなくてもよいと思う。 ・ある日突然死ぬのは想定外と考えるとやはり自分は80歳ぐらいまで生きそう。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・配偶者の分も含め、世帯でいくもらえるのか知りたい。 ・実際の世の中の動きからしてこういうパターンの人もあるだろうという想定でこの2パターンが示されているのだろう。こんなこともあり得るということを知っていただきたいという意味合いではないか。 ・過去の実績に現状をプラスしてのシミュレーションなのだろう。メインは年収が現在と同額の場合の数字だけでよいと思う。その下に「ただし収入が減る場合はこうなります」という説明があればよい。いきなり2つのパターンを見せられると混同するしわかりにくい。現在と同額の場合と半額の場合は同列に考えるべきことではないかと思う。 ・老齢厚生年金、老齢基礎年金について復習してみたくなる。 ・図があるとわかりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要情報は十分ではない。試算式がほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・②がよくわからない。68歳という数字が突然出てきてその説明がない。現役世代の賃金の伸びと物価の伸びに分けている理由もわからない。変動するのはよいが、その変動の基準がわからない。③を読めば老齢年金が現役世代の賃金に連動するのはわかるが、68歳で分ける理由がわからない。 ・②の「賃金や物価の伸びに合わせてスライド」はポジティブ。「伸び」という言葉には上がるイメージがあるから。でもそのすぐ下に「下がる場合」とあり、それはネガティブ。一番言いたかったのは下の2行なのだろう。 ・平均寿命についてはあまり深く考えずに読み進めてしまった。これを読んだからといって人生設計を考え直すとはまでは思わない。意図を深読みすれば、みんなこんなに長く生きるのだから支給額が下がるかもしれないよと言っているようにも思える。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・制度に沿った説明書と一緒に送られてくればよいと思う。 ・年収が同額の場合、半額の場合というパターンは妥当だと思う。半額になっても年間12万しか変わらないですよということが説明されており、事前アナウンスとしては妥当な通知だと思う。 ・今の年収をもとに算定されていることに違和感はない。 ・この2パターンを見れば、どのぐらい収入が変わると年金の額がどのぐらい変わるのかという見当がつけられる。逆に半額になっても支給額がそれほど変わらないことがわかり安心。わかりやすい。 ・少なくともここに出てくる用語が全て理解できるような説明資料が添付されるべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報は「いくもらえるか」に尽きるし、必要な情報は全て記載されていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一生受け取れるというのは安心。 ・平均寿命を認識していようがいまいが支給額は変わらないのだから、寿命をわざわざ書く意図がわからない。不要。
D	<ul style="list-style-type: none"> ・うちの会社では50歳以降は年収が減る。そういうことを前提として半額というパターンを出したバックグラウンドがわからない。 ・年収が半額になっても支給額に大差がないから、一生懸命仕事をしなくても半分年収で楽をしながらその先の人生設計を考えてもいいかも。 ・この通知は55歳以降の人に毎年送られてくるのか？54歳までは現実に積み立てた額があるから、その額をベースにしてシミュレーションしたということ。少なくとも90%程度までは積み立ててあるわけで、その数字をもとに。 		<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの年金は物価スライド制で、物価が上がったぶん支給額が上がったのだと思う。でもこれからの年金は物価スライドではないと理解している。どこから聞いた情報なのかは忘れたが。 ・寿命は結局自分1人の問題なのだからわざわざ書かなくてもよい。
E	<ul style="list-style-type: none"> ・それなりの根拠があるので信頼できる通知だと思う。 ・老齢基礎年金や老齢厚生年金など何がどう違うのかわからない人もいると思う。その説明はこのページに載せる必要はないが、自分は特に混乱はしない。スッと頭に入ってくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年収が同額の場合、半額の場合の他、収入が増えた場合の例も欲しい。 ・年収が半額になってもあまり支給額が減らないのだという安心感を持つが、逆に年収が増えた場合にどのぐらいプラスされるのかも知りたい。その幅をグラフや図で示してもらえるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・②はネガティブ。減ることはあっても増えることはないことへのエクスキューズに見える。 ・②の「年金財政を健全化している最中は」の部分は不要要素。 ・平均余命や父の年齢を加味して自分の寿命を考えた。平均余命は78ぐらいかなと思う。父がその年齢なので。
F	<ul style="list-style-type: none"> ・54歳までの加入記録というのは正確な数字が出てくるのか？それは嬉しいと思う。 ・家でいくらという意識だし個人宛に送られてくるものなので、配偶者も含めた数字にしてくれた方がよい。 ・支給年齢が段階的に上がっているが、現在55歳の人は本当に60歳からもらえるのか？ 		<ul style="list-style-type: none"> ・読む側としては上がるとか下がるとか言われるよりも「変動」と言われた方がよい。 ・②の理由として③があるのだけれど、③だけ見た場合にはよく理解できない。 ・平均寿命についてはすんわり受け止められる。特に書く必要はない。老齢年金が一生受け取れるということだけ書かれていけばよい。世間一般の平均寿命から、自分は80歳ぐらいまで生きるのではないかと思っている。

参加者	5. 3ページ目	6. 4ページ目	7. 全体の印象、項目間の評価
	理解度・重視度	この項目の重視度・理解度	
A	<ul style="list-style-type: none"> ・2005年4月の時点ではまだ確定していないから見込み額ということなのだろう。 ・下の枠はあと5年は払わないと国庫負担が必要になるから今やめないで払い続けなさいということなのかも。そこまで言うか、と思う。 ・自分が積み立ててきた履歴がわかり、だからあなたの算定式ではこうなりますという意味で上の枠はわかる。でも下の枠は理解できない。 ・今仕事をやめて保険料を払うのもやめた場合はどうなるのかは確かに知りたい。でもあなたがやめたせいで国庫で賄わなければいけないんだよとまで言わなくてもいいのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昔は60歳から支給が始まったが今は65歳から。自分達がもらえるのは65歳からというイメージが強い。大手企業は少なくとも65歳までは雇いたいという国から言われるだろうし、何らかの形で働いていられるだろうと思う。単純に60歳で退職する人ばかりではないから、4ページの説明はあってしかるべきだと思う。 ・自分は65歳までは最低限働きたい。そこから先はなんとかしてもらいたい。64歳の自分は半額の場合のアに当てはまるだろうと思う。その期間に年金を受け取るか受け取らないかは選択できるのではなかったか。 ・図で表示した方がよい。人に説明をしようというには言葉が多すぎる。まずは目でわかるグラフを表示し、細かい説明は別添にすべき。見せ方はグラフでよく、「細かい数字は別添の表をご覧下さい」でよいと思う。 ・グラフで見れば誰でも理解できるが文章にされるとわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見せ方をもっとわかりやすくしてほしい。こんなに文章量があったのでは読まない。 ・少なくとも60歳で送られてくるのは遅い。50歳ではまだ早い。55歳ぐらいがちょうどいいかも。老後を考えるカウントダウンが始まるのはやはり55歳が節目。 ・必ずしも全員がネットを使いこなせるわけではないから、手元に届く通知と自分から見に行けるネットの両方が必要だと思う。紙としての通知は55歳の節目に送ってもらい、そうでない時は自分で調べることができるとするインフォメーションが欲しい。 ・通知が欲しいのは55歳以前。40歳でもいいと思う。できるだけ早く見たい(全員)。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・いつからいつまで加入していたということがわかるのは良いこと。ただ、いくら払ったからいくらもらえるという算式ではなかったと思う。この金額は算式の基準になっていない。 ・民間の年金では原資という表現をする。でもここに書かれているのは原資ではない。 ・何しろ年金に関しては今はみんな懐疑的。 ・「状況をご理解いただくため」というのはおかしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こんなにいっぱい書いてあると見る気がしない。 ・55歳になったらこういう資料を見なさいということなのだろうが、まだそういう気にならない。 ・説明を受ければ理解できるが、ぱっと見た時にわかりにくい。表現のしかた、見せ方の問題だろう。 ・65歳とか70歳とかいわれても釈然としない。支給額にもそれほど差がないし。 ・この書き方で4ページ目は読まない。 ・67歳の自分はもう働いていないと思う。65歳でローンも終わるので。だから自分にあてはまるのは上の枠のア。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人生設計を考え直すための資料としてご覧くださいと主旨を書いておくべき。 ・昔の人は年金だけで老後の生活ができたが今はそんなことはできない。公的年金をどのような位置づけとして捉えるべきか現状の実態を知らせてほしいし、だから個人の責任でちゃんとやってくださいと言わなければならない。ただ「あなたの受け取れる額はこれだけです」というだけの通知でなく、これからのことを考えるきっかけとなる資料であってほしい。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・今退職した場合と60歳まで働いた場合の差がわかる。たいして変わらないのだと思う。 ・会社の負担分というのは結局は賃金の一部。882万しか払っていないがその倍額を払ったのと同じ金額が受け取れますよと言いたいためわざわざ会社負担分を書いているのではないかと。 ・結局もっと働けと言いたいのだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・65歳から支給を受けるか60歳から受けるかは選択できるはず。この資料にはその説明がない。 ・1ページ目に比べてわかりにくい。 ・横軸に年齢をとってグラフで表示した方がよい。例は年取同額と半額の2パターンでよいから、1ページ目と4ページ目の数字を1つのグラフで表示してくれた方がわかりやすい。 ・60歳を過ぎて働いている場合は保険料を払わなければいけないこと、その間は支給年金額が少なくなること、そのかわり退職後は支給年金額が増えますということ、その増減の幅がわかればそれでよい。詳しく読めば4ページ目の文章でもわかるが、もっとわかりやすくグラフにすべき。 ・Aさんの言うようにグラフが3つあれば伝わる内容。もっと国民にわかりやすくすべき。詳しい数字は別表にしておけば十分。 ・結果の数字を導き出す過程についてもグラフで表した方がわかりやすい。結論は出ているし数字に間違いはないと思うが、これでは見づらいし誤解を招きやすい。 ・ちゃんと読めば自分の場合がどれに当てはまるか想定できる。 ・年取が同額の場合、半額の場合の2パターンは必要。 ・保険料と年金額が同列になるのがわかりづらい。同列にすべき情報ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まず年金制度の骨格、概要をきちんと説明したわかりやすい資料をつけるべき。その制度に基づいてあなたの分を計算するようになりますよ、人生設計の参考にしてくださいという主旨でもっとわかりやすい資料にすべき。このままでは理解できる人は半分もいないのではないかと。 ・法改正や物価の見直しのたびに母のところに通知が来ているが、書き方がわかりにくく不親切。せっかくインフォメーションを出すなら国民にわかりやすいような資料にすべき。 <p>【最も重視した情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1ページ(全員)。
D	<ul style="list-style-type: none"> ・意図がわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりづらい。スッキリしない。 ・「本人負担分」とは何なのか？ ・我々の年代の場合は支給は65歳から。60歳から65歳までは働きたい。その間は働くのだから年金は出ないのだという認識もっており、65歳からもらえるのだと思っている。申請すれば60歳からもらうことはできるが減額される。 ・こういうことについて会社でレクチャーを受けることはなく、あちこちから話を聞いているだけ。そういう人間にこの通知を見せられてもわかりづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今までのお役所と同じでわかりにくい。
E	<ul style="list-style-type: none"> ・会社負担が半分であることは周知のことなのに、あえて表記する意図がわからない。 ・過去1年間の記録がいきなり出てくるのはわかりにくい。1年払うか払わないで金額が変わりますよと言いたいのだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1ページに加えて4ページもあった方が現実的。65歳まで働き、年金をもらうかもわからない。想定としては年取が半額になった場合を想定しておいた方がよいだろうと思う。 ・イメージしづらい。 ・65歳まで働いた場合はあった方がよい。70歳まで働いた場合についてもシミュレーションとしてはあった方がいいだろう。 ・保険料と年金額が同列にあるのがわかりづらい。 ・グラフでうまく見せ、あまりたくさん例でなくなるべく1つか2つのパターンでわかるようにするといいたいだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わざと読みにくくしているのではないかと思うほど読みにくい。 ・50歳の時点ではまだ先が読めないで55歳で送られてくるとよい。 ・現在の財政状況を正直に出してほしい。年金という仕組みに対する財源について国民に情報を開示すべき。将来的に年金制度がどうなるかわからないのだから、財政に加えて国会の動きなども情報として入れてほしい。 ・紙の通知は毎年送られてこなくてもよい。インターネットでシミュレーションできればそれでよい。セキュリティの部分は工夫してもらって。
F	<ul style="list-style-type: none"> ・上の段は去年までの累計、下の段は今年の累計になっているのはなぜか。 ・もらう額のことを考えると、会社が半分も負担してくれたのだなという気持ちになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・働きながら年金をもらえるかどうかなど考えたことがなかった。 ・繰上げ支給を選択すると金額が減るのではないかと考えている。 ・これを見て覚悟を決める人もいると思う(C同意)。自分がいつまで働くべきなのか覚悟を決めるための資料としては良いと思う。 ・保険会社の満期の受取額のパンフレットはグラフで表示されている。あのようにした方が見やすいと思う。 ・勉強したい人は文章を詳しく読むだろうが、通知としてはぱっと分かるグラフにした方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通知は55歳から毎年来てほしい。途中で会社の環境も変わるかもしれないので、毎年見て考え直していきたい。

参加者	8. 他パターンとの相対評価		
	他のバージョン呈示		
A	<ul style="list-style-type: none"> ・文章で書くよりもBのように表にした方が一目でわかる。ただ、「報酬比例分」「経過的加算部分」など表の中の個々の言葉の説明が欲しい。 ・説明部分についてはBの2,3ページ目とDの合算が必要だろう。 ・Dは読む気がしない。まず文字数を減らすべき。お役所仕事は文字が多い。Bのような表形式にした方が算出もしやすいだろうし受け取る側も見やすい。 ・Bの表にプラスしてシミュレーションのグラフをつけてほしい。 ・シミュレーションは表にするとわかりにくい、別添資料として細かい表をつけて自分で調べてもらうようにしたらどうか。 		
B			
C	<ul style="list-style-type: none"> ・Bはわかりやすいが、Bだけでは中身が少ない。Aにある情報をグラフ化してBに足すとよい。 		
D	<ul style="list-style-type: none"> ・Bの1ページ目の表がわかりやすくて良い。文章より表にした方がわかりやすい。 		
E	<ul style="list-style-type: none"> ・BのQ&A方式がわかりやすい。 		
F	<ul style="list-style-type: none"> ・全体構成としてはBが好き。Q&A方式が入っているのはわかりやすい。 		

※今回の調査は学術的な研究のために行われているものであり、この資料は厚生労働省や社会保険庁などの政府機関等が作成したものではありません。

受給し始めた後の若齢年金には、以下の特徴があります

- 1. どんなに長生きしても一生受け取れます
2. 物価の変動などにあわせて年金額が変わります
3. 若齢基礎年金の一部は、国庫負担でまかなわれています

あなたやあなたのご家族は、若齢年金の他、以下の給付を受け取れます

- 1. あなたが障害状態になられた場合には、障害年金が受け取れます。
2. あなたが亡くなった場合には、ご遺族に遺族年金が支給されます。

※今回の調査は学術的な研究のために行われているものであり、この資料は厚生労働省や社会保険庁などの政府機関等が作成したものではありません。

受給し始めた後の若齢年金には、以下の特徴があります

- 1. どんなに長生きしても一生受け取れます
2. 物価の変動などにあわせて年金額が変わります
3. 若齢基礎年金の一部は、国庫負担でまかなわれています

あなたやあなたのご家族は、若齢年金の他、以下の給付を受け取れます

- 1. あなたが障害状態になられた場合には、障害年金が受け取れます。
2. あなたが亡くなった場合には、ご遺族に遺族年金が支給されます。

※今回の調査は学術的な研究のために行われているものであり、この資料は厚生労働省や社会保険庁などの政府機関等が作成したものではありません。

受給し始めた後の若齢年金には、以下の特徴があります

- 1. どんなに長生きしても一生受け取れます
2. 物価の変動などにあわせて年金額が変わります
3. 若齢基礎年金の一部は、国庫負担でまかなわれています

あなたやあなたのご家族は、若齢年金の他、以下の給付を受け取れます

- 1. あなたが障害状態になられた場合には、障害年金が受け取れます。
2. あなたが亡くなった場合には、ご遺族に遺族年金が支給されます。

※今回の調査は学術的な研究のために行われているものであり、この資料は厚生労働省や社会保険庁などの政府機関等が作成したものではありません。

受給し始めた後の若齢年金には、以下の特徴があります

- 1. どんなに長生きしても一生受け取れます
2. 物価の変動などにあわせて年金額が変わります
3. 若齢基礎年金の一部は、国庫負担でまかなわれています

あなたやあなたのご家族は、若齢年金の他、以下の給付を受け取れます

- 1. あなたが障害状態になられた場合には、障害年金が受け取れます。
2. あなたが亡くなった場合には、ご遺族に遺族年金が支給されます。

※今回の調査は学術的な研究のために行われているものであり、この資料は厚生労働省や社会保険庁などの政府機関等が作成したものではありません。

受給し始めた後の若齢年金には、以下の特徴があります

- 1. どんなに長生きしても一生受け取れます
2. 物価の変動などにあわせて年金額が変わります
3. 若齢基礎年金の一部は、国庫負担でまかなわれています

あなたやあなたのご家族は、若齢年金の他、以下の給付を受け取れます

- 1. あなたが障害状態になられた場合には、障害年金が受け取れます。
2. あなたが亡くなった場合には、ご遺族に遺族年金が支給されます。

※今回の調査は学術的な研究のために行われているものであり、この資料は厚生労働省や社会保険庁などの政府機関等が作成したものではありません。

働きながら年金を受け取る場合

年金を受け取る年齢を過ぎてても、働いて厚生年金に加入していれば、それによって退職後の年金額が増えます。ただし、働いている間は年金額が減額される場合があります（在職者年金といえます）。

働いている間の年金額は、その時の給与と、もしも働かなくなった場合に受け取れるはずの年金額に応じて変わります。働かなかった場合に1ヶ月分の年金払込額を受け取れるはずだったとすると、在職中と退職後の年金払込額は次のようになります。

【現在の年齢の年収(40万円)で働き続けられた場合】
(P) 65歳になるまで働いた場合
在職中の保険料(60-64歳) 年間 36万円(本人負担分)
在職中の年金額(63-64歳) 年間 39万円(月額 3万2千円)
退職後の年金額(65歳以降) 年間22.7万円(月額1万8千9百円)

【現在と退職後の年収(80万円)で働き続けられた場合】
(P) 65歳になるまで働いた場合
在職中の保険料(60-64歳) 年間 7.3万円(本人負担分)
在職中の年金額(63-64歳) 年間 0万円(月額 0万円)

お問い合わせ先

よくあるご質問とご回答
インターネット：社会保険庁ホームページの年金相談コーナー(Q&A) http://www.sisa.go.jp/

ご自身の年金についての具体的なお問い合わせ
電話(お申し込みダイヤル)：0000-00-0000(0000-0000は「日・夜日番を除く」)

※今回の調査は学術的な研究のために行われているものであり、この資料は厚生労働省や社会保険庁などの政府機関等が作成したものではありません。

働きながら年金を受け取る場合

年金を受け取る年齢を過ぎてても、働いて厚生年金に加入していれば、それによって退職後の年金額が増えます。ただし、働いている間は年金額が減額される場合があります（在職者年金といえます）。

働いている間の年金額は、その時の給与と、もしも働かなくなった場合に受け取れるはずの年金額に応じて変わります。働かなかった場合に1ヶ月分の年金払込額を受け取れるはずだったとすると、在職中と退職後の年金払込額は次のようになります。

【現在の年齢の年収(40万円)で働き続けられた場合】
(P) 65歳になるまで働いた場合
在職中の保険料(60-64歳) 年間 36万円(本人負担分)
在職中の年金額(63-64歳) 年間 39万円(月額 3万2千円)
退職後の年金額(65歳以降) 年間22.7万円(月額1万8千9百円)

【現在と退職後の年収(80万円)で働き続けられた場合】
(P) 65歳になるまで働いた場合
在職中の保険料(60-64歳) 年間 7.3万円(本人負担分)
在職中の年金額(63-64歳) 年間 0万円(月額 0万円)

お問い合わせ先

よくあるご質問とご回答
インターネット：社会保険庁ホームページの年金相談コーナー(Q&A) http://www.sisa.go.jp/

ご自身の年金についての具体的なお問い合わせ
電話(お申し込みダイヤル)：0000-00-0000(0000-0000は「日・夜日番を除く」)

※今回の調査は学術的な研究のために行われているものであり、この資料は厚生労働省や社会保険庁などの政府機関等が作成したものではありません。

働きながら年金を受け取る場合

年金を受け取る年齢を過ぎてても、働いて厚生年金に加入していれば、それによって退職後の年金額が増えます。ただし、働いている間は年金額が減額される場合があります（在職者年金といえます）。

働いている間の年金額は、その時の給与と、もしも働かなくなった場合に受け取れるはずの年金額に応じて変わります。働かなかった場合に1ヶ月分の年金払込額を受け取れるはずだったとすると、在職中と退職後の年金払込額は次のようになります。

【現在の年齢の年収(40万円)で働き続けられた場合】
(P) 65歳になるまで働いた場合
在職中の保険料(60-64歳) 年間 36万円(本人負担分)
在職中の年金額(63-64歳) 年間 39万円(月額 3万2千円)
退職後の年金額(65歳以降) 年間22.7万円(月額1万8千9百円)

【現在と退職後の年収(80万円)で働き続けられた場合】
(P) 65歳になるまで働いた場合
在職中の保険料(60-64歳) 年間 7.3万円(本人負担分)
在職中の年金額(63-64歳) 年間 0万円(月額 0万円)

お問い合わせ先

よくあるご質問とご回答
インターネット：社会保険庁ホームページの年金相談コーナー(Q&A) http://www.sisa.go.jp/

ご自身の年金についての具体的なお問い合わせ
電話(お申し込みダイヤル)：0000-00-0000(0000-0000は「日・夜日番を除く」)

※今回の調査は学術的な研究のために行われているものであり、この資料は厚生労働省や社会保険庁などの政府機関等が作成したものではありません。

働きながら年金を受け取る場合

年金を受け取る年齢を過ぎてても、働いて厚生年金に加入していれば、それによって退職後の年金額が増えます。ただし、働いている間は年金額が減額される場合があります（在職者年金といえます）。

働いている間の年金額は、その時の給与と、もしも働かなくなった場合に受け取れるはずの年金額に応じて変わります。働かなかった場合に1ヶ月分の年金払込額を受け取れるはずだったとすると、在職中と退職後の年金払込額は次のようになります。

【現在の年齢の年収(40万円)で働き続けられた場合】
(P) 65歳になるまで働いた場合
在職中の保険料(60-64歳) 年間 36万円(本人負担分)
在職中の年金額(63-64歳) 年間 39万円(月額 3万2千円)
退職後の年金額(65歳以降) 年間22.7万円(月額1万8千9百円)

【現在と退職後の年収(80万円)で働き続けられた場合】
(P) 65歳になるまで働いた場合
在職中の保険料(60-64歳) 年間 7.3万円(本人負担分)
在職中の年金額(63-64歳) 年間 0万円(月額 0万円)

お問い合わせ先

よくあるご質問とご回答
インターネット：社会保険庁ホームページの年金相談コーナー(Q&A) http://www.sisa.go.jp/

ご自身の年金についての具体的なお問い合わせ
電話(お申し込みダイヤル)：0000-00-0000(0000-0000は「日・夜日番を除く」)

※今回の調査は学術的な研究のために行われているものであり、この資料は厚生労働省や社会保険庁などの政府機関等が作成したものではありません。

働きながら年金を受け取る場合

年金を受け取る年齢を過ぎてても、働いて厚生年金に加入していれば、それによって退職後の年金額が増えます。ただし、働いている間は年金額が減額される場合があります（在職者年金といえます）。

働いている間の年金額は、その時の給与と、もしも働かなくなった場合に受け取れるはずの年金額に応じて変わります。働かなかった場合に1ヶ月分の年金払込額を受け取れるはずだったとすると、在職中と退職後の年金払込額は次のようになります。

【現在の年齢の年収(40万円)で働き続けられた場合】
(P) 65歳になるまで働いた場合
在職中の保険料(60-64歳) 年間 36万円(本人負担分)
在職中の年金額(63-64歳) 年間 39万円(月額 3万2千円)
退職後の年金額(65歳以降) 年間22.7万円(月額1万8千9百円)

【現在と退職後の年収(80万円)で働き続けられた場合】
(P) 65歳になるまで働いた場合
在職中の保険料(60-64歳) 年間 7.3万円(本人負担分)
在職中の年金額(63-64歳) 年間 0万円(月額 0万円)

お問い合わせ先

よくあるご質問とご回答
インターネット：社会保険庁ホームページの年金相談コーナー(Q&A) http://www.sisa.go.jp/

ご自身の年金についての具体的なお問い合わせ
電話(お申し込みダイヤル)：0000-00-0000(0000-0000は「日・夜日番を除く」)

※今回の調査は学術的な研究のために行われているものであり、この資料は厚生労働省や社会保険庁などの政府機関等が作成したものではありません。

資料 1-7

〇〇〇市〇〇〇〇 〇-〇-〇〇
〇〇〇〇様

生年月日	1950年04月01日
基礎年金番号	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
計算基準日	2005年04月01日

I. 〇〇〇〇さんの公的年金(老齢年金)の見込額(2005年4月1日現在)

〇〇〇〇さんが老後に受け取る年金額(老齢年金)の見込みは次のとおりです。ただし、次のように試算したものですので、実際に受け取る年金額とは異なります。ご注意ください。

※54歳までは、実際の加入記録をもとにしています。55歳以降は、(1)60歳になるまで現在の半額の年収で働いた場合と、(2)60歳になるまで現在と同額の年収で働いた場合の2通りを計算しています。

※いずれの場合も60歳以降は厚生年金にも国民年金にも加入しない前提になっています。

※自分で年金を受け取る年齢を決める繰り上げ支給や繰り下げ支給は考慮していません。

※あなたの配偶者が受け取る年金額は含んでいません。あなたに扶養される配偶者がいる場合などに支給される加給年金や振替加算も、含んでいません。

※この年金見込額は、今後、物価や賃金の変動がない場合の額です。それらの変動すれば、実際の年金額は、それに合わせて見込額より増えたり減ったりします。(物価スライドなどについては2ページ目をご覧ください)

【60歳になるまで現在の半額の年収で働いた場合の年金見込額】

60~64歳	年間155万円	(月額12万9千円)
65歳以降	年間230万円	(月額19万2千円)

- ・〇〇〇〇さんの場合、60歳から老齢厚生年金を、65歳からは、それに加えて老齢基礎年金を受け取ることができます。
- ・60~64歳の年金見込額は老齢厚生年金のみです。65歳以降の年金見込額は、老齢基礎年金(年間75万円)と老齢厚生年金(年間155万円)の合計です。

【60歳になるまで現在と同額の年収で働いた場合の年金見込額】

60~64歳	年間167万円	(月額13万9千円)
65歳以降	年間242万円	(月額20万2千円)

- ・〇〇〇〇さんの場合、60歳から老齢厚生年金を、65歳からは、それに加えて老齢基礎年金を受け取ることができます。
- ・60~64歳の年金見込額は老齢厚生年金のみです。65歳以降の年金見込額は、老齢基礎年金(年間75万円)と老齢厚生年金(年間167万円)の合計です。

※今回の調査は学術的な研究のために行われているものであり、この資料は厚生労働省や社会保険庁などの政府機関等が作成したものではありません。

Ⅱ. 受給し始めた後の老齢年金には、以下の特徴があります

1. どんなに長生きしても一生受け取れます

あなたと同じ生まれ年の男性は、平均で80.6歳まで生きると予測されていますが、約7人に1人は90歳まで生きると予測されます。老齢年金は、どんなに長生きしても一生涯にわたって受け取れます。

2. 物価の変動などにあわせて年金額が変わります

受給期間は長期にわたりますので、その間に物価の上昇など経済状況が変化する可能性があります。老齢年金では、68歳未満の年金額は現役世代の賃金の伸びにあわせて毎年改定されます（再評価といいます）。68歳以上の年金額は物価の伸びにあわせて毎年改定されます（物価スライドといいます）。

ただし、年金財政を健全化している最中は、公的年金の加入者数の減少と年金受給者の寿命の伸びを考慮して年金額の伸びが抑制されます。

3. 老齢基礎年金の一部は、国庫負担でまかなわれています

老齢基礎年金は、全国民共通の老齢基礎年金と、サラリーマンなどに対する老齢厚生年金にわかれます。老齢基礎年金の給付は、3分の2がその時の現役世代の保険料や積立金の運用収入から、残りの3分の1が国庫負担として税や国債など政府の一般会計からまかなわれています。

Ⅲ. あなたやあなたのご家族は、老齢年金以外に次の給付を受け取れます

1. あなたが障害状態になられた場合には、障害年金が受け取れます。

仮にいま障害状態（2級）になられた場合には、次の金額を受け取れます。

年間269万円（月額22万4千円）

※実際の障害年金の金額は、障害状態や扶養される配偶者やお子さんの状況などによって変わります。上の金額は、現在のご家族の状況をもとに試算しています。

2. あなたが亡くなられた場合には、ご遺族に遺族年金が支給されます。

仮にいまあなたが亡くなられた場合には、ご遺族は次の金額を受け取れます。

年間210万円（月額17万5千円）

※実際の遺族年金の金額は、受給される配偶者やお子さんの状況などによって異なります。上の金額は、現在のご家族の状況をもとに試算しています。

※今回の調査は学術的な研究のために行われているものであり、この資料は厚生労働省や社会保険庁などの政府機関等が作成したものではありません。

IV. ○○○○さんの公的年金加入記録（2005年4月1日現在）

○○○○さんがこれまで公的年金に加入した記録は次のとおりです。

【公的年金加入記録】

	加入月数※	厚生年金の納付済保険料 (本人負担) (会社負担)	
2004年03月までの累計	384カ月	838万円	838万円
2004年04月から			
+ 2005年03月までの状況	12カ月	44万円	44万円
2005年03月までの累計	396カ月	882万円	882万円

※この加入月数は、国民年金や厚生年金など、すべての公的年金の合計です。

※公的年金を受け取るためには、合計で300カ月（25年）以上の加入が必要です。

○○○○さんは、この要件を満たしています。

V. 仮にいま退職した場合の老齢年金見込額（2005年4月1日現在）

過去1年間加入したことによって、いま退職した場合の年金見込額は次のように変わりました。ただし次のことに注意してください。

※この試算は、1年間の加入によって年金額が増えた状況をご理解いただくためのものです。

※現時点では年金を受け取れる年齢になっていませんので、実際に下記の金額を受け取れるわけではありません。また、下記の金額は65歳以降の年金額を想定したものです。

※下記の年金見込額は、これから加入して保険料を支払うことがないと仮定して計算しています。そのため、1ページ目の年金見込額とは金額が異なります。

【仮にいま退職した場合の老齢年金見込額】

2004年03月に退職した場合の見込額	年間	201万円
2004年度の物価変動等にあわせた調整		2万円
2004年04月～2005年03月の		
+ 加入や保険料納付に伴う増加額		6万円
2005年03月に退職した場合の見込額	年間	209万円
（うち国庫負担でまかなわれる部分	年間	16万円）

※今回の調査は学術的な研究のために行われているものであり、この資料は厚生労働省や社会保険庁などの政府機関等が作成したものではありません。

【別紙】

【60歳になるまで現在の半額の年収で働いた場合の年金見込額】

年齢	60～64歳	65歳以降
年金の種類と年金額	老齢厚生年金	老齢厚生年金
	年間155万円 (月額12万9千円)	年間155万円 (月額12万9千円)
	—	老齢基礎年金
		年間75万円 (月額6万3千円)
合計額	年間155万円 (月額12万9千円)	年間230万円 (月額19万2千円)

【60歳になるまで現在と同額の年収で働いた場合の年金見込額】

年齢	60～64歳	65歳以降
年金の種類と年金額	老齢厚生年金	老齢厚生年金
	年間167万円 (月額13万9千円)	年間167万円 (月額13万9千円)
	—	老齢基礎年金
		年間75万円 (月額6万3千円)
合計額	年間167万円 (月額13万9千円)	年間242万円 (月額20万2千円)



年金に関するアンケート

【 回答する上での注意事項 】

アンケートはお送りした資料をご覧になってもらい、回答して頂くものとなります。お手元に送付しました資料をご用意して頂き、以下の点にご注意の上ご回答下さい。

1. 先日お送りした資料(年金に関するお知らせ)は、次のような人物を想定して作成されたものです
年齢 : 55歳
性別 : 男性
家族 : 配偶者・大学生の子1人・高校生の子1人
年収 : 800万円
2. 現実のあなたの状況は上の人物と異なると思われるかもしれませんが、仮に、あなたご自身の年収や年金の加入歴にあわせて作成された同じ形式のお知らせが、国から定期的に届いた時に、あなたならどのように感じるかをお答え下さい
3. お送りしました資料は、A4見開き4ページの「年金に関するお知らせ」とA4用紙1枚の「別紙」の2種類になります。ご回答の前にあらかじめお読みください。またご回答の際には、資料をご覧になりながらお答えください
4. 2種類の資料については、アンケート終了後は速やかに参加者様が責任を持ってご廃棄くださいますようお願いいたします(メンバー規約第5条「守秘義務」による)

【資料の1ページ目を読んでから以下の質問にお答え下さい】

Q1-1. お送りした資料の〇〇〇〇さんの場合、60歳になるまで現在と同額の年収で働いた時の65歳以降の年金額は、年間でいくらですか

万円(半角数字)

次へ進む

【引き続き、資料の1ページ目を読んでから以下の質問にお答え下さい】

Q1-2. 「老齢年金」が何を意味するか、わかりますか

- 1. よくわかる
- 2. だいたいわかる
- 3. あまりわからない
- 4. まったくわからない

Q1-3. 今後の年収が現在の半額になった場合の年金見込額が載っていることについて、不快に感じましたか

- 1. とても不快に感じた
- 2. どちらかといえば不快に感じた
- 3. どちらかといえば不快に感じなかった
- 4. まったく不快に感じなかった

Q1-4. 年金見込額が2通り載っていることで、将来受け取れる予定の年金額がおよそいくらぐらいになりそうか、見当をつけやすいですか

- 1. とても見当をつけやすい
- 2. どちらかといえば見当をつけやすい
- 3. どちらかといえば見当をつけやしくない
- 4. まったく見当をつけやしくない

Q1-5. 年金見込額が2通り載っていることで、「今後の年収が変わると、年金額が変わる」という制度の仕組みを理解できますか

- 1. よくわかる
- 2. だいたいわかる
- 3. あまりわからない
- 4. まったくわからない

Q1-6. このお知らせに年金見込額を1通りだけ載せる場合、どのパターンがいいと思いますか。次の中から1つ選んでください

- 1. 今後の年収が現在の半額の場合
- 2. 今後の年収が現在と同額の場合
- 3. 今後の年収が現在の1.5倍の場合
- 4. 今後の年収がゼロの場合(今後は退職して国民年金に加入した場合)

Q1-7. このお知らせに載せる年金見込額は、前の質問で選んだ1通りだけの方がいいと思いますか

- 1. そう思う
- 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらかといえばそう思わない
- 4. そう思わない

Q1-8. このお知らせに年金見込額を2通り載せる場合、どのパターンとどのパターンがいいと思いますか。次の中から2つ選んでください。(1通りだけがいいと思う方もお答え下さい)(2つ選択)

- 1. 今後の年収が現在の半額の場合
- 2. 今後の年収が現在と同額の場合
- 3. 今後の年収が現在の1.5倍の場合
- 4. 今後の年収がゼロの場合(今後は退職して国民年金に加入した場合)

Q1-9. このページの下段の赤い囲み(年金見込額)の下に小さい字で書いてある部分(〇〇〇〇さんの場合…)は老齢年金の内訳を説明したのですが、説明の意味がわかりましたか

- 1. よくわかった
- 2. だいたいわかった
- 3. あまりわからなかった
- 4. まったくわからなかった

Q1-10. 赤い囲みの下に小さい字で書いてある部分は、このお知らせに必要なと思いますか

- 1. そう思う
- 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらかといえばそう思わない
- 4. そう思わない

Q1-11. 仮に、赤い囲みの部分(年金見込額)の部分が別紙(※A4、1枚の用紙)のような表形式だったら、より分かりやすいと思いますか

- 1. そう思う
- 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらかといえばそう思わない
- 4. そう思わない

Q1-12. 年金見込額の計算方法を、このお知らせに加えた方がいいと思いますか

- 1. そう思う
- 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらかといえばそう思わない
- 4. そう思わない

Q1-13. このお知らせに載せる年金見込額には、配偶者が受け取る年金額を含んだ方がいいと思いますか

- 1. そう思う
- 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらかといえばそう思わない
- 4. そう思わない

Q1-14. このお知らせの形式に関係なく、一般的に、年金見込額のお知らせは老後の生活設計に役立つと思いますか

- 1. そう思う
- 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらかといえばそう思わない
- 4. そう思わない

[次へ進む](#) | [戻る](#)

【資料の2ページ目を読んでから以下の質問にお答え下さい】

Q2-1. どんなに長生きしても年金を一生受け取れることを、メリットだと思いますか

- 1. そう思う
- 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらかといえばそう思わない
- 4. そう思わない

Q2-2. 物価の変動などにあわせて年金額が変わることを、メリットだと思いますか

- 1. そう思う
- 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらかといえばそう思わない
- 4. そう思わない

Q2-3. 「年金財政を健全化している最中は、公的年金の加入者数の減少と年金受給者の寿命の伸びを考慮して年金額の伸びが抑制される」という仕組みは、納得ですか

- 1. 納得できる
- 2. どちらかといえば納得できる
- 3. どちらかといえば納得できない
- 4. 納得できない

Q2-4. 2ページ目下段に載っている障害年金や遺族年金の計算例は、貯蓄や保険の検討に役立つと思いますか

- 1. そう思う
- 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらかといえばそう思わない
- 4. そう思わない

[次へ進む](#)[戻る](#)

【資料の3ページ目を読んでから以下の質問にお答え下さい】

Q3-1. 3ページ目上段の青い囲みの部分は、加入月数や納付済保険料について過去1年間の状況やこれまでの累計を書いたものですが、書いてある意味が理解できましたか

- 1. よく理解できた
- 2. だいたい理解できた
- 3. あまり理解できなかった
- 4. まったく理解できなかった

Q3-2. 青い囲みの下に、〇〇〇〇さんが公的年金を受け取る要件を満たしていることが書かれていますが(波線部分)、この情報は老後の生活設計に役立つと思いますか

- 1. そう思う
- 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらかといえばそう思わない
- 4. そう思わない

Q3-3. 青い囲みの中に、これまで納付した保険料の累計が書かれていますが、この情報を知りたいと思いますか

- 1. そう思う
- 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらかといえばそう思わない
- 4. そう思わない

Q3-4. これまで納付した保険料の累計と、将来受け取る年金額の累計とを比較したいと思いますか

- 1. そう思う
- 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらかといえばそう思わない
- 4. そう思わない

Q3-5. 3ページ目下段の緑の囲みの部分は年金見込額が増える仕組みを解説したのですが、保険料を納めることで年金見込額が増える仕組みが理解できましたか

- 1. よく理解できた
- 2. だいたい理解できた
- 3. あまり理解できなかった
- 4. まったく理解できなかった

[次へ進む](#)[戻る](#)

【資料の4ページ目を読んでから以下の質問にお答え下さい】

Q4-1. 働きながら受け取る場合の年金額の計算例が数通り載っていることで、将来受け取れる予定の年金額がおよそいくぐらいになりそうか、見当をつけやすいですか

- 1. とても見当をつけやすい
- 2. どちらかといえば見当をつけやすい
- 3. どちらかといえば見当をつけやすすくない
- 4. まったく見当をつけやすすくない

Q4-2. 働きながら受け取る場合の年金額の計算例は、このお知らせに載っていた方がいいと思いますか

- 1. そう思う
- 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらかといえばそう思わない
- 4. そう思わない

Q4-3. 働きながら受け取る場合の年金額の計算例は、「現在の半額の年収で65歳になるまで働いた場合」の1通りだけの方がいいと思いますか

- 1. そう思う
- 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらかといえばそう思わない
- 4. そう思わない

[次へ進む](#)[戻る](#)

【このお知らせ全体についてお答え下さい】

Q5-1. このお知らせに不要な部分はどれですか。次の中から、該当するものを1つ選んでください

- 「II.受給し始めた後の老齢年金の特徴」(2ページ目上段)
- 「III.老齢年金以外の給付(障害年金と遺族年金)」(2ページ目下段)
- 「IV.公的年金加入記録」(3ページ目上段)
- 「V.いま退職した場合の老齢年金見込額」(3ページ目下段)
- 「VI.働きながら年金を受け取る場合」(4ページ目)

Q5-2. 読むのに適当なお知らせの分量について、今回お送りしたお知らせを基準にして、どう考えますか。次の中からあなたの考えに近いものを1つ選んでください

- 1. 今回よりも情報量を少なくしてページ数を減らした方がよい
- 2. 今回と同じ情報量やページ数でよい
- 3. 今回よりもページ数を増やして情報量を多くした方がよい

Q5-3. このお知らせが定期的に郵送される場合、どのようなタイミングが適当だと思いますか。次の中から1つ選んでください

- 毎年
- 2年に1度
- 3年に1度
- 4年に1度
- 5年に1度

Q5-4. このお知らせが定期的に郵送される場合、いつから送り始められるのが適当だと思いますか。次の中から1つ選んでください

- 20歳前後
- 30歳前後
- 40歳前後
- 受給要件を満たした時(45歳前後)
- 50歳前後
- 55歳前後
- 60歳前後

Q5-5. このお知らせについて、良かった点や悪かった点などの感想をお書き下さい

良かった点

悪かった点

お読みになられた後の資料は、参加者様の責任において**必ず**ご廃棄ください。宜しく
お願い致します。

今回の謝礼ポイントは、データ確認の上**後日(2月2日頃)**加算させていただきます。アンケート送信
後すぐポイントは加算されません。

また、資料をご覧の上回答されなかったと思われる場合、ポイントを発行できませんので予めご了承
ください。

これからもMyVoiceをよろしくお願いいたします。

マイボイスコム(株)

回答

戻る

やり直し

[Menuへ戻る](#)

マイボイスコム株式会社
E-mail : voice@myvoice.co.jp

回答者属性

年齢

		度数	列 %
年齢	50歳	51	23.1
	51歳	45	20.4
	52歳	45	20.4
	53歳	38	17.2
	54歳	42	19.0
	合計	221	100.0

独身・既婚

		度数	列 %
独身・既婚	独身	24	10.9
	既婚	197	89.1
	合計	221	100.0

地域分類

		度数	列 %
地域分類	北海道	7	3.2
	東北	9	4.1
	関東	97	43.9
	北陸	6	2.7
	中部	26	11.8
	近畿	45	20.4
	中国	12	5.4
	四国	10	4.5
	九州	9	4.1
合計	221	100.0	

世帯の年収区分

		度数	列 %
世帯の年収区分	300万円未満	5	2.3
	300～500万円未満	33	14.9
	500～700万円未満	48	21.7
	700～1000万円未満	75	33.9
	1000～1500万円未満	50	22.6
	1500万円以上	10	4.5
	合計	221	100.0

同居家族の人数

		度数	列 %
同居家族の人数	ひとり暮らし	16	7.2
	2人	37	16.7
	3人	50	22.6
	4人	66	29.9
	5人	34	15.4
	6人	10	4.5
	7人以上	8	3.6
	合計	221	100.0

子供の人数

		度数	列 %
子供の人数	なし	39	17.6
	1人	36	16.3
	2人	102	46.2
	3人	39	17.6
	4人	4	1.8
	5人以上	1	.5
	合計	221	100.0

家族の世帯形態

		度数	列 %
家族の世帯形態	一人暮らし	17	7.7
	夫婦のみ	29	13.1
	夫婦(または片親)と未婚の子供	113	51.1
	2世代同居	36	16.3
	3世代同居	19	8.6
	その他	7	3.2
	合計	221	100.0

単純集計

Q1-2. 「老齢年金」が何を意味するか、わかりますか

		度数	列 %
Q1-2. 「老齢年金」が何を意味するか、わかりますか	よくわかる	43	19.5
	だいたいわかる	145	65.6
	あまりわからない	30	13.6
	まったくわからない	3	1.4
	無回答		
合計		221	100.0

Q1-3. 今後の年収が現在の半額になった場合の年金見込額が載っていることについて、不快に感じましたか

		度数	列 %
Q1-3. 今後の年収が現在の半額になった場合の年金見込額が載っていることについて、不快に感じましたか	とても不快に感じた	23	10.4
	どちらかといえば不快に感じた	48	21.7
	どちらかといえば不快に感じなかった	64	29.0
	まったく不快に感じなかった	86	38.9
	無回答		
	合計	221	100.0

Q1-4. 年金見込額が2通り載っていることで、将来受け取れる予定の年金額がおよそいくらぐらいになりそうか、見当をつけやすいですか

		度数	列 %
Q1-4. 年金見込額が2通り載っていることで、将来受け取れる予定の年金額がおよそいくらぐらいになりそうか、見当をつけやすいですか	とても見当をつけやすい	60	27.1
	どちらかといえば見当をつけやすい	135	61.1
	どちらかといえば見当をつけやすい	20	9.0
	まったく見当をつけやすい	6	2.7
	無回答		
	合計	221	100.0

Q1-5. 年金見込額が2通り載っていることで、「今後の年収が変わると、年金額が変わる」という制度の仕組みを理解できますか

		度数	列 %
Q1-5. 年金見込額が2通り載っていることで、「今後の年収が変わると、年金額が変わる」という制度の仕組みを理解できますか	よくわかる	76	34.4
	だいたいわかる	129	58.4
	あまりわからない	13	5.9
	まったくわからない	3	1.4
	無回答		
合計		221	100.0

Q1-6. このお知らせに年金見込額を1通りだけ載せる場合、どのパターンがいいと思いますか。次の中から1つ選んでください

		度数	列 %
Q1-6. このお知らせに年金見込額を1通りだけ載せる場合、どのパターンがいいと思いますか。次の中から1つ選んでください	今後の年収が現在の半額の場合	71	32.1
	今後の年収が現在と同額の場合	103	46.6
	今後の年収が現在の1.5倍の場合	2	.9
	今後の年収がゼロの場合(今後は退職して国民年金に加入した場合)	45	20.4
	無回答		
合計		221	100.0

Q1-7. このお知らせに載せる年金見込額は、前の質問で選んだ1通りだけの方がいいと思いますか

		度数	列 %
Q1-7. このお知らせに載せる年金見込額は、前の質問で選んだ1通りだけの方がいいと思いますか	そう思う	15	6.8
	どちらかといえばそう思う	19	8.6
	どちらかといえばそう思わない	69	31.2
	そう思わない	118	53.4
	無回答		
	合計	221	100.0

Q1-8. このお知らせに年金見込額を2通り載せる場合、どのパターンとどのパターンがいいと思いますか。次の中から2つ選んでください。(1通りだけがいいと思う方もお答え下さい)

		度数	列 %
Q1-8. このお知らせに年金見込額を2通り載せる場合、どのパターンとどのパターンがいいと思いますか。次の中から2つ選んでください。(1通りだけがいいと思う方もお答え下さい)	今後の年収が現在の半額の場合	160	72.4
	今後の年収が現在と同額の場合	162	73.3
	今後の年収が現在の1.5倍の場合	6	2.7
	今後の年収がゼロの場合(今後は退職して国民年金に加入した場合)	114	51.6
	無回答		
	合計	221	100.0

Q1-9. このページの下段の赤い囲み(年金見込額)の下に小さい字で書いてある部分(〇〇〇〇さんの場合…)は老齢年金の内訳を説明したのですが、説明の意味がわかりましたか

		度数	列 %
Q1-9. このページの下段の赤い囲み(年金見込額)の下に小さい字で書いてある部分(〇〇〇〇さんの場合…)は老齢年金の内訳を説明したのですが、説明の意味がわかりましたか	よくわかった	54	24.4
	だいたいわかった	135	61.1
	あまりわからなかった	30	13.6
	まったくわからなかった	2	.9
	無回答		
	合計	221	100.0

Q1-10. 赤い囲みの下に小さい字で書いてある部分は、このお知らせに必要なと思いますか

		度数	列 %
Q1-10. 赤い囲みの下に小さい字で書いてある部分は、このお知らせに必要なと思いますか	そう思う	9	4.1
	どちらかといえばそう思う	16	7.2
	どちらかといえばそう思わない	49	22.2
	そう思わない	147	66.5
	無回答		
	合計	221	100.0

Q1-11. 仮に、赤い囲みの部分(年金見込額)の部分が別紙(※A4、1枚の用紙)のような表形式だったら、より分かりやすいと思いますか

		度数	列 %
Q1-11. 仮に、赤い囲みの部分(年金見込額)の部分が別紙(※A4、1枚の用紙)のような表形式だったら、より分かりやすいと思いますか	そう思う	113	51.1
	どちらかといえばそう思う	72	32.6
	どちらかといえばそう思わない	16	7.2
	そう思わない	20	9.0
	無回答		
	合計	221	100.0

Q1-12. 年金見込額の計算方法を、このお知らせに加えた方がいいと思いますか

		度数	列 %
Q1-12. 年金見込額の計算方法を、このお知らせに加えた方がいいと思いますか	そう思う	129	58.4
	どちらかといえばそう思う	80	36.2
	どちらかといえばそう思わない	7	3.2
	そう思わない	5	2.3
	無回答		
	合計	221	100.0

Q1-13. このお知らせに載せる年金見込額には、配偶者が受け取る年金額を含んだ方がいいと思いますか

		度数	列 %
Q1-13. このお知らせに載せる年金見込額には、配偶者が受け取る年金額を含んだ方がいいと思いますか	そう思う	114	51.6
	どちらかといえばそう思う	73	33.0
	どちらかといえばそう思わない	15	6.8
	そう思わない	19	8.6
	無回答		
	合計	221	100.0

Q1-14. このお知らせの形式に関係なく、一般的に、年金見込額のお知らせは老後の生活設計に役立つと思いますか

		度数	列 %
Q1-14. このお知らせの形式に関係なく、一般的に、年金見込額のお知らせは老後の生活設計に役立つと思いますか	そう思う	171	77.4
	どちらかといえばそう思う	49	22.2
	どちらかといえばそう思わない		
	そう思わない	1	.5
	無回答		
	合計	221	100.0

Q2-1. どんなに長生きしても年金を一生受け取れることを、メリットだと思いますか

		度数	列 %
Q2-1. どんなに長生きしても年金を一生受け取れることを、メリットだと思いますか	そう思う	160	72.4
	どちらかといえばそう思う	54	24.4
	どちらかといえばそう思わない	7	3.2
	そう思わない		
	無回答		
	合計	221	100.0

Q2-2. 物価の変動などにあわせて年金額が変わることを、メリットだと思いますか

		度数	列 %
Q2-2. 物価の変動などにあわせて年金額が変わることを、メリットだと思いますか	そう思う	98	44.3
	どちらかといえばそう思う	92	41.6
	どちらかといえばそう思わない	24	10.9
	そう思わない	7	3.2
	無回答		
	合計	221	100.0

Q2-3. 「年金財政を健全化している最中は、公的年金の加入者数の減少と年金受給者の寿命の伸びを考慮して年金額の伸びが抑制される」という仕組みは、納得できますか

		度数	列 %
Q2-3. 「年金財政を健全化している最中は、公的年金の加入者数の減少と年金受給者の寿命の伸びを考慮して年金額の伸びが抑制される」という仕組みは、納得できますか	納得できる	19	8.6
	どちらかといえば納得できる	70	31.7
	どちらかといえば納得できない	84	38.0
	納得できない	48	21.7
	無回答		
	合計	221	100.0

Q2-4. 2ページ目下段に載っている障害年金や遺族年金の計算例は、貯蓄や保険の検討に役立つと思いますか

		度数	列 %
Q2-4. 2ページ目下段に載っている障害年金や遺族年金の計算例は、貯蓄や保険の検討に役立つと思いますか	そう思う	77	34.8
	どちらかといえばそう思う	109	49.3
	どちらかといえばそう思わない	24	10.9
	そう思わない	11	5.0
	無回答		
	合計	221	100.0

Q3-1. 3ページ目上段の青い囲みの部分は、加入月数や納付済保険料について過去1年間の状況やこれまでの累計を書いたものですが、書いてある意味が理解できましたか

		度数	列 %
Q3-1. 3ページ目上段の青い囲みの部分は、加入月数や納付済保険料について過去1年間の状況やこれまでの累計を書いたものですが、書いてある意味が理解できましたか	よく理解できた	63	28.5
	だいたい理解できた	130	58.8
	あまり理解できなかった	27	12.2
	まったく理解できなかった	1	.5
	無回答		
	合計	221	100.0

Q3-2. 青い囲みの下に、〇〇〇〇さんが公的年金を受け取る要件を満たしていることが書かれていますが(波線部分)、この情報は老後の生活設計に役立つと思いますか

		度数	列 %
Q3-2. 青い囲みの下に、〇〇〇〇さんが公的年金を受け取る要件を満たしていることが書かれていますが(波線部分)、この情報は老後の生活設計に役立つと思いますか	そう思う	89	40.3
	どちらかといえばそう思う	105	47.5
	どちらかといえばそう思わない	16	7.2
	そう思わない	11	5.0
	無回答		
	合計	221	100.0

Q3-3. 青い囲みの中に、これまで納付した保険料の累計が書かれていますが、この情報を知りたいと思いますか

		度数	列 %
Q3-3. 青い囲みの中に、これまで納付した保険料の累計が書かれていますが、この情報を知りたいと思いますか	そう思う	151	68.3
	どちらかといえばそう思う	59	26.7
	どちらかといえばそう思わない	8	3.6
	そう思わない	3	1.4
	無回答		
	合計	221	100.0

Q3-4. これまで納付した保険料の累計と、将来受け取る年金額の累計とを比較したいと思いますか

		度数	列 %
Q3-4. これまで納付した保険料の累計と、将来受け取る年金額の累計とを比較したいと思いますか	そう思う	149	67.4
	どちらかといえばそう思う	55	24.9
	どちらかといえばそう思わない	11	5.0
	そう思わない	6	2.7
	無回答		
	合計	221	100.0

Q3-5. 3ページ目下段の緑の囲みの部分は年金見込額が増える仕組みを解説したのですが、保険料を納めることで年金見込額が増える仕組みが理解できましたか

		度数	列 %
Q3-5. 3ページ目下段の緑の囲みの部分は年金見込額が増える仕組みを解説したのですが、保険料を納めることで年金見込額が増える仕組みが理解できましたか	よく理解できた	38	17.2
	だいたい理解できた	132	59.7
	あまり理解できなかった	43	19.5
	まったく理解できなかった	8	3.6
	無回答		
	合計	221	100.0

Q4-1. 働きながら受け取る場合の年金額の計算例が数通り載っていることで、将来受け取れる予定の年金額がおよそいくらぐらいになりそうか、見当をつけやすいですか

		度数	列 %
Q4-1. 働きながら受け取る場合の年金額の計算例が数通り載っていることで、将来受け取れる予定の年金額がおよそいくらぐらいになりそうか、見当をつけやすいですか	とても見当をつけやすい	67	30.3
	どちらかといえば見当をつけやすい	135	61.1
	どちらかといえば見当をつけやすい	17	7.7
	まったく見当をつけやすい	2	.9
	無回答		
	合計	221	100.0

Q4-2. 働きながら受け取る場合の年金額の計算例は、このお知らせに載っていた方がいいと思いますか

		度数	列 %
Q4-2. 働きながら受け取る場合の年金額の計算例は、このお知らせに載っていた方がいいと思いますか	そう思う	143	64.7
	どちらかといえばそう思う	69	31.2
	どちらかといえばそう思わない	7	3.2
	そう思わない	2	.9
	無回答		
	合計	221	100.0

Q4-3. 働きながら受け取る場合の年金額の計算例は、「現在の半額の年取で65歳になるまで働いた場合」の1通りだけの方がいいと思いますか

		度数	列 %
Q4-3. 働きながら受け取る場合の年金額の計算例は、「現在の半額の年取で65歳になるまで働いた場合」の1通りだけの方がいいと思いますか	そう思う	16	7.2
	どちらかといえばそう思う	43	19.5
	どちらかといえばそう思わない	73	33.0
	そう思わない	89	40.3
	無回答		
	合計	221	100.0

Q5-1. このお知らせに不要な部分はどれですか

		度数	列 %
Q5-1. このお知らせに不要な部分はどれですか	II. 受給し始めた後の老齢年金の特徴(2ページ目上段)	57	25.8
	III. 老齢年金以外の給付(障害年金と遺族年金)(2ページ目下段)	44	19.9
	IV. 公的年金加入記録(3ページ目上段)	19	8.6
	V. いま退職した場合の老齢年金見込額(3ページ目下段)	75	33.9
	VI. 働きながら年金を受け取る場合(4ページ目)	26	11.8
	無回答		
	合計	221	100.0

Q5-2. 読むのに適当なお知らせの分量について、今回お送りしたお知らせを基準にして、どう考えますか

		度数	列 %
Q5-2. 読むのに適当なお知らせの分量について、今回お送りしたお知らせを基準にして、どう考えますか	今回よりも情報量を少なくしてページ数を減らした方がよい	16	7.2
	今回と同じ情報量やページ数でよい	125	56.6
	今回よりもページ数を増やして情報量を多くした方がよい	80	36.2
	無回答		
	合計	221	100.0

Q5-3. このお知らせが定期的に郵送される場合、どのようなタイミングが適当だと思いますか

		度数	列 %
Q5-3. このお知らせが定期的に郵送される場合、どのようなタイミングが適当だと思いますか。次の中から1つ選んでください	毎年	164	74.2
	2年に1度	37	16.7
	3年に1度	12	5.4
	4年に1度		
	5年に1度	8	3.6
	無回答		
	合計	221	100.0

Q5-4. このお知らせが定期的に郵送される場合、いつから送り始められるのが適当だと思いますか

		度数	列 %
Q5-4. このお知らせが定期的に郵送される場合、いつから送り始められるのが適当だと思いますか。次の中から1つ選んでください	20歳前後	9	4.1
	30歳前後	9	4.1
	40歳前後	14	6.3
	受給要件を満たした時(45歳前後)	84	38.0
	50歳前後	49	22.2
	55歳前後	49	22.2
	60歳前後	7	3.2
	無回答		
合計	221	100.0	

年金に関するアンケート(第1回)

I. あなたは次の文章について、どのように思いますか。「全くそう思わない」から「非常に
 そう思う」まで、当てはまるものをそれぞれ1つずつ選んでください

	全く そう 思わ ない	あ ま り そ う 思 わ な い	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い え ば そ う 思 う	だ い た い そ う 思 う	非 常 に そ う 思 う
1) 現在の政府・与党の政策は信頼できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2) 国会議員は、国民のためになる政策を考えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3) 官僚は、国民のためになる政策を考えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4) 政府の言っていることには、間違いや嘘がない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

II. あなたは次の文章について、どのように思いますか。「全くそう思わない」から「非常に
 そう思う」まで、当てはまるものをそれぞれ1つずつ選んでください

	全く そう 思わ ない	あ ま り そ う 思 わ な い	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い え ば そ う 思 う	だ い た い そ う 思 う	非 常 に そ う 思 う
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
1) 宝くじを買いたいと思うことがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2) 住居を選ぶとき、火事に対して安全な造りであるか、気になる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3) 何かにつけてよく心配する方である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4) スキューバダイビング、ハングライダー、登山などの危険なスポーツをやってみたい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5) 雑誌などの懸賞はあたる確率が低いので、あまり応募しない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6) 友達に比べると怖いもの知らずである	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7) 地震、風水害、落雷などの自然災害に自分が被災するのではないかとよく心配する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8) 慎重に行動する方である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9) 自動車、高速バスに乗る場合、もし大事故にあったらということを考えてしまう	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10) 貯蓄する場合、確定利率より変動利率の方に	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

魅力を感じる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11) ホテル、旅館に宿泊するとき、避難口を確認する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12) ゲームではお金を賭けないと面白くない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13) 寝る前に戸締まり、火の元を確認しないと心配である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14) 原発事故に自分が被災するのではないかという不安を感じることもある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15) もし、臨時収入が10万円手に入ったら、先のことを考えないで使ってしまう	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
16) 飛行機、観光バスに乗る場合、もし大事故にあったらということを考えてしまう	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
17) 食品添加物、合成着色料を使用している食品を極力食べない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
	全く そう 思わ ない	あ ま り そ う 思 わ な い	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い え ば そ う 思 う	だ い た い そ う 思 う	非 常 に そ う 思 う

III. 次の問いにお答えください

※半角英数字で入力してください

1. 今日受け取る約束だった1,000円を、「1年後まで待ってほしい」と言われました。1年後に少なくとも、いくらもらうのであれば待てますか。なお、1年後には必ず支払われるとします

円

2. 今日受け取る約束だった10,000円(1万円)を、「1年後まで待ってほしい」と言われました。1年後に少なくとも、いくらもらうのであれば待てますか。なお、1年後には必ず支払われるとします

円

3. 今日受け取る約束だった100,000円(10万円)を、「1年後まで待ってほしい」と言われました。1年後に少なくとも、いくらもらうのであれば待てますか。なお、1年後には必ず支払われるとします

円

4. 今日受け取る約束だった1,000,000円(100万円)を、「1年後まで待ってほしい」と言われました。1年後に少なくともいくらもらうのであれば待てますか。なお、1年後には必ず支払われるとします

円

5. 10年後に、国から1,000,000円(100万円)が支払われる国債があるとします。あなたは、今日いくらならその国債を買っても良いですか。なお、10年後には必ず1,000,000円が支払われるとします

円

6. 10年後に、国から500,000円(50万円)か1,500,000円(150万円)のどちらかが支払われる国債があるとします。あなたは、今日いくらならその国債を買っても良いですか。なお、10年後には必ず50万円か150万円のどちらかが支払われるとします

円

IV. 次の問いにお答えください

※半角英数字で入力してください

1. あなたは自分が何歳くらいまで生きると思いますか

歳

2. あなたは自分が運良く長生きした場合、何歳くらいまで生きると思いますか

歳

3. あなたと同じ生まれ年で同じ性別の人は、平均で何歳くらいまで生きると思いますか

歳

V. あなたは次の文章について、どのように思いますか。「全くそう思わない」から「非常にそう思う」まで、当てはまるものをそれぞれ1つずつ選んでください

	全く そう 思わ ない	あ ま り そ う 思 わ な い	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い え ば そ う 思 う	だ い た い そ う 思 う	非 常 に そ う 思 う
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
1) 自分に好意を示してくれたからといって、自分も好意を示してお返しをする必要はない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2) 救う能力が自分に備わっていない時には、救う努力をしても無駄である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3) 人が困っている時には、自分がどんな状況であろうとも、助けるべきである	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4) 自分の利益よりも相手の利益を優先して、手助けすべきである	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5) 人から何かを贈られたら、同じだけお返しをす	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

	べきである						
6)	自己を犠牲にしてまでも、人を助ける必要はない	○	○	○	○	○	○
7)	過去において私を助けてくれた人には、一生感謝の念を持ち続けるべきである	○	○	○	○	○	○
8)	しいたげられている人を、まず救うべきだ	○	○	○	○	○	○
9)	人を助ける場合、相手からの感謝や返礼を期待してもよい	○	○	○	○	○	○
10)	恩人が困っている時には、自分に何があろうと助けるべきである	○	○	○	○	○	○
11)	人にかけて迷惑は、いかなる犠牲を払っても償うべきである	○	○	○	○	○	○
12)	不当な立場で苦しんでいる人は、少しでも助けるべきだ	○	○	○	○	○	○
13)	以前、私を助けてくれた人には、特に親切にすべきである	○	○	○	○	○	○
14)	人の好意には甘えてもよい	○	○	○	○	○	○
15)	犯した罪を償わなくてよい場合がある	○	○	○	○	○	○
		↑	↑	↑	↑	↑	↑
		全くそう 思わない	あまりそう 思わない	どちらか と いえば そう 思わない	どちら とも いえない そう 思う	だいたい そう 思う	非常に そう 思う
		↓	↓	↓	↓	↓	↓
16)	人が、私を助けるために何らかの損害を被っているなら、そのことに対し責任を持つべきである	○	○	○	○	○	○
17)	将来付き合うことのない人なら、困っていても助ける必要はない	○	○	○	○	○	○
18)	大勢の人が同じ状況で困っている時、まず以前私を助けてくれたことのある人を一番最初に助けるべきである	○	○	○	○	○	○
19)	困っている人に、自分の持ち物を与えることは当然のことである	○	○	○	○	○	○
20)	どんな場合でも、人に迷惑をかけてはいけない	○	○	○	○	○	○
21)	私を頼りにしている人には、親切であるべきだ	○	○	○	○	○	○
22)	自分が不利になるのなら、困っている人を助けないともよい	○	○	○	○	○	○
23)	社会的に弱い立場の人には、皆で親切にすべきである	○	○	○	○	○	○
24)	社会の利益よりも自分の利益を第1に考えるべきである	○	○	○	○	○	○
25)	見返りを期待した援助など、全く価値がない						

	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
26) 受けた恩は必ずしも返さなくてもよい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
27) 自分より悪い境遇の人に何か与えるのは当然のことである	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
28) 人は自分を助けてくれた人を傷つけるべきではない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
29) 相手がお返しを期待していないのなら、わざわざお返しをするべきではない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
	全くそう 思わない	あまりそう 思わない	どちらか かといえ ば そう 思わ ない	どちら ともい えない	どちら かとい え ば そう 思 う	だいた い い そう 思 う	非常 に そ う 思 う

VI. あなたが勤めている会社(事業主)が、毎月負担している年金保険料が、あなたの月給の7%から10%に上昇したとします。その時にあなたの会社が以下のような行動をとった場合に、あなたはどのように感じますか。「全く納得できない」から「非常に納得できる」まで、当てはまるものをそれぞれ1つずつ選んでください

	全く納得 できない	あまり納得 できない	どちらか かと言 え ば 納得 でき ない	どちら かと言 え ば 納得 でき る	だいた い 納得 でき る	非常 に 納得 でき る
1) 会社があなたの月給を下げずに、そのまま据えきました	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2) 保険料があがった分だけ、あなたの月給を下げました。ただし、将来のあなたの受け取る年金額が、増加した保険料に見合った額だけ増えます。また、競争相手の企業も、同じように月給を下げました	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3) 保険料があがった分だけ、あなたの月給を下げました。ただし、保険料が増加したほどには、将来、あなたの受け取る年金額は増加しません。また、競争相手の企業も、同じように月給を下げました	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4) 保険料があがった分だけ、あなたの月給を下げました。ただし、将来、あなたの受け取る年金額が、増加した保険料に見合った額だけ増えます。また、競争相手の企業は、月給を下げずに据え置きました	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

5) 保険料があがった分だけ、あなたの月給を下げました。ただし、保険料が増加したほどには、将来、あなたの受け取る年金額は増加しません。また、競争相手の企業は、月給を下げずに据え置きました

VII. 以下の問いにお答えください

1. あなたの年齢をお答えください ※半角英数字で入力してください

歳

2. あなたの性別をお答えください

1. 男性
 2. 女性

3. あなたの昨年の収入はどのくらいでしたか

- 100万円未満
 100万円以上300万円未満
 300万円以上500万円未満
 500万円以上600万円未満
 600万円以上800万円未満
 800万円以上1000万円未満
 1000万円以上

4. 金融資産(預貯金、有価証券、生命保険など)はどのくらいおありでしょうか。なお、土地建物などの不動産は含みません

- 300万円未満
 300万円以上500万円未満
 500万円以上700万円未満
 700万円以上1000万円未満
 1000万円以上1500万円未満
 1500万円以上2000万円未満
 2000万円以上

5. あなたの最終学歴をお教えてください

1. 中学
 2. 高校
 3. 専門学校

- 4. 短大
- 5. 大学
- 6. 大学院

6. あなたは既婚ですか。未婚ですか

- 1. 独身
- 2. 既婚

■6. で「既婚」とお答えの方に伺います

7. 結婚されている場合、あなたの配偶者の方の職業は何ですか

- 1. 無職(専業主婦を含む)
- 2. パート・アルバイト
- 3. 自営業
- 4. 会社員
- 5. 公務員
- 6. その他

■全員の方にお伺いします

8. あなたの子供の数は何人ですか

- 0人
- 1人
- 2人
- 3人
- 4人以上

ご回答いただきまして、ありがとうございました。引き続き第2回のアンケート(3月3日(金)~3月6日(月)頃を予定)へのご協力をお願いします。ご不明な点がありましたら、voice@myvoice.co.jpまでご連絡ください。

マイボイスコム(株)

回答 やり直し

回答者属性

性別区分

		度数	列 %
性別区分	男性	321	50.8
	女性	311	49.2
	合計	632	100.0

年齢階層

		度数	列 %
年齢階層	30代	313	49.5
	40代	319	50.5
	合計	632	100.0

独身・既婚

		度数	列 %
独身・既婚	独身	273	43.2
	既婚	359	56.8
	合計	632	100.0

職業分類

		度数	列 %
職業分類	会社員・役員	632	100.0
	合計	632	100.0

地域分類

		度数	列 %
地域分類	北海道	22	3.5
	東北	23	3.6
	関東	290	45.9
	北陸	16	2.5
	中部	57	9.0
	近畿	141	22.3
	中国	25	4.0
	四国	11	1.7
	九州	47	7.4
	その他		
	合計	632	100.0

同居家族の人数

		度数	列 %
同居家族の人数	ひとり暮らし	116	18.4
	2人	151	23.9
	3人	158	25.0
	4人	136	21.5
	5人	41	6.5
	6人	24	3.8
	7人以上	6	.9
	合計	632	100.0

子供の人数

		度数	列 %
子供の人数	なし	354	56.0
	1人	114	18.0
	2人	129	20.4
	3人	33	5.2
	4人	2	.3
	5人以上		
	合計	632	100.0

家族の世帯形態

		度数	列 %
家族の世帯形態	一人暮らし	118	18.7
	夫婦のみ	122	19.3
	夫婦(または片親)と未婚の子供	250	39.6
	2世代同居	69	10.9
	3世代同居	32	5.1
	その他	41	6.5
	合計	632	100.0

単純集計【1回目】

I. あなたは次の文章について、どのように思いますか

	合計	全くそう 思わない	あまりそう 思わない	どちらか と い え ば そ う 思 わ な い	どちらとも いえない	どちらか と い え ば そ う 思 う	だいたい そう思う	非常にそ う思う	無回答
I. あなたは次の文章について、どのように思いますか 【1】現在の政府・与党の政策は信頼できる】	632	195	213	103	78	34	7	2	
	100.0	30.9	33.7	16.3	12.3	5.4	1.1	.3	
I. あなたは次の文章について、どのように思いますか 【2】国会議員は、国民のためになる政策を考えている】	632	205	236	94	62	33	1	1	
	100.0	32.4	37.3	14.9	9.8	5.2	.2	.2	
I. あなたは次の文章について、どのように思いますか 【3】官僚は、国民のためになる政策を考えている】	632	260	208	70	71	22		1	
	100.0	41.1	32.9	11.1	11.2	3.5		.2	
I. あなたは次の文章について、どのように思いますか 【4】政府の言っていることには、間違いや嘘がない】	632	293	183	76	66	10	3	1	
	100.0	46.4	29.0	12.0	10.4	1.6	.5	.2	

II. あなたは次の文章について、どのように思いますか

	合計	全くそう 思わない	あまりそう 思わない	どちらか と い え ば そ う 思 わ な い	どちらとも いえない	どちらか と い え ば そ う 思 う	だいたい そう思う	非常にそ う思う	無回答
II. あなたは次の文章について、どのように思いますか 【1】宝くじを買いたいと思うことがある】	632	45	70	34	42	203	127	111	
	100.0	7.1	11.1	5.4	6.6	32.1	20.1	17.6	
II. あなたは次の文章について、どのように思いますか 【2】住居を選ぶとき、火事に対して安全な建りであるか、 気になる】	632	6	23	37	75	225	147	119	
	100.0	.9	3.6	5.9	11.9	35.6	23.3	18.8	
II. あなたは次の文章について、どのように思いますか 【3】何かにつけてよく心配する方である】	632	7	36	67	168	208	89	57	
	100.0	1.1	5.7	10.6	26.6	32.9	14.1	9.0	
II. あなたは次の文章について、どのように思いますか 【4】スキー、パラダイビング、ハンググライダー、登山など の危険なスポーツをやってみたい】	632	156	102	87	98	122	39	28	
	100.0	24.7	16.1	13.8	15.5	19.3	6.2	4.4	
II. あなたは次の文章について、どのように思いますか 【5】雑誌などの感賞はあたる確率が低いので、あまり応 答しない】	632	36	115	134	119	119	75	34	
	100.0	5.7	18.2	21.2	18.8	18.8	11.9	5.4	
II. あなたは次の文章について、どのように思いますか 【6】友達に比べると怖いもの知らずである】	632	38	99	109	227	109	39	11	
	100.0	6.0	15.7	17.2	35.9	17.2	6.2	1.7	
II. あなたは次の文章について、どのように思いますか 【7】地震、風水害、落雷などの自然災害に自分が被災 するのではないかとよく心配する】	632	22	126	113	176	134	44	17	
	100.0	3.5	19.9	17.9	27.8	21.2	7.0	2.7	
II. あなたは次の文章について、どのように思いますか 【8】慎重に行動する方である】	632	2	38	84	216	192	74	26	
	100.0	.3	6.0	13.3	34.2	30.4	11.7	4.1	
II. あなたは次の文章について、どのように思いますか 【9】自動車、高速バスに乗る場合、もし大事故にあつた らということを考えてしまう】	632	48	165	134	124	116	30	15	
	100.0	7.6	26.1	21.2	19.6	18.4	4.7	2.4	
II. あなたは次の文章について、どのように思いますか 【10】貯蓄する場合、確定利率より変動利率の方に魅力 を感じる】	632	31	112	101	257	91	26	14	
	100.0	4.9	17.7	16.0	40.7	14.4	4.1	2.2	
II. あなたは次の文章について、どのように思いますか 【11】ホテル、旅館に宿泊するとき、避難口を確認する】	632	31	132	133	96	170	47	23	
	100.0	4.9	20.9	21.0	15.2	26.9	7.4	3.6	
II. あなたは次の文章について、どのように思いますか 【12】ゲームではお金を賭けないと面白くない】	632	145	120	110	117	101	20	19	
	100.0	22.9	19.0	17.4	18.5	16.0	3.2	3.0	
II. あなたは次の文章について、どのように思いますか 【13】寝る前に戸締まり、火の元を確認しないと心配で ある】	632	27	89	109	120	166	59	62	
	100.0	4.3	14.1	17.2	19.0	26.3	9.3	9.8	
II. あなたは次の文章について、どのように思いますか 【14】原発事故に自分が被災するのではないかと不安 を感じる】	632	137	193	119	103	56	14	10	
	100.0	21.7	30.5	18.8	16.3	8.9	2.2	1.6	
II. あなたは次の文章について、どのように思いますか 【15】もし、臨時収入が10万円手に入ったら、先のこと を考えないで使ってしまう】	632	93	154	105	123	85	44	28	
	100.0	14.7	24.4	16.6	19.5	13.4	7.0	4.4	
II. あなたは次の文章について、どのように思いますか 【16】飛行機、観光バスに乗る場合、もし大事故にあつた らということを考えてしまう】	632	64	137	117	113	134	39	28	
	100.0	10.1	21.7	18.5	17.9	21.2	6.2	4.4	
II. あなたは次の文章について、どのように思いますか 【17】食品添加物、合成着色料を使用している食品を極 力食べない】	632	37	112	116	152	134	57	24	
	100.0	5.9	17.7	18.4	24.1	21.2	9.0	3.8	

III. 1. 今日受け取る約束だった1,000円を、「1年後まで待ってもらいたい」と言われました。1年後に少なくとも、いくらもらうのであれば待てますか。なお、1年後には必ず支払われるとします

	度数	列%
III. 1. 今日受け取る約束だった1,000円を、「1年後まで待ってもらいたい」と言われました。1年後に少なくとも、いくらもらうのであれば待てますか。なお、1年後には必ず支払われるとします	0	.8
	100	.2
	500	.8
	1000	42.6
	1010	.5
	1040	.2
	1050	2.2
	1100	5.7
	1120	.2
	1200	3.3
	1288	.2
	1300	.8
	1500	9.5
	2000	16.9
	2100	.2
	3000	1.9
	3500	.2
	5000	4.9
	10000	7.4
	11000	.2
	12000	.3
	20000	.2
	50000	.2
	100000	.3
	500000	.2
	1000000	.2
	1000000000000	.2
	1000000000000000000	.2
	合計	632 100.0

III. 2. 今日受け取る約束だった10,000円(1万円)を、「1年後まで待ってほしい」と言われました。1年後に少なくとも、いくらもらうのであれば待てますか。なお、1年後には必ず支払われるとします

	度数	列%
0	5	.8
1000	3	.5
1500	1	.2
2000	1	.2
5000	6	.9
10000	201	31.8
10100	5	.8
10200	1	.2
10500	18	2.8
10600	1	.2
10900	1	.2
11000	78	12.3
11200	1	.2
12000	30	4.7
12880	1	.2
13000	12	1.9
15000	107	16.9
16000	1	.2
20000	79	12.5
21000	1	.2
30000	23	3.6
40000	1	.2
50000	19	3.0
100000	22	3.5
120000	3	.5
200000	2	.3
300000	2	.3
500000	4	.6
10000000	1	.2
10000000000000000000	1	.2
111111111111111100000	1	.2
合計	632	100.0

Ⅲ. 3. 今日受け取る約束だった100,000円(10万円)を、「1年後まで待ってもらいたい」と言われました。1年後に少なくとも、いくらもらうのであれば待てますか。なお、1年後には必ず支払われるとします

	度数	列 %	
Ⅲ. 3. 今日受け取る約束だった100,000円(10万円)を、「1年後まで待ってもらいたい」と言われました。1年後に少なくとも、いくらもらうのであれば待てますか。なお、1年後には必ず支払われるとします	0	.2	
	2000	.2	
	5000	.2	
	10000	.8	
	10500	.2	
	11000	.9	
	12000	.2	
	12880	.2	
	13000	.3	
	14000	.2	
	15000	.8	
	20000	.2	
	30000	.2	
	50000	.8	
	80000	.2	
	95000	.2	
	100000	109	17.2
	100100	.2	
	100500	.8	
	101000	2.1	
	102000	.5	
	103000	.2	
	105000	5.1	
	107000	.2	
	110000	112	17.7
	112000	.5	
	115000	.3	
	118000	.2	
	120000	11.6	
	124000	.2	
	125000	.2	
	130000	3.5	
	150000	15.2	
	170000	.2	
	180000	.2	
	200000	11.2	
	210000	.2	
	250000	.2	
	300000	2.1	
	500000	1.1	
800000	.2		
1000000	2.5		
1020000	.2		
1100000	.2		
1200000	.3		
2000000	.3		
3000000	.2		
10000000	.2		
22222222222222000	.2		
1.0000000000000000E+27	.2		
合計	632	100.0	

Ⅲ. 4. 今日受け取る約束だった1,000,000円(100万円)を、「1年後まで待ってもらいたい」と言われました。1年後に少なくともいくらもらうのであれば待てますか。なお、1年後には必ず支払われるとします

	度数	列%
Ⅲ. 4. 今日受け取る約束だった1,000,000円(100万円)を、「1年後まで待ってもらいたい」と言われました。1年後に少なくともいくらもらうのであれば待てますか。なお、1年後には必ず支払われるとします	0	.2
	300	.2
	2000	.2
	10000	.2
	50000	.2
	100000	1.4
	100500	.2
	101000	.2
	105000	.2
	110000	1.1
	120000	.8
	150000	.5
	200000	.3
	500000	.6
	800000	.2
	900000	.2
	950000	.2
	1000000	12.0
	1000500	.2
	1001000	.6
	1005000	.8
	1010000	3.5
	1020000	.5
	1030000	1.3
	1050000	10.0
	1052000	.2
	1070000	.2
	1080000	.2
	1100000	20.4
	1120000	.3
	1150000	.2
	1170000	.2
	1200000	11.1
	1240000	.2
	1250000	.2
	1300000	3.5
	1500000	11.6
	1800000	.6
	2000000	8.1
	2100000	.2
	2500000	.5
	3000000	2.1
	3500000	.2
5000000	1.7	
8000000	.2	
10000000	1.4	
10050000	.3	
11000000	.5	
11500000	.2	
12000000	.2	
15000000	.2	
20000000	.2	
100000000	.2	
7777777777777700	.2	
100.00000000000000	.2	
合計	632	100.0

Ⅲ. 5. 10年後に、国から1,000,000円(100万円)が支払われる国債があるとします。あなたは、今日その国債を買うために、いくらまで払ってもよいですか。なお、10年後には必ず100万円が支払われますが、それまでに利息の支払いはありません

	度数	列 %	
Ⅲ. 5. 10年後に、国から1,000,000円(100万円)が支払われる国債があるとします。あなたは、今日その国債を買うために、いくらまで払ってもよいですか。なお、10年後には必ず100万円が支払われますが、それまでに利息の支払いはありません	0	41	6.5
	1	2	.3
	50	2	.3
	80	2	.3
	90	1	.2
	100	1	.2
	1000	2	.3
	2000	1	.2
	5000	1	.2
	10000	12	1.9
	50000	5	.8
	93000	1	.2
	100000	41	6.5
	125000	1	.2
	200000	10	1.6
	250000	1	.2
	300000	9	1.4
	400000	2	.3
	500000	75	11.9
	600000	25	4.0
	650000	2	.3
	700000	47	7.4
	750000	8	1.3
	780000	1	.2
	800000	104	16.5
	830000	1	.2
	850000	22	3.5
	890000	1	.2
	900000	88	13.9
	920000	3	.5
	930000	3	.5
	950000	28	4.4
	970000	2	.3
	980000	4	.6
	990000	3	.5
	1000000	34	5.4
	1050000	2	.3
	1070000	1	.2
	1100000	4	.6
	1200000	3	.5
	1500000	7	1.1
2000000	6	.9	
3000000	3	.5	
5000000	6	.9	
7500000	1	.2	
8000000	3	.5	
9000000	3	.5	
9500000	2	.3	
9975000	1	.2	
10000000	1	.2	
11000000	1	.2	
15000000	2	.3	
合計	632	100.0	

III. 6. 10年後に、国から50万円か150万円のどちらかが支払われる国債があるとします。あなたは、今日その国債を買うために、いくらまで払ってもよいですか。なお、10年後には必ず50万円か150万円のどちらかが支払われますが、それまでに利息の支払いはありません

	度数	列%
III. 6. 10年後に、国から50万円か150万円のどちらかが支払われる国債があるとします。あなたは、今日その国債を買うために、いくらまで払ってもよいですか。なお、10年後には必ず50万円か150万円のどちらかが支払われますが、それまでに利息の支払いはありません	0	6.0
	1	.2
	10	.2
	20	.3
	40	.3
	48	.3
	50	.2
	100	.2
	500	.2
	1000	.2
	2000	.2
	3000	.2
	5000	.5
	10000	1.7
	20000	.2
	30000	.2
	50000	2.1
	80000	.5
	100000	5.7
	110000	.2
	150000	.5
	200000	2.8
	250000	4.0
	300000	9.8
	350000	.8
	370000	.2
	380000	.2
	400000	13.0
	430000	.2
	450000	10.6
	455000	.2
	460000	.3
	470000	.5
	475000	.2
	480000	1.1
	490000	.9
	495000	.2
	500000	22.3
	510000	.2
	600000	.8
	700000	.8
	750000	.5
	800000	.2
	850000	.2
	900000	.2
	1000000	4.1
	1050000	.2
	1100000	.2
	1200000	1.1
	1250000	.2
	1300000	.5
	1350000	.6
	1400000	.5
	1500000	1.3
	2000000	.3
	3000000	.3
	4000000	.2
	4500000	.2
	5000000	.8
	10000000	.3
	合計	632 100.0

IV. 1. あなたは自分が何歳くらいまで生きると思いますか

	度数	列 %
IV. 1. あなたは自分が何歳くらいまで生きると思いますか	30	.3
	31	.9
	32	.8
	33	.6
	34	.6
	40	1.4
	41	.3
	42	.5
	43	.5
	44	.8
	45	.5
	50	1.7
	55	.6
	59	.2
	60	8.1
	61	.2
	63	.5
	65	8.2
	67	.2
	68	.8
	70	21.8
	71	.2
	72	.2
	74	.2
	75	12.8
	76	.6
	78	1.3
	80	21.8
	81	.3
	83	.6
	84	.2
	85	4.6
86	.2	
87	.5	
88	.9	
89	.2	
90	2.8	
95	.3	
97	.2	
98	.3	
100	2.2	
120	.2	
合計	632	100.0

IV. 2. あなたは自分が運良く長生きした場合、何歳くらいまで生きると思いますか

	度数	列 %
IV. 2. あなたは自分が運良く長生きした場合、何歳くらいまで生きると思いますか	51	.3
	58	.2
	59	.2
	60	1.7
	65	1.1
	66	.2
	68	.3
	70	7.9
	71	.2
	72	.5
	75	7.3
	76	.5
	78	.5
	79	.3
	80	24.1
	81	.5
	82	.5
	85	11.9
	86	.5
	87	.5
	88	1.6
	89	.3
	90	19.9
	91	.3
	92	.8
	93	.3
	94	.2
	95	3.2
	97	.3
	98	.5
	99	.2
	100	9.0
	102	.5
105	.2	
108	.2	
109	.2	
110	1.4	
117	.2	
118	.2	
120	1.7	
130	.2	
合計	632	100.0

IV. 3. あなたと同じ生まれ年で同じ性別の人は、平均で何歳くらいまで生きると思いますか

		度数	列 %
IV. 3. あなたと同じ生まれ年で同じ性別の人は、平均で何歳くらいまで生きると思いますか	0	1	.2
	46	1	.2
	50	1	.2
	55	1	.2
	60	5	.8
	64	1	.2
	65	9	1.4
	67	1	.2
	68	2	.3
	70	75	11.9
	71	1	.2
	72	5	.8
	73	1	.2
	74	1	.2
	75	108	17.1
	76	3	.5
	77	4	.6
	78	8	1.3
	79	2	.3
	80	225	35.6
	81	4	.6
	82	7	1.1
	83	6	.9
	84	3	.5
	85	97	15.3
	86	3	.5
	87	1	.2
	88	13	2.1
	89	1	.2
	90	33	5.2
92	1	.2	
95	4	.6	
100	4	.6	
合計	632	100.0	

V. あなたは次の文章について、どのように思いますか

	合計	全くそう 思わない	あまりそう 思わない	どちらかと いえばそ う思わな い	どちらとも いえな い	どちらかと いえばそ う思う	だいたい そう思う	非常にそ う思う	無回答
V. あなたは次の文章について、どのように思いますか【1】自分に好意を示してくれたからといって、自分も好意を示してお返しをする必要はない】	632	50	161	169	137	87	17	11	
	100.0	7.9	25.5	26.7	21.7	13.8	2.7	1.7	
V. あなたは次の文章について、どのように思いますか【2】救う能力が自分に備わっていない時には、救う努力をしても無駄である】	632	33	131	177	142	109	31	9	
	100.0	5.2	20.7	28.0	22.5	17.2	4.9	1.4	
V. あなたは次の文章について、どのように思いますか【3】人が困っている時には、自分がどんな状況であろうとも、助けるべきである】	632	13	31	116	240	167	50	15	
	100.0	2.1	4.9	18.4	38.0	26.4	7.9	2.4	
V. あなたは次の文章について、どのように思いますか【4】自分の利益よりも相手の利益を優先して、手助けすべきである】	632	27	85	153	268	77	18	4	
	100.0	4.3	13.4	24.2	42.4	12.2	2.8	.6	
V. あなたは次の文章について、どのように思いますか【5】人から何かを贈られたら、同じだけお返しをすべきである】	632	10	32	70	148	242	98	32	
	100.0	1.6	5.1	11.1	23.4	38.3	15.5	5.1	
V. あなたは次の文章について、どのように思いますか【6】自己を犠牲にしてまでも、人を助ける必要はない】	632	13	59	141	251	126	32	10	
	100.0	2.1	9.3	22.3	39.7	19.9	5.1	1.6	
V. あなたは次の文章について、どのように思いますか【7】過去において私を助けてくれた人には、一生感謝の念を持ち続けるべきである】	632	4	8	42	126	242	116	94	
	100.0	.6	1.3	6.6	19.9	38.3	18.4	14.9	
V. あなたは次の文章について、どのように思いますか【8】しいたげられている人を、まず救うべきだ】	632	10	21	48	265	213	53	22	
	100.0	1.6	3.3	7.6	41.9	33.7	8.4	3.5	
V. あなたは次の文章について、どのように思いますか【9】人を助ける場合、相手からの感謝や返礼を期待してもよい】	632	45	106	144	206	109	18	4	
	100.0	7.1	16.8	22.8	32.6	17.2	2.8	.6	
V. あなたは次の文章について、どのように思いますか【10】恩人が困っている時には、自分に何があろうと助けるべきである】	632	5	13	38	153	276	112	35	
	100.0	.8	2.1	6.0	24.2	43.7	17.7	5.5	
V. あなたは次の文章について、どのように思いますか【11】人にかけた迷惑は、いかなる犠牲を払っても償うべきである】	632	6	13	37	171	268	94	43	
	100.0	.9	2.1	5.9	27.1	42.4	14.9	6.8	
V. あなたは次の文章について、どのように思いますか【12】不当な立場で苦しんでいる人は、少しでも助けるべきだ】	632	3	8	27	132	328	100	34	
	100.0	.5	1.3	4.3	20.9	51.9	15.8	5.4	
V. あなたは次の文章について、どのように思いますか【13】以前、私を助けてくれた人には、特に親切にすべきである】	632	2	4	21	103	325	129	48	
	100.0	.3	.6	3.3	16.3	51.4	20.4	7.6	
V. あなたは次の文章について、どのように思いますか【14】人の好意には甘えてもよい】	632	6	25	55	212	259	60	15	
	100.0	.9	4.0	8.7	33.5	41.0	9.5	2.4	
V. あなたは次の文章について、どのように思いますか【15】犯した罪を償わなくてよい場合がある】	632	119	142	154	155	52	6	4	
	100.0	18.8	22.5	24.4	24.5	8.2	.9	.6	
V. あなたは次の文章について、どのように思いますか【16】人が、私を助けるために何らかの損害を被っているなら、そのことに対し責任を持つべきである】	632	4	5	28	145	283	118	49	
	100.0	.6	.8	4.4	22.9	44.8	18.7	7.8	
V. あなたは次の文章について、どのように思いますか【17】将来付き合うことのない人なら、困っていても助ける必要はない】	632	49	96	221	211	41	12	2	
	100.0	7.8	15.2	35.0	33.4	6.5	1.9	.3	
V. あなたは次の文章について、どのように思いますか【18】大勢の人が同じ状況で困っている時、まず以前私を助けてくれたことのある人を一番最初に助けるべきである】	632	16	19	45	246	224	52	30	
	100.0	2.5	3.0	7.1	38.9	35.4	8.2	4.7	
V. あなたは次の文章について、どのように思いますか【19】困っている人に、自分の持ち物を与えることは当然のことである】	632	12	39	65	294	175	40	7	
	100.0	1.9	6.2	10.3	46.5	27.7	6.3	1.1	
V. あなたは次の文章について、どのように思いますか【20】どんな場合でも、人に迷惑をかけてはいけない】	632	5	17	58	130	243	124	55	
	100.0	.8	2.7	9.2	20.6	38.4	19.6	8.7	
V. あなたは次の文章について、どのように思いますか【21】私を頼りにしている人には、親切であるべきだ】	632	4	14	36	187	275	100	16	
	100.0	.6	2.2	5.7	29.6	43.5	15.8	2.5	
V. あなたは次の文章について、どのように思いますか【22】自分が不利になるのなら、困っている人を助けなくともよい】	632	14	55	157	308	82	11	5	
	100.0	2.2	8.7	24.8	48.7	13.0	1.7	.8	
V. あなたは次の文章について、どのように思いますか【23】社会的に弱い立場の人には、皆で親切にすべきである】	632	5	22	46	187	261	80	31	
	100.0	.8	3.5	7.3	29.6	41.3	12.7	4.9	
V. あなたは次の文章について、どのように思いますか【24】社会の利益よりも自分の利益を第1に考えるべきである】	632	16	53	125	298	108	22	10	
	100.0	2.5	8.4	19.8	47.2	17.1	3.5	1.6	
V. あなたは次の文章について、どのように思いますか【25】見返りを期待した援助など、全く価値がない】	632	15	52	132	222	131	54	26	
	100.0	2.4	8.2	20.9	35.1	20.7	8.5	4.1	
V. あなたは次の文章について、どのように思いますか【26】受けた恩は必ずしも返さなくてもよい】	632	37	111	210	200	61	10	3	
	100.0	5.9	17.6	33.2	31.6	9.7	1.6	.5	
V. あなたは次の文章について、どのように思いますか【27】自分より悪い境遇の人に何か与えるのは当然のことである】	632	20	35	99	319	128	24	7	
	100.0	3.2	5.5	15.7	50.5	20.3	3.8	1.1	
V. あなたは次の文章について、どのように思いますか【28】人は自分を助けてくれた人を傷つけるべきではない】	632	1	7	23	127	250	137	87	
	100.0	.2	1.1	3.6	20.1	39.6	21.7	13.8	
V. あなたは次の文章について、どのように思いますか【29】相手がお返しを期待していないのなら、わざわざお返しをするべきではない】	632	35	108	179	229	60	15	6	
	100.0	5.5	17.1	28.3	36.2	9.5	2.4	.9	

VI. あなたが勤めている会社（事業主）が、毎月負担している年金保険料が、あなたの月給の7%から10%に上昇したとします。その時にあなたの会社が以下のような行動をとった場合に、あなたはどのように感じますか

	合計	全く納 得でき ない	あまり 納得 できな い	どちら かと言 えれば 納得 できな い	どちら かと言 えれば 納得 できる	だいた い納得 できる	非常 に納得 できる	無回 答
VI. 【1】会社があなたの月給を下げずに、そのまま据え置きました】	632	20	38	61	190	127	196	
	100.0	3.2	6.0	9.7	30.1	20.1	31.0	
VI. 【2】保険料があがった分だけ、あなたの月給を下げました。ただし、将来のあなたの受け取る年金額が、増加した保険料に見合った額だけ増えます。また、競争相手の企業も、同じように月給を下げました】	632	36	71	154	233	110	28	
	100.0	5.7	11.2	24.4	36.9	17.4	4.4	
VI. 【3】保険料があがった分だけ、あなたの月給を下げました。ただし、保険料が増加したほどには、将来、あなたの受け取る年金額は増加しません。また、競争相手の企業も、同じように月給を下げました】	632	178	169	193	73	17	2	
	100.0	28.2	26.7	30.5	11.6	2.7	.3	
VI. 【4】保険料があがった分だけ、あなたの月給を下げました。ただし、将来、あなたの受け取る年金額が、増加した保険料に見合った額だけ増えます。また、競争相手の企業は、月給を下げずに据え置きました】	632	90	135	210	147	44	6	
	100.0	14.2	21.4	33.2	23.3	7.0	.9	
VI. 【5】保険料があがった分だけ、あなたの月給を下げました。ただし、保険料が増加したほどには、将来、あなたの受け取る年金額は増加しません。また、競争相手の企業は、月給を下げずに据え置きました】	632	292	150	139	40	9	2	
	100.0	46.2	23.7	22.0	6.3	1.4	.3	

VII. 1. あなたの年齢をお答えください

	度数	列 %	
VII. 1. あなたの年齢をお答えください	30	74	11.7
	31	56	8.9
	32	73	11.6
	33	53	8.4
	34	57	9.0
	40	73	11.6
	41	65	10.3
	42	67	10.6
	43	53	8.4
	44	61	9.7
	合計	632	100.0

VII. 2. あなたの性別をお答えください

	度数	列 %	
VII. 2. あなたの性別をお答えください	男性	321	50.8
	女性	311	49.2
	無回答		
	合計	632	100.0

VII. 3. あなたの昨年の収入はどのくらいでしたか

	度数	列 %	
VII. 3. あなたの昨年の収入はどのくらいでしたか	100万円未満	12	1.9
	100万円以上300万円未満	143	22.6
	300万円以上500万円未満	249	39.4
	500万円以上600万円未満	89	14.1
	600万円以上800万円未満	80	12.7
	800万円以上1000万円未満	38	6.0
	1000万円以上	21	3.3
	無回答		
	合計	632	100.0

VII. 4. あなたの金融資産（預貯金、有価証券、生命保険など）はどのくらいおありでしょうか。なお、土地建物などの不動産は含みません

		度数	列 %
VII. 4. あなたの金融資産（預貯金、有価証券、生命保険など）はどのくらいおありでしょうか。なお、土地建物などの不動産は含みません	300万円未満	326	51.6
	300万円以上500万円未満	108	17.1
	500万円以上700万円未満	58	9.2
	700万円以上1000万円未満	44	7.0
	1000万円以上1500万円未満	46	7.3
	1500万円以上2000万円未満	18	2.8
	2000万円以上	32	5.1
	無回答		
合計	632	100.0	

VII. 5. あなたの最終学歴をお教えてください

		度数	列 %
VII. 5. あなたの最終学歴をお教えてください	中学	5	.8
	高校	145	22.9
	専門学校	77	12.2
	短大	90	14.2
	大学	285	45.1
	大学院	30	4.7
	無回答		
	合計	632	100.0

VII. 6. あなたは既婚ですか。未婚ですか

		度数	列 %
VII. 6. あなたは既婚ですか。未婚ですか	独身	267	42.2
	既婚	365	57.8
	無回答		
	合計	632	100.0

VII. 7. 結婚されている場合、あなたの配偶者の方の職業は何ですか

		度数	列 %
VII. 7. 結婚されている場合、あなたの配偶者の方の職業は何ですか	無職（専業主婦を含む）	92	25.2
	パート・アルバイト	55	15.1
	自営業	10	2.7
	会社員	190	52.1
	公務員	10	2.7
	その他	8	2.2
	無回答		
	合計	365	100.0

VII. 8. あなたの子供の数は何人ですか

		度数	列 %
VII. 8. あなたの子供の数は何人ですか	0人	349	55.2
	1人	117	18.5
	2人	129	20.4
	3人	33	5.2
	4人以上	4	.6
	無回答		
	合計	632	100.0

※今回の調査は学術的な研究のために行われているものであり、この資料は厚生労働省や社会保険庁などの政府機関等が作成したものではありません。

資料 2 - 3

これからあなたに読んでいただくのは、厚生年金に関する説明をまとめた「お知らせ」です。この「お知らせ」をあなたの手元において、正直かつ率直にアンケートにお答えください。

あなたが加入している厚生年金に関するお知らせ

A. 現在の厚生年金の保険料と年金受給額は、このようになっています

- ・あなたは、民間企業の給与所得者なので「公的年金」の中の「厚生年金」に加入しています。厚生年金の保険料は、現在、ボーナスを含めた給与のおよそ**14.3%**であり、あなたの勤め先とあなた自身が、**7.15%ずつ**折半して支払っています。
- ・少なくとも**25年間**、年金の保険料を納付すると、**65歳から**老齢年金（老後の生活のための年金）が支給されます。
- ・老齢年金は定額部分と、過去の給与に比例する部分からなります。
- ・厚生年金に**40年間加入**し、その間の年収が平均して**560万円**（厚生年金に加入している人の平均）だった場合には、年金額は**1ヶ月16万7000円**になります。
- ・**加入期間**が40年より短ければ、それに応じて年金額が低くなります。また、**加入していた間の年収**が平均より高いか低いかによっても年金額は増減します。

B. どんなに長生きしても一生受け取れます

- ・民間の年金の場合には、年金を受け取れる期間が決まっているものがほとんどですが、厚生年金はどんなに長生きしても**一生受け取れます**。

※今回の調査は学術的な研究のために行われているものであり、この資料は厚生労働省や社会保険庁などの政府機関等が作成したものではありません。

C. 物価の変動などにあわせて年金額が変わります

- ・厚生年金は、将来、物価が上昇したとしても、実質的な年金額が目減りしないように、**現役世代の給与や物価の変動に合わせて**、年金額が改定されます。

D. 年金は、保険料のほかに、税金でまかなわれています

- ・年金給付は、その時の現役世代の保険料や積立金の運用収入のほかに、一部が**税金でまかなわれています**。税金でまかなう割合は、今後5年の間に、段階的に引き上げられます。
- ・税金でまかなわれている分だけ、**年金給付は、みなさんが支払った保険料よりも多くなっています**。この仕組みは、将来も維持されます。

E. 厚生年金からは障害年金や遺族年金が支給されます

- ・厚生年金では、老後の生活を保障する**老齢年金**（老後の生活のための年金）だけでなく、病気や事故で障害が残ったときには**障害年金**が、あなたが亡くなったときにはご家族への**遺族年金**が支給されます。
- ・**障害年金**や**遺族年金**の金額は、厚生年金に加入していた期間やその間の給与、家族構成によって決まります。
- ・年収が560万円（厚生年金に加入している人の平均）で25年加入した人が障害状態（2級）になられた場合には、月額およそ19万円の**障害年金**を受け取れます。同じ方が亡くなられた場合には、ご遺族に（平均）月額12万円程度の**遺族年金**が支給されます。

※今回の調査は学術的な研究のために行われているものであり、この資料は厚生労働省や社会保険庁などの政府機関等が作成したものではありません。

F. 給付の抑制と、保険料の引き上げにより、少子高齢化に備えます。

- ・ わが国では、今後、急速に少子高齢化が進行することが予想されています。たとえば、2025年には現役世代2人で1人の高齢者を支えることとなります。
- ・ そのため、年金の保険料や給付を見直さずに、年金制度を続けていこうとしたなら、年金財政は悪化して、あらゆる世代の老後の生活にとても大きな影響が出ると思われました。
- ・ そこで、まず高齢者の年金額を、実質的に毎年少しずつ減らすことになりました。これまでの年金額は、現役世代の賃金や物価の伸びに応じて引き上げられてきました。しかし、今後およそ20年間は、年金額の伸び率を賃金や物価の伸び率より、0.8～1.0%程度低い水準にします。
- ・ しかし、年金給付の削減だけでは十分ではないため、現在14.3%の厚生年金の保険料を、毎年0.354%ずつゆるやかに引き上げ、2019年からは18.3%にすることになりました。
- ・ この2つの対策によって、将来100年間は、年金財政を安定させることが可能となり、若い世代の方々も、安心できる年金制度になりました。

※今回の調査は学術的な研究のために行われているものであり、この資料は厚生労働省や社会保険庁などの政府機関等が作成したものではありません。

G. 老後の生活を支えられる年金額が支給されます

- ・ 厚生年金は、働く世代が高齢者の世代を支える世代間扶養の仕組みで成り立っています。現役のあなたがいまの高齢者世代を支え、将来、高齢者になった時には、そのときの現役世代があなたを支えます。
- ・ このような年金制度では、後の世代ほど給付に比べて負担が重くなり、世代間の不公平があると言われてしています。少子高齢化が進むにつれて、より若い世代の保険料負担が上昇するのは事実です。そのため、皆さんのような若い世代の方から、年金は払い損ではないかとの意見もでてきます。
- ・ しかし、年金で大切なのは、払い損か得かということよりも、実際に老後の生活を支えるのに十分な年金があるかどうかです。厚生年金が得だとしても、実際に支給される年金が、老後の生活を支えるのに十分なものでなければ意味がありません。
- ・ 世代間扶養の仕組みを取り入れた厚生年金では、皆さんが高齢者になった時に、その時の若い世代の保険料負担により、生活を支えるのに十分な年金額を受け取れる仕組みになっています。
- ・ また、厚生年金の保険料を払うことにより、親の老後を心配することなく安心して生活ができるという意味で、みなさんのような現役世代も、すでに厚生年金の恩恵を受けています。
- ・ それでも、あえて計算するなら、平均的に長生きすれば、どの世代でみても、自分で支払った保険料の総額よりも、年金額の合計の方が大きくなっています。決して払い損ではありません。

<この資料はインターネットによるアンケートへの回答を終えられましたなら、廃棄していただきますようお願いいたします>

年金に関するアンケート(第2回)

【回答する上での注意事項】

アンケートはお送りした資料をご覧になってもらい、回答して頂くものとなります。お手元に送付しました資料をご用意して頂き、以下の点にご注意の上ご回答下さい。

1. お送りしました資料は、A4見開き4ページの「あなたが加入している厚生年金に関するお知らせ」となります。ご回答の前にあらかじめお読みください。またご回答の際には、資料をご覧になりながらお答えください
2. 資料については、アンケート終了後は速やかに参加者様が責任を持ってご廃棄くださいますようお願いいたします(メンバー規約第5条「守秘義務」による)

Q1. 次の文章を「あなたが加入している厚生年金に関するお知らせ」の内容と一致するようにして完成させてください。そのために、()には正しい数字を入れ、選択肢からは正しい言葉を選んでください
※正解をしないと次に進めません。ご注意ください

ーこの問題はお知らせのAの部分を見て答えてくださいー

- 1) 厚生年金の保険料は、現在、ボーナスを含めた給与のおよそ %であり、あなたの勤め先とあなた自身が支払います。
- 2) 厚生年金は、少なくとも 年間加入すると、()歳から支給されます。

ーこの問題はお知らせのBの部分を見て答えてくださいー

- 3) 老齢年金は支給開始から、 まで、支給されます。

ーこの問題はお知らせのCの部分を見て答えてくださいー

- 4) 厚生年金の給付は、毎年、 や現役世代の賃金の変動に合わせて年金額の改定を行なっています。

ーこの問題はお知らせのDの部分を見て答えてくださいー

- 5) 年金給付の一部は、その時の現役世代の保険料や運用収入のほかに、 でまかなわれています。

ーこの問題はお知らせのEの部分を見て答えてくださいー

6) 厚生年金からは老齢年金の他に、遺族年金や も支給されます。

—この問題はお知らせのFの部分を見て答えください—

7) 少子高齢化に対応し、安心できる年金制度をつくるため、今後しばらくの間は、毎年の年金額の伸びを、賃金や物価の伸び率から %程度低い水準に、とどめることになりました。

8) 一方、現在14.3%の保険料率は、毎年 %ずつ引き上げ、平成31年に18.3%とすることになりました。

—この問題はお知らせのGの部分を見て答えください—

9) 厚生年金は、 で成り立っています。

10) 年金で大切なのは、 です。

11) 平均的に長生きすると、どの世代でも、支払った保険料 給付が受けられる計算となっています。

次へ進む

Q2. 厚生年金の以下の事実について、あなたは納得できますか。「全く納得できない」から「非常に納得できる」まで当てはまるものをそれぞれ1つずつ選んでください

	全く納得できない	あまり納得できない	納得できない どちらかといえば	納得できる どちらかといえば	だいたい納得できる	非常に納得できる
1) 厚生年金の保険料が今後毎年およそ0.354%ずつ上がって18.3%になること	<input type="radio"/>					
2) 年金財政を健全化するため、厚生年金の支給額が毎年0.8%~1.0%ずつ、実質的に減っていくこと	<input type="radio"/>					
3) 少子高齢化によって、より少ない数の現役世代で高齢者を支えなくてはならない仕組みになっていること	<input type="radio"/>					
4) あなたの世代の払った保険料で、現在の高齢世代の年金が払われていること	<input type="radio"/>					
5) 少子高齢化が進むにつれて、保険料が引き上げられること	<input type="radio"/>					
6) 厚生年金の保険料と受け取る年金額を比べると、いまの50歳代よりも、あなたの世代の方が不利になっていること	<input type="radio"/>					
7) 現在の厚生年金の保険料が給与のおよそ14%であること	<input type="radio"/>					
8) 厚生年金の年金額は、物価が下落すると減らされること	<input type="radio"/>					

Q3. 「あなたが加入している厚生年金に関するお知らせ」にあるように、厚生年金には以下の特徴があります(すべて正しい説明です)。あなたは、それらを、厚生年金に加入することのメリットだと思いますか。「全くメリットでないと思う」から「非常にメリットだと思う」まで当てはまるものをそれぞれ1つずつ選んでください

	全くメリットでないと思う	あまりメリットでないと思う	メリットでないと思う どちらかといえば	メリットだと思う どちらかといえば	まあまあメリットだと思う	非常にメリットだと思う
1) 国民全員がどれか1つの公的年金に、必ず加入していること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

2) 厚生年金の保険料の半分は勤め先が払っていること	<input type="radio"/>					
3) 厚生年金では65歳から老齢年金が支給されること	<input type="radio"/>					
4) 年金保険料を最低25年おさめると、年金が支給されること	<input type="radio"/>					
5) 厚生年金は国が管理・運営していること	<input type="radio"/>					
6) 厚生年金は、後に生まれた世代が、前に生まれた世代を順々に助ける仕組みになっていること	<input type="radio"/>					
7) 厚生年金から支給される年金額には、定額部分と働いていた間の給与に比例する部分があること	<input type="radio"/>					
8) 現在は、平均的な年収(560万円)の人が40年間加入した場合に、65歳から1ヶ月16万7000円が支給されること	<input type="radio"/>					
9) 厚生年金の保険料は給料から天引きされていること	<input type="radio"/>					
	全くメリットでないと思う	あまりメリットでないと思う	どちらかといえ メリットでないと思う	どちらかといえ メリットだと思う	まあまあメリットだと思う	非常にメリットだと思う
10) あなた自身が受け取る厚生年金は、あなたが死ぬまで支給されること	<input type="radio"/>					
11) 民間の個人年金と違って、厚生年金であれば、物価の変動に合わせて年金額も増減すること	<input type="radio"/>					
12) 民間の個人年金と違って、厚生年金では、その時の現役世代の平均給与の変動に合わせて、年金額も増減すること	<input type="radio"/>					
13) 厚生年金の給付が、保険料だけではなく、税金からも支払われているので、年金給付が保険料よりも多くなっていること	<input type="radio"/>					
14) 税から支払われる割合が、今後、5年間、引き上げられること	<input type="radio"/>					
15) 厚生年金では、加入者が死亡した時に、遺族に遺族年金が支給されること	<input type="radio"/>					
16) 平均的な遺族厚生年金の額が月額およそ15万円であること	<input type="radio"/>					
17) 身体に障害をおった加入者に、厚生年金から障害年金が支給されること	<input type="radio"/>					
18) 平均的な障害年金の額は現在、月額およそ12万円であること	<input type="radio"/>					

Q4. あなたは厚生年金に関する次の文章について、どのように思いますか。「全くそう思わない」から「非常にそう思う」まで当てはまるものをそれぞれ1つずつ選んでください

	全く そう 思わ ない	あ ま り そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば そ う 思 う	だ い たい そ う 思 う	非 常 に そ う 思 う
1) 自分にとって厚生年金に入ることのメリットが、デメリットよりも大きい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2) 自分がもらう頃の厚生年金の老齢給付は、それだけでは生活できないほど少ない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3) 厚生年金があるおかげで、老後や自分が死んだ時や障害を負った時に安心だ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4) 厚生年金を廃止して、国民は自分で老後の準備をするべきだ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q5. 「厚生年金では、どの世代をみても、支払った保険料よりも、受け取る給付の方が大きい」という国の説明を、あなたは信用していますか

- 1. 全く信用していない
- 2. あまり信用していない
- 3. どちらかといえば信用していない
- 4. どちらかといえば信用している
- 5. だいたい信用している
- 6. 非常に信用している

この後の質問には「あなたが加入している厚生年金に関するお知らせ」を使いませんので、破棄して頂いて構いません

次へ進む

戻る

Q6. 厚生年金に関する次の説明で、説明が正しいと思うものは「正しい」、間違っていると思うものは「間違っている」をそれぞれお選びください。わからない場合は「わからない」をお選びください

※この問いには、資料「あなたが加入している厚生年金に関するお知らせ」を使わずに教えてください。正解をしなくても、次に進めます

- | | 正しい | 間違っている | わからない |
|--|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 1) 厚生年金は67歳になるまで受け取ることができません | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 2) あなたが保険料を払い終わらない間に死亡すると、あなたもあなたの配偶者も年金を受け取ることができません | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 3) あなたが保険料を払っている間に障害状態になると、年金が支給されます | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 4) 厚生年金のうち、老齢年金(老後の生活のための年金)は、支給開始から90歳までの間、支給されます | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 5) 厚生年金の額は、加入した期間の長さとその間の収入の高低によって決まります | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 6) 厚生年金では、あなたが払った保険料はそのまま、あなたの口座に積み立てられています | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 7) 厚生年金の保険料は、現在、年収の20%であり、労使で折半して支払っています | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| | 正しい | 間違っている | わからない |
| 8) 現在、厚生年金の給付は、保険料からだけでなく、一部は税金から支払われています | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 9) 2004年の改正により保険料負担と給付の間にバランスがとれるようになるまで、年金額を前年より0.9%引き下げていくことになりました | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 10) 今後、厚生年金の保険料は毎年1%ずつ上がっていきます | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 11) どの年代でも平均的に長生きすれば、厚生年金の給付は自分が払った保険料よりも大きくなります。払い損の世代はありません | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 12) 年金で大切なことは、もらう年金の額が払った保険料よりも多いかどうかです | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 13) 厚生年金における給付と負担の倍率は、どの世代でも等しくするべきです | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |

ご回答いただきまして、ありがとうございました。

お読みになられた後の資料は、参加者様の責任において**必ず**ご廃棄ください。宜しくお願い致します。

今回の謝礼ポイントは、データ確認の上後日(3月中旬)加算させていただきます。アンケート送信後すぐポイントは加算されません。

また、資料をご覧の上回答されなかったと思われる場合、ポイントを発行できませんので予めご了承ください。

これからもMyVoiceをよろしくお願いいたします。

マイボイスコム(株)

回答をする

[Menuへ戻る](#)

マイボイスコム株式会社
E-mail : voice@myvoice.co.jp

年金に関するアンケート(第2回)

Q1. 厚生年金の以下の事実について、あなたは納得できますか。「全く納得できない」から「非常に納得できる」まで当てはまるものをそれぞれ1つずつ選んでください

	全く納得できない	あまり納得できない	納得できない	どちらかといえば納得できる	どちらかといえば納得できない	だいたい納得できる	非常に納得できる
1) 厚生年金の保険料が今後毎年およそ0.354%ずつ上がって18.3%になること	<input type="radio"/>						
2) 年金財政を健全化するため、厚生年金の支給額が毎年0.8%~1.0%ずつ、実質的に減っていくこと	<input type="radio"/>						
3) 少子高齢化によって、より少ない数の現役世代で高齢者を支えなくてはならない仕組みになっていること	<input type="radio"/>						
4) あなたの世代の払った保険料で、現在の高齢世代の年金が払われていること	<input type="radio"/>						
5) 少子高齢化が進むにつれて、保険料が引き上げられること	<input type="radio"/>						
6) 厚生年金の保険料と受け取る年金額を比べると、いまの50歳代よりも、あなたの世代の方が不利になっていること	<input type="radio"/>						
7) 現在の厚生年金の保険料が給与のおよそ14%であること	<input type="radio"/>						
8) 厚生年金の年金額は、物価が下落すると減らされること	<input type="radio"/>						

Q2. あなたは厚生年金に関する次の文章について、どのように思いますか。「全くそう思わない」から「非常にそう思う」まで当てはまるものをそれぞれ1つずつ選んでください

	全くそう思わない	あまりそう思わない	そう思わない	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	だいたいそう思う	非常にそう思う
1) 自分にとって厚生年金に入ることのメリットが、デメリットよりも大きい	<input type="radio"/>						
2) 自分がもらう頃の厚生年金の老齢給付は、それだけでは生活できないほど少ない	<input type="radio"/>						
3) 厚生年金があるおかげで、老後や自分が死んだ時や障害を負った時に安心だ	<input type="radio"/>						

4) 厚生年金を廃止して、国民は自分で老後の準備
をするべきだ



「次へ進む」からQ3へと進みましたら、このページには戻れません。
Q2までの回答をご確認の上、次ページへお進み下さい。

次へ進む

Q3. 厚生年金に関する次の説明で、説明が正しいと思うものは「正しい」、間違っていると思うものは「間違っている」をそれぞれお選び下さい。わからない場合は「わからない」をお選び下さい

- | | 正
し
い | 間
違
っ
て
い
る | わ
か
ら
な
い |
|--|-----------------------|----------------------------|-----------------------|
| 1) 厚生年金は67歳になるまで受け取ることができません | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 2) あなたが保険料を払い終わらない間に死亡すると、あなたもあなたの配偶者も年金を受け取ることができません | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 3) あなたが保険料を払っている間に障害状態になると、年金が支給されます | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 4) 厚生年金のうち、老齢年金(老後の生活のための年金)は、支給開始から90歳までの間、支給されます | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 5) 厚生年金の額は、加入した期間の長さとその間の収入の高低によって決まります | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 6) 厚生年金では、あなたが払った保険料はそのまま、あなたの口座に積み立てられています | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 7) 厚生年金の保険料は、現在、年収の20%であり、労使で折半して支払っています | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| | 正
し
い | 間
違
っ
て
い
る | わ
か
ら
な
い |
| 8) 現在、厚生年金の給付は、保険料からだけでなく、一部は税金から支払われています | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 9) 2004年の改正により保険料負担と給付の間にバランスがとれるようになるまで、年金額を前年より0.9%引き下げていくことになりました | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 10) 今後、厚生年金の保険料は毎年1%ずつ上がっていきます | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 11) どの年代でも平均的に長生きすれば、厚生年金の給付は自分が払った保険料よりも大きくなります。払い損の世代はありません | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 12) 年金で大切なことは、もらう年金の額が払った保険料よりも多いかどうかです | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 13) 厚生年金における給付と負担の倍率は、どの世代でも等しくするべきです | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |

「次へ進む」からQ4へと進みましたら、このページには戻れません。
Q3の回答をご確認の上、次ページへお進み下さい。

次へ進む

Q4. 厚生年金には以下の特徴があります(すべて正しい説明です)。あなたは、それを、厚生年金に加入することのメリットだと思いますか。「全くメリットでないと思う」から「非常にメリットだと思う」まで当てはまるものをそれぞれ1つずつ選んでください

	全く メリッ トでな いと思 う	あま りメリ ットで ないと思 う	メリ ットで ないと思 う	どち らかと 言えば メリッ トだと思 う	どち らかと 言えば メリッ トだと思 う	ま あま あメリ ットだ と思 う	非 常 にメリ ットだ と思 う
1) 国民全員がどれか1つの公的年金に、必ず加入していること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2) 厚生年金の保険料の半分は勤め先が払っていること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3) 厚生年金では65歳から老齢年金が支給されること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4) 年金保険料を最低25年おさめると、年金が支給されること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5) 厚生年金は国が管理・運営していること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6) 厚生年金は、後に生まれた世代が、前に生まれた世代を順々に助ける仕組みになっていること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7) 厚生年金から支給される年金額には、定額部分と働いていた間の給与に比例する部分があること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8) 現在は、平均的な年収(560万円)の人が40年間加入した場合に、65歳から1ヶ月16万7000円が支給されること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9) 厚生年金の保険料は給料から天引きされていること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	全く メリッ トでな いと思 う	あま りメリ ットで ないと思 う	メリ ットで ないと思 う	どち らかと 言えば メリッ トだと思 う	どち らかと 言えば メリッ トだと思 う	ま あま あメリ ットだ と思 う	非 常 にメリ ットだ と思 う
10) あなた自身が受け取る厚生年金は、あなたが死ぬまで支給されること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

- | | | | | | | |
|--|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 11) 民間の個人年金と違って、厚生年金であれば、物価の変動に合わせて年金額も増減すること | <input type="radio"/> |
| 12) 民間の個人年金と違って、厚生年金では、その時の現役世代の平均給与の変動に合わせて、年金額も増減すること | <input type="radio"/> |
| 13) 厚生年金の給付が、保険料だけではなく、税金からも支払われているので、年金給付が保険料よりも多くなっていること | <input type="radio"/> |
| 14) 税から支払われる割合が、今後、5年間、引き上げられること | <input type="radio"/> |
| 15) 厚生年金では、加入者が死亡した時に、遺族に遺族年金が支給されること | <input type="radio"/> |
| 16) 平均的な遺族厚生年金の額が月額およそ15万円であること | <input type="radio"/> |
| 17) 身体に障害をおった加入者に、厚生年金から障害年金が支給されること | <input type="radio"/> |
| 18) 平均的な障害年金の額は現在、月額およそ12万円であること | <input type="radio"/> |

Q5. 「厚生年金では、どの世代をみても、支払った保険料よりも、受け取る給付の方が大きい」という国の説明を、あなたは信用していますか

- 1. 全く信用していない
- 2. あまり信用していない
- 3. どちらかといえば信用していない
- 4. どちらかといえば信用している
- 5. だいたい信用している
- 6. 非常に信用している

ご回答いただきまして、ありがとうございました。

今回の謝礼ポイントは、データ確認の上後日(3月中旬)加算させていただきます。アンケート送信後すぐポイントは加算されません。

これからもMyVoiceをよろしくお願いいたします。

マイボイスコム(株)

回答をする

[Menuへ戻る](#)

マイボイスコム株式会社
E-mail : voice@myvoice.co.jp

回答者属性

性別

		度数	列 %
性別 区分	男性	160	50.2
	女性	159	49.8
	合計	319	100.0

年齢階層

		度数	列 %
年齢 階層	30代	155	48.6
	40代	164	51.4
	合計	319	100.0

独身・既婚

		度数	列 %
独身・ 既婚	独身	138	43.3
	既婚	181	56.7
	合計	319	100.0

職業分類

		度数	列 %
職業 分類	会社員・役員	319	100.0
	合計	319	100.0

地域分類

		度数	列 %
地域 分類	北海道	12	3.8
	東北	12	3.8
	関東	149	46.7
	北陸	9	2.8
	中部	27	8.5
	近畿	74	23.2
	中国	13	4.1
	四国	6	1.9
	九州	17	5.3
	その他		
合計	319	100.0	

世帯の年収区分

		度数	列 %
世帯 の年 収区 分	300万円未満	32	10.0
	300～500万円未満	115	36.1
	500～700万円未満	88	27.6
	700～1000万円未満	59	18.5
	1000～1500万円未満	18	5.6
	1500万円以上	7	2.2
	合計	319	100.0

同居家族の人数

		度数	列 %
同居 家族 の 人 数	ひとり暮らし	63	19.7
	2人	83	26.0
	3人	71	22.3
	4人	70	21.9
	5人	16	5.0
	6人	13	4.1
	7人以上	3	.9
	合計	319	100.0

子供の人数

		度数	列 %
子供 の 人 数	なし	185	58.0
	1人	50	15.7
	2人	67	21.0
	3人	15	4.7
	4人	2	.6
	5人以上		
	合計	319	100.0

家族の世帯形態

		度数	列 %
家族 の 世 帯 形 態	一人暮らし	64	20.1
	夫婦のみ	70	21.9
	夫婦(または片親) と未婚の子供	116	36.4
	2世代同居	32	10.0
	3世代同居	12	3.8
	その他	25	7.8
	合計	319	100.0

単純集計【2回目：Aパターン】

Q1. 【1】厚生年金の保険料は、現在、ボーナスを含めた給与のおよそ(〇〇)%であり、あなたの勤め先とあなた自身が支払います】

	度数	列 %
Q1. 【1】厚生年金の保険料は、現在、ボーナスを含めた給与のおよそ(〇〇)%であり、あなたの勤め先とあなた自身が支払います】	4.3	
	14.3	319
	24.3	
	無回答	
	合計	319

Q1. 【2】厚生年金は、少なくとも(〇〇)年間加入すると、(●)歳から支給されます】

	度数	列 %
Q1. 【2】厚生年金は、少なくとも(〇〇)年間加入すると、(●)歳から支給されます】	20	
	25	319
	40	
	無回答	
	合計	319

Q1. 【2】厚生年金は、少なくとも(●)年間加入すると、(〇〇)歳から支給されます】

	度数	列 %
Q1. 【2】厚生年金は、少なくとも(●)年間加入すると、(〇〇)歳から支給されます】	65	319
	合計	319

Q1. 【3】老齢年金は支給開始から、(〇〇)まで、支給されます】

	度数	列 %
Q1. 【3】老齢年金は支給開始から、(〇〇)まで、支給されます】	90	
	100	
	死亡するまで	319
	無回答	
	合計	319

Q1. 【4】厚生年金の給付は、毎年、(〇〇)や現役世代の賃金の変動に合わせて年金額の改定を行なっています】

	度数	列 %
Q1. 【4】厚生年金の給付は、毎年、(〇〇)や現役世代の賃金の変動に合わせて年金額の改定を行なっています】	経済成長	
	物価	319
	金利	
	失業	
	無回答	
	合計	319

Q1. 【5】年金給付の一部は、その時の現役世代の保険料や運用収入のほかに、(〇〇)でまかなわれています】

		度数	列 %
Q1. 【5】年金給付の一部は、その時の現役世代の保険料や運用収入のほかに、(〇〇)でまかなわれています】	税	319	100.0
	使用料		
	宝くじの収益		
	無回答		
	合計	319	100.0

Q1. 【6】厚生年金からは老齢年金の他に、遺族年金や(〇〇)も支給されます】

		度数	列 %
Q1. 【6】厚生年金からは老齢年金の他に、遺族年金や(〇〇)も支給されます】	変額年金		
	障害年金	319	100.0
	労災年金		
	無回答		
	合計	319	100.0

Q1. 【7】少子高齢化に対応し、安心できる年金制度をつくるため、今後しばらくの間は、毎年の年金額の伸びを、賃金や物価の伸び率から(〇〇)%程度低い水準に、とどめることになりました】

		度数	列 %
Q1. 【7】少子高齢化に対応し、安心できる年金制度をつくるため、今後しばらくの間は、毎年の年金額の伸びを、賃金や物価の伸び率から(〇〇)%程度低い水準に、とどめることになりました】	0.6~0.8		
	0.8~1.0	319	100.0
	1.0~1.2		
	無回答		
	合計	319	100.0

Q1. 【8】一方、現在14.3%の保険料率は、毎年(〇〇)%ずつ引き上げ、平成31年に18.3%とすることになりました】

		度数	列 %
Q1. 【8】一方、現在14.3%の保険料率は、毎年(〇〇)%ずつ引き上げ、平成31年に18.3%とすることになりました】	0.1		
	0.354	319	100.0
	0.9		
	無回答		
	合計	319	100.0

Q1. 【9】厚生年金は、(〇〇)で成り立っています】

		度数	列 %
Q1. 【9】厚生年金は、(〇〇)で成り立っています】	自分の保険料を自分の口座に積み立てておく仕組み		
	働く世代が高齢者の世代を支える仕組み	319	100.0
	無回答		
	合計	319	100.0

Q1. 【10）年金で大切なのは、(〇〇)です】

		度数	列 %
Q1. 【10）年金で大切なのは、(〇〇)です】	払い損か得かいうこと		
	どの世代も同じ保険料に対して同じ給付を支給されること		
	老後の生活を支えるのに十分な年金があること	319	100.0
	無回答		
	合計	319	100.0

Q1. 【11）平均的に長生きすると、どの世代でも、支払った保険料(〇〇)給付が受けられる計算となっています】

		度数	列 %
Q1. 【11）平均的に長生きすると、どの世代でも、支払った保険料(〇〇)給付が受けられる計算となっています】	よりも少ない		
	と同じ		
	よりも大きい	319	100.0
	無回答		
	合計	319	100.0

Q2. 厚生年金の以下の事実について、あなたは納得できますか

	合計	全く納得できない	あまり納得できない	どちらかといえば納得できない	どちらかといえば納得できる	たいがい納得できる	非常に納得できる	無回答
Q2. 厚生年金の以下の事実について、あなたは納得できますか【1）厚生年金の保険料が今後毎年およそ0.354%ずつ上がって18.3%になること】	319	63	106	62	55	30	3	
	100.0	19.7	33.2	19.4	17.2	9.4	.9	
Q2. 厚生年金の以下の事実について、あなたは納得できますか【2）年金財政を健全化するため、厚生年金の支給額が毎年0.8%～1.0%ずつ、実質的に減っていくこと】	319	74	103	60	58	17	7	
	100.0	23.2	32.3	18.8	18.2	5.3	2.2	
Q2. 厚生年金の以下の事実について、あなたは納得できますか【3）少子高齢化によって、より少ない数の現役世代で高齢者を支えなくてはならない仕組みになっていること】	319	63	59	63	67	52	15	
	100.0	19.7	18.5	19.7	21.0	16.3	4.7	
Q2. 厚生年金の以下の事実について、あなたは納得できますか【4）あなたの世代の払った保険料で、現在の高齢世代の年金が払われていること】	319	37	42	53	86	77	24	
	100.0	11.6	13.2	16.6	27.0	24.1	7.5	
Q2. 厚生年金の以下の事実について、あなたは納得できますか【5）少子高齢化が進むにつれて、保険料が引き上げられること】	319	78	75	53	69	33	11	
	100.0	24.5	23.5	16.6	21.6	10.3	3.4	
Q2. 厚生年金の以下の事実について、あなたは納得できますか【6）厚生年金の保険料と受け取る年金額を比べると、いまの50歳代よりも、あなたの世代の方が不利になっていること】	319	128	83	55	32	18	3	
	100.0	40.1	26.0	17.2	10.0	5.6	.9	
Q2. 厚生年金の以下の事実について、あなたは納得できますか【7）現在の厚生年金の保険料が給与のおよそ14%であること】	319	70	81	61	73	30	4	
	100.0	21.9	25.4	19.1	22.9	9.4	1.3	
Q2. 厚生年金の以下の事実について、あなたは納得できますか【8）厚生年金の年金額は、物価が下落すると減らされること】	319	60	57	63	83	39	17	
	100.0	18.8	17.9	19.7	26.0	12.2	5.3	

Q3. 厚生年金には以下の特徴があります。あなたはそれらを、厚生年金に加入することのメリットだと思いますか

	合計	全くメリットでないと 思う	あまりメリットでないと 思う	どちらかといえば メリットでないと 思う	どちらかといえば メリットだと思う	まあまあ メリットだと思う	非常に メリットだと思う	無回答
Q3. 厚生年金には以下の特徴があります。あなたはそれらを、厚生年金に加入することのメリットだと思いますか【1】国民全員がどれか1つの公的年金に、必ず加入していること】	319	21	31	35	116	87	29	
	100.0	6.6	9.7	11.0	36.4	27.3	9.1	
Q3. 厚生年金には以下の特徴があります。あなたはそれらを、厚生年金に加入することのメリットだと思いますか【2】厚生年金の保険料の半分は勤め先が払っていること】	319	8	8	11	71	117	104	
	100.0	2.5	2.5	3.4	22.3	36.7	32.6	
Q3. 厚生年金には以下の特徴があります。あなたはそれらを、厚生年金に加入することのメリットだと思いますか【3】厚生年金では65歳から老齢年金が支給されること】	319	24	35	86	96	63	15	
	100.0	7.5	11.0	27.0	30.1	19.7	4.7	
Q3. 厚生年金には以下の特徴があります。あなたはそれらを、厚生年金に加入することのメリットだと思いますか【4】年金保険料を最低25年おさめると、年金が支給されること】	319	28	22	66	121	67	15	
	100.0	8.8	6.9	20.7	37.9	21.0	4.7	
Q3. 厚生年金には以下の特徴があります。あなたはそれらを、厚生年金に加入することのメリットだと思いますか【5】厚生年金は国が管理・運営していること】	319	45	39	59	107	54	15	
	100.0	14.1	12.2	18.5	33.5	16.9	4.7	
Q3. 厚生年金には以下の特徴があります。あなたはそれらを、厚生年金に加入することのメリットだと思いますか【6】厚生年金は、後に生まれた世代が、前に生まれた世代を順々に助ける仕組みになっていること】	319	43	52	100	89	25	10	
	100.0	13.5	16.3	31.3	27.9	7.8	3.1	
Q3. 厚生年金には以下の特徴があります。あなたはそれらを、厚生年金に加入することのメリットだと思いますか【7】厚生年金から支給される年金額には、定額部分と働いていた間の給与に比例する部分があること】	319	23	25	67	125	62	17	
	100.0	7.2	7.8	21.0	39.2	19.4	5.3	
Q3. 厚生年金には以下の特徴があります。あなたはそれらを、厚生年金に加入することのメリットだと思いますか【8】現在は、平均的な年収(560万円)の人が40年間加入した場合、65歳から1ヶ月16万7000円が支給されること】	319	30	35	84	124	41	5	
	100.0	9.4	11.0	26.3	38.9	12.9	1.6	
Q3. 厚生年金には以下の特徴があります。あなたはそれらを、厚生年金に加入することのメリットだと思いますか【9】厚生年金の保険料は給料から天引きされていること】	319	13	17	47	135	84	23	
	100.0	4.1	5.3	14.7	42.3	26.3	7.2	
Q3. 厚生年金には以下の特徴があります。あなたはそれらを、厚生年金に加入することのメリットだと思いますか【10】あなた自身が受け取る厚生年金は、あなたが死ぬまで支給されること】	319	2	4	8	72	110	123	
	100.0	.6	1.3	2.5	22.6	34.5	38.6	
Q3. 厚生年金には以下の特徴があります。あなたはそれらを、厚生年金に加入することのメリットだと思いますか【11】民間の個人年金と違って、厚生年金であれば、物価の変動に合わせて年金額も増減すること】	319	19	24	83	114	59	20	
	100.0	6.0	7.5	26.0	35.7	18.5	6.3	
Q3. 厚生年金には以下の特徴があります。あなたはそれらを、厚生年金に加入することのメリットだと思いますか【12】民間の個人年金と違って、厚生年金では、その時の現役世代の平均給与の変動に合わせて、年金額も増減すること】	319	26	36	108	99	38	12	
	100.0	8.2	11.3	33.9	31.0	11.9	3.8	
Q3. 厚生年金には以下の特徴があります。あなたはそれらを、厚生年金に加入することのメリットだと思いますか【13】厚生年金の給付が、保険料だけではなく、税金からも支払われているので、年金給付が保険料よりも多くなっていること】	319	20	17	44	121	81	36	
	100.0	6.3	5.3	13.8	37.9	25.4	11.3	
Q3. 厚生年金には以下の特徴があります。あなたはそれらを、厚生年金に加入することのメリットだと思いますか【14】税から支払われる割合が、今後、5年間、引き上げられること】	319	52	54	91	74	31	17	
	100.0	16.3	16.9	28.5	23.2	9.7	5.3	
Q3. 厚生年金には以下の特徴があります。あなたはそれらを、厚生年金に加入することのメリットだと思いますか【15】厚生年金では、加入者が死亡した時に、遺族に遺族年金が支給されること】	319	7	8	16	111	109	68	
	100.0	2.2	2.5	5.0	34.8	34.2	21.3	
Q3. 厚生年金には以下の特徴があります。あなたはそれらを、厚生年金に加入することのメリットだと思いますか【16】平均的な遺族厚生年金の額が月額およそ15万円であること】	319	12	22	46	135	76	28	
	100.0	3.8	6.9	14.4	42.3	23.8	8.8	
Q3. 厚生年金には以下の特徴があります。あなたはそれらを、厚生年金に加入することのメリットだと思いますか【17】身体に障害をおった加入者に、厚生年金から障害年金が支給されること】	319	6	8	18	117	105	65	
	100.0	1.9	2.5	5.6	36.7	32.9	20.4	
Q3. 厚生年金には以下の特徴があります。あなたはそれらを、厚生年金に加入することのメリットだと思いますか【18】平均的な障害年金の額は現在、月額およそ12万円であること】	319	11	28	67	128	62	23	
	100.0	3.4	8.8	21.0	40.1	19.4	7.2	

Q4. あなたは厚生年金に関する次の文章について、どのように思いますか

	合計	全くそう 思わない	あまりそう 思わない	どちらか といえば そう 思わない	どちらか といえば そう 思う	だいたい そう思う	非常に そう 思う	無回答
Q4. あなたは厚生年金に関する次の文章について、どのように思いますか【1】自分にとって厚生年金に加入することのメリットが、デメリットよりも大きい】	319	24	29	66	120	55	25	
	100.0	7.5	9.1	20.7	37.6	17.2	7.8	
Q4. あなたは厚生年金に関する次の文章について、どのように思いますか【2】自分がもらう頃の厚生年金の老齢給付は、それだけでは生活できないほど少ない】	319	4	6	22	92	77	118	
	100.0	1.3	1.9	6.9	28.8	24.1	37.0	
Q4. あなたは厚生年金に関する次の文章について、どのように思いますか【3】厚生年金があるおかげで、老後や自分が死んだ時や障害を負った時に安心だ】	319	35	59	49	129	35	12	
	100.0	11.0	18.5	15.4	40.4	11.0	3.8	
Q4. あなたは厚生年金に関する次の文章について、どのように思いますか【4】厚生年金を廃止して、国民は自分で老後の準備をするべきだ】	319	32	58	102	57	31	39	
	100.0	10.0	18.2	32.0	17.9	9.7	12.2	

Q5.「厚生年金では、どの世代をみても、支払った保険料よりも、受け取る給付の方が大きい」という国の説明を、あなたは信用していますか

		度数	列 %
Q5.「厚生年金では、どの世代をみても、支払った保険料よりも、受け取る給付の方が大きい」という国の説明を、あなたは信用していますか	全く信用していない	110	34.5
	あまり信用していない	118	37.0
	どちらかといえば信用していない	47	14.7
	どちらかといえば信用している	29	9.1
	だいたい信用している	13	4.1
	非常に信用している	2	.6
	無回答		
	合計	319	100.0

Q6. 厚生年金に関する次の説明で、説明が正しいと思うものは「正しい」、間違っていると思うものは「間違っている」、わからない場合は「わからない」をお選びください

	合計	正しい	間違っている	わからない	無回答
Q6. 厚生年金に関する次の説明で、説明が正しいと思うものは「正しい」、間違っていると思うものは「間違っている」、わからない場合は「わからない」をお選びください【1】厚生年金は67歳になるまで受け取ることができません】	319	6	308	5	
	100.0	1.9	96.6	1.6	
Q6. 厚生年金に関する次の説明で、説明が正しいと思うものは「正しい」、間違っていると思うものは「間違っている」、わからない場合は「わからない」をお選びください【2】あなたが保険料を払い終わらない間に死亡すると、あなたもあなたの配偶者も年金を受け取ることができません】	319	38	260	21	
	100.0	11.9	81.5	6.6	
Q6. 厚生年金に関する次の説明で、説明が正しいと思うものは「正しい」、間違っていると思うものは「間違っている」、わからない場合は「わからない」をお選びください【3】あなたが保険料を払っている間に障害状態になると、年金が支給されます】	319	269	30	20	
	100.0	84.3	9.4	6.3	
Q6. 厚生年金に関する次の説明で、説明が正しいと思うものは「正しい」、間違っていると思うものは「間違っている」、わからない場合は「わからない」をお選びください【4】厚生年金のうち、老齢年金(老後の生活のための年金)は、支給開始から90歳までの間、支給されます】	319	2	299	18	
	100.0	.6	93.7	5.6	
Q6. 厚生年金に関する次の説明で、説明が正しいと思うものは「正しい」、間違っていると思うものは「間違っている」、わからない場合は「わからない」をお選びください【5】厚生年金の額は、加入した期間の長さとその間の収入の高低によって決まります】	319	273	40	6	
	100.0	85.6	12.5	1.9	
Q6. 厚生年金に関する次の説明で、説明が正しいと思うものは「正しい」、間違っていると思うものは「間違っている」、わからない場合は「わからない」をお選びください【6】厚生年金では、あなたが払った保険料はそのまま、あなたの口座に積み立てられています】	319	10	301	8	
	100.0	3.1	94.4	2.5	
Q6. 厚生年金に関する次の説明で、説明が正しいと思うものは「正しい」、間違っていると思うものは「間違っている」、わからない場合は「わからない」をお選びください【7】厚生年金の保険料は、現在、年収の20%であり、労使で折半して支払っています】	319	14	290	15	
	100.0	4.4	90.9	4.7	
Q6. 厚生年金に関する次の説明で、説明が正しいと思うものは「正しい」、間違っていると思うものは「間違っている」、わからない場合は「わからない」をお選びください【8】現在、厚生年金の給付は、保険料からだけでなく、一部は税金から支払われています】	319	299	9	11	
	100.0	93.7	2.8	3.4	
Q6. 厚生年金に関する次の説明で、説明が正しいと思うものは「正しい」、間違っていると思うものは「間違っている」、わからない場合は「わからない」をお選びください【9】2004年の改正により保険料負担と給付の間にバランスがとれるようになるまで、年金額を前年より0.9%引き下げていくことになりました】	319	46	219	54	
	100.0	14.4	68.7	16.9	
Q6. 厚生年金に関する次の説明で、説明が正しいと思うものは「正しい」、間違っていると思うものは「間違っている」、わからない場合は「わからない」をお選びください【10】今後、厚生年金の保険料は毎年1%ずつ上がっていきます】	319	22	274	23	
	100.0	6.9	85.9	7.2	
Q6. 厚生年金に関する次の説明で、説明が正しいと思うものは「正しい」、間違っていると思うものは「間違っている」、わからない場合は「わからない」をお選びください【11】どの年代でも平均的に長生きすれば、厚生年金の給付は自分が払った保険料よりも大きくなります。払い損の世代はありません】	319	260	29	30	
	100.0	81.5	9.1	9.4	
Q6. 厚生年金に関する次の説明で、説明が正しいと思うものは「正しい」、間違っていると思うものは「間違っている」、わからない場合は「わからない」をお選びください【12】年金で大切なことは、もらう年金の額が払った保険料よりも多いかどうかです】	319	58	236	25	
	100.0	18.2	74.0	7.8	
Q6. 厚生年金に関する次の説明で、説明が正しいと思うものは「正しい」、間違っていると思うものは「間違っている」、わからない場合は「わからない」をお選びください【13】厚生年金における給付と負担の倍率は、どの世代でも等しくすべきです】	319	112	132	75	
	100.0	35.1	41.4	23.5	

回答者属性

性別

		度数	列 %
性別 区分	男性	161	51.4
	女性	152	48.6
	合計	313	100.0

年齢階層

		度数	列 %
年齢 階層	30代	158	50.5
	40代	155	49.5
	合計	313	100.0

独身・既婚

		度数	列 %
独身・ 既婚	独身	135	43.1
	既婚	178	56.9
	合計	313	100.0

職業分類

		度数	列 %
職業 分類	会社員・役員	313	100.0
	合計	313	100.0

地域分類

		度数	列 %
地域 分類	北海道	10	3.2
	東北	11	3.5
	関東	141	45.0
	北陸	7	2.2
	中部	30	9.6
	近畿	67	21.4
	中国	12	3.8
	四国	5	1.6
	九州	30	9.6
	その他		
合計	313	100.0	

世帯の年収区分

		度数	列 %
世帯 の年 収区 分	300万円未満	32	10.2
	300～500万円未満	97	31.0
	500～700万円未満	69	22.0
	700～1000万円未満	77	24.6
	1000～1500万円未満	28	8.9
	1500万円以上	10	3.2
	合計	313	100.0

同居家族の人数

		度数	列 %
同居 家族 の 人 数	ひとり暮らし	53	16.9
	2人	68	21.7
	3人	87	27.8
	4人	66	21.1
	5人	25	8.0
	6人	11	3.5
	7人以上	3	1.0
	合計	313	100.0

子供の人数

		度数	列 %
子供 の 人 数	なし	169	54.0
	1人	64	20.4
	2人	62	19.8
	3人	18	5.8
	4人		
	5人以上		
	合計	313	100.0

家族の世帯形態

		度数	列 %
家族 の 世 帯 形 態	一人暮らし	54	17.3
	夫婦のみ	52	16.6
	夫婦(または片親) と未婚の子供	134	42.8
	2世代同居	37	11.8
	3世代同居	20	6.4
	その他	16	5.1
	合計	313	100.0

単純集計【2回目：Bパターン】

Q1. 厚生年金の以下の事実について、あなたは納得できますか

	合計	全く納得できない	あまり納得できない	どちらかといえば納得できない	どちらかといえば納得できる	たいがい納得できる	非常に納得できる	無回答
Q1. 厚生年金の以下の事実について、あなたは納得できますか【1】厚生年金の保険料が今後毎年およそ0.354%ずつ上がって18.3%になること】	313	150	103	41	14	5		
	100.0	47.9	32.9	13.1	4.5	1.6		
Q1. 厚生年金の以下の事実について、あなたは納得できますか【2】年金財政を健全化するため、厚生年金の支給額が毎年0.8%～1.0%ずつ、実質的に減っていくこと】	313	151	101	45	9	5	2	
	100.0	48.2	32.3	14.4	2.9	1.6	.6	
Q1. 厚生年金の以下の事実について、あなたは納得できますか【3】少子高齢化によって、より少ない数の現役世代で高齢者を支えなくてはならない仕組みになっていること】	313	81	80	61	58	23	10	
	100.0	25.9	25.6	19.5	18.5	7.3	3.2	
Q1. 厚生年金の以下の事実について、あなたは納得できますか【4】あなたの世代の払った保険料で、現在の高齢世代の年金が払われていること】	313	67	54	76	74	33	9	
	100.0	21.4	17.3	24.3	23.6	10.5	2.9	
Q1. 厚生年金の以下の事実について、あなたは納得できますか【5】少子高齢化が進むにつれて、保険料が引き上げられること】	313	115	80	64	43	10	1	
	100.0	36.7	25.6	20.4	13.7	3.2	.3	
Q1. 厚生年金の以下の事実について、あなたは納得できますか【6】厚生年金の保険料と受け取る年金額を比べると、いまの50歳代よりも、あなたの世代の方が不利になっていること】	313	161	90	45	15	2		
	100.0	51.4	28.8	14.4	4.8	.6		
Q1. 厚生年金の以下の事実について、あなたは納得できますか【7】現在の厚生年金の保険料が給与のおよそ14%であること】	313	121	91	66	29	5	1	
	100.0	38.7	29.1	21.1	9.3	1.6	.3	
Q1. 厚生年金の以下の事実について、あなたは納得できますか【8】厚生年金の年金額は、物価が下落すると減らされること】	313	118	82	55	43	9	6	
	100.0	37.7	26.2	17.6	13.7	2.9	1.9	

Q2. あなたは厚生年金に関する次の文章について、どのように思いますか

	合計	全くそう思わない	あまりそう思わない	どちらかといえばそう思わない	どちらかといえばそう思う	だいたいそう思う	非常にそう思う	無回答
Q2. あなたは厚生年金に関する次の文章について、どのように思いますか【1】自分にとって厚生年金に入ることのメリットが、デメリットよりも大きい】	313	38	62	78	74	36	25	
	100.0	12.1	19.8	24.9	23.6	11.5	8.0	
Q2. あなたは厚生年金に関する次の文章について、どのように思いますか【2】自分がもらう頃の厚生年金の老齢給付は、それだけでは生活できないほど少ない】	313	10	2	13	68	80	140	
	100.0	3.2	.6	4.2	21.7	25.6	44.7	
Q2. あなたは厚生年金に関する次の文章について、どのように思いますか【3】厚生年金があるおかげで、老後や自分が死んだ時や障害を負った時に安心だ】	313	56	78	57	92	22	8	
	100.0	17.9	24.9	18.2	29.4	7.0	2.6	
Q2. あなたは厚生年金に関する次の文章について、どのように思いますか【4】厚生年金を廃止して、国民は自分で老後の準備をするべきだ】	313	32	61	78	72	32	38	
	100.0	10.2	19.5	24.9	23.0	10.2	12.1	

Q3. 厚生年金に関する次の説明で、説明が正しいと思うものは「正しい」、間違っていると思うものは「間違っている」、わからない場合は「わからない」をお選びください

	合計	正しい	間違っている	わからない	無回答
Q3. 厚生年金に関する次の説明で、説明が正しいと思うものは「正しい」、間違っていると思うものは「間違っている」、わからない場合は「わからない」をお選びください【1】厚生年金は67歳になるまで受け取ることができません】	313	27	246	40	
	100.0	8.6	78.6	12.8	
Q3. 厚生年金に関する次の説明で、説明が正しいと思うものは「正しい」、間違っていると思うものは「間違っている」、わからない場合は「わからない」をお選びください【2】あなたが保険料を払い終わらない間に死亡すると、あなたもあなたの配偶者も年金を受け取ることはできません】	313	35	223	55	
	100.0	11.2	71.2	17.6	
Q3. 厚生年金に関する次の説明で、説明が正しいと思うものは「正しい」、間違っていると思うものは「間違っている」、わからない場合は「わからない」をお選びください【3】あなたが保険料を払っている間に障害状態になると、年金が支給されます】	313	207	30	76	
	100.0	66.1	9.6	24.3	
Q3. 厚生年金に関する次の説明で、説明が正しいと思うものは「正しい」、間違っていると思うものは「間違っている」、わからない場合は「わからない」をお選びください【4】厚生年金のうち、老齢年金(老後の生活のための年金)は、支給開始から90歳までの間、支給されます】	313	30	167	116	
	100.0	9.6	53.4	37.1	
Q3. 厚生年金に関する次の説明で、説明が正しいと思うものは「正しい」、間違っていると思うものは「間違っている」、わからない場合は「わからない」をお選びください【5】厚生年金の額は、加入した期間の長さとその間の収入の高低によって決まります】	313	254	29	30	
	100.0	81.2	9.3	9.6	
Q3. 厚生年金に関する次の説明で、説明が正しいと思うものは「正しい」、間違っていると思うものは「間違っている」、わからない場合は「わからない」をお選びください【6】厚生年金では、あなたが払った保険料はそのまま、あなたの口座に積み立てられています】	313	21	260	32	
	100.0	6.7	83.1	10.2	
Q3. 厚生年金に関する次の説明で、説明が正しいと思うものは「正しい」、間違っていると思うものは「間違っている」、わからない場合は「わからない」をお選びください【7】厚生年金の保険料は、現在、年収の20%であり、労使で折半して支払っています】	313	97	116	100	
	100.0	31.0	37.1	31.9	
Q3. 厚生年金に関する次の説明で、説明が正しいと思うものは「正しい」、間違っていると思うものは「間違っている」、わからない場合は「わからない」をお選びください【8】現在、厚生年金の給付は、保険料からだけでなく、一部は税金から支払われています】	313	124	68	121	
	100.0	39.6	21.7	38.7	
Q3. 厚生年金に関する次の説明で、説明が正しいと思うものは「正しい」、間違っていると思うものは「間違っている」、わからない場合は「わからない」をお選びください【9】2004年の改正により保険料負担と給付の間にバランスがとれるようになるまで、年金額を前年より0.9%引き下げていくことになりました】	313	81	62	170	
	100.0	25.9	19.8	54.3	
Q3. 厚生年金に関する次の説明で、説明が正しいと思うものは「正しい」、間違っていると思うものは「間違っている」、わからない場合は「わからない」をお選びください【10】今後、厚生年金の保険料は毎年1%ずつ上がっていきます】	313	71	119	123	
	100.0	22.7	38.0	39.3	
Q3. 厚生年金に関する次の説明で、説明が正しいと思うものは「正しい」、間違っていると思うものは「間違っている」、わからない場合は「わからない」をお選びください【11】どの年代でも平均的に長生きすれば、厚生年金の給付は自分が払った保険料よりも大きくなります。払い損の世代はありません】	313	41	197	75	
	100.0	13.1	62.9	24.0	
Q3. 厚生年金に関する次の説明で、説明が正しいと思うものは「正しい」、間違っていると思うものは「間違っている」、わからない場合は「わからない」をお選びください【12】年金で大切なことは、もらう年金の額が払った保険料よりも多いかどうかです】	313	99	114	100	
	100.0	31.6	36.4	31.9	
Q3. 厚生年金に関する次の説明で、説明が正しいと思うものは「正しい」、間違っていると思うものは「間違っている」、わからない場合は「わからない」をお選びください【13】厚生年金における給付と負担の倍率は、どの世代でも等しくすべきです】	313	193	37	83	
	100.0	61.7	11.8	26.5	

Q4. 厚生年金には以下の特徴があります。あなたはそれらを、厚生年金に加入することのメリットだと思いますか

	合計	全くメリットでないと思う	あまりメリットでないと思う	どちらかといえばメリットでないと思う	どちらかといえばメリットだと思う	まあまあメリットだと思う	非常にメリットだと思う	無回答
Q4. 厚生年金には以下の特徴があります。あなたはそれらを、厚生年金に加入することのメリットだと思いますか【1】国民全員がどれか1つの公的年金に、必ず加入していること】	313 100.0	17 5.4	38 12.1	42 13.4	117 37.4	79 25.2	20 6.4	
Q4. 厚生年金には以下の特徴があります。あなたはそれらを、厚生年金に加入することのメリットだと思いますか【2】厚生年金の保険料の半分は勤め先が払っていること】	313 100.0	3 1.0	9 2.9	9 2.9	80 25.6	120 38.3	92 29.4	
Q4. 厚生年金には以下の特徴があります。あなたはそれらを、厚生年金に加入することのメリットだと思いますか【3】厚生年金では65歳から老齢年金が支給されること】	313 100.0	15 4.8	37 11.8	66 21.1	110 35.1	73 23.3	12 3.8	
Q4. 厚生年金には以下の特徴があります。あなたはそれらを、厚生年金に加入することのメリットだと思いますか【4】年金保険料を最低25年おさめると、年金が支給されること】	313 100.0	15 4.8	41 13.1	44 14.1	126 40.3	69 22.0	18 5.8	
Q4. 厚生年金には以下の特徴があります。あなたはそれらを、厚生年金に加入することのメリットだと思いますか【5】厚生年金は国が管理・運営していること】	313 100.0	52 16.6	48 15.3	50 16.0	97 31.0	47 15.0	19 6.1	
Q4. 厚生年金には以下の特徴があります。あなたはそれらを、厚生年金に加入することのメリットだと思いますか【6】厚生年金は、後に生まれた世代が、前に生まれた世代を順々に助ける仕組みになっていること】	313 100.0	52 16.6	65 20.8	106 33.9	58 18.5	26 8.3	6 1.9	
Q4. 厚生年金には以下の特徴があります。あなたはそれらを、厚生年金に加入することのメリットだと思いますか【7】厚生年金から支給される年金額には、定額部分と働いていた間の給与に比例する部分があること】	313 100.0	11 3.5	17 5.4	67 21.4	141 45.0	69 22.0	8 2.6	
Q4. 厚生年金には以下の特徴があります。あなたはそれらを、厚生年金に加入することのメリットだと思いますか【8】現在は、平均的な年収(560万円)の人が40年間加入した場合に、65歳から1ヶ月16万7000円が支給されること】	313 100.0	17 5.4	38 12.1	82 26.2	125 39.9	47 15.0	4 1.3	
Q4. 厚生年金には以下の特徴があります。あなたはそれらを、厚生年金に加入することのメリットだと思いますか【9】厚生年金の保険料は給料から天引きされていること】	313 100.0	21 6.7	19 6.1	44 14.1	141 45.0	62 19.8	26 8.3	
Q4. 厚生年金には以下の特徴があります。あなたはそれらを、厚生年金に加入することのメリットだと思いますか【10】あなた自身が受け取る厚生年金は、あなたが死ぬまで支給されること】	313 100.0	5 1.6	3 1.0	8 2.6	93 29.7	108 34.5	96 30.7	
Q4. 厚生年金には以下の特徴があります。あなたはそれらを、厚生年金に加入することのメリットだと思いますか【11】民間の個人年金と違って、厚生年金であれば、物価の変動に合わせて年金額も増減すること】	313 100.0	23 7.3	28 8.9	98 31.3	107 34.2	50 16.0	7 2.2	
Q4. 厚生年金には以下の特徴があります。あなたはそれらを、厚生年金に加入することのメリットだと思いますか【12】民間の個人年金と違って、厚生年金では、その時の現役世代の平均給与の変動に合わせて、年金額も増減すること】	313 100.0	26 8.3	41 13.1	119 38.0	98 31.3	23 7.3	6 1.9	
Q4. 厚生年金には以下の特徴があります。あなたはそれらを、厚生年金に加入することのメリットだと思いますか【13】厚生年金の給付が、保険料だけでなく、税金からも支払われているので、年金給付が保険料よりも多くなっていること】	313 100.0	11 3.5	21 6.7	41 13.1	149 47.6	64 20.4	27 8.6	
Q4. 厚生年金には以下の特徴があります。あなたはそれらを、厚生年金に加入することのメリットだと思いますか【14】税から支払われる割合が、今後、5年間、引き上げられること】	313 100.0	45 14.4	47 15.0	100 31.9	80 25.6	33 10.5	8 2.6	
Q4. 厚生年金には以下の特徴があります。あなたはそれらを、厚生年金に加入することのメリットだと思いますか【15】厚生年金では、加入者が死亡した時に、遺族に遺族年金が支給されること】	313 100.0	4 1.3	12 3.8	17 5.4	104 33.2	106 33.9	70 22.4	
Q4. 厚生年金には以下の特徴があります。あなたはそれらを、厚生年金に加入することのメリットだと思いますか【16】平均的な遺族厚生年金の額が月額およそ15万円であること】	313 100.0	9 2.9	16 5.1	57 18.2	129 41.2	84 26.8	18 5.8	
Q4. 厚生年金には以下の特徴があります。あなたはそれらを、厚生年金に加入することのメリットだと思いますか【17】身体に障害をおった加入者に、厚生年金から障害年金が支給されること】	313 100.0	4 1.3	7 2.2	16 5.1	122 39.0	101 32.3	63 20.1	
Q4. 厚生年金には以下の特徴があります。あなたはそれらを、厚生年金に加入することのメリットだと思いますか【18】平均的な障害年金の額は現在、月額およそ12万円であること】	313 100.0	13 4.2	30 9.6	75 24.0	125 39.9	60 19.2	10 3.2	

Q5. 「厚生年金では、どの世代をみても、支払った保険料よりも、受け取る給付の方が大きい」という国の説明を、あなたは信用していますか

	度数	列%
Q5. 「厚生年金では、どの世代をみても、支払った保険料よりも、受け取る給付の方が大きい」という国の説明を、あなたは信用していますか		
全く信用していない	132	42.2
あまり信用していない	124	39.6
どちらかといえば信用していない	30	9.6
どちらかといえば信用している	15	4.8
だいたい信用している	11	3.5
非常に信用している	1	.3
無回答		
合計	313	100.0

2006年1月30日の実験の説明

連絡先：kitamura@nli-research.co.jp

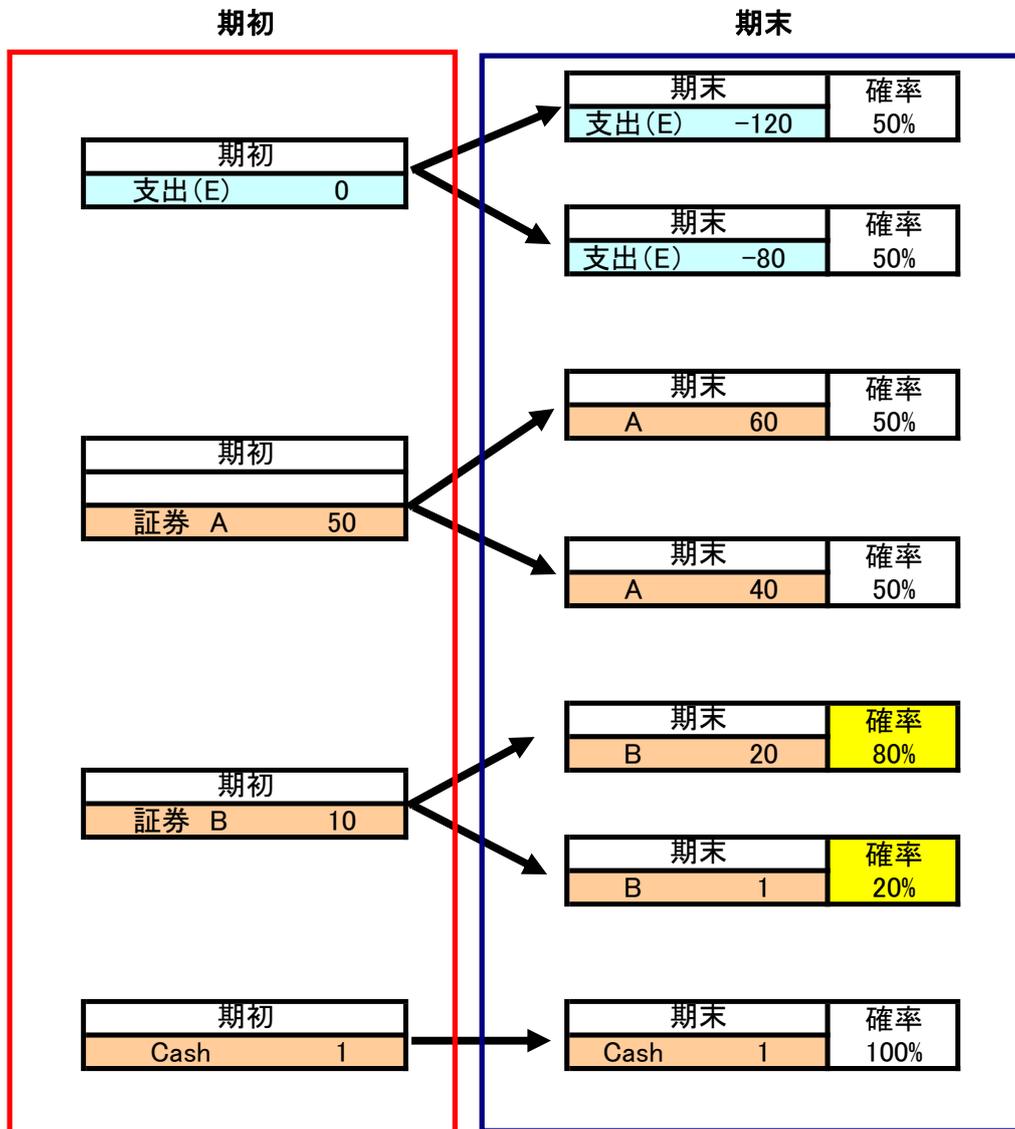
この実験説明書は、実験終了後に回収します。

実験の内容

1. みなさんは、100ドルの収入を得ます。
2. 1期間後、120ドルか80ドルの支出があります。支出に備えてください。支出が120ドルとなる確率は50%、80ドルになる確率も50%です。
3. 支出に備えるために、「証券A」、「証券B」、「現金」に投資することができます。
4. 「証券A」の値段は1枚50ドルです。0枚～2枚まで買えます。「証券A」は、1期間後に、60ドルか、40ドルかになります。60ドルになる確率は50%、40ドルになる確率は50%です。
5. 「証券B」の値段は1枚10ドルです。0枚～10枚まで買えます。「証券B」は、1期間後に、20ドルか、1ドルかになります。20ドルになる確率は80%、1ドルになる確率は20%です。
6. 「証券A」、「証券B」を買わないお金は、「現金」として残ります。現金には利息が付きません。
7. みなさんは、「証券A」、「証券B」を何枚買うか、「現金」をどれだけ残すか、選択してください。
8. 「証券A」、「証券B」、「現金」は、コンピュータを利用して購入します。利用方法は、後ほど説明します。
9. 本日の実験は、全部で6回行います。最初の1回は、コンピュータの操作方の練習で、みなさんに同じことをしていただきます。2回目以降は本番で、各自自由に各証券への投資額を決めてください。
10. ただし、本日の謝礼は、4回目（ゲーム1）と6回目（ゲーム2）の実験の結果のみについて支払います。
11. 謝礼については、次頁以降で説明します。

図表 1 : 各証券のペイオフ

実験中は必ずこの図を開いて机の上においてください。



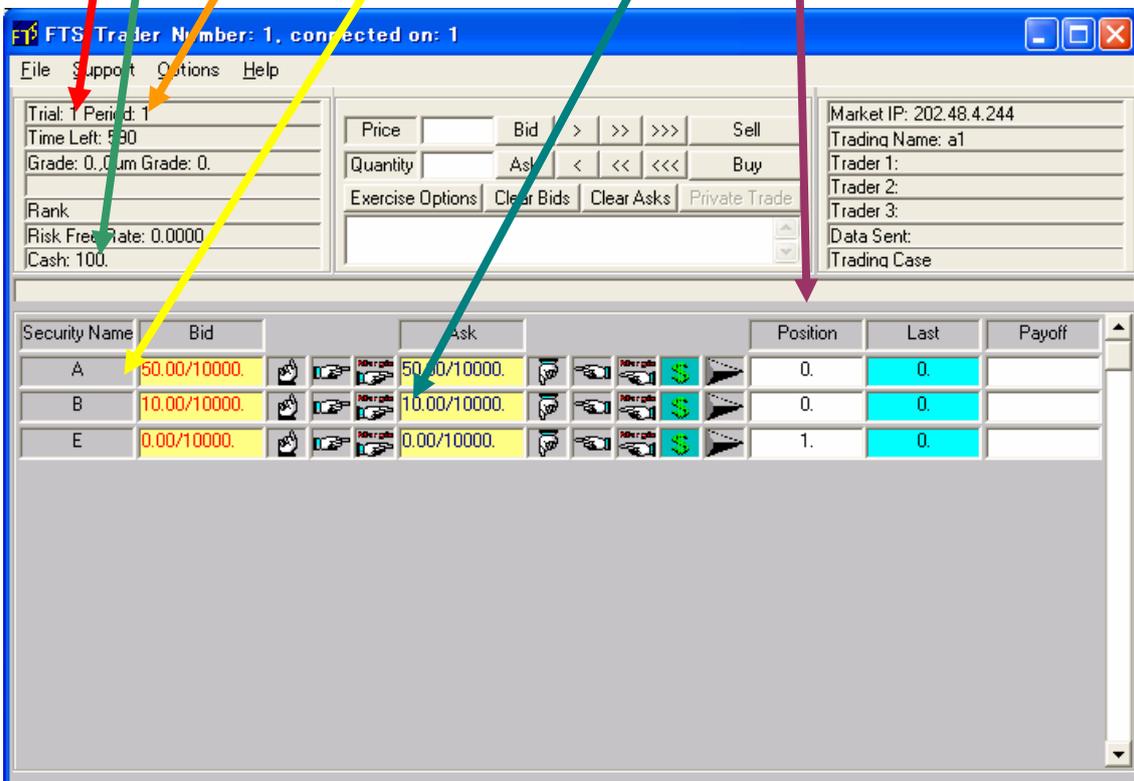
本日の謝礼

1. 実験謝礼は、ゲーム1（4回目の実験）に勝ったら3000円です。負けたら0円です。また、ゲーム2（6回目の実験）に勝ったら3000円です。負けたら0円。ゲーム1とゲーム2の両方買ったら合計6000円です。
2. 実験謝礼は、各ゲーム（4回目の実験と6回目の実験）で、証券A、証券Bのペイオフ（最終価格）が明らかになり、支出を支払った後の、最後に持っている現金の価値（=最終残高）で決まります。
3. 最終残高の最高額は120ドルです（証券Bを10枚買い、値上がって合計200ドルとなり、支出が80ドルであった場合）。
4. 最低額は-110ドルです（証券Bを10枚買い、値下がって合計10ドルとなり、支出が120ドルであった場合）
5. 実験謝礼は、各ゲーム、最終残高がプラスであった場合3000円で、マイナスであった場合0円です。
6. 証券A、B、支出の最終ペイオフは全員同じです。ただし、みなさんが証券A、証券B、現金にどれだけ投資するか異なるので、最終残高は、各自、異なります。
7. 当初100ドルで、「証券A」、「証券B」を買わないと、全て現金で保有されます。支出が120ドル（確率50%）であった場合、最終残高は-20ドルとなるため、実験謝礼は0円です。支出が80ドル（確率50%）であった場合、最終残高は20ドルとなるため、実験謝礼は3000円です。
8. 「証券A」、「証券B」、「現金」へ投資額を調整して、支出控除後の最終残高を0円以上にしてください。最終残高がゼロ円であった場合は、ゲームは勝ちとします。
9. 最終残高は実験毎に累積しません。操作練習を含めて4回目と6回目の実験の結果に、実験謝礼を支払います（1回目から3回目までと5回目の実験には謝礼を支払いません）。
10. 実験謝礼の他に、参加謝礼（交通費等）3000円を支払います。もし、実験に参加しないで、このまま、終了まで席にいた場合は、参加謝礼4000円を支払います。参加しない方は手を上げてください。

ソフトウェアの初期画面

- 初期画面には以下のトレーディングソフトが表示されています。
- これから、ソフトウェアの解説をします。初回は全員同じ取引をしていただきます。指示に従って、「証券 A」, 「証券 B」 を売買してください。
- 指示以外の操作はしないでください。

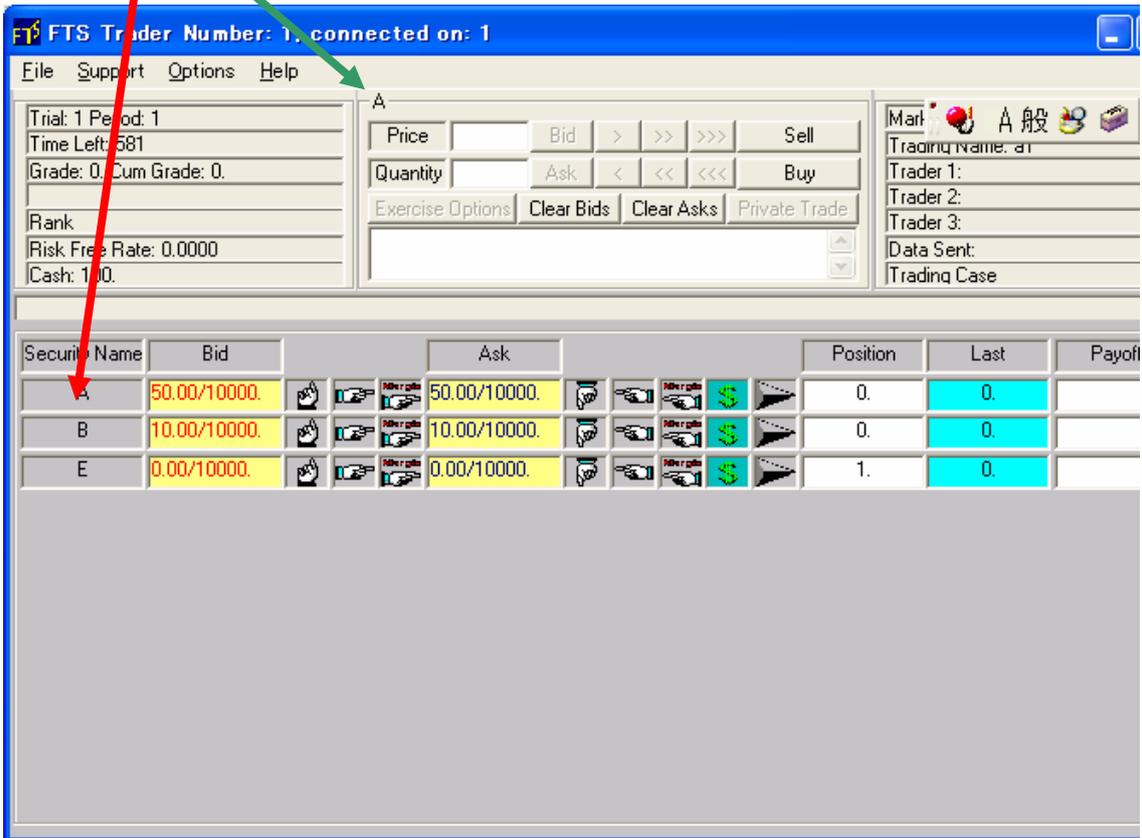
1. 「**Trial 1**」 は実験の 1 回目を表します。2 回目以降、**Trial 2**, などになります。
2. ソフトウェアの操作練習を含めて、4 回目 (**Trial 4**) と 6 回目 (**Trial 6**) の実験 (取引) での結果のみで謝礼を支払います。
3. 取引終了までの時間が「**Time Left**」 に表示されます。ゼロになったら取引終了です。2 回目以降は、1 回の実験時間は**120 秒**です。
4. 「**Cash**」 の部分に現金保有額が表示されます。初期値は 100 ドルです。
5. Security Name の列の **A** が「証券 A」、**B** が「証券 B」を表します。**E** は期末の支出を表します。
6. 証券 A の売買価格は 50 ドル、証券 B の売買価格は 10 ドルです。
7. 現在の「証券 A」, 「証券 B」の保有枚数は、「**Position**」に表示されます。初期値はゼロです。



上記の初期画面とは異なる方は手を上げてください。

「証券A」を買うための準備

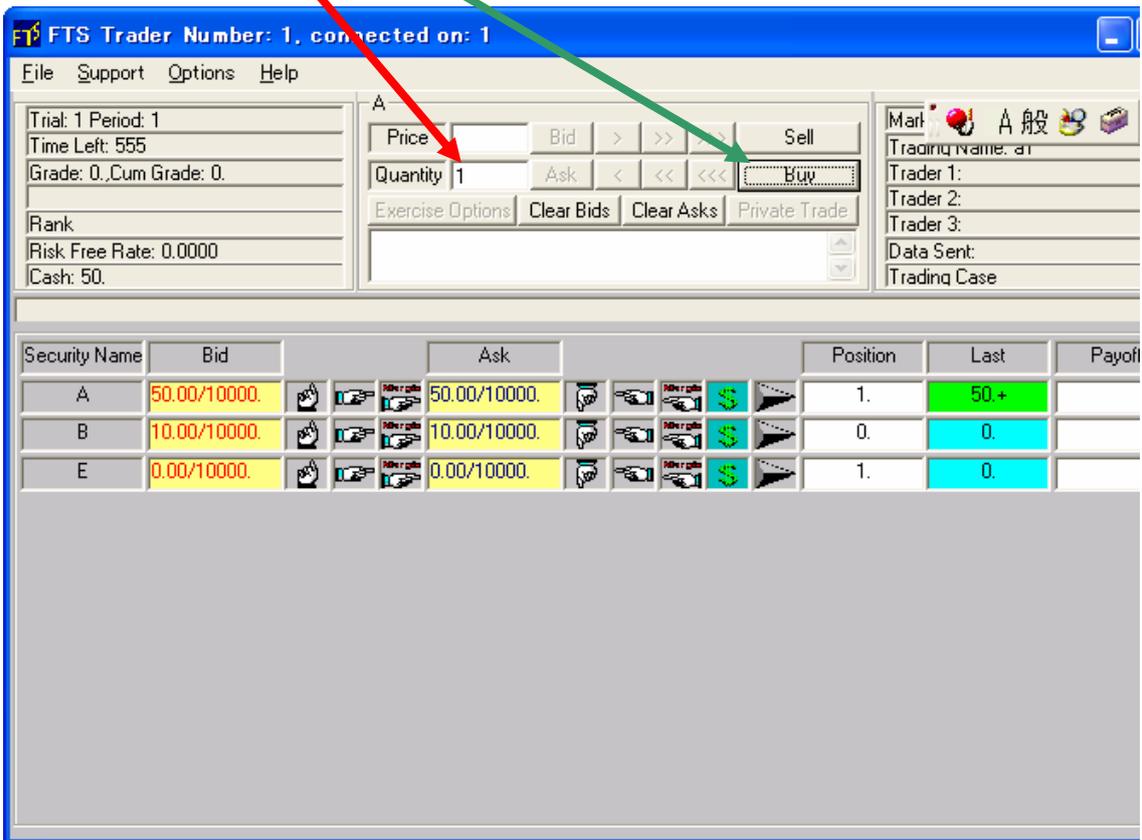
1. 「Security Name」の「A」の部分を1回クリックしてください。
2. 「A」の文字が黒くなったのを確認してください。



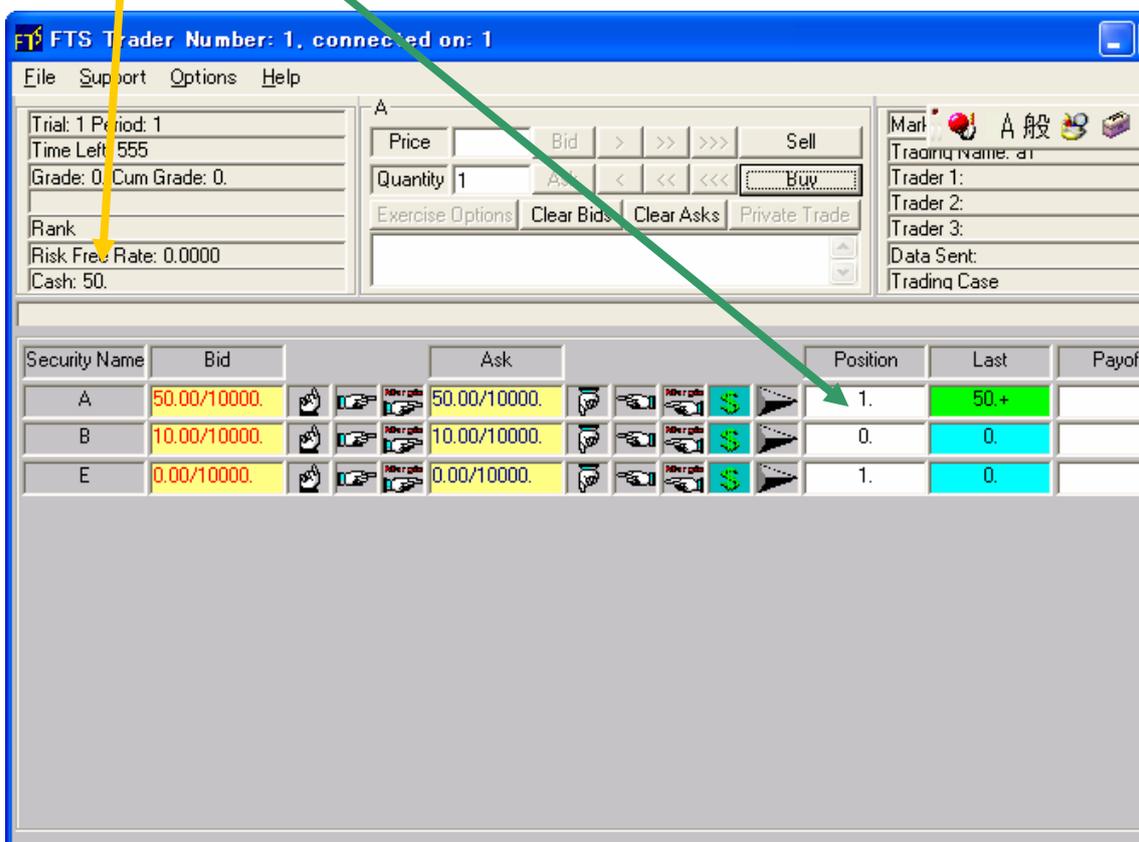
別の画面がでてきたら、手を上げてください。

これから、証券Aを1枚買ってみます。

1. 証券Aは1枚50ドルで、0枚～2枚まで購入できます。2枚以上は購入できません。
2. 「Quantity」に1を入力してください。（Priceの欄は空白のままにしておいてください）
3. 「Buy」をクリック



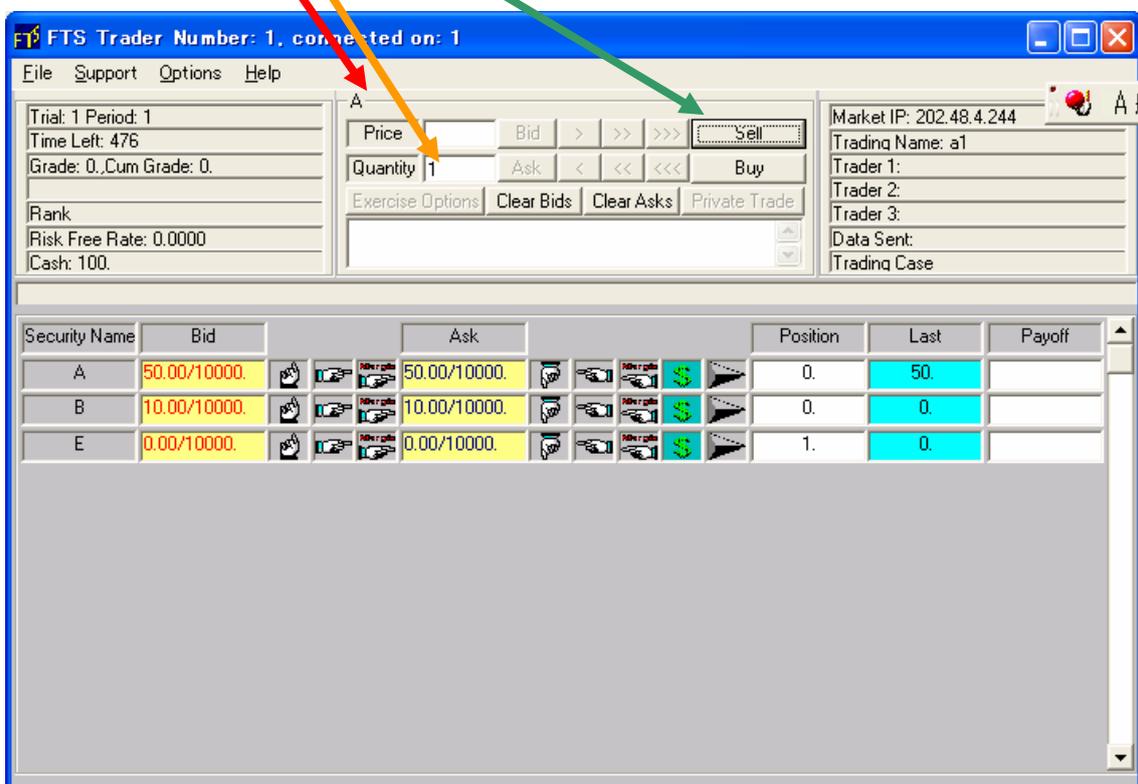
4. 「**Position**」(証券 A の保有量) が 1 枚になったのを確認
5. 「**Cash**」(現金) が 50 ドルになったのを確認 (証券 A は 1 枚 50 ドルで 1 枚購入したので、残りの現金は 50 ドルとなる).



証券 A を多く買いすぎたと思った場合、売却できます。証券 A は 1 枚 50 ドルで売却できます。ただし、現在の保有量以上に売却することはできません。

証券Aを 1 枚売却してみます。

1. 「A」の部分が黒字であるか確認してください。
2. 「Quantity」に 1 を入力。（Price の欄は空白のままにしておいてください）
3. 「Sell」をクリック



4. 「**Position**」が1枚から0枚に減少したのを確認
5. 「**Cash**」が50ドルから100ドルに増加したのを確認

Security Name	Bid	Ask	Position	Last	Payoff
A	50.00/10000	50.00/10000	0	50	
B	10.00/10000	10.00/10000	0	0	
E	0.00/10000	0.00/10000	1	0	

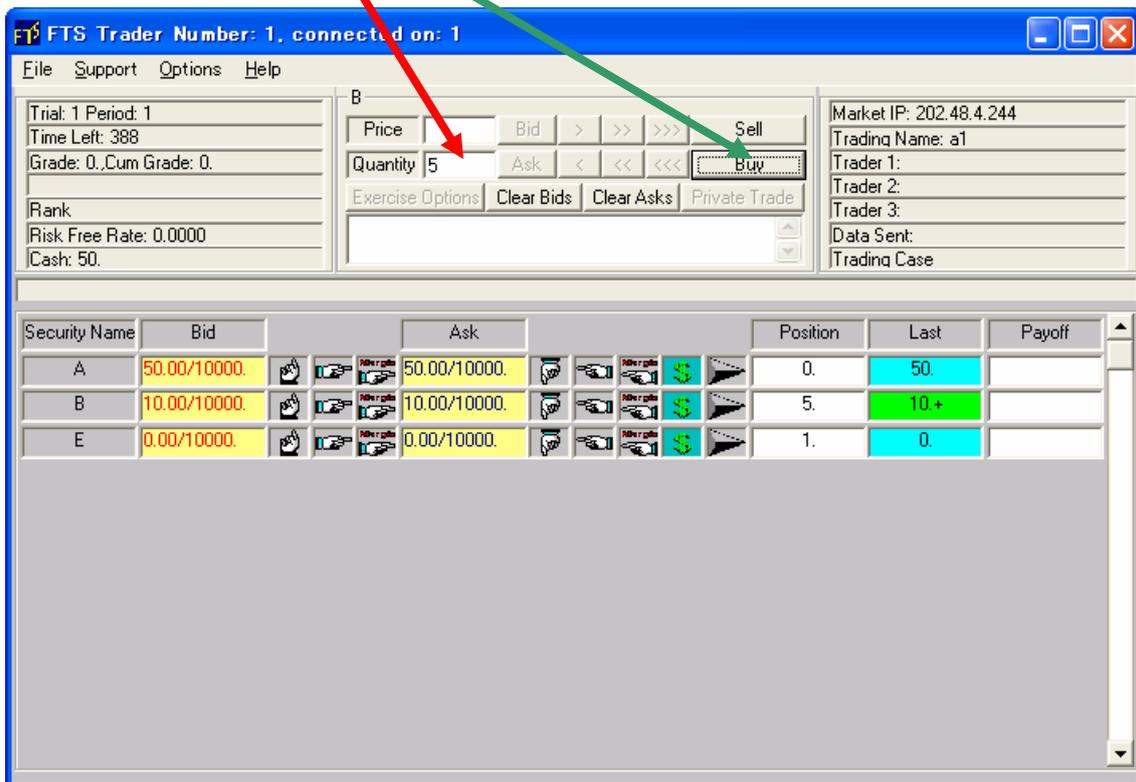
「証券B」を買うための準備

1. 「Security Name」の「B」の部分を1回クリックしてください。
2. 「B」の文字が黒くなったのを確認してください。

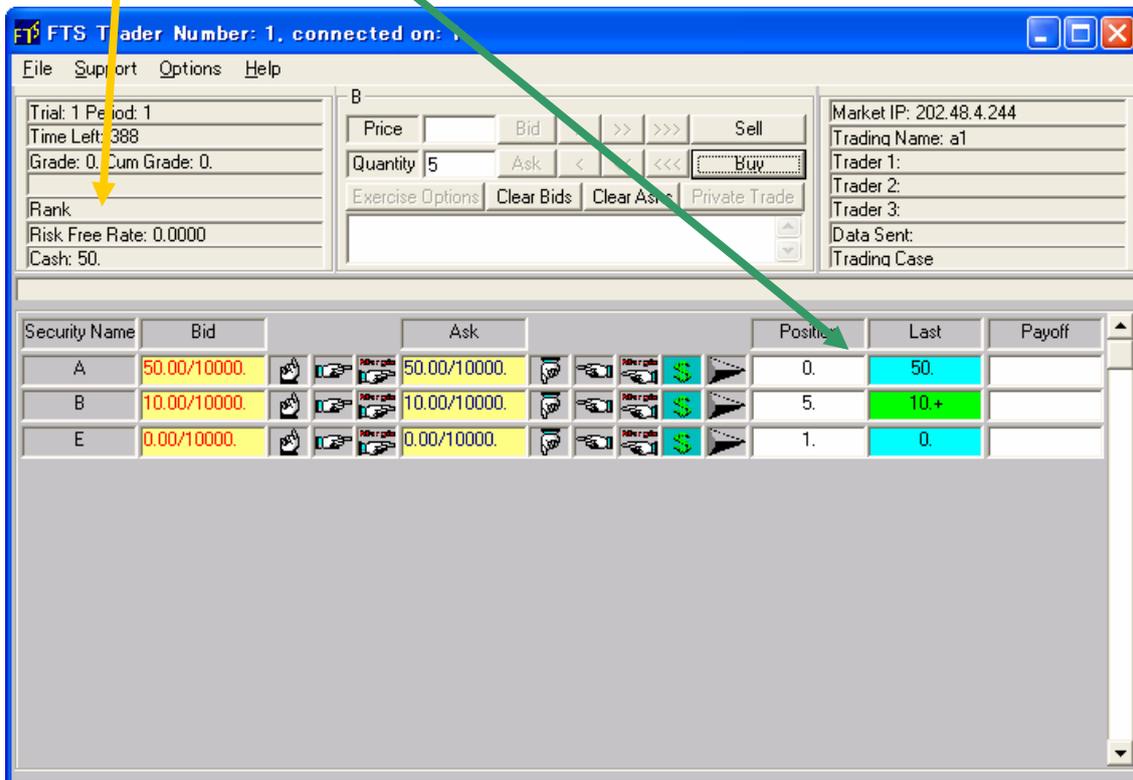


これから、証券Bを5枚買ってみます。

- 証券Bは1枚10ドルで、0枚~10枚まで購入できます。10枚以上は購入できません。
- 「Quantity」に5を入力してください。（Priceの欄は空白のままにしておいてください）
- 「Buy」をクリック



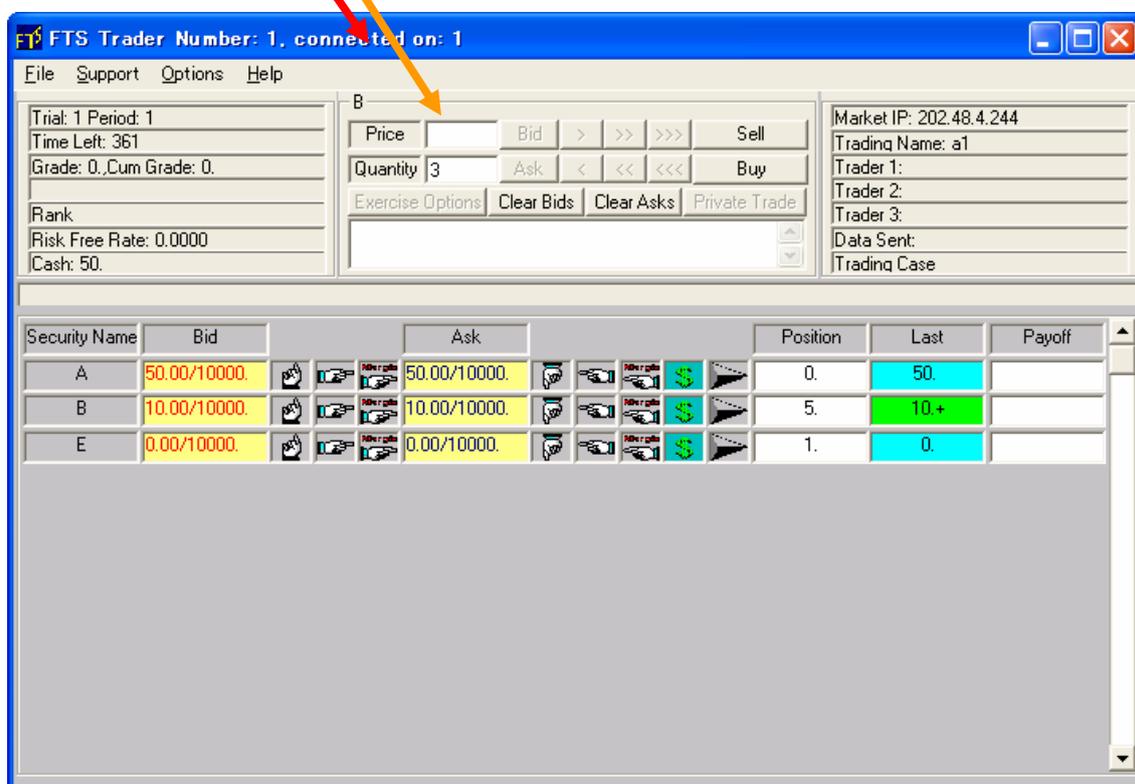
6. 「**Position**」(証券 B の保有量) が 5 枚になったのを確認
7. 「**Cash**」(現金) が 50 ドルになったのを確認 (証券 B は 1 枚 10 ドルで 5 枚購入したので、残りの現金は 50 ドルとなる).



証券 A を多く買いすぎたと思った場合、売却できます。証券 A は 1 枚 50 ドルで売却できます。ただし、現在の保有量以上に売却することはできません。

証券Bを3枚売却してみます。

1. 「B」の部分が黒字であるか確認してください。
2. 「Quantity」に3を入力。（Price の欄は空白のままにしておいてください）
3. 「Sell」をクリック

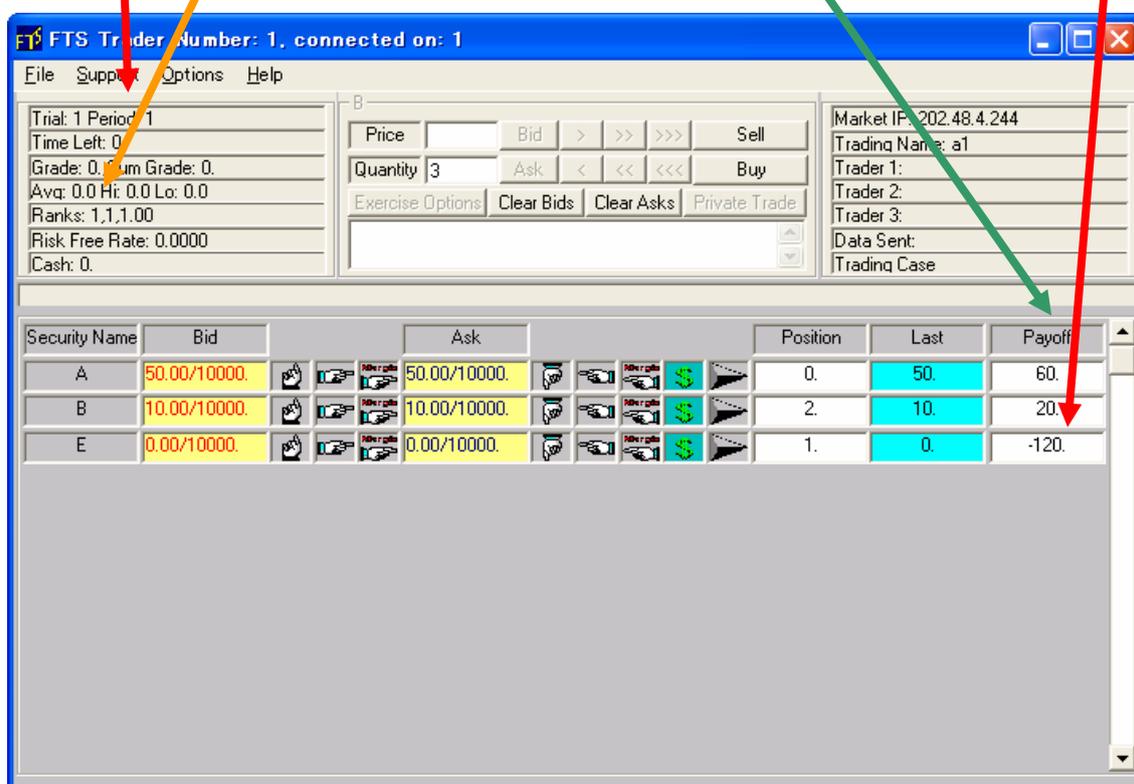


4. 「Position」が5枚から2枚に減少したのを確認
5. 「Cash」が50ドルから80ドルに増加したのを確認

Market IP: 202.48.4.244
Trading Name: a1
Trader 1:
Trader 2:
Trader 3:
Data Sent:
Trading Case

Security Name	Bid	Ask	Position	Last	Payoff
A	50.00/10000.	50.00/10000.	0.	50.	
B	10.00/10000.	10.00/10000.	2.	10.	
E	0.00/10000.	0.00/10000.	1.	0.	

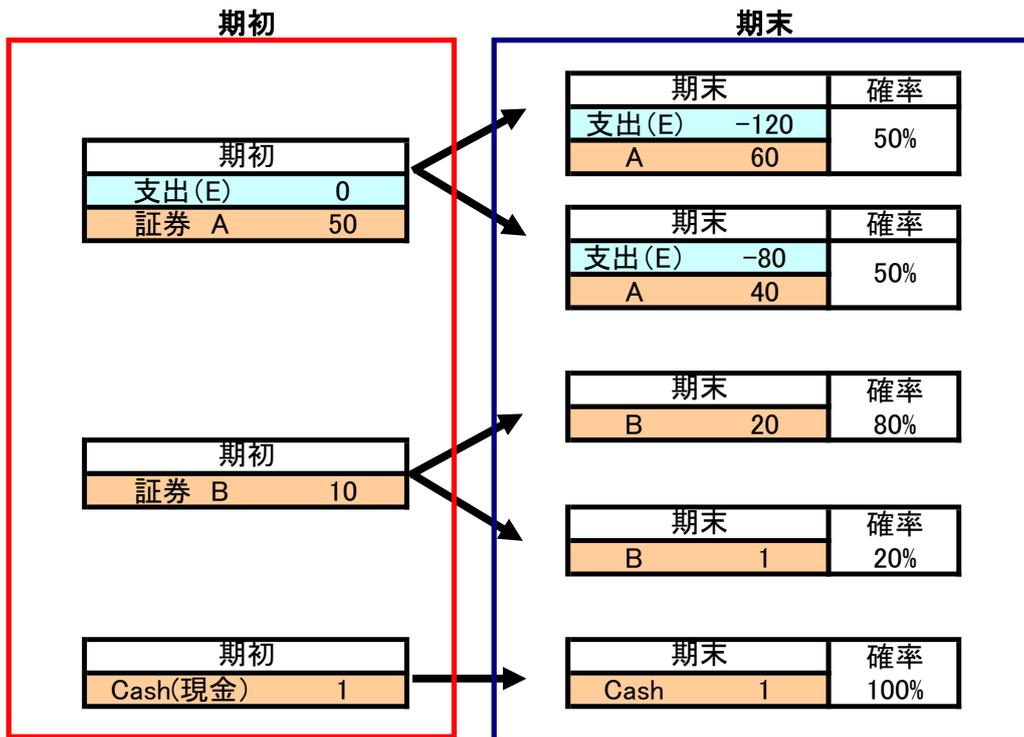
1. 「**Time Left**」(時間)がゼロになると取引終了です。
2. 支出と証券A, 証券Bの最終価格は「**Payoff**」(ペイオフ)を見るとわかります。証券Aは60ドル(値上がり)になりました。証券Bは20ドル(値上がり)になりました。支出は120ドルでした。この証券価格や支出はランダムです。
3. 取引終了後の「**Cash**」が最終残高です。「**Cash**」には、証券Aと証券Bを購入しないで残った現金(80ドル)に加えて、証券Bが1枚あたり20ドルに値上がりし2枚購入していたので、 $2 \times 20 = 40$ ドルが、証券Bの価値です。現金と証券Bの合計が120ドルになりますが、支出が120ドルであったため、最終残高がゼロドルとなりました。最終残高ゼロドル以上(ゼロドルを含む)が3000円の実験謝礼を受け取ることができます。



2回目の実験を始めます。Cashは100ドルに戻ります。Positionはゼロ枚に戻ります。「証券A」、「証券B」、「現金」の投資額を決めてください。

図表 2 : 各証券のペイオフ

実験中は必ずこの図を開いて机の上においてください。



2006年2月1日の実験の説明

連絡先：kitamura@nli-research.co.jp

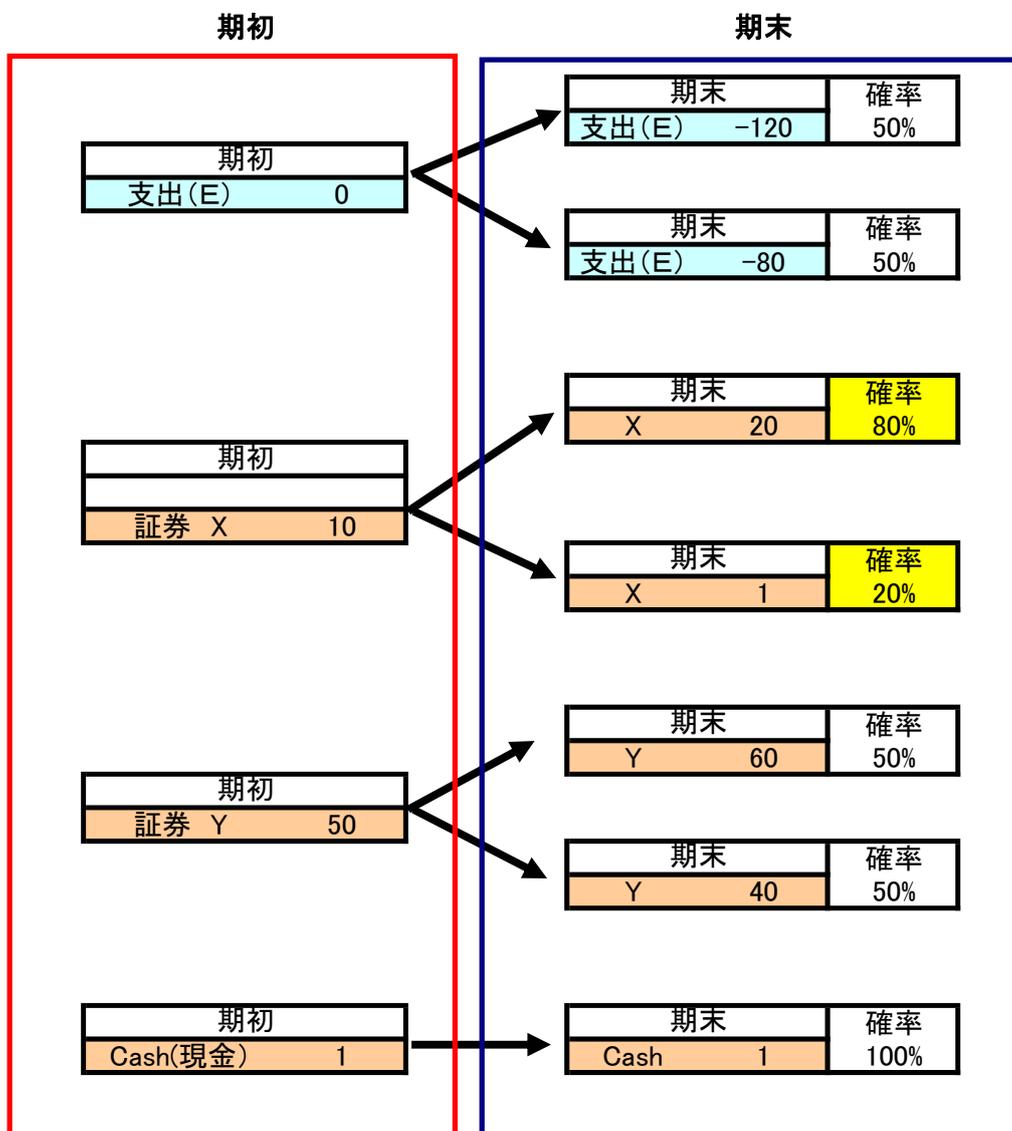
この実験説明書は、実験終了後に回収します。

実験の内容

1. みなさんは、100ドルの収入を得ます。
2. 1期間後、120ドルか80ドルの支出があります。支出に備えてください。支出が120ドルとなる確率は50%、80ドルになる確率も50%です。
3. 支出に備えるために、「証券X」、「証券Y」、「現金」に投資することができます。
4. 「証券X」の値段は1枚10ドルです。0枚～10枚まで買えます。「証券X」は、1期間後に、20ドルか、1ドルかになります。20ドルになる確率は80%、1ドルになる確率は20%です。
5. 「証券Y」の値段は1枚50ドルです。0枚～2枚まで買えます。「証券Y」は、1期間後に、60ドルか、40ドルかになります。60ドルになる確率は50%、40ドルになる確率は50%です。
6. 「証券X」、「証券Y」を買わないお金は、「現金」として残ります。現金には利息が付きません。
7. みなさんは、「証券X」、「証券Y」を何枚買うか、「現金」をどれだけ残すか、選択してください。
8. 「証券X」、「証券Y」、「現金」は、コンピュータを利用して購入します。利用方法は、後ほど説明します。
9. 本日の実験は、全部で6回行います。最初の1回は、コンピュータの操作方法の練習で、みなさんに同じことをしていただきます。2回目以降は本番で、各自自由に各証券への投資額を決めてください。
10. ただし、本日の謝礼は、4回目（ゲーム1）と6回目（ゲーム2）の実験の結果のみについて支払います。
11. 謝礼については、次頁以降で説明します。

図表 1 : 各証券のペイオフ

実験中は必ずこの図を開いて机の上においてください。



最終残高が,

21 ドル以上であれば, 実験謝礼は 4000 円です.

0 ドル以上, 21 ドル未満であれば, 実験謝礼は 3000 円です.

0 ドル未満であれば, 実験謝礼は 0 円です.

本日の謝礼

1. 実験謝礼は、各ゲーム（4回目の実験と6回目の実験）で、証券Xの証券Y、のペイオフ（最終価格）が明らかになり、支出（E）を支払った後の、最後に持っている現金の価値（=最終残高）で決まります。
2. 最終残高の最高額は120ドルです（証券Xを10枚買い、値上がって合計200ドルとなり、支出が80ドルであった場合）。
3. 最低額は-110ドルです（証券Xを10枚買い、値下がって合計10ドルとなり、支出が120ドルであった場合）
4. 実験謝礼は、各ゲーム、最終残高が、

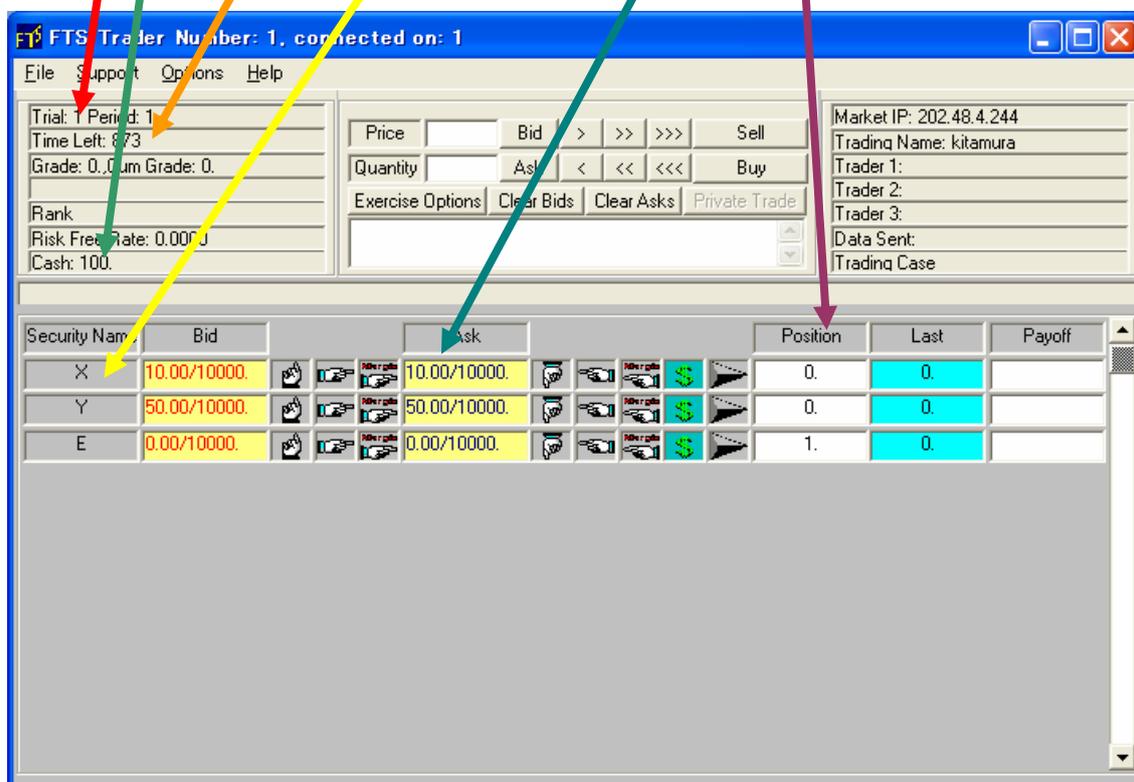
21ドル以上であれば4000円（21ドルを含む）、
0ドル以上21ドル未満であれば3000円（ゼロドルを含む）、
0ドル未満（マイナス）であれば0円です。

5. ゲーム1（4回目の実験）とゲーム2（6回目の実験）の合計額を実験謝礼として支払います。実験謝礼の最高額は8000円です。最低額はゼロ円です。
6. 証券X、Y、支出（E）の最終ペイオフは全員同じです。ただし、みなさんが証券X、証券Y、現金にどれだけ投資するか異なるので、最終残高は、各自、異なります。
7. 当初100ドルで、「証券X」、「証券Y」を買わないと、全て現金(Cash)で保有されます。支出が120ドル（確率50%）であった場合、最終残高は-20ドルとなるため、実験謝礼は0円です。支出が80ドル（確率50%）であった場合、最終残高は20ドルとなるため、実験謝礼は3000円です。
8. 「証券X」、「証券Y」、「現金」へ投資額を調整して、支出控除後の最終残高を0ドル以上にして、実験謝礼を受け取れるようにしてください。
9. 最終残高は実験毎に累積しません。 操作練習を含めて4回目と6回目の実験の結果に、実験謝礼を支払います（1回目から3回目までと5回目の実験には謝礼を支払いません）。
10. 実験謝礼の他に、参加謝礼（交通費等）3000円を支払います。 もし、実験に参加しないで、このまま、終了まで席にいた場合は、参加謝礼4000円を支払います。参加しない方は手を上げてください。

ソフトウェアの初期画面

- 初期画面には以下のトレーディングソフトが表示されています。
- これから、ソフトウェアの解説をします。初回は全員同じ取引をしていただきます。指示に従って、「証券X」、「証券Y」を売買してください。
- 指示以外の操作はしないでください。

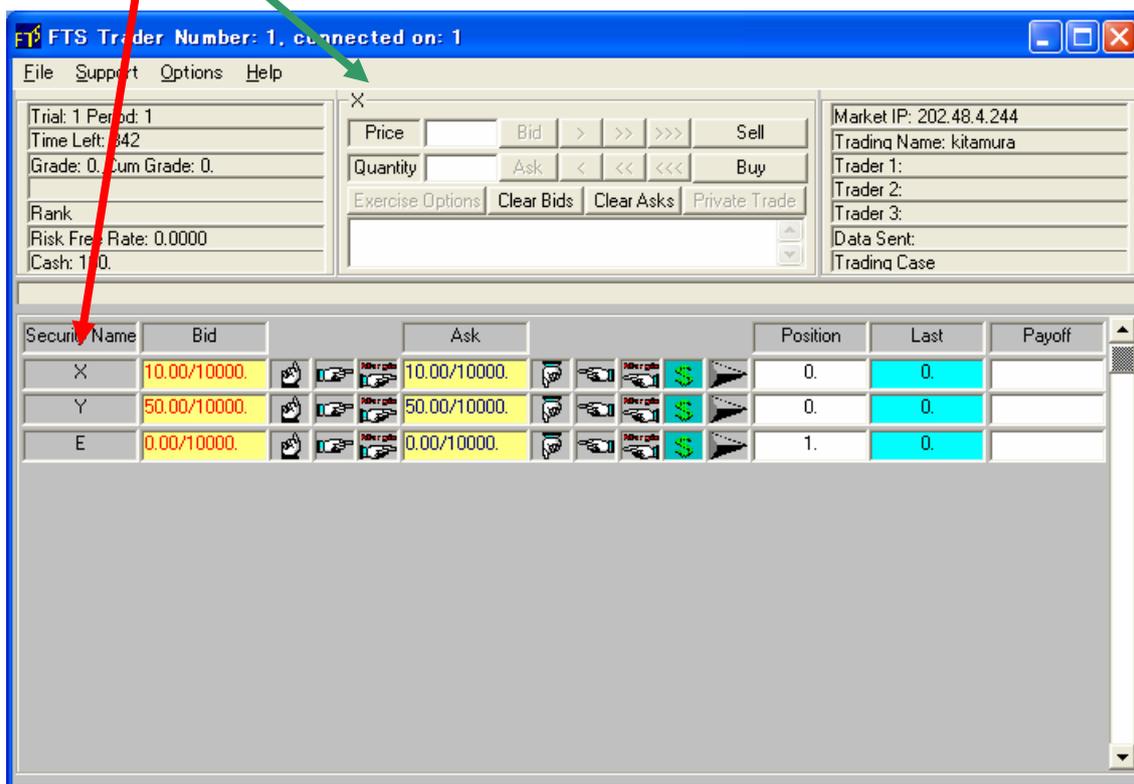
1. 「**Trial 1**」 は実験の 1 回目を表します。2 回目以降、Trial 2, などになります。
2. ソフトウェアの操作練習を含めて、4 回目 (Trial 4) と 6 回目 (Trial 6) の実験 (取引) での結果のみで謝礼を支払います。
3. 取引終了までの時間が「**Time Left**」に表示されます。ゼロになったら取引終了です。2 回目以降は、1 回の実験時間は **120 秒**です。
4. 「**Cash**」の部分に現金保有額が表示されます。初期値は 100 ドルです。
5. Security Name の列の **X** が「証券X」、**Y** が「証券Y」を表します。**E** は期末の支出を表します。
6. 証券Xの売買価格は 10 ドル、証券Yの売買価格は 50 ドルです。
7. 現在の「証券X」、「証券Y」の保有枚数は、「**Position**」に表示されます。初期値はゼロです。



上記の初期画面とは異なる方は手を上げてください。

「証券X」を買うための準備

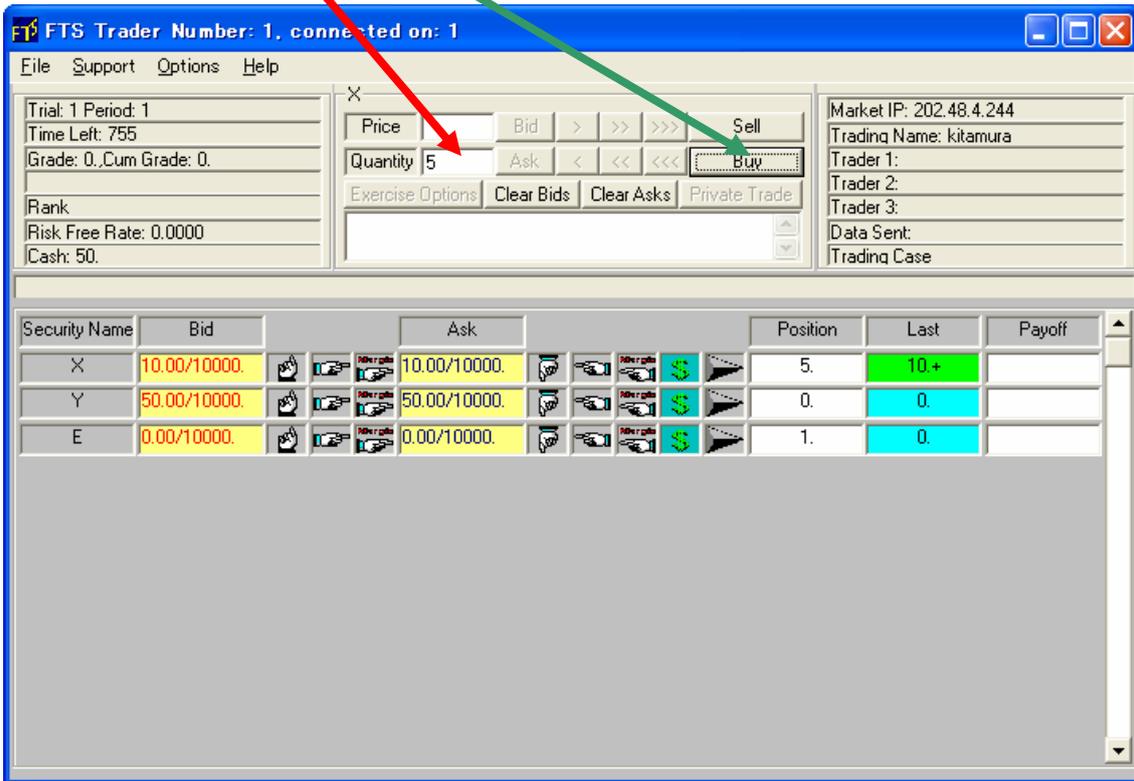
1. 「**Security Name**」の「**X**」の部分を1回クリックしてください。
2. 「**X**」の文字が黒くなったのを確認してください。



別の画面がでてきたら、手を上げてください。

これから、証券Xを5枚買ってみます。

1. 証券Xは1枚10ドルで、0枚～10枚まで購入できます。11枚以上は購入できません。
2. 「Quantity」に5を入力してください。（Priceの欄は空白のままにしておいてください）
3. 「Buy」をクリック



4. Xの「Position」(証券Xの保有量)が5枚になったのを確認
5. 「Cash」(現金)が50ドルになったのを確認(証券Xは1枚10ドルで5枚購入したので、残りの現金は50ドルとなる)。

The screenshot shows the FTS Trader software interface. The title bar reads "FTS Trader Number: 1, connected on: 1". The menu bar includes "File", "Support", "Options", and "Help".

On the left side, there is a panel with the following information:

- Trial: 1 Period: 1
- Time Left: 755
- Grade: 0, Cum Grade: 0
- Rank
- Risk Free Rate: 0.0000
- Cash: 50

In the center, there is a trading panel for security "X". It includes fields for "Price", "Quantity" (set to 5), and buttons for "Bid", "Ask", "Buy", and "Sell". There are also buttons for "Exercise Options", "Clear Bids", "Clear Asks", and "Private Trade".

On the right side, there is a panel with the following information:

- Market IP: 202.48.4.244
- Trading Name: kitamura
- Trader 1:
- Trader 2:
- Trader 3:
- Data Sent:
- Trading Case

At the bottom, there is a table with the following columns: Security Name, Bid, Ask, Position, Last, and Payoff.

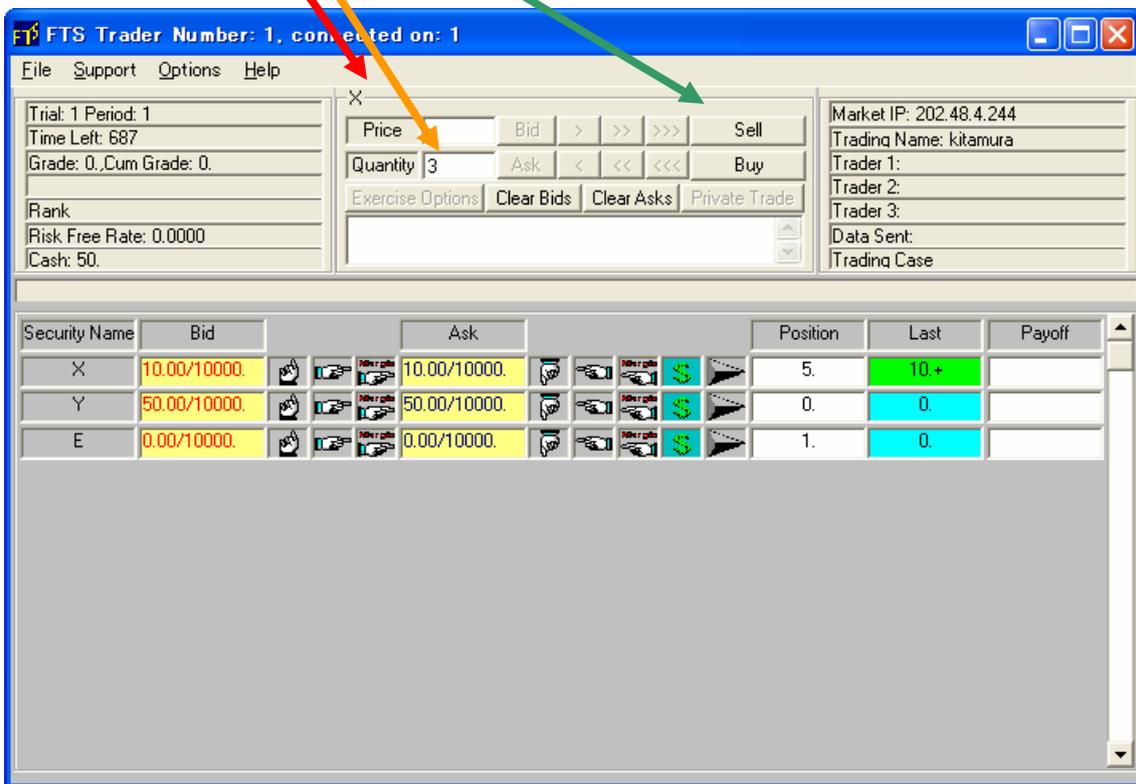
Security Name	Bid	Ask	Position	Last	Payoff
X	10.00/10000	10.00/10000	5	10.00	
Y	50.00/10000	50.00/10000	0	0.00	
E	0.00/10000	0.00/10000	1	0.00	

A green arrow points from the text in step 4 to the "Position" column for security X in the table. A yellow arrow points from the text in step 5 to the "Cash" field in the left panel.

証券Xを多く買いすぎたと思った場合、売却できます。証券Xは1枚10ドルで売却できます。ただし、現在の保有量以上に売却することはできません。

証券Xを3枚売却してみます。

1. 「X」の部分黒字であるか確認してください。
2. 「Quantity」に3を入力。（Priceの欄は空白のままにしておいてください）
3. 「Sell」をクリック



4. Xの「Position」が5枚から2枚に減少したのを確認
5. 「Cash」が50ドルから80ドルに増加したのを確認

Security Name	Bid	Ask	Position	Last	Payoff
X	10.00/10000.	10.00/10000.	2.	10.	
Y	50.00/10000.	50.00/10000.	0.	0.	
E	0.00/10000.	0.00/10000.	1.	0.	

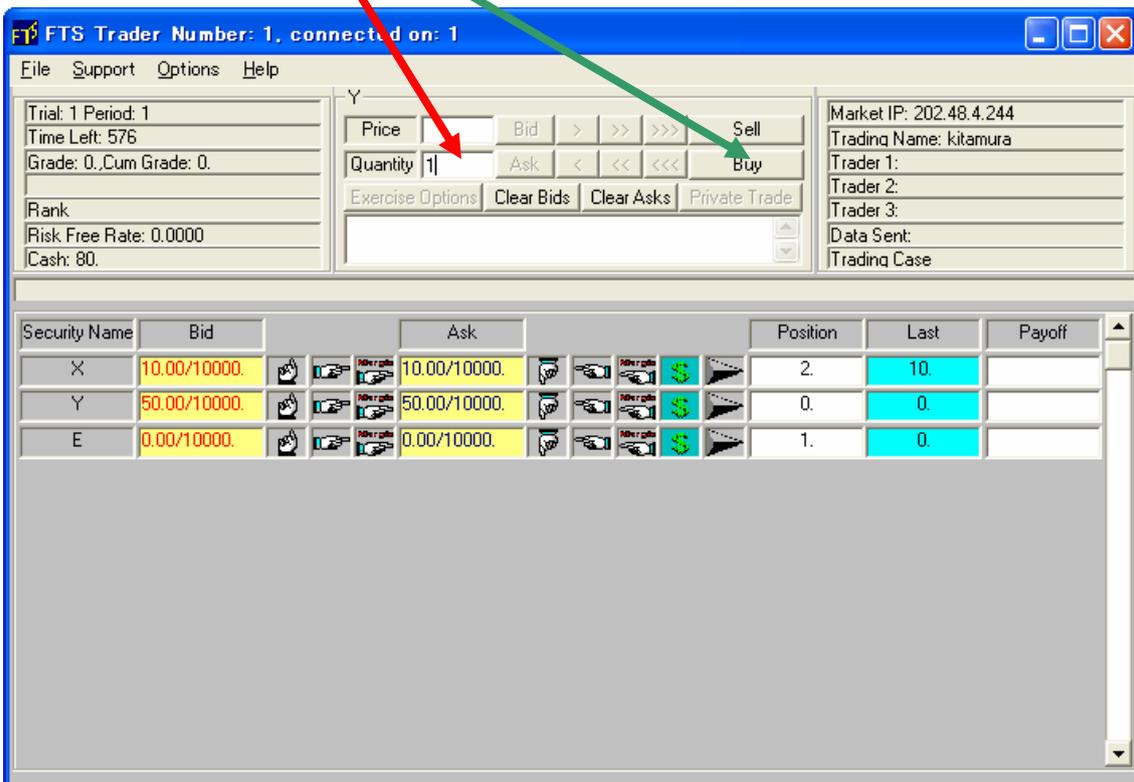
「証券Y」を買うための準備

1. 「**Security Name**」の「Y」の部分をクリックしてください。
2. 「Y」の文字が黒くなったのを確認してください。

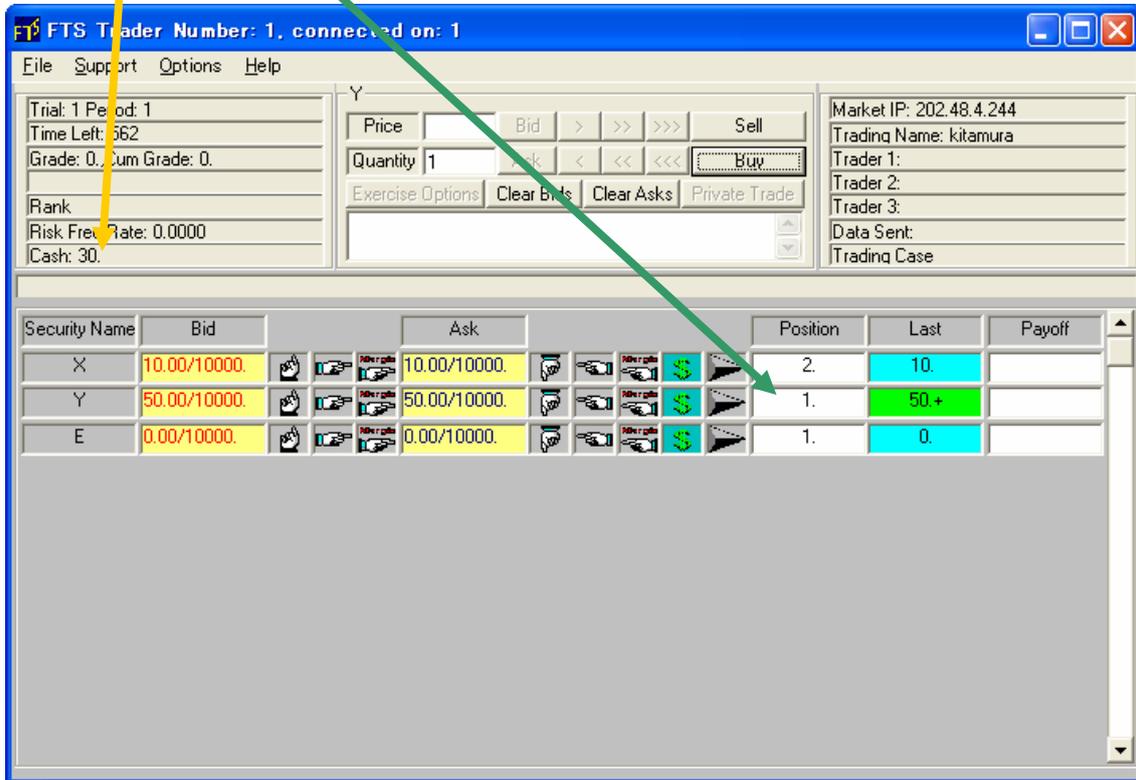


これから、証券Yを1枚買ってみます。

- 証券Yは1枚50ドルで、0枚~2枚まで購入できます。3枚以上は購入できません。
- 「**Quantity**」に1を入力してください。（Priceの欄は空白のままにしておいてください）
- 「**Buy**」をクリック



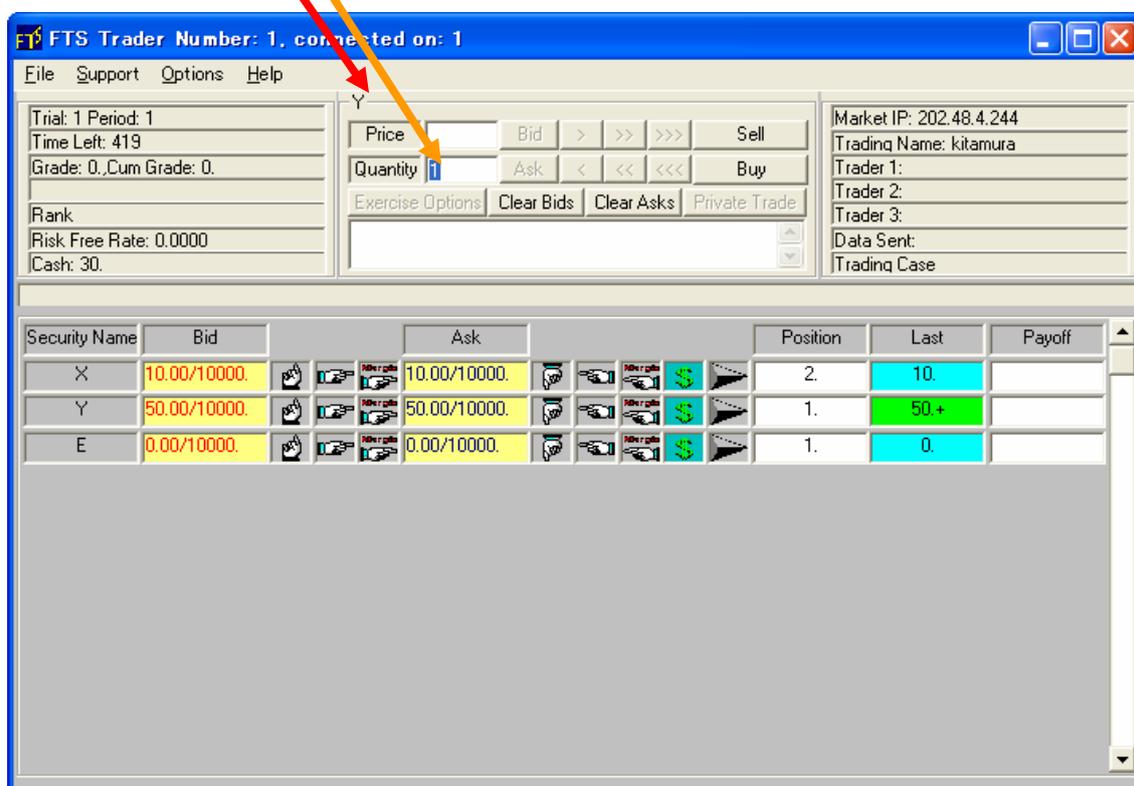
6. Yの「**Position**」(証券Yの保有量)が1枚になったのを確認
7. 「**Cash**」(現金)が30ドルになったのを確認(元々現金が80ドル,証券Yを1枚50ドルで1枚購入したので,残りの現金は30ドルとなる).



証券Yを多く買いすぎたと思った場合、売却できます。証券Yは1枚50ドルで売却できます。ただし、現在の保有量以上に売却することはできません。

証券Yを1枚売却してみます。

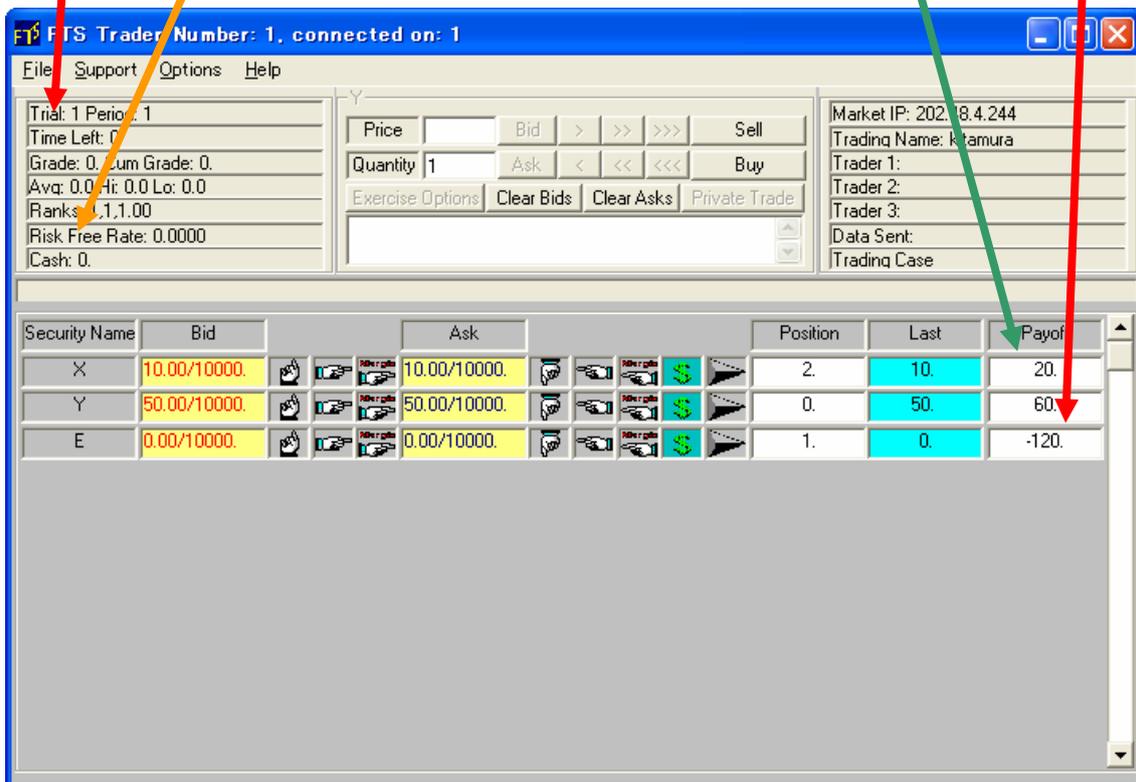
1. 「Y」の部分黒字であるか確認してください。
2. 「Quantity」に1を入力。（Priceの欄は空白のままにしておいてください）
3. 「Sell」をクリック



4. Yの「Position」が1枚から0枚に減少したのを確認
5. 「Cash」が30ドルから80ドルに増加したのを確認

Security Name	Bid	Ask	Position	Last	Payoff
X	10.00/10000.	10.00/10000.	2.	10.	
Y	50.00/10000.	50.00/10000.	0.	50.	
E	0.00/10000.	0.00/10000.	1.	0.	

1. 「**Time Left**」(時間)がゼロになると取引終了です。
2. 支出と証券X, 証券Yの最終価格は「**Payoff**」(ペイオフ)を見るとわかります。証券Xは20ドル(値上がり)になりました。証券Yは60ドル(値上がり)になりました。支出は120ドルでした。この証券価格や支出はランダムです。
3. 取引終了後の「**Cash**」が最終残高です。「**Cash**」には、証券Xと証券Yを購入しないで残った現金(80ドル)に加えて、証券Xが1枚あたり20ドルは値上がりし、2枚購入していたので、 $2 \times 20 = 40$ ドルが、証券Xの価値として加わります。現金と証券Xの合計が120ドルになりますが、支出が120ドルであったため、「**Cash**」の最終残高が0ドルとなりました。最終残高ゼロドル(ゼロドルを含む)の場合、3000円の実験謝礼を受け取ることができます。



取引戦略を考えてください。3分後に2回目の実験を始めます。Cashは100ドルに戻ります。Positionはゼロ枚に戻ります。「証券X」、「証券Y」、「現金」の投資額を決めてください。

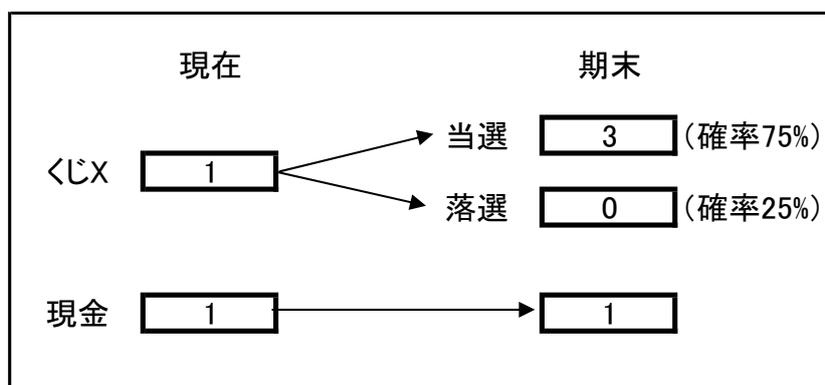
2006年1月27日の実験の説明
 連絡先：kitamura@nli-research.co.jp

この実験説明書は、実験終了後に回収します。

実験の内容

1. みなさんは、100ドルの現金を得ます。
2. これで「くじ X」を買ってください。
3. 「くじ X」の値段は 1枚1ドルです。0枚～100枚まで買えます。
4. 「くじ X」に当選すれば（当たれば）3倍（3ドル）になります。落選すれば（はずれば）ゼロドルです（図表1参照）。
5. くじ Xの当選（あたる）確率は 75%。落選（はずれる）確率は 25%です。
6. 「くじ X」の当選・落選は、みなさん同じように決まります。つまり、当選する場合は、この実験室の方が全員当選します。逆に、落選の場合には、全員落選です。
7. 「くじ X」を買わない場合は、「現金」として残ります。現金には利息が付きません。
8. みなさんは、「くじ X」を何枚買うか、「現金」をどれだけ残すか、選択してください。
9. 「くじ X」と「現金」は、コンピュータを利用して購入します。利用方法は、後ほど説明します。
10. 本日の実験は、全部で6回行います。最初の1回は、コンピュータの操作方法の練習で、みなさんに同じことをしていただきます。2回目以降は本番で、各自自由に「くじ X」の購入枚数を決めてください。
11. ただし、本日の謝礼は、6回目の実験の結果のみについて支払います。
12. 謝礼については、次頁以降で説明します。

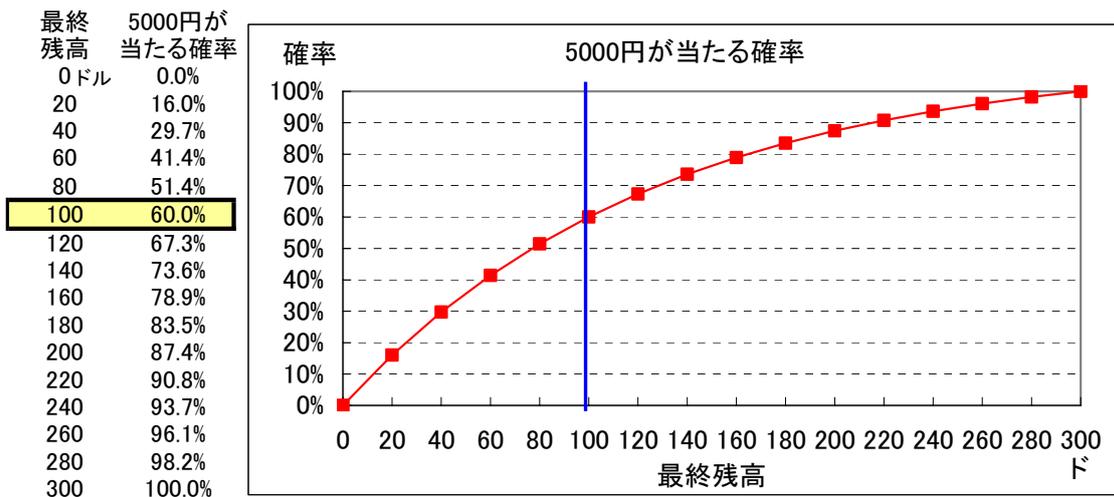
図表1：くじ X と現金のペイオフ



本日の謝礼

1. 謝礼は、参加謝礼（交通費等）4000円と、実験謝礼（5000円か0円）です。
2. 実験謝礼は、6回目の実験での「くじX」の当選・落選の確定後、最後に持っている現金の価値（=最終残高）で決まります。
3. 最終残高の最高額は300ドルです（くじXを100枚買い、当選した場合）。
4. 最低額は0ドルです（くじXを100枚買い、はずれた場合）。
5. 実験謝礼は、6回目の実験後の最終残高に基づいた「別のくじ」をひいて決めます。この「別のくじ」に当たった場合は5000円、はずれは0円です。
6. 最終残高に基づき、各自、以下の図表2から「5000円が当たる確率」を計算します。最終残高が多いほど、5000円が当たる確率が高まります。ただし、「くじX」の購入枚数が、各自異なりますので、5000円が当たる確率は、それぞれ、異なります。

図表2：最終残高と5000円が当たる確率

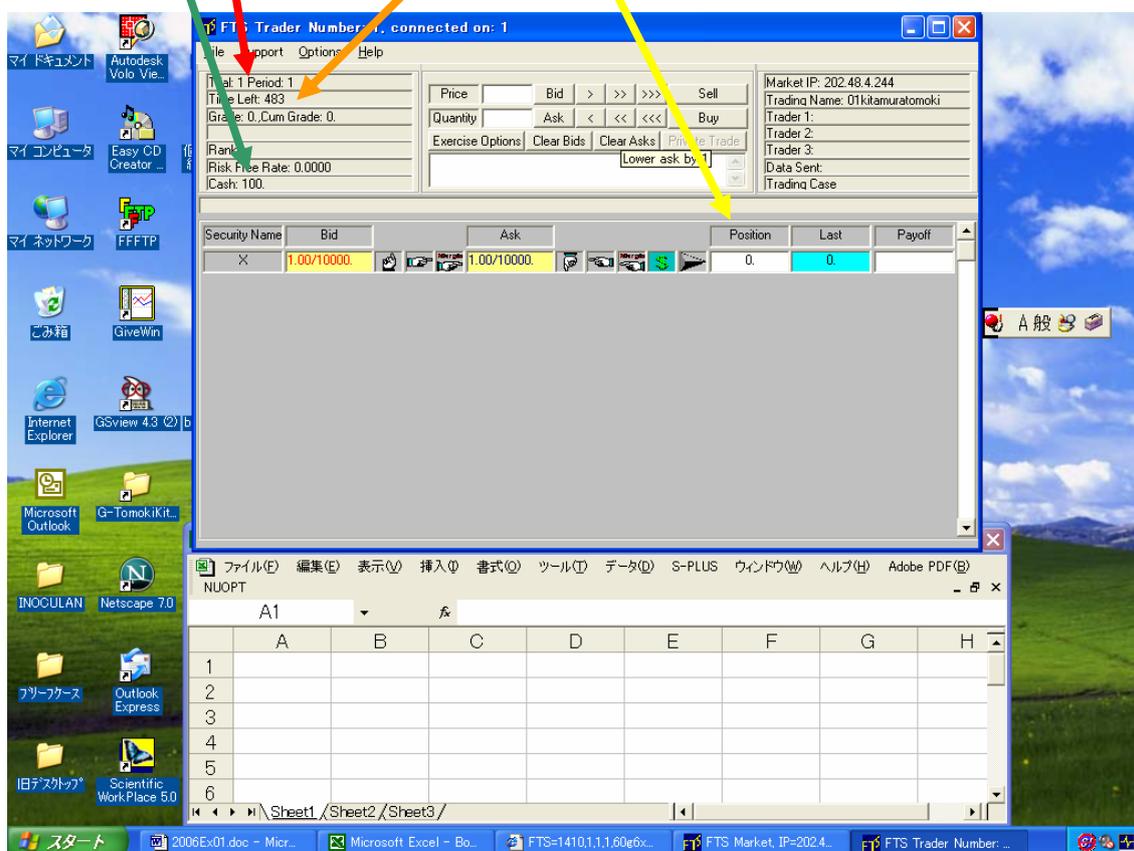


7. 6回目の実験後、くじを引き、当選金を決めます。最終残高が多いほど、5000円は当たりやすくなります。ただし、最終残高が増えるほどは、5000円が当たる確率は増えません。
8. 当初100ドルで、「くじX」を買わないと、全て現金で保有されますので、最終残高も100ドルです。その場合、5000円が当たる確率は60%です。
9. 「くじX」を100枚買い、当選すれば、最終残高は300ドルになり、5000円が当たる確率は100%です。逆に100枚「くじX」を買い、落選してしまうと、最終残高は0ドルで、5000円が当たる確率は0%です。
10. 「くじX」の枚数を調整して、5000円が当たる確率を高めてください。
11. 最終残高は実験毎に累積しません。 操作練習を含めて6回目の実験の結果に、実験謝礼を支払います（1回目から5回目までは謝礼を支払いません）。

ソフトウェアの初期画面

- 初期画面は以下のようになっています。トレーディングソフトが上、エクセルシートが下です。必ず、エクセルが見えるようにしてください。
- これから、ソフトウェアの解説をします。初回は全員同じ取引をしていただきます。指示に従って、「くじX」を購入してください。
- 指示以外の操作はしないでください。

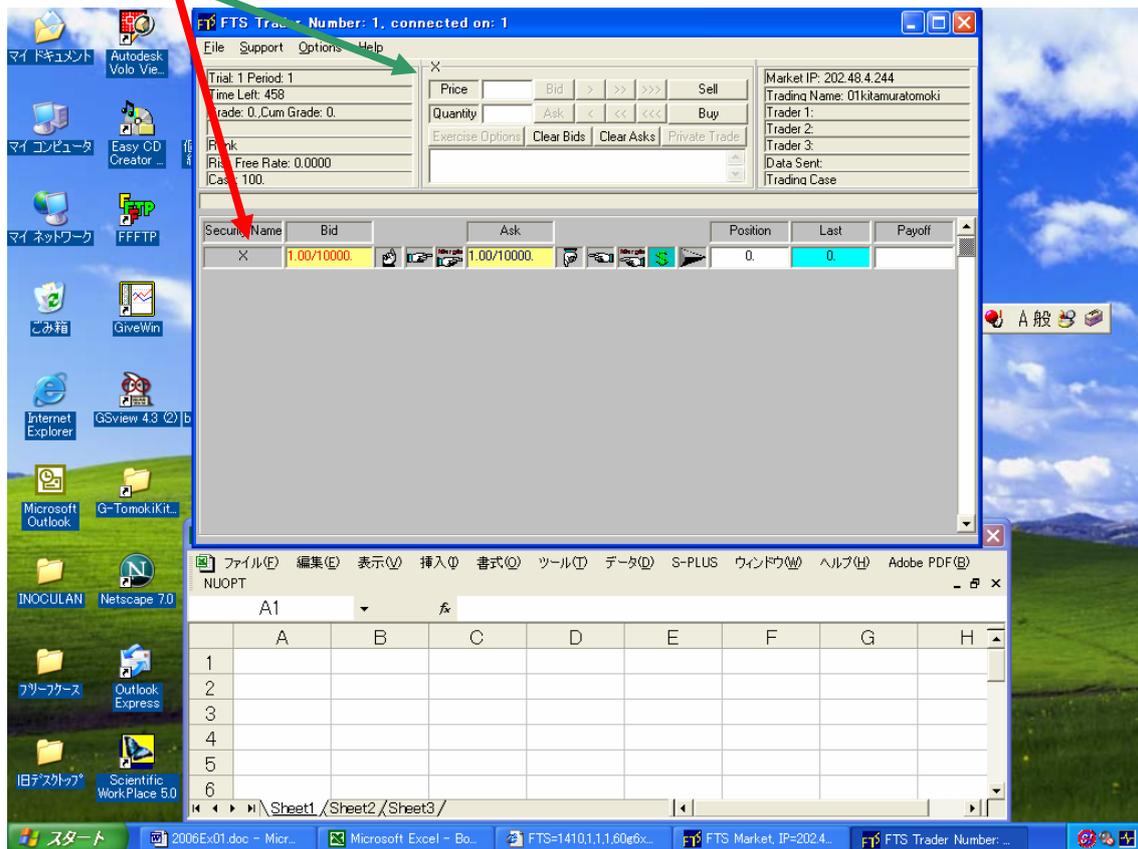
1. 「**Trial 1**」 は実験の 1 回目を表します。2 回目以降、Trial 2, などになります。
2. ソフトウェアの操作練習を含めて、6 回目 (Trial 6) の実験 (取引) での結果のみで謝礼を支払います。
3. 「**Cash**」 の部分に現金保有額が表示されます。初期値は 100 ドルです。
4. 現在の X の保有枚数は、「**Position**」 に表示されます。初期値はゼロです。
5. 取引終了までの時間が「**Time Left**」 に表示されます。ゼロになったら取引終了です。2 回目以降は、1 回の実験時間は **120 秒** です。



上記の初期画面とは異なる方は手を上げてください。

「くじ X」を買うための準備

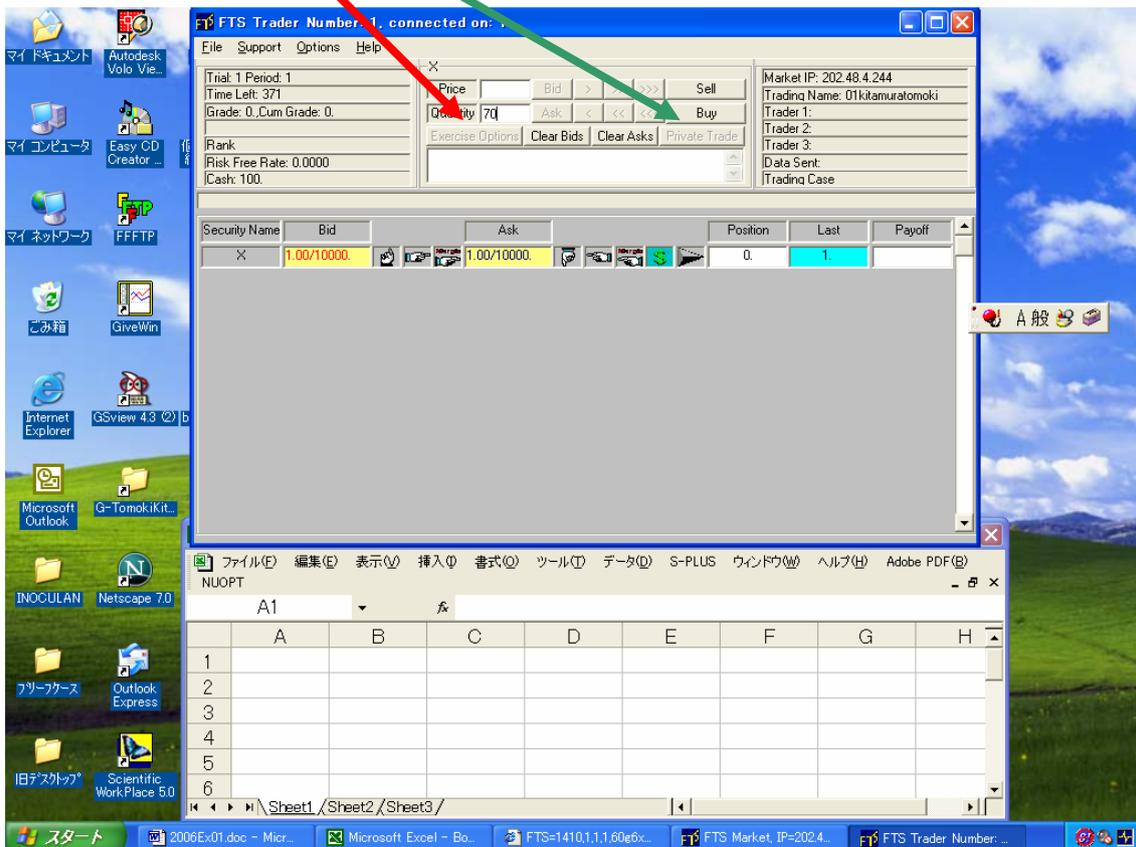
1. 「Security Name」の「X」の部分を1回クリックしてください。
2. 「X」の文字が黒くなったのを確認してください。



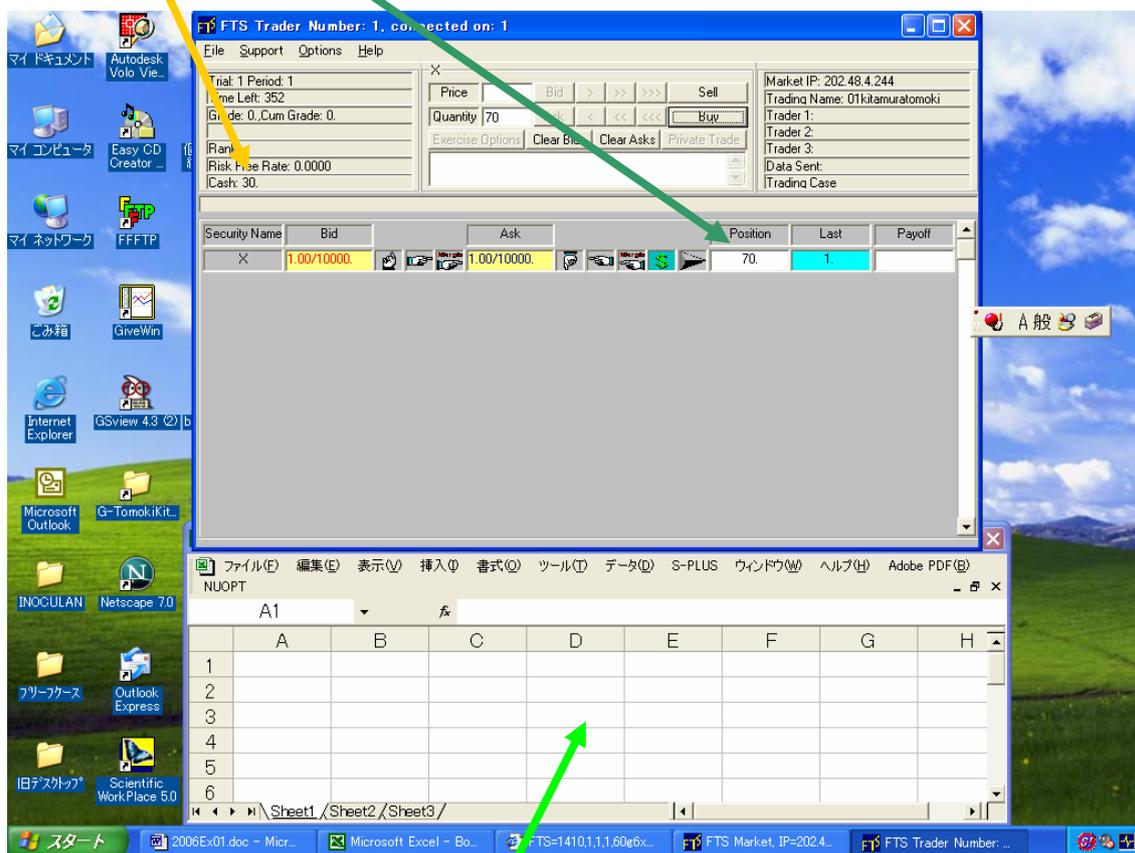
別の画面がでてきたら、手を上げてください。

これから、くじXを70枚買ってみます。

1. くじXは1枚1ドルで、1枚～100枚まで購入できます。100枚以上は購入できません。
2. 「Quantity」に70を入力してください。（Priceの欄は空白のままにしておいてください）
3. 「Buy」をクリック



4. 「Position」(くじ X の保有量) が 70 枚になったのを確認
5. 「Cash」(現金) が 30 ドルになったのを確認(くじ X は 1 枚 1 ドルで 70 枚購入したので、現金は 30 ドルとなる)。

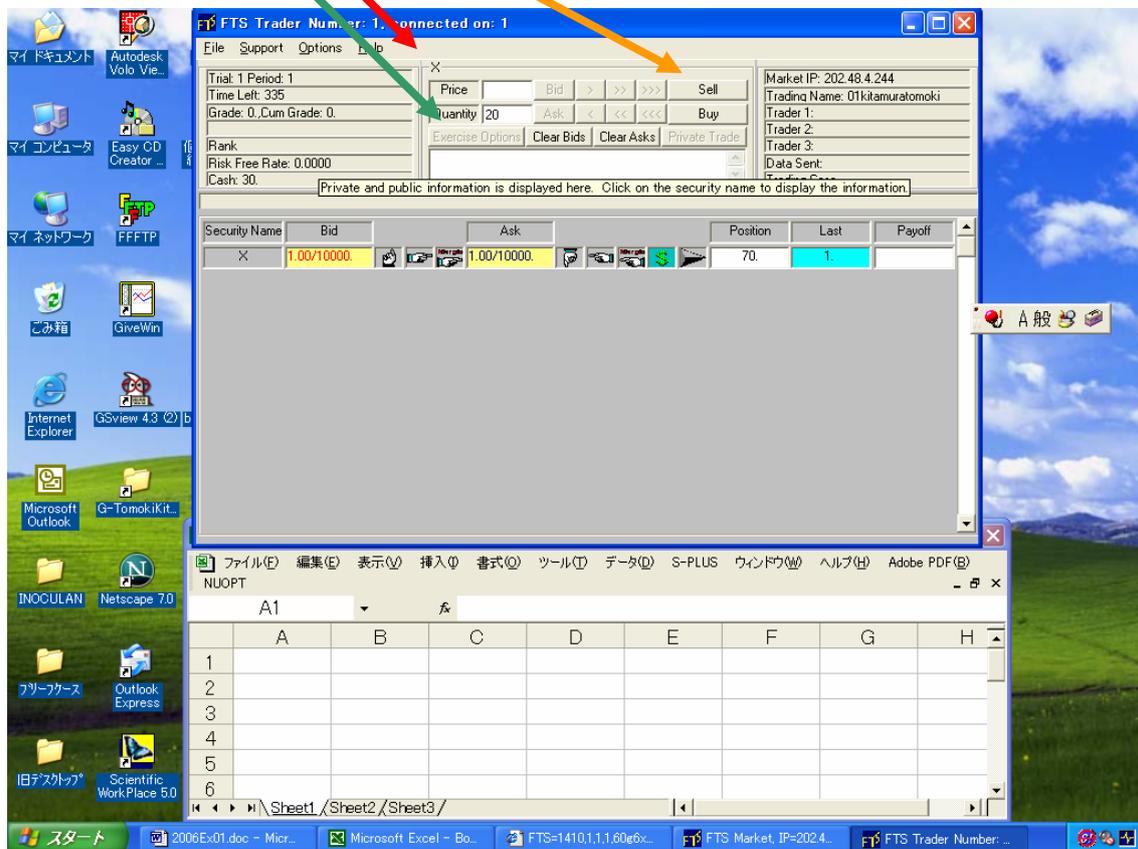


6. くじ X 購入後, エクセル画面の情報が, 変更されたのを確認してください。
7. 変更されない方は手を上げてください。

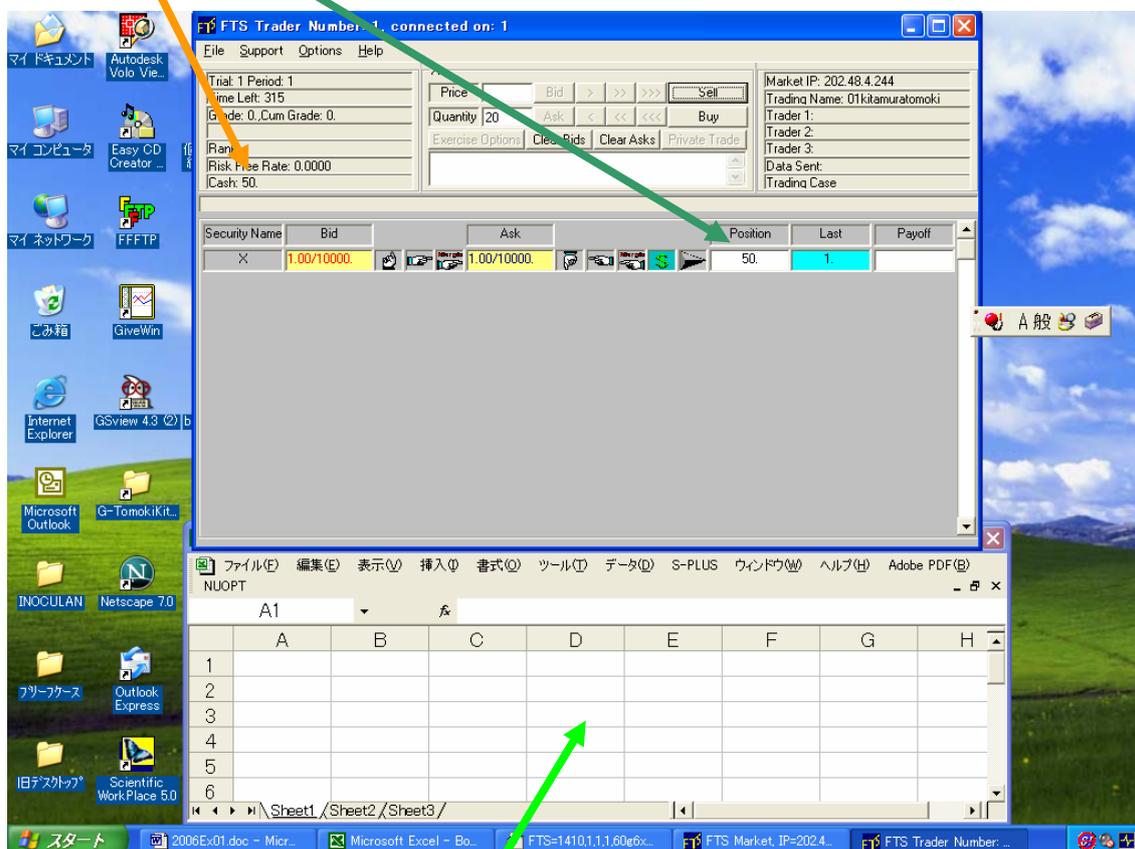
くじ X を多く買いすぎたと思った場合、売却できます。くじ X は 1 枚 1 ドルで売却できます。ただし、現在の保有量以上に売却することはできません。

くじ X を 20 枚売却してみます。

1. 「X」の部分が黒字であるか確認してください。
2. 「Quantity」に 20 を入力。(Price の欄は空白のままにしておいてください)
3. 「Sell」をクリック

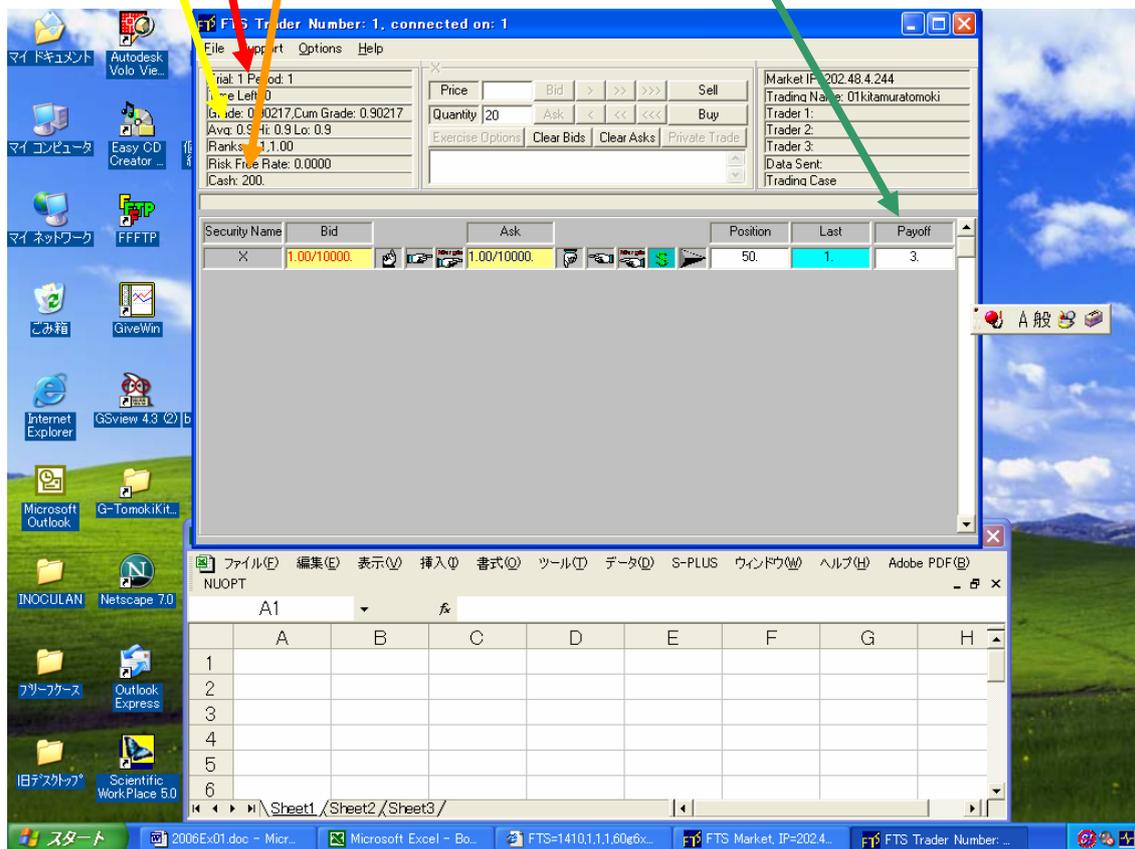


4. 「Position」が70枚から50枚に減少したのを確認
5. 「Cash」が30ドルから50ドルに増加したのを確認



6. くじ X を売却したら、エクセル画面の情報が、くじ X の保有枚数が変わったため、変更されたのを確認してください。
7. エクセル画面が変更されない方は手を上げてください。

1. 「**Time Left**」(時間)がゼロになると取引終了です。
2. くじ X の**当選・落選は「Payoff」(ペイオフ)を見る**とわかります。今回は当選です。くじ X は、一枚あたり 3 ドルになりました。落選した場合は、ゼロと表示されます。くじはランダムです。
3. 取引終了後の「**Cash**」が最終残高です。「**Cash**」には、くじ X を購入せずに残った現金 (50 ドル) に加えて、くじ X の当選金 (150 ドル) の合計が表示されています。
4. 「**Grade**」には、**最終残高に基づいた、「5000 円が当たる確率」**が表示されています。今回の取引では、5000 円が当たる確率は 87.4% です。
5. 最終残高は累積しません。実験謝礼は、今回の実験 (取引) を含めて、6 回目の実験 (取引) 結果のみで支払います。
6. 「**Cum Grade**」は無視してください。



7. エクセルシートは取引中のみ利用します。取引終了後は無視してください (異なった数値が表示されています)。

2 回目の実験を始めます。Cash は 100 ドルに戻ります。Position はゼロ枚に戻ります。「くじ X」の購入枚数を決めてください。

2006年3月9日の実験の説明
連絡先：kitamura@nli-research.co.jp

この実験説明書は、実験終了後に回収します。

実験の目的

1. みなさんは、「商品 X」の**売り手**と**買い手**にわかれて、売買取引に参加します。
2. 座席番号が、**01～17番の方が買い手**で、**18～34番の方が売り手**です。
3. 売り手の方は、できるだけ高い価格(Price)で、商品 X を売ってください。買い手の方はできるだけ安い価格(Price)で、商品 X を仕入れてください。
4. 実験は繰り返し行います。売買取引によって、できるだけ多くの利益をあげてください。

実験の内容 (売り手)

1. **売り手のあなた**は、毎回の実験の初めに、商品 X を **1 個だけ**与えられます。また、コンピューターの画面を通じて、自分が持っている商品の**生産「コスト」**が知らされます。コストは人によって異なり、毎回変わります。
2. 売り手は、毎回の取引時間中に商品 X を 1 個売ります。実際に**売れた価格とコストとの差額が、売り手の利益**です
3. 売り手は、買い手が提示する価格(Price)で商品 X を**売る (Sell)** ことができます。その場合には取引は成立し、売却価格とコストとの差額が「**利益**」なります。
4. 売り手は、買い手に**自分が売りたい価格を提示 (Ask)** することができます。ただし、買い手がその価格で買ってくれないと取引は成立せず、利益を得ることはできません。
5. 商品はコンピューターを利用して売ります。利用方法は、後ほど説明します。
6. 例えば、ある回の実験で、商品のコストが 1000 ドルの売り手が、商品を 3000 ドルで売ることができたなら、2000 ドル(=3000 ドル-1000 ドル)が利益です。商品 X を、そのコストより、**できるだけ高い価格で売る**ことで、利益を大きくすることができます。
7. ただし、**コストよりも低い価格で商品を売ると、損失**が出てしまいます。損失が出ると、本日の報酬が減りますので、注意してください。
8. **損失を出してまで商品を売る必要はありません**。商品を売らずに残しても構いません。その場合、利益はゼロドルです。なお、残した商品を次の実験に繰り越すことはできません。
9. 1 回の実験で、**商品を 2 個以上売ることはできません**。
10. 1 回の実験が終了するごとに、その回にあげた利益と、それまでの利益の合計がコンピューターに表示されます。
11. すべての実験の終了後に、利益の合計額にもとづいて謝礼が支払われます。謝礼の計算方法については、後ほど説明します。

実験の内容 (買い手)

1. **買い手のあなた**は、毎回の実験の初めに、10,000ドルの現金 (Cash) が与えられます、また、コンピューターの画面を通じて、あなたの顧客からの「**オーダー**」(**注文**) が知らされます。オーダーは人によって異なり、毎回変わります。
2. 買い手は、毎回の取引時間中に商品 X を **1 個仕入れ**ます。 **オーダーと仕入れ価格との差額が買い手の利益 (利ざや)** です。
3. 買い手は、売り手が提示する価格(**Price**)で、商品 X を **買う (Buy)** することができます。 その場合には取引は成立し、 **オーダーと買った (仕入れた) 価格との差が「利益」** となります。
4. 買い手は、売り手に **自分が買いたい (仕入れたい) 価格を提示 (Bid)** することができます。 ただし、売り手がその価格で売ってくれないと取引は成立せず、商品を仕入れることはできません。 利益も得られません。
5. 商品はコンピューターを利用して買います。 利用方法は、後ほど説明します。
6. 例えば、ある回の実験で、顧客からのオーダーが 3,000 ドルの買い手が、商品を 2,000 ドルで仕入れることができたなら、1,000 ドルの利益(=3,000 ドル-2,000 ドル)があがります。 商品を、オーダーより、 **できるだけ安い価格で買う** ことで、利益を大きくすることができます。
7. ただし、 **オーダーよりも高い価格で商品を仕入れると、損失**が出てしまいます。 損失が出ると、本日の謝礼が減りますので、注意してください。
8. **損失を出してまで商品を買う必要はありません**。 商品を買わずに現金を残しても構いません。 ただし、顧客の注文に応じられませんので、利益はゼロドルです。 残した現金に価値はありません。 また、残した現金を次の実験に繰り越すことはできません。
9. 1 回の実験で、 **商品を 2 個以上買ってはいけません**。 買い手の利益の計算では、2 個合計の買い値を 1 つにまとめて、オーダーから差し引きます。 **商品 X を 2 個買うと、得策ではありません**。
10. 1 回の実験が終了するごとに、その回にあげた利益と、それまでの利益の合計がコンピューターに表示されます。
11. すべての実験の終了後に、利益の合計もとづいて謝礼が支払われます。 謝礼の計算方法については、後ほど説明します。

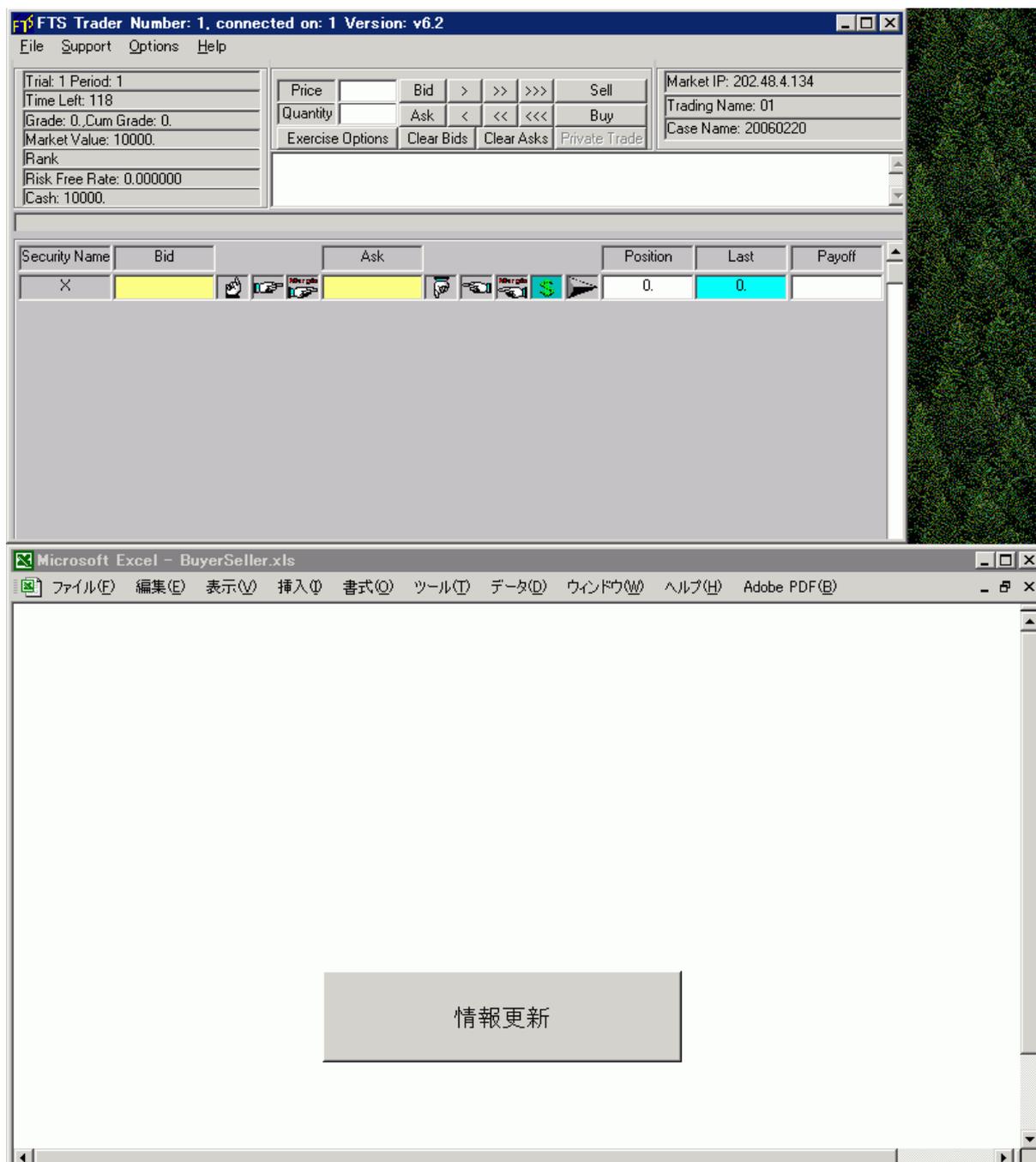
本日の謝礼 (売り手と買い手に共通)

1. 謝礼は、参加謝礼 (交通費含む) 4,000 円と、実験謝礼の合計です。
2. 実験謝礼は、みなさんが本日の実験であげた **利益の合計 (ドル) に、0.25 をかけた金額 (円) (500 円単位に切り上げ)** とします。 例えば、実験終了後の利益の合計が 10,000 ドルの場合、実験謝礼は 2,500 円となります。 実験謝礼の最高額は 6,000 円です。 また、損失が出ると実験謝礼がマイナスになることがあります。
3. 本日の実験のうち、最初の 2 回は操作の練習で、実験謝礼には関係ありません。 実験謝礼は、3 回目 (Trial3) 以降の実験での利益の合計に応じて支払います。

ソフトウェアの初期画面

1. 矢印キーをたたいてください。しばらくすると、画面が表示されます。
2. 初期画面は以下のようになっています。取引ソフトが上、エクセルが下です。

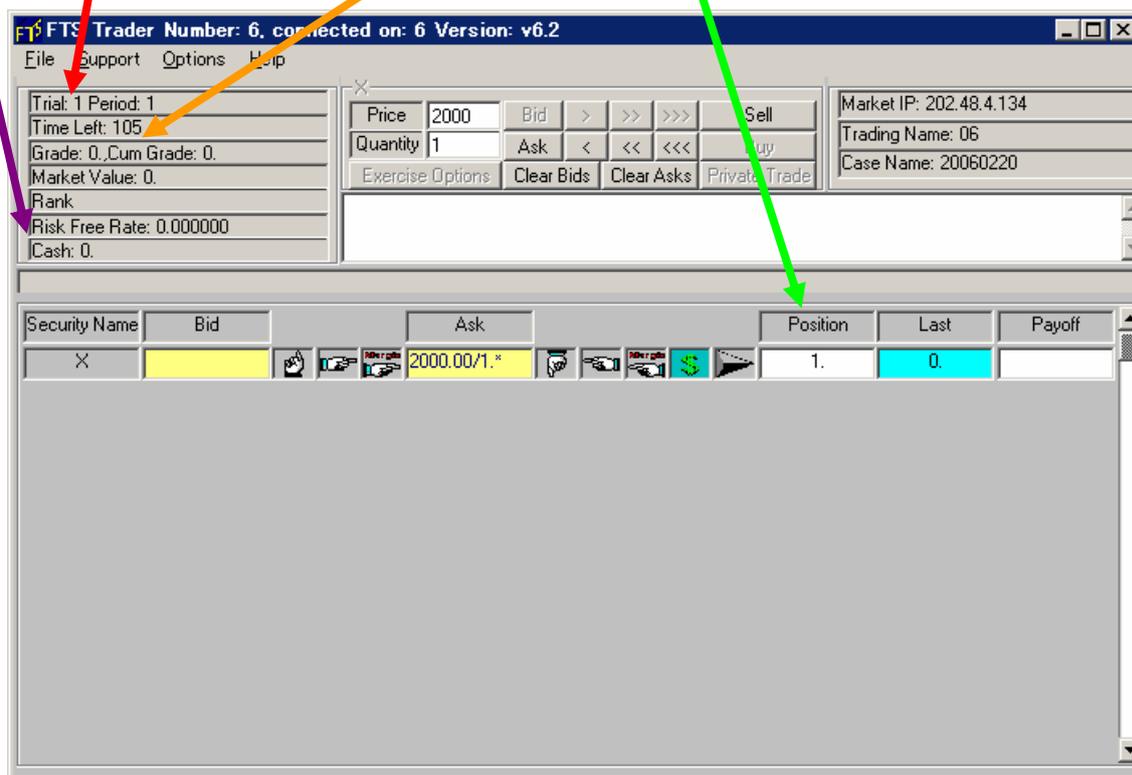
実験中は必ず、エクセルが見えるようにしてください。
また、エクセルは指示以外の操作は、一切しないで下さい。



- これから、実験の1回目を始めます。1回目と2回目は練習で、全員同じ取引をしていただきます。指示に従って、「商品 X」を売買してください。
- 指示以外の操作はしないでください。

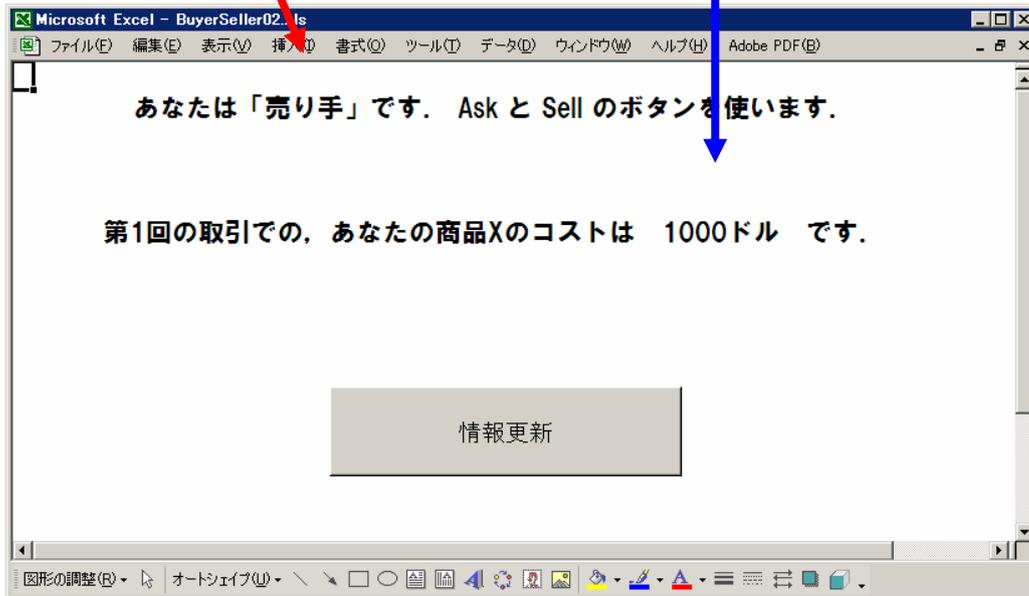
取引ソフト画面の説明

1. 「**Trial 1**」 は実験の1回目を表します。2回目以降、Trial 2, などになります。
2. 2回目 (Trial2) までがソフトウェアの操作練習です。3回目 (Trial3) 以降の実験での利益の合計に応じて、謝礼を支払います。
3. 「**Cash**」の部分に現金の保有額が表示されます。
初期値は**売り手が0ドル**, **買い手が10,000ドル**です。
4. 現在、持っている商品Xの数は、「**Position**」に表示されます。
初期値は**売り手が1個**, **買い手がゼロ個**です。
5. 取引終了までの時間が「**Time Left**」に表示されます。ゼロになったら取引終了です。2回目以降は、1回の実験時間は 120秒です。



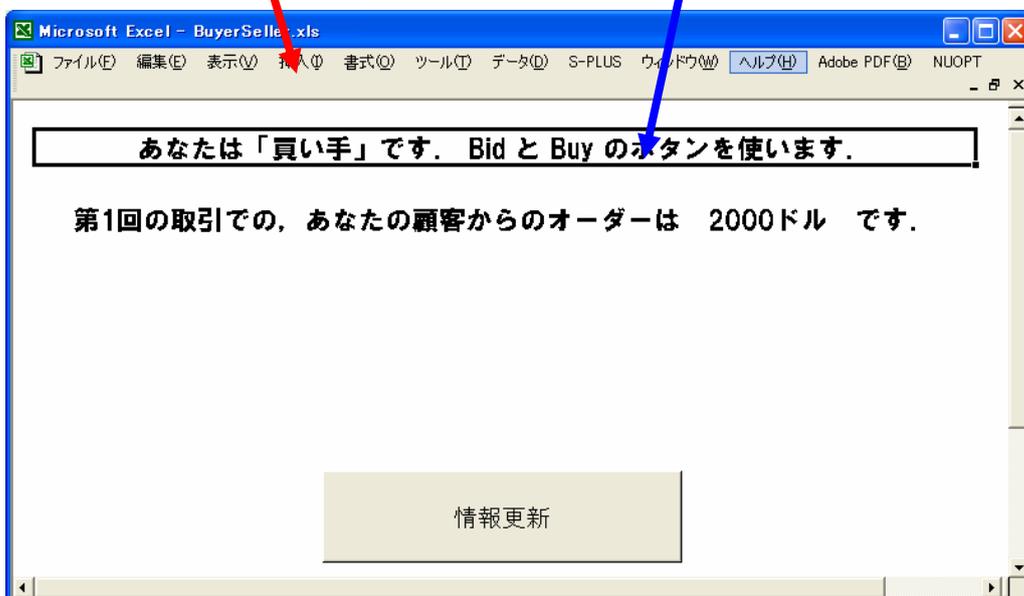
エクセル画面の説明 (1) 売り手

1. あなたが**売り手**かどうかが表示されます。
2. あなたが持っている商品の今回の実験での「**コスト**」が表示されます。
3. 売り手は、「**コスト**」より**高い価格で商品を売ればと利益**が得ます。
「コスト」より低い価格で商品を売ると損失が得ます。



エクセル画面の説明 (2) 買い手

1. あなたが**買い手**かどうかが表示されます。
2. あなたが持っている商品への、顧客の注文であるオーダーが表示されます。
3. 買い手は、顧客からの「**オーダー**」より**低い価格で買えば利益**が出ます。
「オーダー」より高い価格で買えば損失が出ます



「商品 X」を売買する方法 (1) 売り手が出せる注文

4. **売り手は 2 通りの注文**ができます
5. 1つは、買い手が希望する価格(**Bid**)ですぐに売る(**Sell**)という注文です。
6. もう1つは、自分から売ってもよいという価格(**Ask**)を示す注文です。

取引は、買い手が希望する価格 (Bid) がマーケットにある時に、(1)売った(Sell)場合か、(2)Bid より低い Ask (自分の売ってもよい価格) を提示した時に、成立します。

「商品 X」を売買する方法 (2) 買い手が出せる注文

1. **買い手も 2 通りの注文**ができます
2. 売り手が希望する価格(Ask) ですぐに買う(**Buy**)という注文です。
3. もう1つは、自分が買ってもよいという価格(**Bid**)を示す注文です。

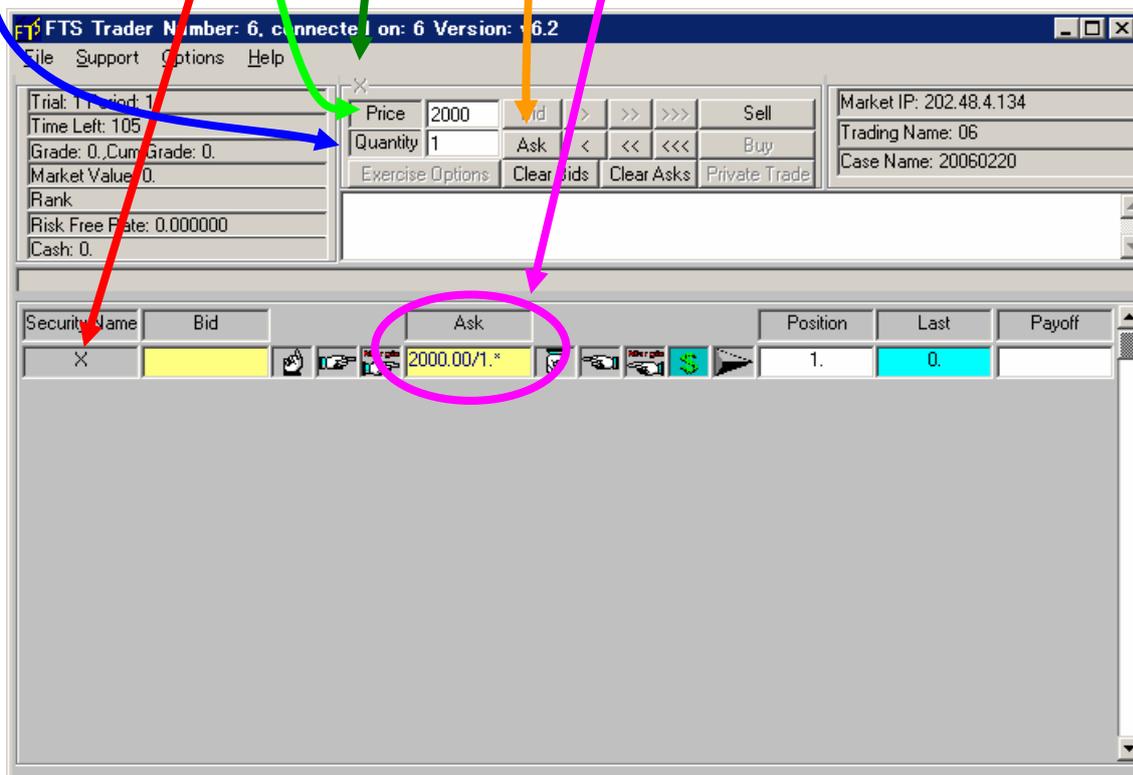
取引は、売り手が希望する価格 (Ask) がマーケットにある時に、(1)買った(Buy)場合か、(2)Ask より高い Bid (自分が買ってもよい価格) を提示した時に、成立します。

ただし、1回の実験で、**商品を 2 個以上買ってはいけません**。2 個以上買わないための操作方法については、後ほど説明します。

まず、**売り手**の操作方法を練習します。**売り手**の方だけ操作して下さい

売り手は、買い手に 2000 ドルの売却希望価格を提示 (Ask) します

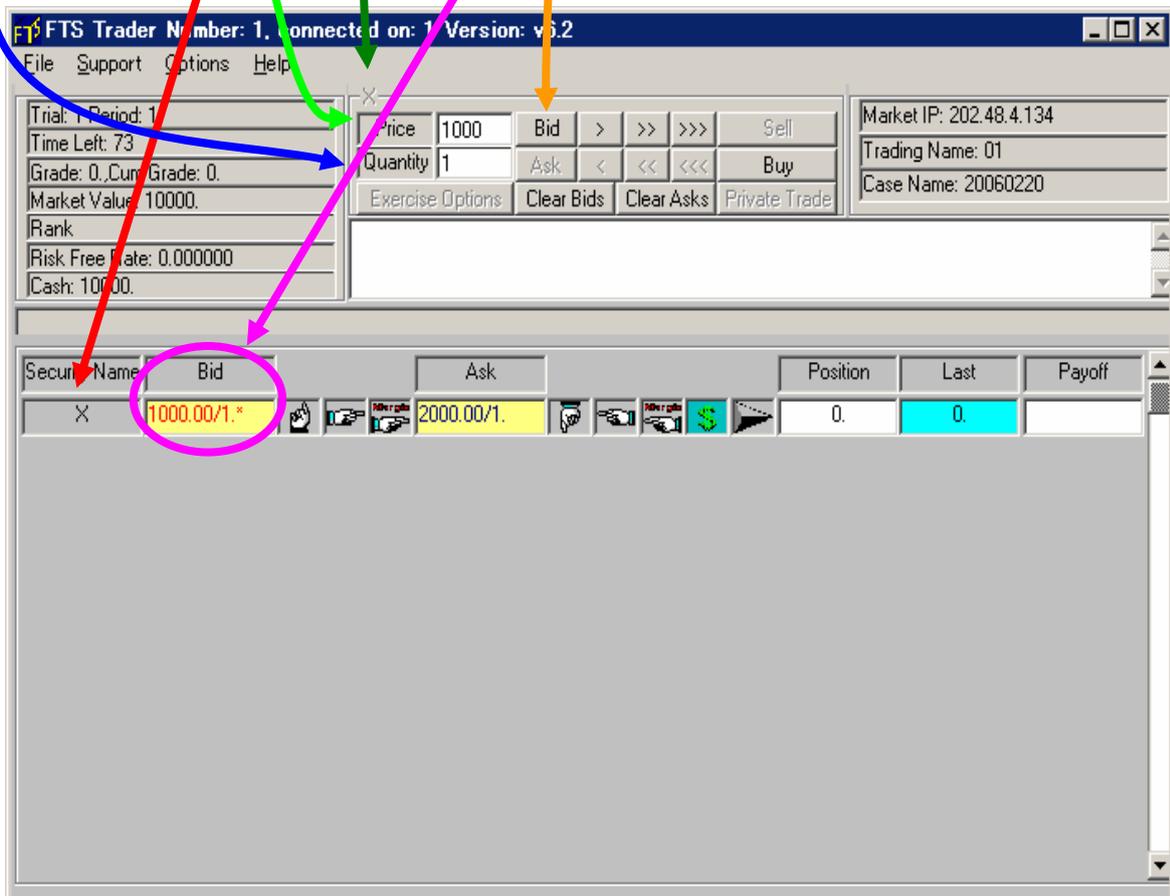
1. 「**Security Name**」の「**X**」の部分をクリックしてください。
2. 「**X**」の文字が黒くなったのを確認してください。
3. 「**Quantity**」(「**個数**」の意味)の欄に1を入力してください。
売り手は商品Xを1個だけ売ることができます。2個以上は売れません。
4. 「**Price**」(「**価格**」の意味)の欄に2000と入力して下さい
5. 「**Ask**」(「**売りたい**」の意味)をクリックしてください。
Askと書いてあるボックスの下の欄に「2000.00/1」という表示がされます。
6. これは、2000ドルで1個売ってもよいという**売り手**の注文が市場に出ていることを表します。
7. 数字の右上の*は、「**自分が出した Ask が市場にでている**」印です。**市場に出ている注文は、*のついた1人だけです**。
8. **売り手**の注文は、①値段が低いもの、②値段が同じなら早く注文されたもの、が優先されます。
9. *印がない時には、あなたの注文は市場に出いていません。このAsk(2000ドル)よりも、低い価格でないとあなたの注文は市場にでません。
10. あるいは、この価格(2000ドル)で取引が成立した後、誰にAskも入っていない時には、あなたのAskを自由に入れることができます。



次に、**買い手**の操作方法を練習します。**買い手**の方だけ操作して下さい

買い手は、売り手に 1000 ドルの購入希望価格を提示 (Bid) します

1. 「**Security Name**」の「**X**」の部分をクリックしてください。
2. 「**X**」の文字が黒くなったのを確認してください。
3. 「**Quantity**」(「**個数**」の意味)の欄に1を入力してください。
買い手は商品Xを1個だけ買うことができます。2個以上は買えません。
4. 「**Price**」(「**価格**」の意味)の欄に1,000と入力して下さい
5. 「**Bid**」(「**買いたい**」の意味)をクリックしてください
6. **Bid**と書いてあるボックスの下の欄に「1000.00/1」という表示がされます
7. これは、1,000ドルで1個買ってよいという買い手の注文が市場に出ていることを表します。
11. 数字の右上の * は、「自分が出した Bid が市場にでている」印です。市場に出ている注文は、*のついた1人だけです。
12. 買い手の注文は、①値段が高いもの、②値段が同じなら早く注文されたもの、が優先されます。
13. *印がない時には、あなたの注文は市場に出ていません。この Bid (1000ドル) よりも高い価格でないと、あなたの注文は市場にでません。
14. あるいは、この価格 (1000ドル) で取引が成立した後、誰の Bid も入っていない時には、あなたの Bid を自由に入れることができます。



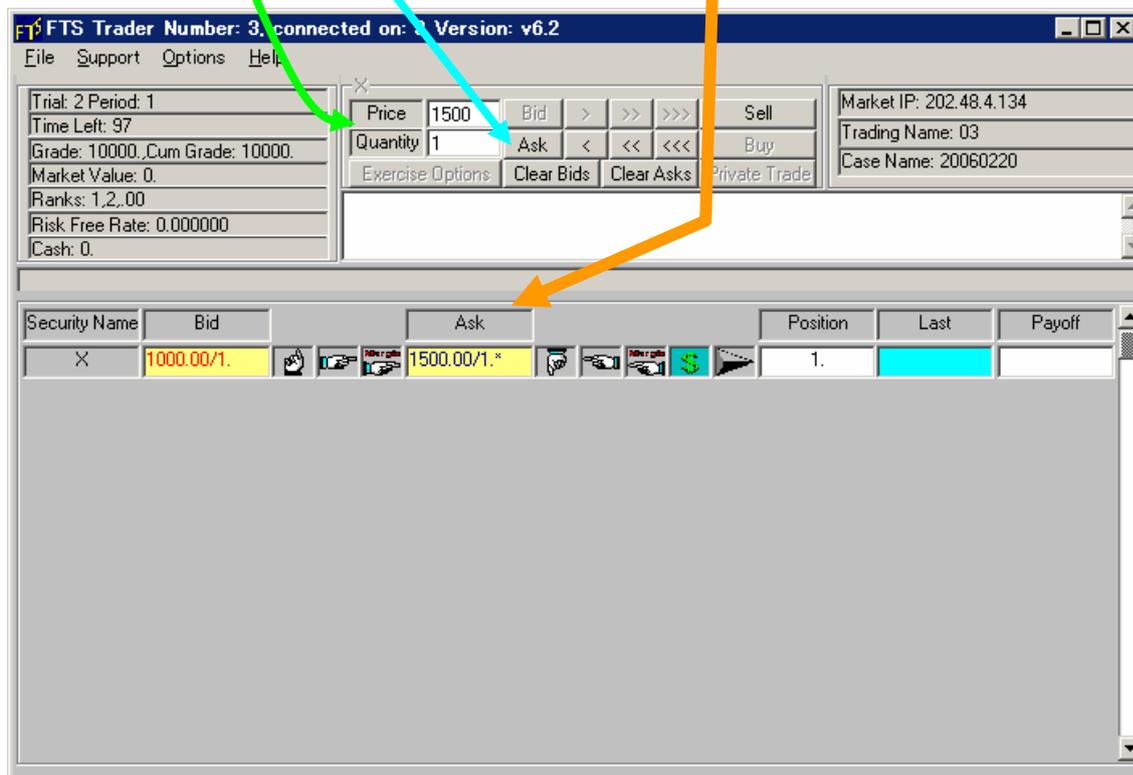
以上で**売り手の注文**と**買い手の注文**が入りました。

現在、**売り手の価格が 2,000 ドル**なのに対して、**買い手の価格は 1,000 ドル**です。
価格に開きがあるので、このままでは取引が成立しません。
取引が成立しないと、**売り手**も**買い手**も利益を上げることはできません。

そこで、**売り手**がおれて、売りたい価格(Ask)を下げてみます。

(以下の操作は**売り手**の方、支持に従って実行して下さい)

1. 「**X**」の部分が黒字であるか確認してください。
 2. 「**Quantity**」に 1 を入力してください。
 3. 「**Price**」に自分で考えた値段を入力してください(下の例では 1500 ドルです)。
 4. 「**Ask**」をクリックしてください。
- Ask と書いてあるボックスの下の欄に「1500.00/1」という表示がされます。
5. これは、**1500 ドルで 1 個売ってもよいという売り手の注文 (Ask)** が市場に出ていることを表します。* 印は、「自分が出した Ask は市場にでている」ことを表します。* 印がない時には、あなたの Ask は市場に出ていません。

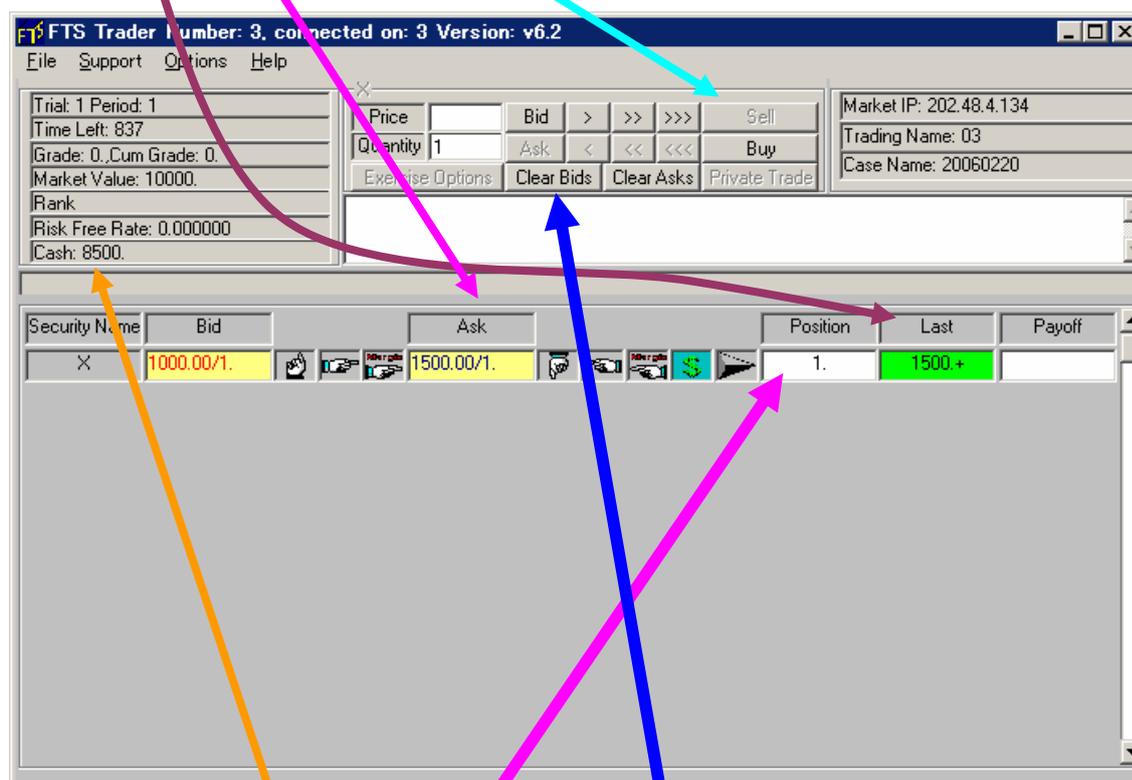


これでもまだ価格に開きがあるので、このままでは取引が成立しません。

そこで、**買い手**がおれて、**売り手**が出している値段 (Ask) で商品 X を**買う (Buy)**ことにします。

(以下の操作は**買い手**の方だけ実行して下さい)

1. 「**X**」の部分**が黒字**であるか確認してください。
2. 「**Quantity**」に1を入力してください。
3. **Ask** と書いてあるボックスの下の欄の値段を確認して、自分のオーダーの値段を**超えていないか確認して下さい。**
4. 「**Buy**」をクリックしてください。 ダブルクリックしないでください。
ダブルクリックすると2個買うことになります。
5. これで、**売り手**が出していた1,500ドルで取引が成立しました。
6. 「**Last**」の欄の**1500**は、直近の取引が1500ドルで成立したことを示しています。他の人が取引を成立させた時も、その価格が表示されます。
7. いまの取引で、**実際に買ったのは一人**だけです。



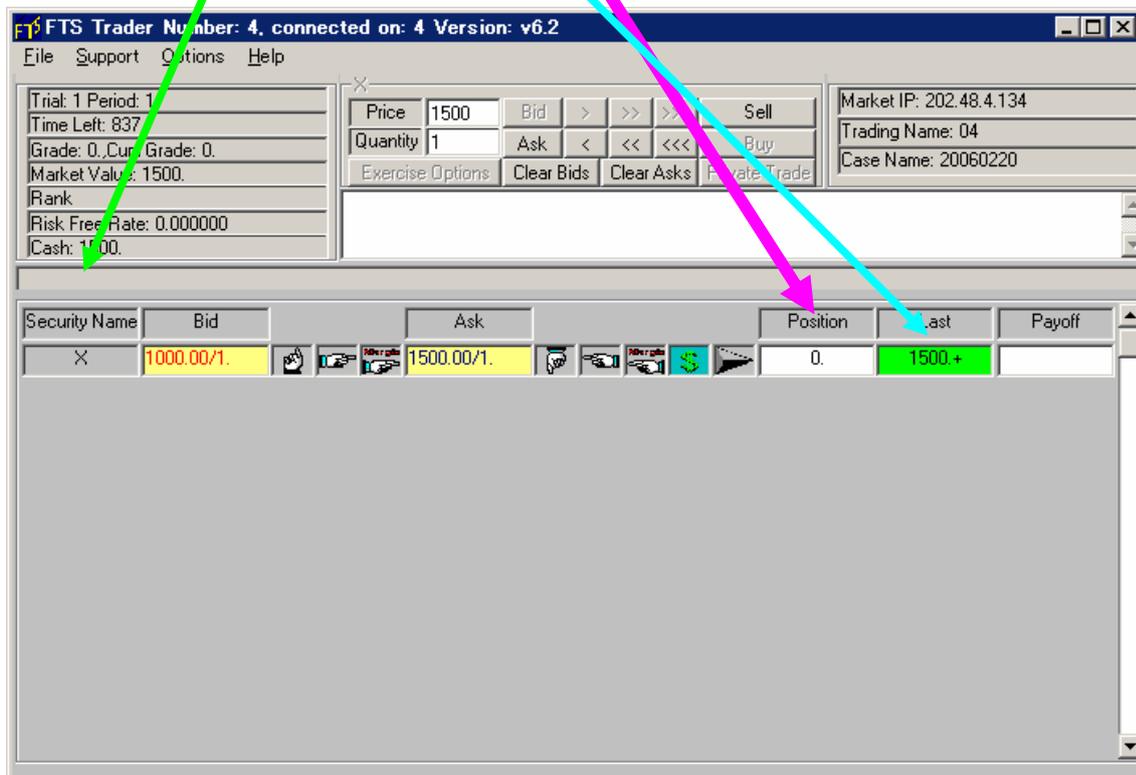
8. 商品 X を買った場合は「**Position**」が0から1に増えます。1回の実験で**商品を2個以上買ってはいけません**ので、「**Clear Bid**」をクリックしてください。その後は、その回の実験が終わるまでいっさい操作しないで下さい。
9. 現金を表す「**Cash**」が10,000ドルから8,500ドルに減少したのを確認してください。(商品を買うためにこの例では1,500ドル使いました)

いまの取引について、売り手の画面で売れたことを確認します
(以下の操作は売り手の方だけ実行して下さい)

いまの取引で、実際に売れたのは一人だけです。

売り手は自分が出していた **1,500 ドルの売り注文** (Ask と表示されていたボックスの下に表示されていた価格) で買う人が現れたので、商品 X が売れました。

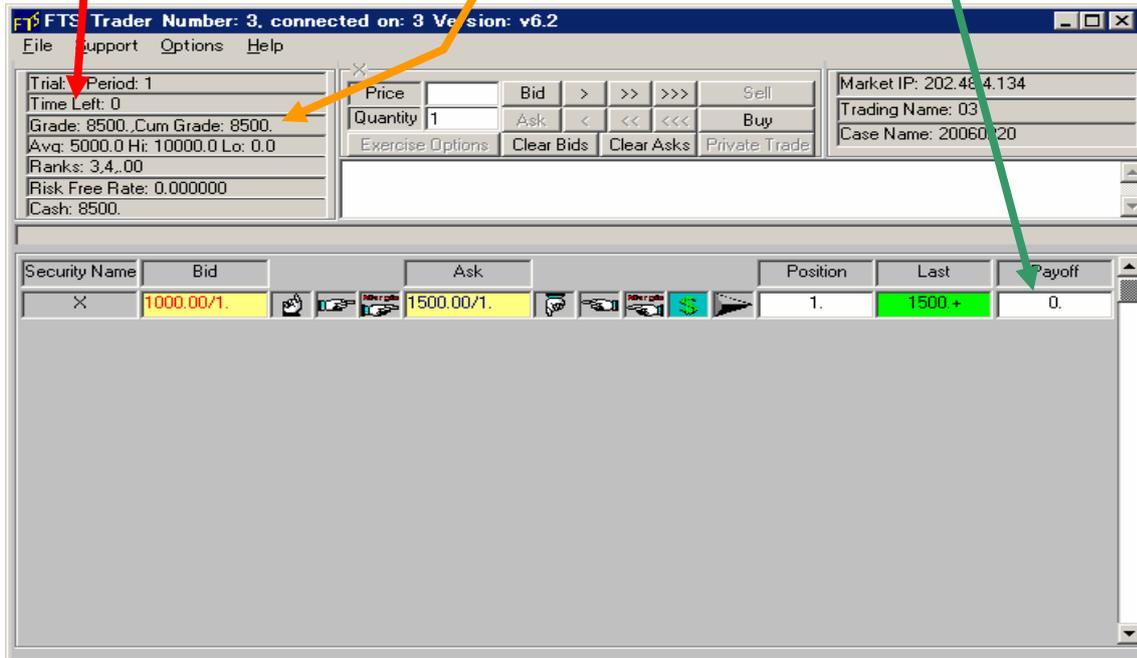
1. 商品 X が売れた場合には、個数を表す「Position」が 1 から 0 に増加したのを確認してください。
2. 現金を表す「Cash」が 0 から 1,500 ドルに増加したのを確認してください。
3. 売り手の画面でも、「Last」の欄の 1,500 は、直近の取引が 1,500 ドルで成立したことを示しています。



以下、指示に従って、取引を続けてください。

取引の終了

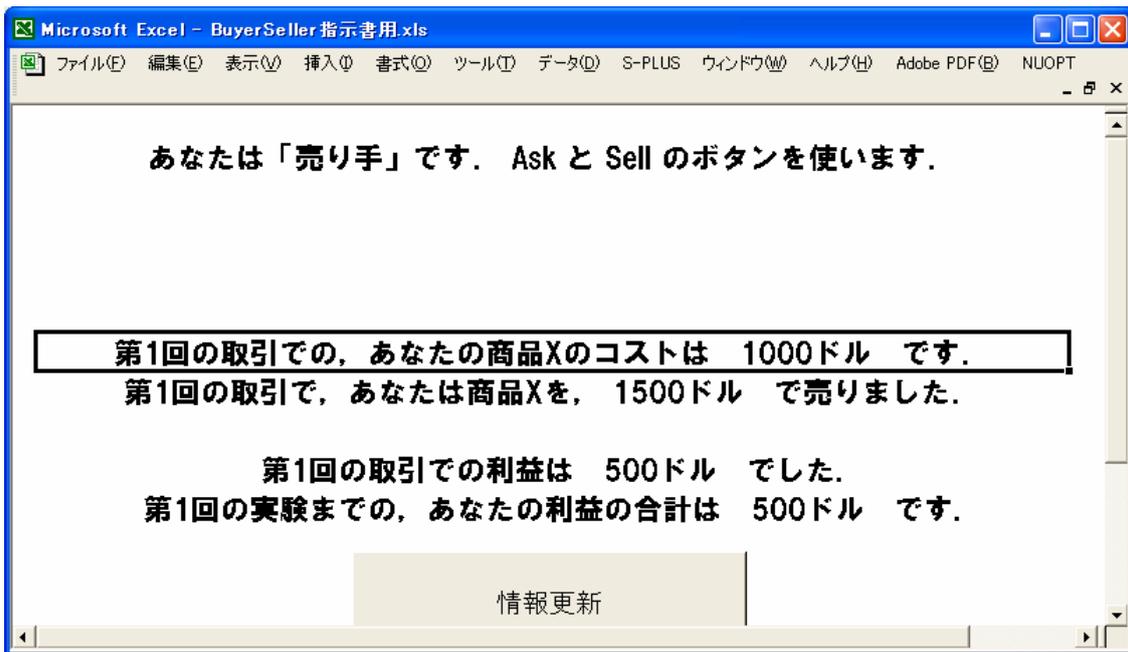
1. 「**Time Left**」(時間)がゼロになると取引終了です。
2. 取引終了後に表示される「**Grade**」や「**Cum Grade**」, 「**Payoff**」は無視して下さい。
3. また、**買い手の「Cash**」と**売り手の「Position**」も無視して下さい。
(買い手の残った現金と、売り手の残った商品には、価値がありません)



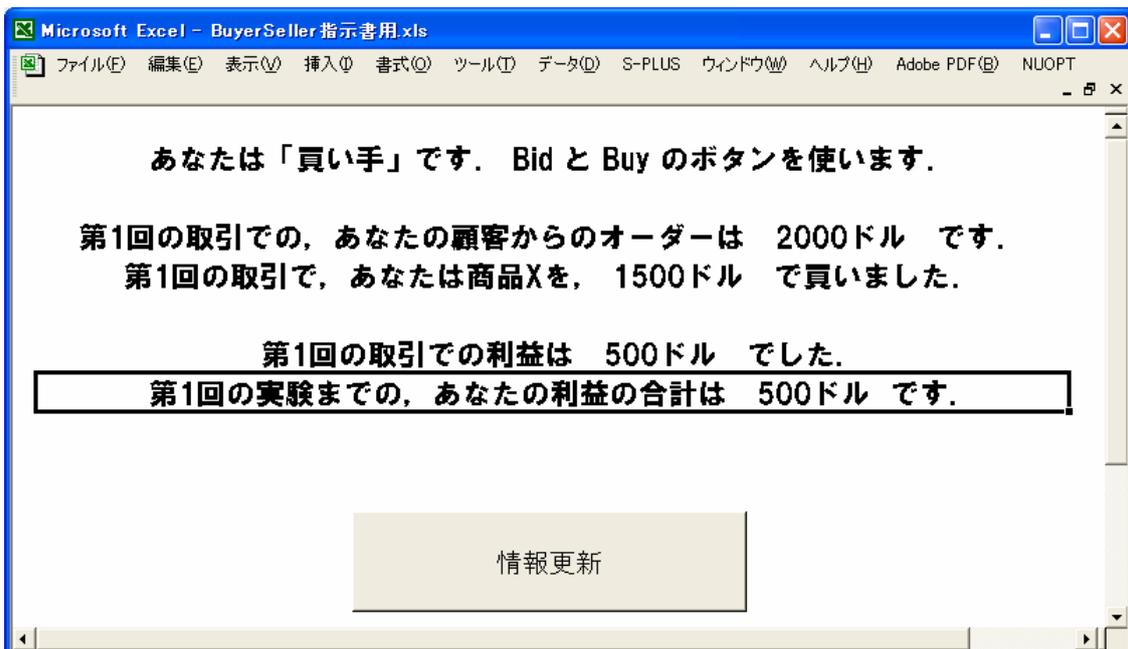
利益の確認

1. 取引終了後、合図があったら、エクセル画面の「情報更新」を押してください。
2. エクセルの画面には、今回の取引による利益の額とこれまでの利益の累計額が表示されます。
3. 皆さんの目的は、利益の合計額をできるだけ大きくすることです。
4. 取引をしなかった場合には、今回の取引による利益の額はゼロになります。

売り手

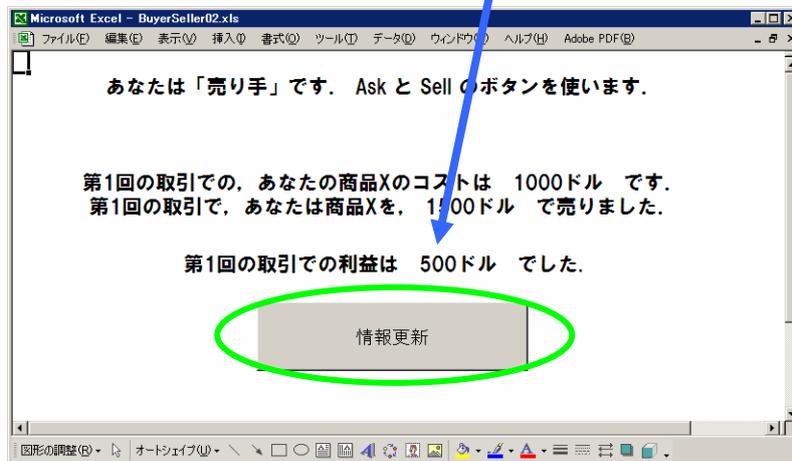


買い手



それでは、2回目の実験（練習）を始めます。

1. この回も練習で、実験謝礼には関係ありません。
2. **売り手**は、商品 X の量を示す「**Position**」が 1、現金を示す「**Cash**」がゼロに戻ります。
買い手は、商品 X の量を示す「**Position**」がゼロ、現金を示す「**Cash**」が 10,000 ドルに戻ります。
3. **売り手も買い手も**、エクセル画面にある「情報更新」のボタンをクリックして下さい。第2回の**コスト**や**オーダー**が表示されます。第2回の**コスト**や**オーダー**は1回目とは異なることを確認してください。



それでは、2回目の取引を始めます。次のように操作してください。

【売り手】

1. **売り手**は **2000 ドルで売りたい**と考えたとします。
2. 「**Security Name**」の「**X**」の部分を1回クリックしてください
3. 「**Quantity**」の欄に1を入力してください。
4. 「**Price**」の欄に2000と入力して下さい。
5. 「**Ask**」をクリックしてください。
6. ***がつかない人は、あなたの Ask は市場にでていません。売り手のうち、*がつくのは一人だけです。**
7. **Ask**と書いてあるボックスの下の欄に「2000.00/1」という表示がでます

【買い手】

1. **買い手**は **1000 ドルで買いたい**と考えたとします。
2. 「**Security Name**」の「**X**」の部分を1回クリックしてください
3. 「**Quantity**」の欄に1を入力してください
4. 「**Price**」の欄に1000と入力して下さい。
5. 「**Bid**」をクリックしてください。
8. ***がつかない人は、あなたの Bid は市場にでていません。買い手のうち、*がつくのは一人だけです。**
6. **Bid**と書いてあるボックスの下の欄に「1000.00/1」という表示がでます

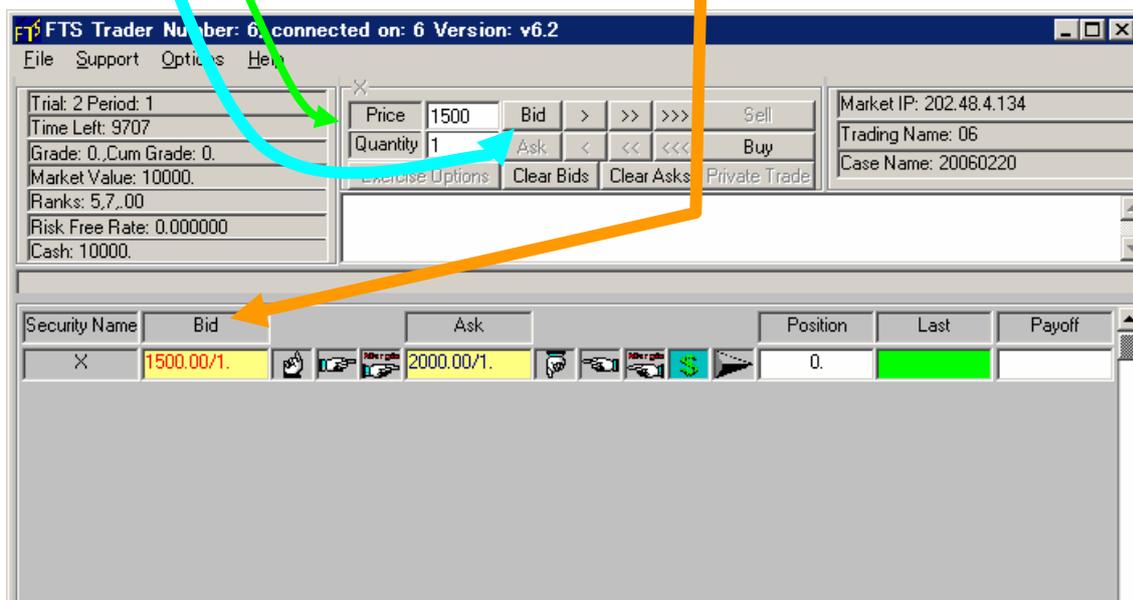
以下、指示に従って取引を続けてください

売り手は 2000 ドルで売るという注文を出し、買い手は 1000 ドルで買うという注文を出しているの、このままでは取引は成立しません。

このままでは取引が成立せず、売り手も買い手も利益を上げられません。

そこで、買い手がおれて、自分が買いたい価格 (Bid) を上げます。
(以下の操作は買い手の方だけ実行して下さい)

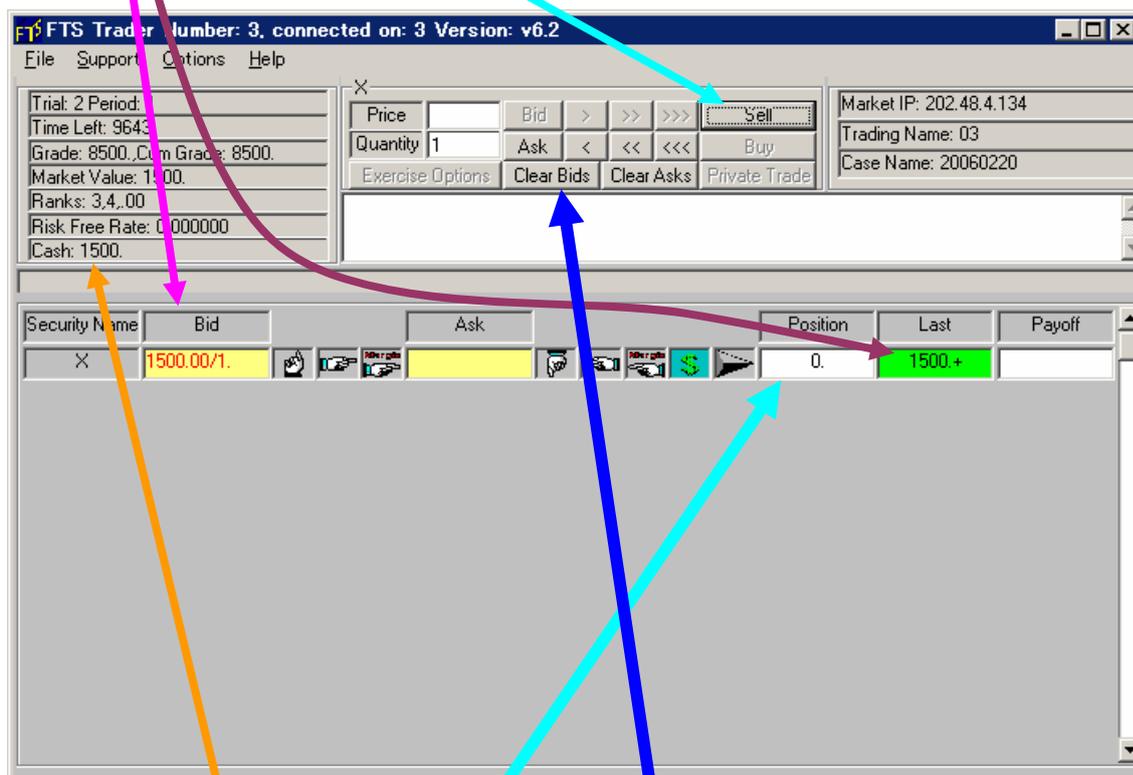
1. 「**X**」の部分が黒字であるか確認してください。
2. 注文が有効な人(Bid 欄に*印がついている人)は、「**Clear Bids**」をクリックして、自分が出していた買い注文を取り消します(この操作は 1 人だけが行います)。
3. 「**Quantity**」に 1 を入力してください。
4. 「**Price**」に自分で考えた値段を入力してください(下の例では 1500 ドルです)。
5. 「**Bid**」をクリックしてください。
Bid と書いてあるボックスの下の欄に「1500.00/1」という表示がされます。
6. これは、1500 ドルで 1 個買いたいという買い手の注文 (Bid) が市場に出ていることを表します。* 印は、「自分が出した注文の価格が有効になっている」ことを表します。* 印がない時には、あなたの注文は無効です。



これでもまだ価格に開きがあるので、このままでは取引が成立しません。
取引が成立しないと、**売り手**も**買い手**も利益を上げることはできません。

そこで、**売り手**がおれて、**買い手**が出している値段 (Bid) で、商品 X を**売る (Sell)**
とします。 (以下の操作は**売り手**の方だけ実行して下さい)

1. 「**X**」の部分黒字であるか確認してください。
2. 注文が有効な人(Ask 欄に*印がついている人)は、「**Clear Asks**」をクリックして、自分が出していた買い注文を取り消します(この操作は 1 人だけが行います)。
3. 「**Quantity**」に 1 を入力してください。
4. 「**Price**」の欄は空白にしてください。
5. **Bid** と書いてあるボックスの下の欄の値段を確認して、自分のコストを超えていないか確認して下さい。
6. 「**Sell**」をクリックしてください。
7. これで、**買い手**が出していた 1500 ドルで取引が成立しました。
8. 「**Last**」の欄の 1500 は、直近の取引が 1500 ドルで成立したことを示しています。他の人が取引を成立させた時も、その価格が表示されます。

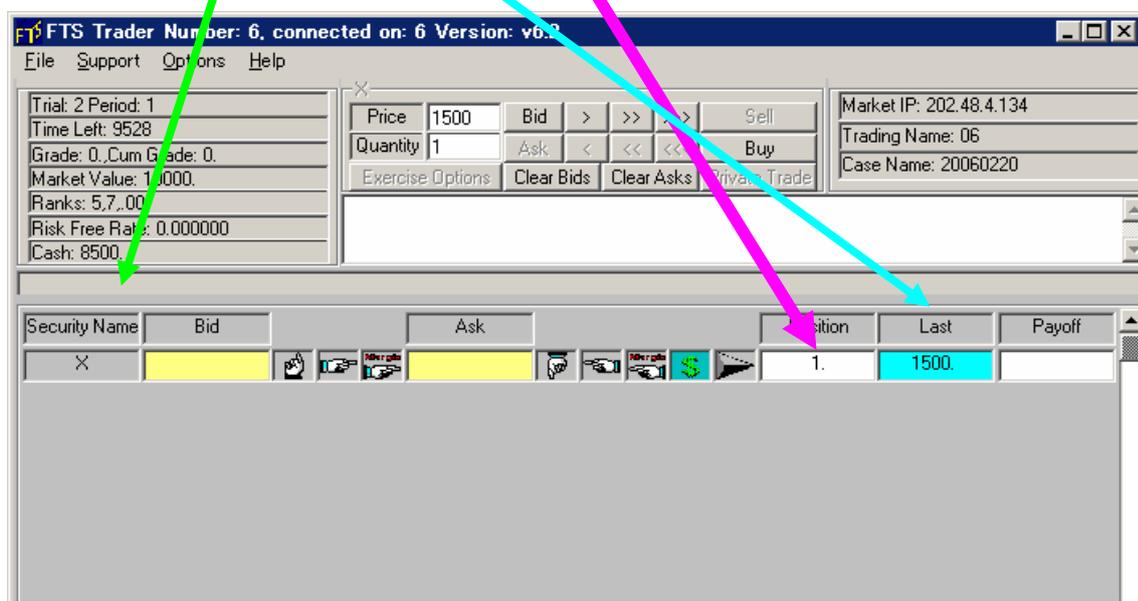


9. 商品 X を買った場合は「**Position**」が 0 から 1 に増えます。1 回の実験で **商品を 2 個以上買ってはいけません**ので、「**Clear Bid**」をクリックしてください。その後は、その回の実験が終わるまでいっさい操作しないで下さい。
10. 現金を表す「**Cash**」が 0 ドルから 1500 ドルに増加したのを確認してください。
(商品が売れたので 1500 ドルの売り上げを得ました)

いまの取引について、**買い手**の画面で売れたことを確認します

買い手は自分が出していた 1500 ドルの買い注文（**Bid** と表示されていたボックスの下に表示されていた）に応じて売る人が現れたので、商品 X を買うことができました。

1. 商品 X の個数を表す「**Position**」が 0 から 1 に増加したのを確認してください。
2. 現金を表す「**Cash**」が 10,000 ドルから 8,500 ドルに減少したのを確認してください。
3. 「**Cash**」が残っていますが、絶対に 2 個以上は買わないでください。
4. 買い手の画面でも、「Last」の欄の 1500 は、直近の取引が 1500 ドルで成立したことを示しています。



取引の終了

1. 「**Time Left**」(時間)がゼロになると取引終了です。
2. 取引終了後に表示される「**Grade**」や「**Cum Grade**」, 「**Payoff**」は無視して下さい。
3. また、**買い手の「Cash**」と**売り手の「Position**」も無視して下さい。
(買い手の残った現金と、売り手の残った商品には、価値がありません)

利益の確認

1. 合図がありましたら「情報更新」を押してください。
2. エクセルの画面には、今回の取引による利益の額とこれまでの利益の合計額が表示されます。
3. 取引をしなかった場合には、今回の取引による利益の額はゼロになります。
4. 皆さんの目的は、利益の合計をできるだけ大きくすることです。

それでは、3回目の実験を始めます。

1. この回から、実験謝礼に反映されます。 実験謝礼は、3回目(Trial3)以降の実験での利益の合計に応じて、支払います。
2. **売り手**は、商品 X の量を示す「**Position**」が 1, 現金を示す「**Cash**」がゼロに戻ります。
買い手は、商品 X の量を示す「**Position**」がゼロ, 現金を示す「**Cash**」が 10,000ドルに戻ります。

注意事項

1. 皆さんの目的は、利益をできるだけ大きくすることです。
2. **買い手の利益は、顧客からのオーダーと、仕入れ価格(商品を買った価格)の差額です。**
3. **売り手の利益は、自分が売った価格とコストとの差額です。**
4. **買い手も売り手も、差額がマイナスになると損失です。** 損失が出ると、報酬が減りますので、注意してください。損失を出してまで取引する必要はありません。
5. 特に**買い手**は、1回の実験で商品**を2個以上買ってはいけません。**商品**を1個買って「Position」が1になったら、「Clear Bid」をクリックしてください。**その後は、その回の実験が終わるまで、いっさい操作しないで下さい。
6. 操作について質問があれば、実験の途中でも手を上げて聞いて頂いてかまいませんが、これから、最後の実験が終了するまでは、他の参加者の方とは、いっさい話をしないでください。

「公的年金の通知に関する研究」
厚生労働科学研究費助成研究(H16-政策-007)

調査用紙

本日はお忙しいところ、当調査にご協力いただき、ありがとうございます。最後に、この調査用紙に回答して頂くことで、本日の実験は終了です。最後まで、よろしくお願い致します。

今回の調査の結果は、統計的にとりまとめられ、研究や提言の基礎データとして活用させて頂くもので、1人1人のデータが公表されることは決してございません。この調査用紙の中には、参加者全体の特徴を統計的に集計するために、あなたやご家族のことについて、おたずねしている部分もありますが、当調査用紙は無記名式で、参加者名簿と照合することはありませんので、安心してお答え下さい。よろしくお願い致します。

(注意点)

- 回答時間には余裕がありますので、質問をよく読んでお答え下さい。
- 選択肢は全て読んで、最も相応しいものを選んでください。
- すべての質問に回答してください。
- わからないところがあれば、手をあげて、係員に尋ねて下さい。
- 書き間違ったと思ったら、二重線で消して書き直して下さい。
- 回答が終わったら、係員の指示があるまで、そのままお待ち下さい。

連絡先

青山学院大学国際マネジメント研究科、ニッセイ基礎研究所
北村智紀 kitamura@nli-research.co.jp 03-3512-1854

問1： 本番の6回目(謝礼に関係がある回)で、くじXを何枚買いましたか？

_____枚

問2： どうして、その枚数を買うことにしたのですか？

[]

問3： くじXを買う枚数を検討する時に、画面上のエクセルの表示を活用しましたか？

- 1. 活用した
- 2. 活用しなかった

※「活用した」方にお尋ねします。どのように活用しましたか？

[]

※「活用しなかった」方にお尋ねします。どうして活用しなかったのですか？

[]

問4： あなたは普段、降水確率が何%以上の時に、傘をもって出かけますか。
下の欄に数字を記入して下さい。

_____%

問5： あなたは、少々危険でもスリルのあるスポーツをすることが好きですか。

1. 好きだ
2. どちらかといえば好きだ
3. どちらかといえば好きではない
4. 好きではない

問6： 次の2つのゲームをするなら、あなたはどちらのゲームを選びますか。

1. じゃんけんに勝っても、負けても、確実に1万円もらえるゲーム
2. じゃんけんに勝つと2万円もらえ、負けると何ももらえないゲーム

問7： インターネット・オークションを

1. 利用したことがある
2. 実際に利用したとはないが、どのような仕組みか知っている
3. 利用したことがないし、どのような仕組みか知らない

問8： あなたは、「自分は人生の先行きを楽観的にみる性格だ」と思いますか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問9： あなたのご職業は何ですか。次の中から1つ選んでください。

1. 金融業に勤めていて、資産運用や証券取引関連業務を行っている
2. 金融業に勤めていて、回答1以外の業務を行っている
3. 金融業以外の会社に勤めていて、資産運用や証券取引関連業務を行っている
4. 回答1～3以外の会社に勤めている
5. 公務員
6. 商工・サービス業の自営者・家族従事者
7. 自由業
8. 大学院生(社会人学生の方は上の1～7から選んでください。)
9. 学部生(社会人学生の方は上の1～7から選んでください。)
10. その他の学生(社会人学生の方は上の1～7から選んでください。)
11. 無職(失業保険を受給している)
12. 無職(失業保険を受給していない)
13. その他()

問10： あなた自身の金融資産のうち、株式の割合は何%くらいですか

1. およそ_____%
2. わからない

問11： ファイナンスの講義や証券アナリスト試験などにでてくる「有効(効率的)フロンティア」について、

1. 内容を理解している。利用したことがある。
2. 説明を受けたことがあり、内容は大体知っている
3. 言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない
4. 知らない

問12：オプション取引で使われる「ブラックショールズモデル」について、

1. 内容を理解している。利用したことがある。
2. 説明を受けたことがあり、内容は大体知っている
3. 言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない
4. 知らない

問13：次の2つのゲームをするなら、あなたはどちらのゲームを選びますか。

1. じゃんけんに勝つと2万円もらえ、負けると何ももらえないゲーム
2. じゃんけんに勝つと3万円もらえ、負けると1万円取られるゲーム

問14：インターネット（オンライン・トレード）で、株式、為替、先物取引等の売買（いずれか一つでも）を

1. 売買したことがある
2. 実際に売買したとはないが、どのような仕組みか知っている
3. 売買したことがないし、どのような仕組みか知らない

問15：あなたは、「成功の見込みが少なくとも、見返りが大きければ、失敗のリスクを犯してもやってみるべきだ」と思いますか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問16： 次の2つのことわざのうち、どちらがあなたの普段の行動に近いですか。

A： 成果を得るためには危険を冒すべきだという意味の

「こけつ虎穴に入らずんばこじ虎兇を得ず」

B： できるだけ危険は避けるべきだという意味の

「くんし君子はあや危うきにちかよ近寄らず」

1. 「虎穴に入らずんば虎兇を得ず」に、近い
2. 「虎穴に入らずんば虎兇を得ず」に、どちらかというに近い
3. 「君子は危うきに近寄らず」に、どちらかというに近い
4. 「君子は危うきに近寄らず」に、近い

問17： あなたは現在、結婚していらっしゃいますか。

1. はい
2. いいえ

問18： あなたは、親と同居していますか。

1. 自分の親と同居している
2. 配偶者の親と同居している
3. 自分の親と配偶者の親の両方と同居している
4. 親とは同居していない(死別も含む)

問19： これまでに老後の備えについて考えたことはありますか。

1. よく考えている
2. どちらかといえば考えているほうだ
3. どちらかといえば考えていないほうだ
4. ほとんど考えたことはない

問20：老後の備えについて、下記のうちどれが最もあなたにあてはまりますか。

1. 自分では老後に備えられないから、支払う保険料が高くなっても、公的年金をあてにしたい。
2. 必要なら自分で老後に備えるつもりだが、保険料が高くなっても、公的年金を中心に老後の準備をしたい。
3. 公的年金からの給付は少なくてもいいから、保険料を安く抑えて、足りない分は自分自身で老後に備えたい
4. できれば、公的年金はやめてしまって、自分自身で老後に備えたい

問21：あなたご自身の昨年1年間の収入は、税や社会保険料込みでおよそいくらぐらいですか。次のうち1つに○をつけて、お答えください。

1. 収入はない
2. 130万円未満
3. 130万円以上300万円未満
4. 300万円以上500万円未満
5. 500万円以上700万円未満
6. 700万円以上1,000万円未満
7. 1,000万円以上1,500万円未満
8. 1,500万円以上2,000万円未満
9. 2,000万円以上

問22：あなたの性別をお答え下さい。

1. 男性
2. 女性

問23：あなたの年齢をお答え下さい。

_____ 歳

問24：あなたはどのような方法（ルート）で今回の実験をお知りになりましたか。
次の中からお選びください。複数に該当する方は、該当するすべての項目を選んでください。

1. GSIMの学生
2. GSIM以外の青山学院大学(大学院)の学生
3. 青山学院大学(大学院)の学生からの紹介
4. 早稲田大学大学院ファイナンス研究科の学生
5. ファイナンス研究科以外の早稲田大学(大学院)の学生
6. 早稲田大学大学院の学生からの紹介
7. 中央大学(大学院)の学生
8. 中央大学(大学院)の学生からの紹介
9. メールが直接送られてきた
10. どうやって知人が知っていたかはわからないが、知人からの紹介
11. その他()

問25：本日の実験参加への負担と、謝礼（参加謝礼 4000 円＋実験謝礼 0 円または 5000 円）とを比較して、

1. 負担に対して謝礼が多いと思う
2. どちらかという、負担に対して謝礼が多いと思う
3. どちらかという、負担に対して謝礼が少ないと思う
4. 負担に対して謝礼が少ないと思う

本日の調査は以上で終了です。

どうもありがとうございました。

そのまま、席でお待ち下さい。

「公的年金の通知に関する研究」
厚生労働科学研究費助成研究(H16-政策-007)

調査用紙

本日はお忙しいところ、当調査にご協力いただき、ありがとうございます。最後に、この調査用紙に回答して頂くことで、本日の実験は終了です。最後まで、よろしくお願い致します。

今回の調査の結果は、統計的にとりまとめられ、研究や提言の基礎データとして活用させて頂くもので、1人1人のデータが公表されることは決してございません。この調査用紙の中には、参加者全体の特徴を統計的に集計するために、あなたやご家族のことについて、おたずねしている部分もありますが、当調査用紙は無記名式で、参加者名簿と照合することはありませんので、安心してお答え下さい。よろしくお願い致します。

(注意点)

- 回答時間には余裕がありますので、質問をよく読んでお答え下さい。
- 選択肢は全て読んで、最も相応しいものを選んでください。
- すべての質問に回答してください。
- わからないところがあれば、手をあげて、係員に尋ねて下さい。
- 書き間違ったと思ったら、二重線で消して書き直して下さい。
- 回答が終わったら、係員の指示があるまで、そのままお待ち下さい。

連絡先

青山学院大学国際マネジメント研究科、ニッセイ基礎研究所
北村智紀 kitamura@nli-research.co.jp 03-3512-1854

問1： 本番の4回目(謝礼に関係がある回の1回目)で、下記の証券を何枚ずつ買いましたか？

証券A(1枚50ドル) _____枚

証券B(1枚10ドル) _____枚

問2： それぞれ、どうして、その量だけ買うことにしたのですか？

◆証券A



◆証券B



問3： 本番の6回目(謝礼に関係がある回の2回目)で、下記の証券を何枚ずつ買いましたか？

証券A(1枚50ドル) _____枚

証券B(1枚10ドル) _____枚

問4： それぞれ、どうして、その量だけ買うことにしたのですか？

◆証券A



◆証券B



問5： 本日の実験参加への負担と謝礼とを比較して、

1. 負担に対して謝礼が多いと思う
2. どちらかという、負担に対して謝礼が多いと思う
3. どちらかという、負担に対して謝礼が少ないと思う
4. 負担に対して謝礼が少ないと思う

問6： あなたの普段の買い物についてお伺いします。あなたは買い物をする時、以下のような気持ちになったり、以下のような行動をとることがあります。次の a~h のそれぞれについて、普段、買い物をする時の行動や、考えにあてはまる程度のところに○をひとつだけつけてください。

(a~h まで、こたえはそれぞれひとつ)

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
a. 買い物の時間や、商品を選ぶ時間が他人より長いと思う	(1)	2	3	4)
b. 商品を選ぶ時は、つねに最良のものを選ぶようにしている	(1)	2	3	4)
c. 1つのものを買うにも、他店と比べてみることが多い	(1)	2	3	4)
d. 新しい商品、流行の健康法など、つねに情報収集は欠かさない	(1)	2	3	4)
e. どんな趣味でも、究めてみたくなり、没頭するタイプである	(1)	2	3	4)
f. 何かの決断をする時は、ありとあらゆる選択肢を考えてみる	(1)	2	3	4)
g. 可能性のある限り、物事を追求する事に苦労は惜しまない	(1)	2	3	4)
h. お気に入りのもの・タレント・歌手などは、とことん追求する	(1)	2	3	4)

本日の調査は以上で終了です。

どうもありがとうございました。

そのまま、席でお待ち下さい。

